JAHIS

ＪＡＨＩＳ技術文書　１３－１０４

Japanese Association of Healthcare Information Systems Industry

ＪＡＨＩＳ
IHE-ITI を用いた
医療情報連携基盤実装ガイド
本編
Ｖｅｒ．１．０

２０１４年２月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会

戦略企画部　事業企画推進室

ＪＡＨＩＳ　IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド　本編

ま　え　が　き

現在、我が国では 150 以上もの地域医療連携ネットワークが稼働している。その目的とするところは様々である。ある地域では特定の疾病を発症した患者、たとえば脳卒中患者を対象に、その地域の医療機関が連携して急性期診療から社会復帰までの診療に当たる。糖尿病のような慢性疾患の患者を対象に、地域の医療機関が提供する機能に応じて役割分担を行い、地域全体としてより効率的な医療の提供を行い、医療資源の効果的な利用を目指す地域もある。また別の地域では、診療所では困難な検査を地域中核病院に依頼し、結果をオンラインで参照、閲覧することで医療機器という資源の効率的な利用を目指している。

効果的で効率的な地域医療連携を実現するには医療情報を医療機関間で交換あるいは共用できる必要がある。このためには単にネットワークで医療機関相互が接続されているだけでなく、診療情報などのデータが交換／共用される情報連携基盤が整備されていることが前提となる。現在地域医療連携による診療を提供している地域では、それぞれの地域で異なる情報連携基盤を構築し利用している。最近では複数のシステムベンダが提供する情報連携基盤の相互乗り入れも可能となっているが、情報を比較検討するために複数のウィンドウを開かなければならないなどの問題もあるようである。

地域医療連携のあるべき姿は必ずしも明確にはなっていない。一つの理想的な形として地域であたかも一つの病院が形作られているように、多くの医療機関が有機的に連携して診療を提供出来る姿ということが考えられる。このような地域では、患者がどの医療機関で診療を受けようと、地域で患者にとって最適な診療提供を行うことが可能となるだろう。すなわち、地域で一患者一カルテのような状況で情報利用が実現され、診療が提供されている状態である。さらには、疾病によっては、患者は一地域に留まらないということもあり、場合によっては全国の医療機関でその患者の診療記録が閲覧できることが望まれる。

このような医療情報連携を可能とするためには、診療情報が標準化されていること、情報の交換／共用のための情報連携基盤が標準的な情報通信技術を基本に構築されていること、患者が一意的に識別可能であること、一定のセキュリティレベルが保証されていることなどを備えている必要がある。欧米の各国では、これらの要件を備えた情報連携基盤を、IHE（Integrating the Healthcare Enterprise）の情報通信基盤である ITI（Information Technology Infrastructure）分野を中心とした関連の統合プロファイル（Integration Profile）を利用して、構築しつつある。

IHE では、普遍的な臨床上のユースケースをモデル化した統合プロファイルを設定し、医療情報システムを構築する際の標準規格の使用方法などを明確化した実装ガイドともいえるテクニカルフレームワーク文書を発行している。その中では、地域医療連携のための情報連携基盤を構築するために使用できる統合プロファイルが多数規定されている。

厚生労働省による「医療機関間で医療情報を交換するための規格等策定に関する請負業務」において、JAHIS は日本 IHE 協会と連携して上記の統合プロファイルを標準化する作業を行い、我が国で情報連携基盤の構築に適用可能な規格として「地域医療連携における情報連携基盤技術仕様」を策定した。さらに、この規格を適用し地域医療連携のためのネットワークシステムである情報連携基盤を構築する際に、何に留意すべきか、規格をどのように解釈すべきかを明確にするために、「JAHIS 技術文書 IHE ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド」を作成した。

本実装ガイドは、本編とレセコン編の２分冊からなる。本編では、地域医療連携のための情報連携基盤を構築するために IHE ITI 統合プロファイルをどのように利用するかを記述している。

© JAHIS 2014

既に我が国の地域医療連携基盤の構築においては厚生労働省電子的診療情報交換推進事業などで策定されたSS-MIXおよびその後継であるSS-MIX2仕様を採用しているケースが多いため、既に構築されているSS-MIX2標準化ストレージとIHE XDS.bとの整合性を意識してガイドを策定した。

また、レセコン編は、厚生労働省による「医療分野における小規模機関にかかるインターフェース規格策定及び検証に関する請負業務」で検討された医科および調剤のレセプトコンピュータが持つ情報を標準化された診療情報として出力するインターフェース規格を、情報連携基盤において利用するガイドとして策定した。診療の概要情報ではあるが、広く普及し、しかも標準化された電子レセプトデータを中心に、地域医療連携に利用できるようにするために遵守すべき事柄をまとめている。レセプト情報が利用できるようになることで、多くの地域医療連携では中核病院から診療所へと一方通行だった情報利用が、診療所から中核病院へも提供出来るようになり、より効果的な地域医療連携の実現に向けた連携基盤の構築が可能となる。

本実装ガイドでは、診療所や薬局などの小規模医療施設も対象とした地域医療連携のための医療情報連携基盤を標準化された情報や通信形式で構築するための最小限の要件をとりまとめた。IHE では、実際の医療現場で要望の多い放射線画像情報など各種の医療情報の取扱いや地域医療連携ネットワーク間での情報交換など、地域医療連携に関する多数の統合プロファイルが規定されている。今後、本実装ガイドの内容の改訂の検討とともに、これらの拡張についても継続して検討を行っていく所存である。

２０１４年２月

一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
戦略企画部 事業企画推進室

<< 告知事項 >>

本規約は関連団体の所属の有無に関わらず、規約の引用を明示することで自由に使用することができるものとします。ただし一部の改変を伴う場合は個々の責任において行い、本規約に準拠する旨を表現することは厳禁するものとします。

本規約ならびに本規約に基づいたシステムの導入・運用についてのあらゆる障害や損害について、本規約作成者は何らの責任を負わないものとします。ただし、関連団体所属の正規の資格者は本規約についての疑義を作成者に申し入れることができ、作成者はこれに誠意をもって協議するものとします。

© JAHIS 2014

目　次

1. はじめに 1
1.1. 目的 1
1.2. 適用範囲 2
1.3. 用語・略語の定義 4
1.4. 本書の読み方 15
1.4.1. 本書の構成と IHE 統合プロファイルの関係 15
1.4.2. HL7 V3 メッセージインタラクション 16
1.4.3. ebRIM／ebRS 17
1.4.4. XML 定義表 18
2. PIX／PDQ／XDS 共通概要 20
2.1. 前提条件 20
2.2. 情報閲覧に求められる機能 20
2.3. 患者選択における参照モード 21
2.4. 実装が期待されるトランザクションと想定される利用シーン 22
2.4.1. 患者基本属性の取得 23
2.4.2. 患者基本属性の登録、更新、削除 24
2.4.3. ドキュメントリポジトリの登録 30
2.4.4. ドキュメントリポジトリの差分更新 31
2.4.5. 文書の検索と表示 32
2.4.6. 施設登録機能 32
2.4.7. 利用者登録機能 32
2.4.8. ドキュメントレジストリ・リポジトリの削除 33
3. セキュリティ要求 34
3.1. 監査証跡 34
3.1.1. 監査イベント記録 [ITI-20] 35
3.1.2. 監査イベント記録の伝送 36
3.1.3. 監査イベント記録のメッセージフォーマット 36
3.2. 時刻同期 36
3.3. ノード認証 37
3.4. アクセス制御 37
4. PIX／PDQ 38
4.1. PIX の概要 39
4.2. トランザクション定義（PIXV3） 40
4.2.1. 患者 ID フィード（HL7 V3 版）（Patient Identity Feed）[ITI-44] 40
4.2.2. 患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）（PIXV3 Query）[ITI-45] 94
4.2.3. 患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）（ITI-46） 111
4.3. PDQ の概要 128
4.4. トランザクション定義（PDQV3） 128
4.4.1. 患者基本情報問合せ（ HL7 V3 版） [ITI-47] 129
5. XDS.b 152

© JAHIS 2014

5.1. XDS.b の概要 153
5.2. メタデータ定義 154
5.2.1. メタデータ属性の共通仕様 154
5.2.2. ドキュメントエントリ（Document Entry） 164
5.2.3. サブミッションセット（SubmissionSet） 169
5.2.4. HasMember 関連 173
5.2.5. 文書間関係（Document Relationship） 175
5.3. トランザクション定義 178
5.3.1. ストアドクエリ（Registry Stored Query）[ITI-18] 179
5.3.2. 文書セットの提供と登録（Provide and Register Document Set-b）[ITI-41] 205
5.3.3. 文書セットの登録（Register Document Set-b）[ITI-42] 224
5.3.4. 文書セットの読出し（Retrieve Document Set）[ITI-43] 241
5.3.5. 患者 ID フィード（Patient Identity Feed HL7 V3）[ITI-44] 254
6. 共通データ仕様 255
6.1. 識別子 255
6.1.1. 識別子（人が解釈することを意図しない識別子） 255
6.1.2. 識別子（患者 ID（PIX マネージャ）） 255
6.1.3. 識別子（患者 ID（その他のアクタ）） 256
6.2. 氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有） 257
6.3. 性別 258
6.4. 生年月日 258
6.5. 単純名称 259
6.6. 住所（非構造化データ） 259
6.7. 電話番号 260
7. コード定義 261
8. オブジェクト識別子（OID）定義 275
8.1. オブジェクト識別子の取得について 275
9. 参考文献 276
9.1. 引用規格 276
9.2. 参考 URL 276
9.3. 参考資料 278
付録―１．作成者名簿 280

© JAHIS 2014

1. はじめに

1.1. 目的

本書「JAHIS 技術文書 IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド 本編」（以下「本書」とする）は、地域医療連携で医療情報の交換に用いるための医療情報連携基盤を、標準化された形式で容易に構築できるようにするためのガイドとしてとりまとめた。

本書では、IHE の地域医療連携関係の統合プロファイルをとりまとめた日本 IHE 協会「地域医療連携における情報連携基盤技術仕様」（以下「技術仕様」とする）を準拠すべき規格として採用した。技術仕様で規定されているに統合プロファイルのうち、医療情報連携を構築する際に最小限必要と考えられる次の４つを選択し、これらを実装する際の留意事項をとりまとめ、我が国の地域医療連携の特質に合わせた拡張仕様の定義を行った。

・XDS.b (Cross-Enterprise Document Sharing)　医療機関間での医療情報の共有
・PIXV3 (Patient Identifier Cross-referencing HL7 V3)　患者 ID の相互参照
・PDQV3 (Patient Demographic Query HL7 V3)　患者基本属性情報の検索取得
・ATNA (Audit Trail and Node Authentication)　監査証跡とノード認証

まえがきで述べたように、我が国においても数多くの地域医療連携ネットワークが運用されており、各種の医療情報連携基盤システムが構築され使用されている。しかしながら多くの地域医療連携では、中核病院の電子カルテ等で生成された医療情報を連携先の医療施設で閲覧するだけの運用がされている。複数の医療機関が情報を提供している場合でも、同じ患者がそれぞれの医療機関を受診した場合でも、それらの情報を一括で閲覧することは、できない場合が多い。本書では、複数の医療機関が地域医療連携に提供する医療情報について、XDS.b 統合プロファイルを用いることにより患者単位で管理を行い、医療情報そのものは個々の医療機関で管理されている場合でも、同一患者の医療情報を一括で検索し、閲覧できる仕組みを検討した。また、既に稼働している地域医療連携の情報提供の基盤としてはSS-MIXあるいはSS-MIX2がデファクト標準として多くのベンダが実装しているため、SS-MIX/SS-MIX2 をそのまま XDS.b の仕組みに組み込めるようにしている。

地域医療連携においての課題の一つとして、医療施設毎に異なる患者 ID と地域医療連携内の共通 ID との整合を確保する方法としてPIXV3を採用している。各医療施設からは自施設の患者IDで検索することにより、自動的に地域医療連携の共通 ID に変換され、医療情報の検索が可能となる。

PIXV3 では、個々の医療機関の患者 ID と地域医療連携の共通 ID との突合は、他の ID 管理理術と同様に、人手で行う必要があるが、すでに登録された患者の基本情報を検索するPDQV3を用いることで、IDの突合の運用を簡略化することができる。また、災害時や救急の際に ID が不明の場合でも、氏名や生年月日から患者 ID を調べることが可能になり、必要な医療情報を取得することが可能となる。

PIX およびPDQ については、HL7 V2 を使用する PIX およびPDQ と、HL7 V3 を使用する PIXV3 およびPDQV3 の２つのバージョンがあるが、本書ではWEB サービスとの整合性の高い V3 版を採用した。

これらの３つの統合プロファイルを組み合わせることにより、複数の医療施設が提供する医療情報を共有し、有効に地域医療連携で用いることが可能になる。ただし、閲覧する医療情報の項目や、表示形式等については、個々の地域医療連携の特質に応じて設計すべきものであると考え、本書では対象外としている。

地域医療連携では、施設内でも注意深く取り扱われている医療情報を、施設外に提供するため、より一層のセキュリティ対策を施す必要がある。このセキュリティ対策については、厚生労働省による「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」に詳細にまとめられており、このガイドラインに準拠することにより十分であると考えられている。このガイドラインでは、不正アクセスを検知するための手段として監査証跡を推奨しており、地域医療連携内の監査証跡を標準化された形式で生成し取り扱うために、ATNA 統合プロファイルを採用した。ただ、ATNA 統合プロファイルの監査証跡メッセージの規定に関しては、ベースとしている DICOM (Digital Imaging and Communication in Medicine)規格との不整合があるため、これらの不整合を解消するための修正・拡張をおこなった。

© JAHIS 2014

現時点では、これらの地域医療連携は二次医療圏単位で運用されている場合が多いが、転居などにより異なる医療圏に移る場合や、都市部などでは患者が複数の二次医療圏をまたがって受診するケースがあり、複数の情報連携基盤システムを接続して相互に特定の患者の医療情報の交換ができることが求められている。本書では、複数の情報連携基盤システムの間の情報交換そのものについては対象としていないが、そのような情報交換を行う場合を視野に入れて情報連携基盤を構築できるように検討を行った。

1.2. 適用範囲

本書「IHE ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド」が対象とする地域医療連携ネットワークの全体は、図 1-1 のような構成をとる。本書では、電子カルテシステム／オーダエントリシステムから地域医療連携用データを出力する医療機関・薬局を「医療施設」と定義し、レセプトコンピュータから地域医療連携用データを出力する医療機関・薬局を「小規模医療施設」と定義する。図中の「診療所」は、小規模医療施設に対応し「病院」は「医療施設」に対応する。図中で、本書の対象範囲は、緑色の点線（一点鎖線）で示された範囲であり、IHE の統合プロファイルに従った IHE アクタ間の通信の手順を IHE トランザクションとして定義している。

一方、レセコン編では、レセプトコンピュータを情報源とする赤点線で示されたトランザクションで交換される情報内容とトランザクションの手順が示されている。レセリポジトリに格納されたデータは、医療施設における SS-MIX2 標準化ストレージと同じ位置付けとなる。このとき、レセリポジトリを《ドキュメントソース》とみなす場合には、そこから文書セットの提供と登録[ITI-41]を使用して、レセリポジトリとは別の《ドキュメントリポジトリ》にデータを登録し、文書セットの登録[ITI-42]を使用して《ドキュメントレジストリ》にメタデータを登録する実装形態となる。あるいは、レセリポジトリを《統合化されたドキュメントソース・リポジトリ》とみなし、文書セットの登録[ITI-42]で《ドキュメントレジストリ》にデータを登録する実装形態が考えられる。

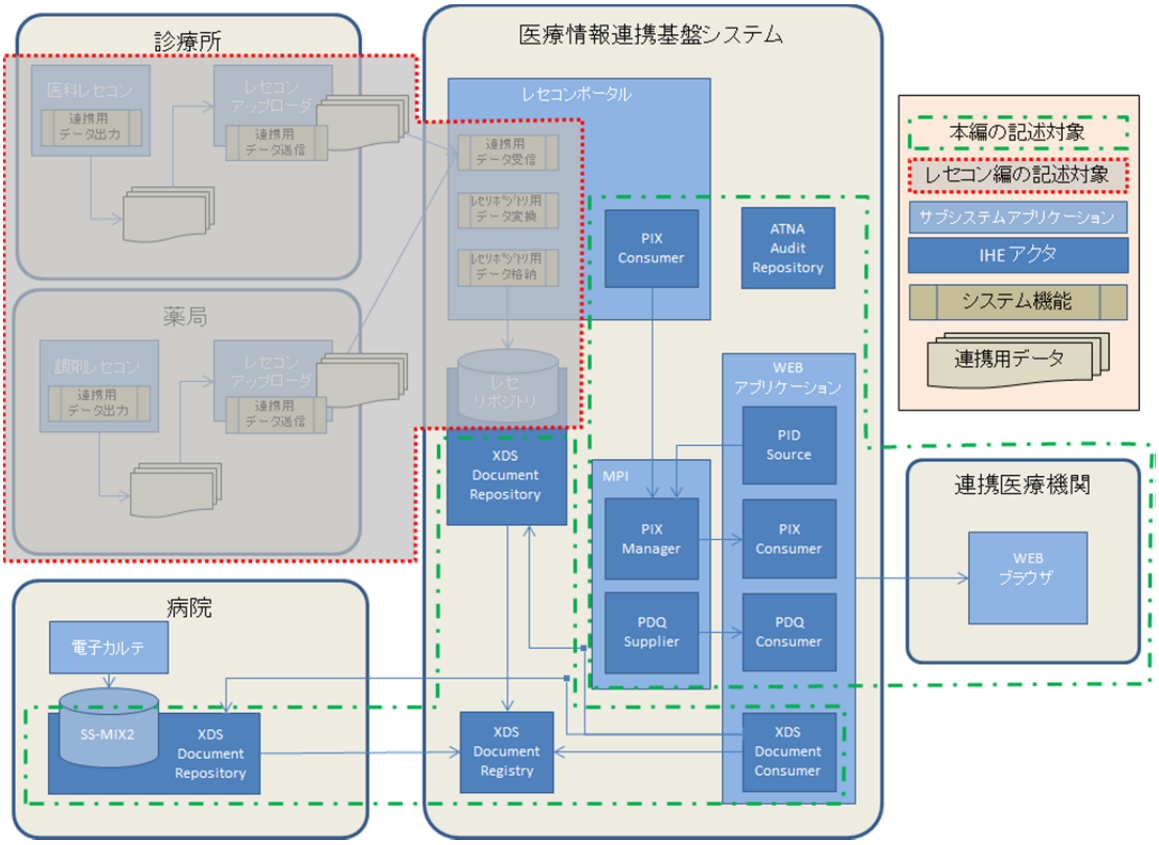


図 1-1 地域医療連携ネットワークの全体像と本書の適用範囲

© JAHIS 2014

表 1-1 に、本書で取り扱う IHE ITI 統合プロファイルとトランザクションの一覧を示す。

表 1-1 本書で取り扱う IHE ITI 統合プロファイルとトランザクション

No	IHE ITI 統合プロファイル	トランザクション	注
1	PIXV3	患者 ID フィード［ITI-44］(Patient Identity Feed HL7 V3)	注１
2		患者 ID 相互参照問合せ (HL7 V3 版)［ITI-45］(PIXV3 Query)	注２
3		患者 ID 相互参照更新通知 (HL7 V3 版)［ITI-46］(PIXV3 Update Notification)	
4	PDQV3	患者基本情報問合せ (HL7 V3 版)［ITI-47］(Patient Demographics Query HL7 V3)	注２
5	XDS.b	ストアドクエリ[ITI-18] (Registry Stored Query)	注３
6		文書セットの提供と登録[ITI-41] (Provide & Register Document Set-b)	
7		文書セットの登録[ITI-42] (Register Document Set-b)	
8		文書セットの読み出し[ITI-43] (Retrieve Document Set)	注３
9		患者 ID フィード[ITI-44] (Patient Identity Feed HL7 V3)	注１
10	ATNA	ノード認証[ITI-19] (Node Authentication)	注４
11		監査イベントの記録[ITI-20] (Record Audit Event)	

注１：PIXV3 および XDS.b の特質に合わせ個別に記載した。
注２：詳細は ITI 適用ガイドを参照のこと。
注３：ITI 適用ガイドの内容について XDS メタデータの説明を変更したため再掲載した。
注４：ノード認証については、本書での扱いについて説明のみを記載した。

JAHIS では、すでに技術文書「JAHIS 地域医療連携のための IHE ITI の適用ガイド」(以下、ITI 適用ガイド）を発行している。ITI 適用ガイドでは、地域医療連携ネットワーク間を相互に接続するために必要となる統合プロファイルを中心に適用方法を説明しているが、本書で対象とする IHE ITI 統合プロファイルのトランザクションの一部についても詳述しており、それらは本書の中で特記すべき事項がない限りは、ITI 適用ガイドを参照する形とした。

© JAHIS 2014

1.3. 用語・略語の定義

日本 IHE 協会普及推進委員会編の用語集、または、JAHIS ITI 適用ガイドに定義された用語を元に、本書における語句の使い方を定義する。IHE の統合プロファイル、トランザクション、アクタについては、それぞれの英語名称とともに本書における日本語名称を定義する。なお、本書では、IHE アクタを指しているのか、一般的な用語を指しているのかを区別する目的で、本文中で IHE アクタを参照する場合には《 》を付けて示す。また、IHE トランザクションについては、ITI のトランザクション番号を付記する。

【A～Z】

- ATNA (Audit Trail and Node Authentication) 監査証跡と機器認証
  保護された医療情報に対する、不正アクセスの検出、データの作成、削除、変更などの監査を行うための統合プロファイル。アクセスコントロールや中央ログ保管も含む。
  ＜IHE ITI 統合プロファイル＞

- Base64
  データのエンコード方式の一つ。64 種類の印字可能な英数字のみを用いて、それ以外の文字を扱うことの出来ない通信環境にてマルチバイト文字やバイナリデータをエンコードするために使用する。RFC 3548、RFC 4648 を参照。
  ＜情報技術＞

- BPPC (Basic Patient Privacy Consents) 患者プライバシー同意
  患者プライバシー同意情報を記録するための仕組みと、その患者プライバシー同意情報に従い文書が適切に利用されるための手段を提供するための統合プロファイル。
  ＜IHE ITI 統合プロファイル＞

- ebRIM (ebXML Registry Information Model)
  ebXML レジストリ情報モデル仕様。XDS.b 統合プロファイルにおいて、メタデータオブジェクトのモデルとして使用されている。
  ＜SOAP・Web サービス関連＞

- ebRS (ebXML Registry Services Specification)
  ebXML レジストリサービス仕様。XDS.b 統合プロファイルにおいて、ストアドクエリのメッセージ仕様として使用されている。
  ＜SOAP・Web サービス関連＞

- ebXML (Electronic Business using eXtensible Markup Language)
  XML を用いたインターネット上の企業間電子商取引のための仕様群。UN/CEFACT (United Nations Centre for Trade Facilitation and Electronic Business；貿易化と電子ビジネスのための国際センター) と OASIS (Organization for the Advancement of Structured Information Standards; 構造化情報標準促進協会) が共同で立ち上げた、ebXML Initiative で仕様の開発を行っている。XDS.b 統合プロファイルにおいてメッセージ仕様、及び、メタデータのデータモデルとして使用されている。
  ＜SOAP・Web サービス関連＞

- HasMember 関連 (HasMember Association)
  XDS.b 統合プロファイルで使用されるメタデータモデルで定義される関連 (Association) オブジェクトの一つ。オブジェクト間のメンバシップ関係を表現する。本書では、サブミッションセットとドキ

© JAHIS 2014

ュメントエントリの関係を表現するために使用する。「関連（Association)」、「メタデータオブジェクト」も参照のこと。
＜IHE その他＞

・ HL7 V2（HL7 Version 2）
保健医療分野の国際標準化規格 Health Level Seven（HL7）の第2版。
＜HL7 関連＞

・ HL7 V3（HL7 Version 3）
保健医療分野の国際標準化規格 Health Level Seven（HL7）の第3版。
＜HL7 関連＞

・ MPI（Master Patient Index）
患者の診療情報を共有する施設、あるいは、地域医療連携ドメインにおいて、登録された全ての患者に関する情報を管理するデータベース。
＜医療情報その他＞

・ MTOM（Message Transmission Optimization Mechanism）
画像など大きなサイズのバイナリ添付データを、SOAP メッセージを使用して効率よく転送するための仕様。
＜SOAP・Web サービス関連＞

・ OID（ISO Object IDentifier）
ネットワークを介して通信を行うにあたり、共通に認識すべき対象（文書や様式、コードなど）を識別するための識別子。オブジェクト識別子。ISO（国際標準化機構）、及び、ITU-T（International Telecommunication Union Telecommunication Standardization Sector; 国際電気通信連某ー電気通信標準化部門）が定めている。日本では、ISO 系は日本興業標準調査会、ITU-T 系は総務省がそれぞれ管理している。「8 オブジェクト識別子（OID）定義」も参照のこと。
＜情報技術＞

・ PDQ（Patient Demographics Query）患者基本属性の問合せ
複数の分散されたアプリケーションが、集中管理された患者基本情報サーバに対し、ユーザが指定する検索基準に基づくクエリを実施し、患者の基本情報を直接取り込む仕組みを提供するための統合プロファイル。HL7 V2 メッセージを使用する PDQ 統合プロファイルと、HL7 V3 メッセージを使用する PDQV3 統合プロファイルがあり、本書では PDQV3 のみを対象とする。
＜IHE ITI 統合プロファイル＞

・ PIX（Patient Identifier Cross-reference）患者識別情報の整合性確保
複数のシステムで別々に管理されている患者識別情報の整合性を確保し、各システムを超えた患者単位の検索を可能とする仕組みを提供するための統合プロファイル。HL7 V2 メッセージを使用する PIX 統合プロファイルと、HL7 V3 メッセージを使用する PIXV3 統合プロファイルがあり、本書では PIXV3 のみを対象とする。
＜IHE ITI 統合プロファイル＞

・ PIX コンシューマ（Patient Identity Cross-reference Consumer）
PIXV3 統合プロファイルにおいて、《PIX マネージャ》が提供するサービスを利用して異なる患者 ID

© JAHIS 2014

ドメインにおける患者 ID の識別を可能にする IHE アクタ。
＜IHE アクタ＞

・ PIX マネージャ（Patient Identity Cross-reference Manager）
PIXV3 統合プロファイルにおいて、各患者 ID ドメインの患者 ID ソースから提供される情報に基づき、異なる患者 ID ドメイン間での患者 ID の相互参照を管理する IHE アクタ。
＜IHE アクタ＞

・ Relationship 関連（Relationship Association）
XDS.b 統合プロファイルで使用されるメタデータモデルで定義されるドキュメントエントリ間の関連（Association）の一つ。置換（Replace）、変換（Transform）、追加（Append）、変換と置換（Transform and Replace）、署名（Sings）の 5 種類の種別が定義されている。「関連（Association）」、「メタデータオブジェクト」も参照のこと。
＜IHE その他＞

・ SOAP（Simple Object Access Protocol）
XML と HTTP などをベースとした、遠隔にある他システムのデータやサービスを呼び出すための仕様。XML に基づいており、ヘッダとボディから構成される。Web サービスで交換される XML メッセージ全体を SOAP エンベロープと呼び、SOAP エンベロープは SOAP ヘッダと SOAP ボディから構成される。SOAP ボディはペイロードとも呼ばれ、メッセージの本体が記述される。
＜SOAP・Web サービス関連＞

・ SS-MIX（Standardized Structured Medical record Information eXchange）
診療情報の交換・共有のために、HIS や電子カルテシステム等で管理されている各種情報を標準化された形式で格納する「SS-MIX 標準化ストレージ」を用いて外部アプリケーションから参照するための、データの電文（メッセージ）仕様と格納ルールを定めた規格。2012 年には JAHIS 標準規格への整合性を図ること、及び、対象メッセージの拡大を目的として、SS-MIX2 が策定された。
＜医療情報その他＞

・ URN（Uniform Resource Name）
ネットワーク上のリソースを場所という概念に依存せず名前によって永続的に特定しようという識別子。RFC2141（URN シンタックス）および関連文書で定義された URN スキームと呼ばれる「urn:」で始まる文字列で表現される。
＜情報技術＞

・ UUID（Universally Unique Identifier）
Open Software Foundation（OSF）が標準化した、ソフトウェアを一意に識別するための識別子。汎用一意識別子とも呼ぶ。RFC4122 で仕様が定義されており、16 オクテットで表現される。
＜情報技術＞

・ WSDL（Web Services Definition Language）
Web サービス記述するための、XML をベースとした言語仕様。タイプ、メッセージ、ポートタイプ、オペレーション、バインディング、サービス、ポートから構成される。
＜SOAP・Web サービス関連＞

© JAHIS 2014

・ X.509 公開鍵証明書（X.509 Public-Key Certificate）
ITU（国際電気通信連合）が 1988 年に勧告した電子証明書と証明書失効リストの標準仕様。
＜情報技術＞

・ XCA（Cross Community Access）コミュニティ間アクセス
コミュニティ間で診療情報文書を共有する方法を提供するための統合プロファイル。
＜IHE ITI 統合プロファイル＞

・ XDS.b（Cross Enterprise Document Sharing）施設間の診療文書共有
施設間で特定の患者の診療文書を共有する方法を提供するための統合プロファイル。
＜IHE ITI 統合プロファイル＞

・ XDS アフィニティドメイン（XDS Affinity Domain）
診療情報を共有するために、同じポリシ、同じ基盤を使用することを同意した医療施設全体のグループ。
＜IHE その他＞

・ XOP（XML-binary Optimized Packaging）
一定の種類の内容を持つ XML 情報セット（XML 文書を構成する文書、要素、属性などの情報項目を表現するデータモデル）の効率的なシリアライズ方法を定義する仕様。
＜SOAP・Web サービス関連＞

・ XPATH（XML Path Language）
標準化団体 W3C（World Wide Web Consortium）で開発された、XML 文書の特定の部分を指定する言語構文。
＜情報技術＞

・ XUA（Cross-Enterprise User Assertion）施設間利用者認証
施設間で利用されるトランザクションにおいて、認証された認証対象（利用者やアプリケーション、システムなど）の識別情報に関する宣言を伝達する手段を提供するための統合プロファイル。
＜IHE ITI 統合プロファイル＞

【あ行】
・ 医療機関
本書では、地域医療連携に参加する、医療施設、小規模医療施設と定義する。
＜その他＞

・ 医療施設
本書では、電子カルテシステム／オーダエントリシステムから地域医療連携用のデータを出力する医療機関を示す。
＜その他＞

・ オペレーション（operation 要素）
WSDL 文書において、サービスが提供する、リモートアクセス手続き。
＜SOAP・Web サービス関連＞

© JAHIS 2014

【か行】

- 患者 ID 相互参照通知（HL7 V3 版）（PIXV3 Update Notification）［ITI-46］
  PIXV3 統合プロファイルで使用する IHE トランザクション。《PIX マネージャ》が管理する、相互に関連付けされた患者 ID の情報が更新されたことを、《PIX マネージャ》が《PIX コンシューマ》に対して通知するためのトランザクション。
  ＜IHE ITI トランザクション＞

- 患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）（PIXV3 Query）［ITI-45］
  PIXV3 統合プロファイルで使用する IHE トランザクション。《PIX コンシューマ》から《MIX マネージャ》に対して、ある患者 ID と相互に関連付けられた患者 ID のリストを問合せるためのトランザクション。
  ＜IHE ITI トランザクション＞

- 患者 ID ソース（Patient Identity Source）
  PIXV3 統合プロファイルにおいて、ユニークな患者 ID の提供と維持を行う IHE アクタ。患者 ID の割当、及び、他のアクタに対して患者 ID に関連するイベント（生成、更新、マージなど）の通知を行う。XDS.b 統合プロファイルにおいては、ドキュメントリポジトリ内の診療文書に対して XDS アフィニティドメイン内でのユニークな患者 ID を提供する。
  ＜IHE アクタ＞

- 患者 ID ドメイン（Patient Identifier Domain）
  患者 ID と患者への ID 割り当てプロセス、及び、患者 ID の発行機関について共通の機構を共有する、単一のシステム、または、一連の相互接続されたシステム群。ID がどのように定義され、管理されるのかについてポリシを共有し、ユニークな患者 ID を割り当てる単一のシステム（患者 ID ソースシステム）を持つ。
  ＜IHE その他＞

- 患者 ID フィード（HL7 V3 版）（Patient Identity Feed HL7 V3）［ITI-44］
  PIXV3 統合プロファイル、XDS.b 統合プロファイルで使用する。PIXV3 では、《患者 ID ソース》が《PIX マネージャ》に対して、患者基本情報の提供や更新するために使用する。XDS.b では、《患者 ID ソース》が《ドキュメントリポジトリ》に対して、リポジトリで管理対象となる診療文書の患者 ID を提供するために使用する。
  ＜IHE ITI トランザクション＞

- 患者基本情報コンシューマ（Patient Demographics Consumer）
  PDQV3 統合プロファイルにおいて、患者基本情報サプライヤから提供される患者基本情報を利用する IHE アクタ。
  ＜IHE アクタ＞

- 患者基本情報サプライヤ（Patient Demographics Supplier）
  PDQV3 統合プロファイルにおいて、患者基本情報の追加、更新、維持について責務を持つ IHE アクタ。患者基本情報コンシューマに対して、患者基本情報の作成や更新情報の通知を行う。
  ＜IHE アクタ＞

- 患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）（Patient Demographics Query HL7 V3）［ITI-47］
  PDQV3 統合プロファイルで使用する IHE トランザクション。《患者基本情報コンシューマ》から《患者

© JAHIS 2014

基本情報サプライヤ》へ、患者基本情報の問合せを行うためのトランザクション。
＜IHE ITI トランザクション＞

・ 患者基本属性
本書では、患者の漢字氏名・カナ氏名・住所・生年月日・性別、ローカル患者 ID を指す。
＜その他＞
・

・ 関連（Association）
XDS.b 統合プロファイルで使用されるメタデータモデルで定義されたオブジェクトの１つ。HasMember 関連と Relationship 関連の２種類の関連がある。「メタデータオブジェクト」も参照のこと。
＜IHE その他＞

・ クエリ応答タイプ（Query Response Type）
メッセージインタラクションの構成要素の１つ。照会応答メッセージの場合のみ使用され、ペイロードに相当する問合せ結果情報を、ペイロードの代わりに示す。
＜HL7 関連＞

・ クエリ定義（Query Definition）
メッセージインタラクションの構成要素の１つ。照会応答メッセージの場合、対応する照会メッセージ。
＜HL7 関連＞

【さ行】
・ サービス（service 要素）
WSDL の構成要素。複数のポートの集合。
＜SOAP・Web サービス関連＞

・ サブミッションセット（Submission Set）
XDS.b 統合プロファイルで使用されるメタデータモデルで定義されたメタデータオブジェクトの１つ。単一の登録処理に含まれる、ドキュメントエントリ、フォルダ、関連（Association）をグループ化したものである。「メタデータオブジェクト」も参照のこと。
＜IHE その他＞

・ 受信アプリケーションロール（Receiver Application Role）
情報システムにおいて、メッセージの受信に関わる抽象的な役割。例：Patient Registry Tracker (PRPA_AR201302UV02)。
＜HL7 関連＞

・ 受信者責務（Receiver Responsibilities）
例えば特定の応答メッセージを送信するなど、メッセージインタラクションを受信したアプリケーションが果たすべき責務を定義したもの。
＜HL7 関連＞

・ 小規模医療施設
本書では、電子カルテシステムを導入しておらず、地域医療連携用のデータをレセプトコンピュータ

© JAHIS 2014

から出力する医療機関や薬局を示す。
＜その他＞

・ ストアドクエリ（Registry Stored Query）[ITI-18]
XDS.b 統合プロファイルで使用する IHE トランザクション。《ドキュメントコンシューマ》が《ドキュメントレジストリ》に対して、診療文書の索引情報を検索する際に使用する。
＜IHE ITI トランザクション＞

・ 成果物識別子（Artifact Identifier）
HL7 V3 仕様で定義される成果物に対して一意に割り当てられる識別子。表 1-3 を参照のこと。
＜HL7 関連＞

・ 送信アプリケーションロール（Sender Application Role）
情報システムにおいて、メッセージの送信に関わる抽象的な役割。例：Patient Registry Informer (PRPA_AR201301UV02)。
＜HL7 関連＞

【た行】
・ タイプ（types 要素）
WSDL 文書において、使用されるデータ型の定義。
＜SOAP・Web サービス関連＞

・ 地域医療連携センター
地域医療連携システムの運営を支援する組織。
＜その他＞

・ 地域医療連携ドメイン
地域医療連携において、共通のポリシに基づき診療文書を共有する範囲、もしくは、組織体。
＜その他＞
・
・ 伝送ラッパー（Transmission Wrapper）
メッセージインタラクションの構成要素の１つ。メッセージヘッダに相当し、メッセージの送信者、受信者の情報や送信パラメータの情報を記述する。すべての HL7 V3 メッセージは、伝送ラッパーを持つ。
＜HL7 関連＞

・ 統合プロファイル（Integration Profile）
多くの医療機関において利用できる共通のシステム統合モデル。モデルを構成する抽象的な機能単位であるアクタ（Actor）とアクタ間の情報交換を規定したトランザクション（Transaction)から構成される。業務の流れをモデル化したワークフロー，業務目的に応じた情報項目を標準化したコンテンツ，共通的な情報交換基盤を構築するためのインフラ、といったタイプに分類できる。
＜IHE その他＞

・ ドキュメントエントリ（Document Entry）
XDS.b 統合プロファイルで使用されるメタデータモデルで定義されたメタデータオブジェクトの１つ。文書の索引情報として、単一の文書の特徴を説明する属性情報のみを含む。文書の内容は含まれない。

© JAHIS 2014

「メタデータオブジェクト」も参照のこと。
＜IHE その他＞

・ ドキュメントコンシューマ (Document Consumer)
XDS.b 統合プロファイルにおいて、診療文書を利用する IHE アクタ。
＜IHE アクタ＞

・ ドキュメントソース (Document Source)
XDS.b 統合プロファイルにおいて、登録すべき文書の原本を持ち、ドキュメントリポジトリに対して文書を送信する IHE アクタ。
＜IHE アクタ＞

・ ドキュメントリポジトリ (Document Repository)
XDS.b 統合プロファイルにおいて、診療情報等の文書を保存し、提供する IHE アクタ。
＜IHE アクタ＞

・ ドキュメントレジストリ (Document Registry)
XDS.b 統合プロファイルにおいて、診療情報等の文書の索引情報を管理し、ドキュメントコンシューマからの検索要求に対し、文書の保存場所を検索結果として返す IHE アクタ。
＜IHE アクタ＞

・ トランスポート (transport 属性)
WSDL 文書において、SOAP メッセージを伝送する HTTP や SMTP などの通信プロトコル。バインディング定義の中で指定する。
＜SOAP・Web サービス関連＞

・ トリガイベント (Trigger Event)
他のアプリケーションに対して、情報の伝送が必要となるきっかけを表すイベント。例：Patient Registry Record Added (PRPA_TE201301UV02)。
＜HL7 関連＞

・ トリガイベントコントロールアクトラッパー (Trigger Event Control Act Wrapper)
メッセージのヘッダ情報として、メッセージ送信の理由やメッセージ送信のきっかけとなるトリガイベントの情報を記述する。
＜HL7 関連＞

【な行】
・ 名前空間 (Namespace)
名前の集合を分割することで、名前の衝突を回避するための概念。本書では、識別子のユニーク性を担保する範囲として名前空間という言葉を使用する。例えば、ローカル患者 ID の場合、医療施設の ID は患者 ID の名前空間の 1 つである。
＜情報技術＞

・ ニーモニック (Mnemonic)
患者検索キーとして登録可能な、患者が自由に選択できる文字列（例えば携帯メールアドレスなどの任意の文字列）。地域医療連携システム内でユニークであることが必須。（ニーモニックを実装する場

© JAHIS 2014

合には「医療機関コード」に地域で定めた定数をセットする。）
＜情報技術＞

【は行】

・ バインディング（binding 要素）
WSDL 文書において、特定の通信プロトコルにおいて、あるポートタイプが使用するオペレーション名やメッセージがどのようなフォーマットで表されるかについての定義。
＜SOAP・Web サービス関連＞

・ ハッシュ値（Hash Value）
元のデータから一定の計算手順により求められた、そのデータの特徴を表す数値。
＜情報技術＞

・ フォルダ（Folder）
XDS.b 統合プロファイルで使用されるメタデータモデルで定義されたメタデータオブジェクトの１つ。診療上のユースケースで使用する為のドキュメントエントリの論理的な集合を表す。フォルダ内の全てのドキュメントエントリは、同一の患者に対する文書でなければならない。「メタデータオブジェクト」も参照のこと。
＜IHE その他＞

・ 文書セットの提供と登録（Provide and Register Document Set-b）[ITI-41]
XDS.b 統合プロファイルで使用する IHE トランザクション。《ドキュメントソース》が《ドキュメントリポジトリ》に対して、一連の診療文書の登録を行うためのトランザクション。
＜IHE ITI トランザクション＞

・ 文書セットの登録（Register Document Set-b）[ITI-42]
XDS.b 統合プロファイルで使用する IHE トランザクション。《ドキュメントリポジトリ》から《ドキュメントレジストリ》に対して、一連の診療文書のメタデータの登録を行うためのトランザクション。
＜IHE ITI トランザクション＞

・ 文書セットの読み出し（Retrieve Document Set）[ITI-43]
XDS.b 統合プロファイルで使用する IHE トランザクション。《ドキュメントコンシューマ》が、ストアドクエリの結果から《ドキュメントリポジトリ》を参照し、診療文書を取得するためのトランザクション。
＜IHE ITI トランザクション＞

・ ペイロード（Payload）
メッセージインタラクションの構成要素の１つ。HL7 V3 メッセージ構造における、メッセージ本文に相当する部分。
＜HL7 関連＞

・ ポート（port 要素）
WSDL 文書において、あるバインディングにアクセスするためのインターネット上のアドレス。
＜SOAP・Web サービス関連＞

© JAHIS 2014

・ ポートタイプ（portType 要素）
WSDL 文書において、関連する抽象的な操作の集合。ポートタイプは、0 個以上のオペレーションを持つことができる。
＜SOAP・Web サービス関連＞

【ま行】
・ メタデータモデル（Abstract Metadata Model）
XDS.b 統合プロファイルで使用される、文書の性質、作成された環境、文書登録の状況、他の文書との関連情報などの情報を含む、文書の索引情報を表現するオブジェクトモデル。メタデータオブジェクトと関連（Association）を含む。メタデータオブジェクトは、さらに、サブミッションセット、フォルダ、ドキュメントエントリに分類される。関連(Association)は、HasMember 関連と Relationship 関連に分類される。
＜IHE その他＞

・ メッセージ（message 要素）
WSDL 文書において、一度に送受信されるデータの集合。
＜SOAP・Web サービス関連＞

・ メッセージインタラクション（Message Interaction）
HL7 V3 におけるメッセージ送信において、送受信にかかわるアプリケーションの役割、使用されるメッセージ型、トリガイベント、受信者に関連する責務をひとまとめとして定義したもの。1.4.2 項「HL7 V3 メッセージインタラクション」を参照のこと。
＜HL7 関連＞

・ メッセージ型（Message Type）
メッセージインタラクションの構成要素の１つ。メッセージインスタンスを制約するための一連の規則を定めたもの。メッセージのパース処理における構文規則として使用される。例: Patient Activate (PRPA_MT201301UV02)。
＜HL7 関連＞

【や行】

【ら行】
・ レジストリオブジェクトリスト（Registry Object List）
XDS.b 統合プロファイルで使用される、ebRIM に基づくメタデータモデルの中で使用されるオブジェクト。メタデータの登録や問合せ結果において、フォルダ、サブミッションセット、ドキュメントエントリ、関連（Association）の一覧を表現する。
＜IHE その他＞

・ レセリポジトリ
小規模診療施設から、地域医療連携システムに連携用データを共有するために使用する、SS-MIX に類似した構造を持つデータ形式及びデータ格納ルール。あるいは、これらのデータによって作成されたストレージそのものを指す。
＜その他＞

© JAHIS 2014

・ ローカル患者 ID
地域医療連携システムに参加する医療施設の患者番号など、医療施設毎のローカルな ID。医療機関コードと組み合わせることにより、地域医療連携システム内でユニークなローカル患者 ID となる。
＜その他＞

【わ行】

© JAHIS 2014

1.4. 本書の読み方

1.4.1. 本書の構成と IHE 統合プロファイルの関係

本書の 2 章では、PIXV3、PDQV3、XDS.b 全体に共通する概要として、本書の前提条件や地域医療連携基盤において求められる機能、及び、実装が期待されるトランザクションについて解説を行う。2 章を読むことにより、地域医療連携基盤を実現するに当たり、IHE の統合プロファイルをどのように適用すればよいか、典型的な利用シーンや IHE のアクタの配置パターンについての情報を得ることができる。

3 章では、IHE 統合プロファイルを適用するに当たり要求されるセキュリティ要求を、我が国における医療情報の安全管理に関するガイドラインとの関係も含めて説明する。

4 章と 5 章では、IHE アクタ間で実装すべきメッセージをトランザクション定義として記述する。そのトランザクション定義で定義される定義体と、IHE 統合プロファイルの構成要素、及び、システム開発における成果物の関係を図 1-2 に示す。IHE 統合プロファイルでは、IHE アクタ間の通信をトランザクションとして定義している（図中①）。1 つのトランザクションは、HL7 や ebXML といった参照標準によって実現されるアクタ間のメッセージ交換であり、インタラクション図によって、アクタ間のメッセージインタラクションとして定義される（図中②）。

本書で示す PIXV3、PDQV3、XDS.b に関するメッセージインタラクションは、Web サービスとして実現される。本書のインターフェース定義の項では、IHE アクタに対応する Web サービスのサービスインターフェースを規定する WSDL 文書を示す（図中③）。

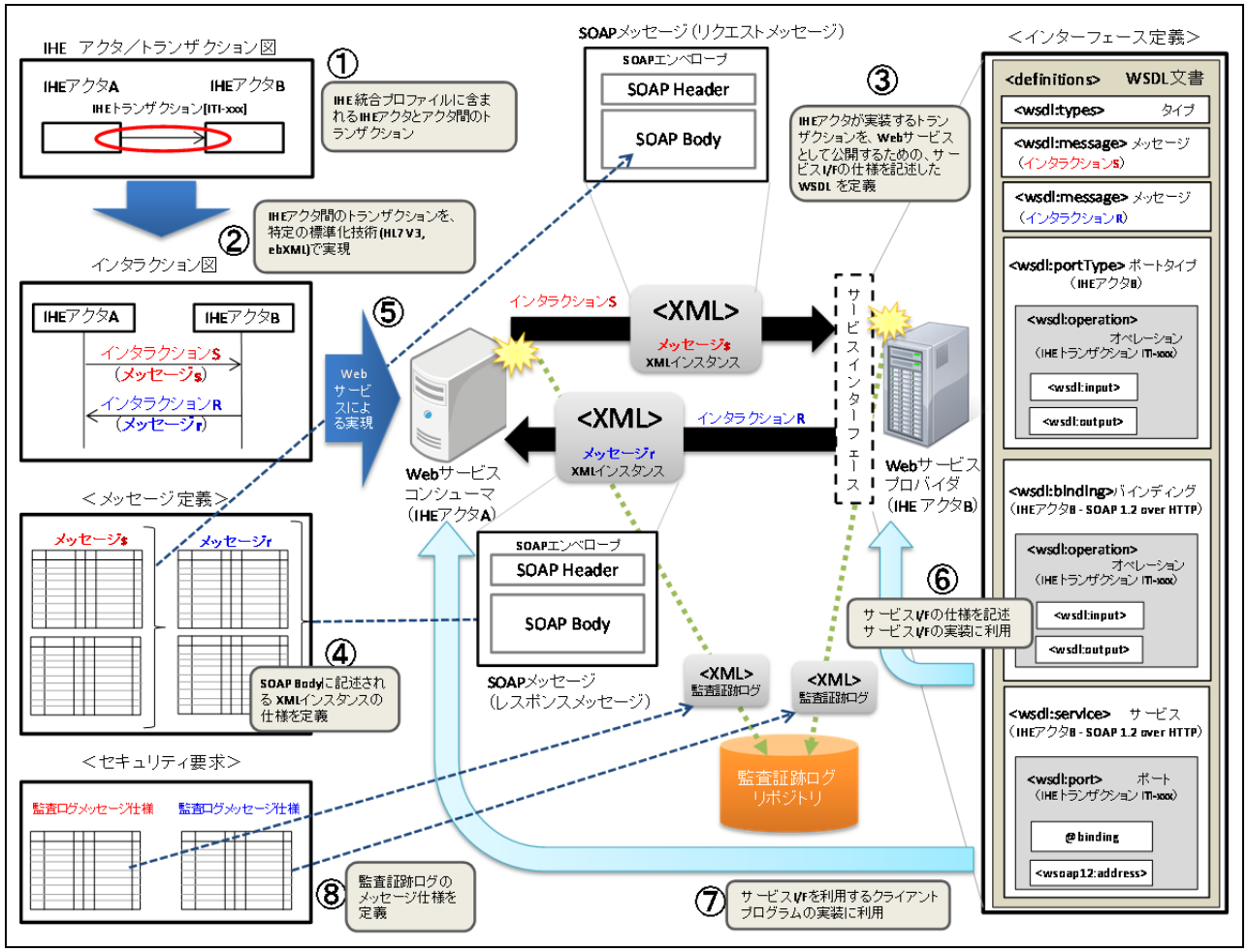


図 1-2 本書の構成とシステム開発における成果物の関係

© JAHIS 2014

本書のメッセージ定義の項では、それらWSDL文書で規定されるWebサービスにおいて、SOAPメッセージのメッセージボディとして伝送されるXML形式のメッセージ仕様を定義する。この仕様はXML定義表として表形式で記述され、XMLインスタンスの要素や属性に設定する値と方法を説明する（図中④）。さらには、各メッセージのXMLインスタンスのサンプルも例示する。

Webサービスのサービスコンシューマは、このメッセージ定義に基づき、Webサービスプロバイダに伝送するための情報項目を含むXMLインスタンスを作成し、Webサービスのエンドポイントに対して、SOAPメッセージとして送信する（図中⑤）。実装に用いるプログラミング言語やアーキテクチャにも依存するが、インターフェース定義の項で示されるWSDL文書を利用することで、Webサービスプロバイダで動作するインターフェースの骨組みの生成や（図中⑥）、Webサービスコンシューマで動作するWebサービスのクライアントプログラムを生成することが可能である（図中⑦）。

トランザクションを構成する１つのメッセージインタラクションにおいて、メッセージ送信者は、送信したメッセージの内容に応じて、「いつ」「誰が」「誰の」情報にアクセスしたかを監査証跡ログとして出力することが要求される。同様に、メッセージ受信者は、受信したメッセージの内容に応じて監査証跡ログを出力することが要求される。それらの監査証跡ログは、IHEのATNA統合プロファイルによって規定されたXMLメッセージとして実現される。本書のセキュリティ要求項では、トランザクションを構成するメッセージインタラクション毎に監査証跡ログメッセージにおいて出力すべき項目の定義表を示す（図中⑧）。

1.4.2. HL7 V3 メッセージインタラクション

本書で説明するIHE統合プロファイルのうち、PIXV3とPDQV3は、実装技術としてHL7 V3を使用している。このトランザクション定義は、アプリケーションロール間のHL7 V3メッセージインタラクションとして定義される。本項では、本書を読み進めるにあたり、HL7 V3のメッセージインタラクションに関する必要最低限の情報について概説する。

HL7 V3では、システム間で交換されるメッセージを、メッセージインタラクションという単位で定義する。メッセージインタラクションの構成要素を表 1-2に示す。メッセージインタラクションや、その構成要素には、HL7 V3の仕様の中で定められた成果物識別子がそれぞれ割り当てられている。表 1-3に、その成果物識別子の構成を示す。メッセージインタラクションの成果物識別子は、対応するXMLインスタンスのルート要素の要素名や、XMLスキーマのファイル名として使用される。HL7 V3メッセージインタラクションの詳細は、引用規格「HL7 V3 Normative Edition 2008」を参照のこと。

表 1-2 メッセージインタラクションの構成要素

構成要素	説明	本書の成果物との関係
メッセージインタラクション	HL7 V3におけるメッセージ定義の単位。 以下の送信アプリケーションロールからクエリ定義までの各要素から構成する。	メッセージインタラクションの成果物識別子は、SOAPメッセージのペイロードのXMLインスタンスのルート要素の要素名となり、またそのインスタンスを定義するXMLスキーマのファイル名となる。
送信アプリケーションロール	HL7メッセージの送信者の役割。	トランザクションの送信側のIHEアクタに対応し、WSDLを定義する単位となる。
受信アプリケーションロール	HL7メッセージの受信者の役割。	トランザクションの受信側のIHEアクタに対応し、WSDLを定義する単位となる。
トリガイベント	HL7 メッセージを送信するきっかけとなる	メッセージヘッダ中にトリガ

© JAHIS 2014

	イベントを定義。	イベントの成果物識別子を指定する。
伝送ラッパー	メッセージのヘッダ情報として送信者や受信者、送信時のパラメータを定義。	メッセージ定義のメッセージヘッダ部を構成する。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	メッセージのヘッダ情報としてメッセージ送信の理由や送信者の情報を記述する。	メッセージ定義のメッセージヘッダ部を構成する。
ペイロード	メッセージの本文。	照会メッセージのメッセージ定義で、問合せパラメータ情報を示すメッセージ本文を構成する。
受信者責務	当該メッセージインタラクションを受信したアプリケーションが果たすべき責務。	照会メッセージの受信者が送信すべき照会応答メッセージに対応する。
クエリ応答タイプ	照会応答メッセージの場合のみ、ペイロードに相当する問合せ結果情報をペイロードの代わりに示す。	照会応答メッセージのメッセージ定義で、照会結果情報を示すメッセージ本文を構成する。
クエリ定義	照会応答メッセージの場合、対応する照会メッセージを識別する。	応答メッセージに対応する照会メッセージを表す。

表 1-3 HL7 V3 成果物識別子

成果物識別子　(UUDD_AAnnnnnnRRvv)	説明
UU	HL7 サブセクション名。例：PR = 診療 (Practice)
DD	HL7 ドメイン名。例：PA = 患者管理 (Patient Administration)
AA	HL7 成果物コード。 IN = インタラクション AR = アプリケーションロール TE = トリガイベント
nnnnnn	HL7 の各委員会で割当られた 6 桁の識別子。例：201309
RR	レルム (地域性) コード。例：UV = ユニバーサル
vv	バージョン。例： 01

1.4.3. ebRIM／ebRS

XDS.b では、実装技術として ebXML (Electronic Business using eXtensible Markup Language) レジストリ情報モデル (Registry Information Model;RIM) バージョン 3.0 を利用し、《ドキュメントレジストリ》が管理する文書のメタデータオブジェクトを記述する。メタデータオブジェクトに関する問合せには、ebXML レジストリに関するメッセージプロトコルであるレジストリサービス仕様 (Registry Services Specification;ebMS) バージョン 3.0 を使用する。さらに、《ドキュメントリポジトリ》からの文書の取得には、MTOM/XOP 形式の添付ファイル付き SOAP メッセージが使用される。メタデータオブジェクトの詳細は、5.2 節で説明する。ebRIM、及び、ebRS の詳細は、引用規格「ebRIM OASIS/ebXML Registry Information Model Version 3.0」、及び、「ebRS OASIS/ebXML Registry Services and Protocols Version 3.0」を参照のこと。MTOM/XOP の詳細は、引用規格「W3C Recommendation SOAP Message Transmission Optimization Mechanism」、及び、「W3C Recommendation XML-binary Optimized Packaging」を参照のこと。

© JAHIS 2014

1.4.4. XML 定義表

本書のメッセージ定義において使用する XML 定義表の読み方を説明する。

表 1-5 に XML 定義表の例を示す。1 行目に表示される行（表 1-5 では「/PRPA_IN201309UV02」）は、その表に示される XML 要素名である。この要素の子要素または属性を、表中の各行に示す。このとき、薄青色に網掛けした行は XML 要素を表し、網掛けされていない行は、属性またはテキスト内容を表す。以下に、各列の説明を示す。

- 「XML No」列

  本仕様書中で、項目を相互参照する場合に使用する識別番号である。

- 「要素／属性」列

  各行が示す項目が XML 要素の場合、要素名を、属性の場合は属性名を表す。属性名の前には「@」を付与する。テキスト内容の場合は、XPATH の表記に従い「text()」と示す。

- 「IHE」列 ／「JAHIS」列

  「M」、「O」、「N」の３つの制約値をとる。

  - M： 要素の存在が必須であり、値の記述が必要。
  - O：要素の存在は必須でなく、省略が可能。
  - N：IHE ではオプショナルである項目で、本書では使用しない項目。濃淡色で色付けする。

  「IHE」列は、IHE 統合プロファイル上の制約を示しており、「JAHIS」列は、本書で定めた制約を示している。制約値に続けて記述される数値は、その項目の多重度を示す。多重度は、指定された要素または属性の出現数の最小値と最大値とを「..」の両端に示す形で表現する。最大値に制限がない場合は「*」（アスタリスク）で示す。表 1-5 の場合、id 要素は、XML 中に 0 または 1 つのみ出現し、author 要素は、1 つ以上複数個出現することを意味する。なお、制約、または、多重度は、その項目の上位の項目が出現した場合の制約や多重度となる。表 1-5 の例では、id 要素の多重度が「0..1」で、その下位項目である root 属性の多重度が「1..1」であるということは、上位項目である id 要素自体は省略することが可能であるが、id 要素が出現する場合には、その下位項目である root 属性も必ず出現しなければならないことを意味する。本仕様中では、最小多重度が 1 である項目は太字で示す。表 1-5 の XML No2.2、及び、XML No2.3 は、「JAHIS」列が「N」であり、本書では使用しない項目であることを示す。

  XML 要素の出現順は、XML 仕様表の XML No 順となるが、一部の項目については、その限りではなく、任意の順序でよいものも存在する。そのような項目については仕様表に記載する。また、XML 属性の出現順は、XML 仕様表の出現順には依存せず任意とする。例えば、表 1-5 では、XML No1.1 と 1.2 の属性は、どちらが先に出現してもよい。

- 「記法」列

  表 1-4 の種別を設定する。

表 1-4 記法の種別と定義

No	種別	定義
1	文字列	文字列。(全角半角混在可)
2	コード	コード表で定義されたコード値。
3	数値	[0-9]で指定される半角数字。
4	OID	ISO オブジェクト識別子。

© JAHIS 2014

5	UUID	UUID(Universally Unique Identifier) RFC4122。
6	日付	"YYYYMMDDHHMMSS.UUUU"で表現される日付。
7	真偽値	[true|false]。
8	URN	事前に定義されたURN。urn:xxxx

➢ 「説明」列

IHE のテクニカルフレームワークで書かれている制約事項に加え、元になっている HL7 や ebXML の仕様上の解説を加えたものについては[解説]というタグで説明を示す。また、特に使用方法について本書で何らかの推奨や限定を加えている箇所については、[JAHIS]というタグでその内容を示す。

➢ 「設定区分」列

「●」または「◆」印は、その行が示す XML 要素または属性に対して、特定の固定値ではなく、個々のアプリケーションで何らかの値を設定しなければならないことを示す。さらに「◆」は、その設定値が検索パラメータの一部であることを示す。設定区分に印が存在しない行は、本仕様で決められた固定値を設定することとなる。

表 1-5 XML 定義の例

/PRPA_IN201309UV02						
XML No	**要素 / 属性**	**IHE**	**JAHIS**	**記法**	**説明**	**設定区分**
1	id	0 :0..1	0 :0..1		メッセージID	
1.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID/UUID	[解説] root 属性に UUID または OID を設定する。UUIDを使用するなど、root属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークなIDとする。	
1.2	@extension	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	メッセージIDを指定。	●
2	author	**M :1..***	**M :1..***		メッセージ作成者。	
2.1	time	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージ作成日。	
2.1.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	日付	形式：YYYYMMDD。	●
2.2	modeCode	0 :0..1	*N*		[JAHIS] 本書では使用しない。	
2.2.1	@code	**M :1..1**	*N*		[JAHIS] 本書では使用しない。	

© JAHIS 2014

2. PIX／PDQ／XDS 共通概要

2.1. 前提条件

本書の前提条件を示す。

- 地域医療連携に参加する患者に対してユニークな地域患者 ID を付番する。ただし、地域患者 ID の番号体系は実装ガイドでは規定しない。
- 同一地域内で、一人の患者に対して、複数の地域患者 ID を発行することを妨げない。これは、診療情報の閲覧範囲を患者 ID によって限定することを想定したものである。
- 公開設定（同意）の手順は本書の対象外とする。
- データソースは HL7 V2.5 系を前提として記載しているが、将来の拡張性を考慮してこれに限定はしない。
- 各医療機関に、《ドキュメントコンシューマ》を配置する形態は、本書の対象外とする。文書コンシューマは地域医療連携センター内に配置され、それをWebアクセス等で外部に公開することを前提とする。
- 参照システムのアクセスコントロール（参照権限等）はアプリケーションで行うものとする。
- アクセスログ参照機能は、本書の対象外とする。
- 患者が地域医療連携システムへの参加に合意をしていることを示す手段として、媒体を問わずクレデンシャル（参加証明書）を必須とすることは望ましくない。地域医療連携システムに参加していることを示すクレデンシャルを保持しない場合でも、情報参照が可能であること。
- クレデンシャルとして、患者が申告した任意のニーモニックを用いて PIX で地域患者 ID を検索することも可能である。ただし、ニーモニックの利用は地域毎の運用に委ねる。

2.2. 情報閲覧に求められる機能

本書では、地域医療連携システムの情報閲覧機能として求められる機能を表 2-1 に定義した。項番 1 から 4 の機能について、IHE ITI を利用してどのように実現するかを、シーケンス図と共に 2.4 節で示す。項番 5 から 7 の機能については、IHE ITI に対応するトランザクションが存在しないため、説明の記載に留めた。

表 2-1 地域医療連携システムの情報閲覧機能として求められる機能

No	機能	説明
1	地域患者 ID 発行（患者基本属性登録）	地域医療連携ドメイン内でユニークな地域患者 ID を発行し、MPI に患者基本属性を登録する機能。本書では患者基本属性の新規登録、及び、削除は必須要件とし、修正機能の実現は任意とする。
2	ローカル患者 ID 関連づけ	地域患者 ID に、各施設のローカル患者 ID を関連づけする機能。本機能についても、新規登録、及び、削除は必須要件とし、修正機能の実現は任意とする。
3	患者選択	MPI を検索し、閲覧対象とする患者を選択する機能。具体的な患者選択の方法は各社の裁量範囲とし、本書では規定しない。
4	コンテンツ表示	《ドキュメントリポジトリ》に格納された診療情報を参照する機能。
5	利用施設登録	地域医療連携システムに施設の情報を登録する機能。IHE ITI では定義されない。
6	利用者登録	医師、看護師等の、地域医療連携システムの利用者を登録する機能。IHE ITI では定義されない。
7	ドキュメントリポジトリの削除	《ドキュメントリポジトリ》内の診療情報を削除する機能。IHE ITI では定義されない。

© JAHIS 2014

2.3. 患者選択における参照モード

患者選択においては、次の 3 つのモードを備えること。

a)　通常モード

自医療機関に受診している患者の情報のみ表示、参照が可能なモード（患者選択にローカル患者 ID もしくは地域患者 ID のいずれかを使用し、自医療機関に関連付かない患者の情報表示は認めない）。

自医療機関を受診している患者にのみ限定するために、IHE ITI の各クエリメッセージを以下のように使用する。

- 患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）[ITI-45] : 検索パラメータである「データソース」に自医療機関の患者 ID ドメインの OID のみが設定されたクエリのみを許容する。
- 患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）[ITI-47] : 検索パラメータである「その他の ID」に、自医療機関の患者 ID ドメインの OID のみが設定されたクエリのみを許容する。

b)　救急モード

地域医療連携システムに参加している患者基本属性を検索して患者を特定し、情報の表示、参照が可能なモード。不必要な患者の検索や情報表示が行われないよう、施設や操作者を限定するなど地域毎の運営ポリシの策定を求める。

c)　災害時モード

地域の全ての医療機関で MPI の患者基本属性検索を可能とするモード。災害発生時にのみ利用可能とするようシステム的なガードを設けること。

© JAHIS 2014

2.4. 実装が期待されるトランザクションと想定される利用シーン

地域医療連携システムにおいて表 2-1 に示した機能を実現するにあたり、実装が期待されるトランザクションを、想定される利用シーンと共にシーケンス図として示す。

シーケンス図では、青色の四角で IHE アクタを、白色の四角で機能を表す。青色の矢印はメッセージインタラクションを示し、矢印の上下の「→ 地域患者 ID」や「← 患者基本属性」は、対応するメッセージインタラクションのパラメータまたは結果としてやり取りされる情報を表している。ITI で定義される各トランザクションの詳細は、本書の 4 章と 5 章を参照のこと。

2.2 節で示した情報閲覧に必要な機能と、2.4 節に記載する利用シーンとの関係を表 2-2 に示す。表の上部の網掛けされた行は、各利用シーンの中でケース分けをした際の条件を示している。表の下部には、各利用シーンが、表 2-1 に示す情報閲覧に必要な機能、及び、文書登録機能、メタ情報登録機能のどれを使用しているかを表している。白丸は ITI トランザクションを使用して実装するもの、黒丸は ITI 以外の方法で実装することを意味する。

表 2-2 情報閲覧に必要な機能と想定される利用シーンの関係

利用シーン (項番号とケース)	2.4.1			2.4.2								2.4.3		2.4.4	2.4.5	2.4.6	2.4.7	2.4.8
	a)	b)	c)	a)	b-1)	b-2)	c-1)	c-2)	c-3)	c-4)	d)	a)	b)					
患者選択時の検索条件	地域患者 ID	ﾛｰｶﾙ患者 ID	患者属性															
検索者が地域患者 ID を得ているか否か					既知	未知	未知	未知	未知	未知								
《患者 ID ソース》と《ドキュメントソース》の実装形態							別実装、	別実装	一体実装	一体実装								
《ドキュメントソース》と《ドキュメントリポジトリ》の実装形態							別実装	一体実装	別実装	一体実装		別実装	一体実装					
地域患者 ID 発行				○														
ローカル患者関連づけ					○	○	○	○	○	○	○							
患者選択	○	○	○											○	○			
コンテンツ表示															○			
利用施設登録																●		
利用者登録																	●	
ドキュメントリポジトリの削除																		●
文書登録							○	●	○	●		○	●	○				
メタ情報登録							○	○	○	○		○	○	○				

凡例[○：ITI トランザクションによる実装／●：内部実装]

© JAHIS 2014

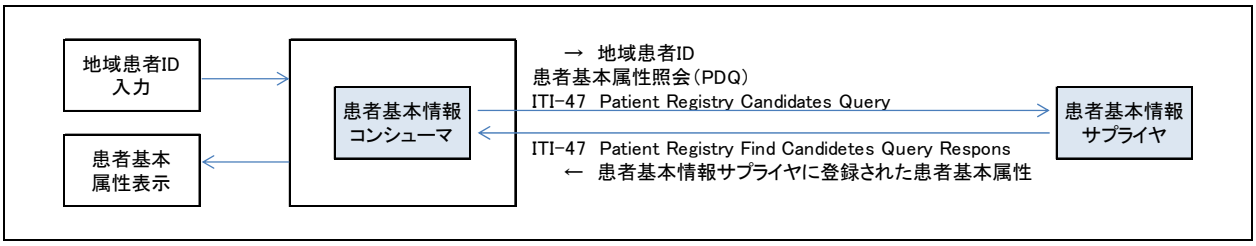
2.4.1. 患者基本属性の取得

MPI から患者基本属性を取得するために、PIX または PDQ を使用する 3 つの利用シーンを示す。

a) 地域患者 ID を利用した患者情報の取得

＜利用シーン＞

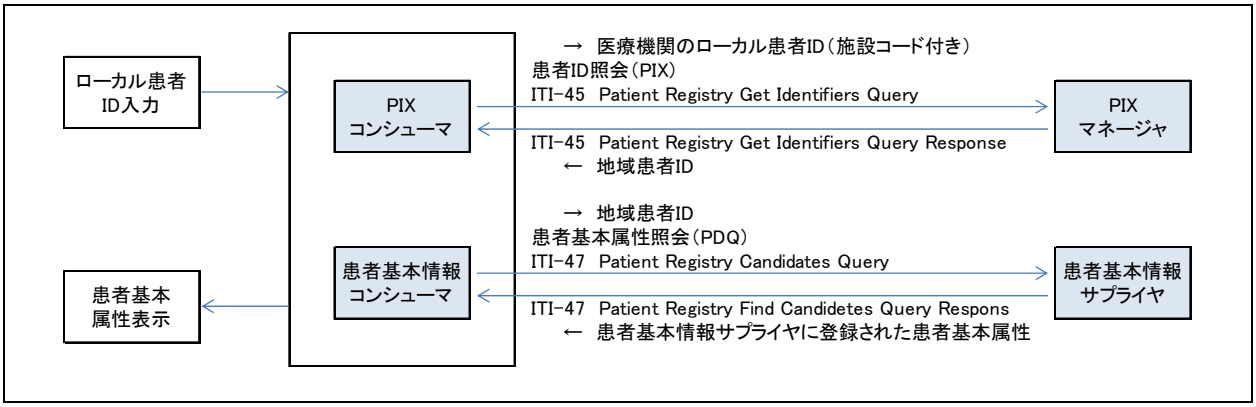
地域医療連携システムに参加している患者が、地域患者 ID を印刷もしくは格納したカードなどを保有しており、直接、地域患者 ID で患者検索することが可能な場合。



b) 医療機関のローカル患者 ID（ニーモニックを含む）を利用した患者基本情報の取得

＜利用シーン＞

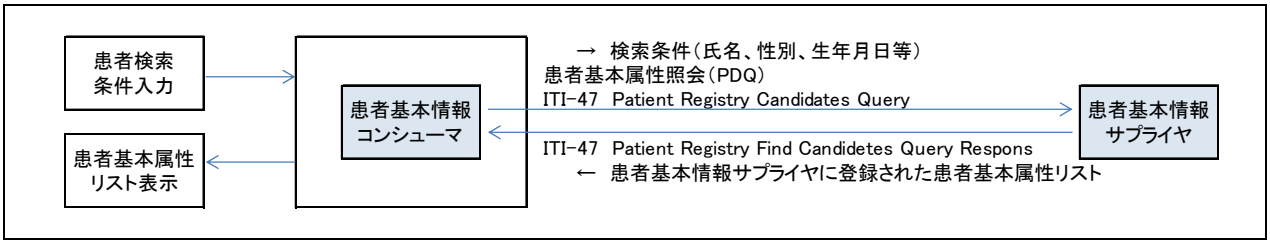
患者が受診している各々の医療機関で付番された患者 ID（ローカル患者 ID）を用いて地域医療連携システムに蓄積された患者属性を参照する場合。



c) 患者メタ情報（MPI）検索による患者属性リスト取得

＜利用シーン＞

患者のカナ氏名、生年月日、性別などを指定して患者属性リストを取得する。患者が地域医療連携システムに参加する際の二重登録のチェックや、救急モードでの利用を想定している。



© JAHIS 2014

※PDQ による患者検索機能を実装する際の留意事項

PDQ を使用して患者基本属性を検索することにより、患者の地域医療連携システムへの参加の有無や、受診している医療機関等の情報を得ることが可能となる。従って不必要な検索を制限するよう、地域毎に検索ポリシを取り決めることが求められる。

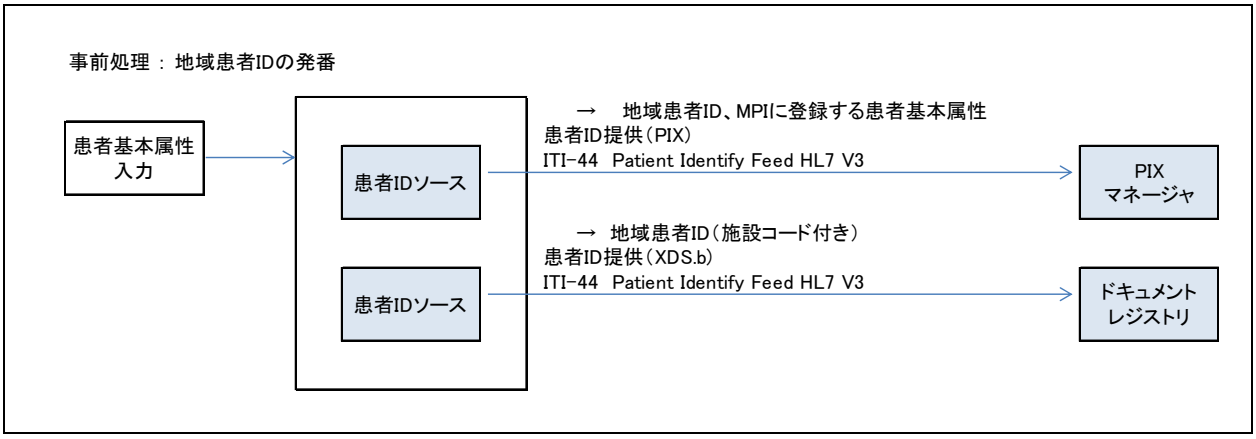
2.4.2. 患者基本属性の登録、更新、削除

MPI に対して、患者基本属性の登録、更新、削除を行うためのシーケンス図を示す。

a) 患者の新規登録

＜利用シーン＞

患者が新規に地域医療連携システムに参加する。地域にユニークな地域患者 ID を発行し、MPI、および《ドキュメントレジストリ》に患者を登録する。

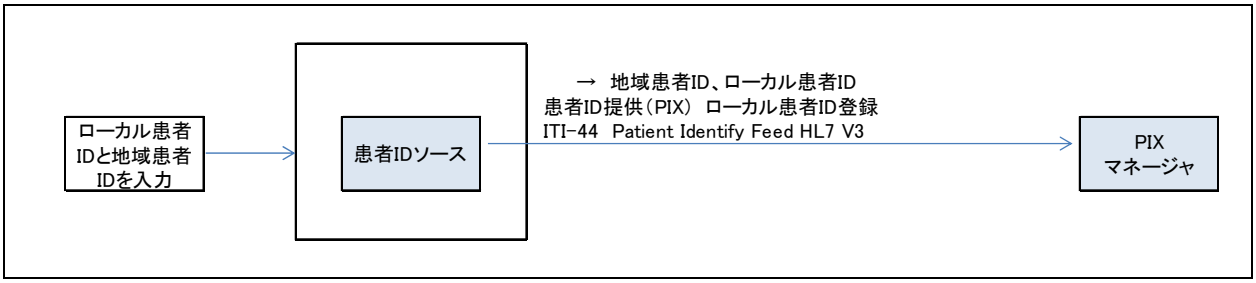


b) ローカル患者 ID の関連づけ

b-1) 地域患者 ID が分かっている患者の関連づけを行うケース

＜利用シーン＞

既に地域医療連携システムに参加しており、地域患者 ID が分かっている患者に対して、各医療機関のローカル患者 ID を関連づけする。

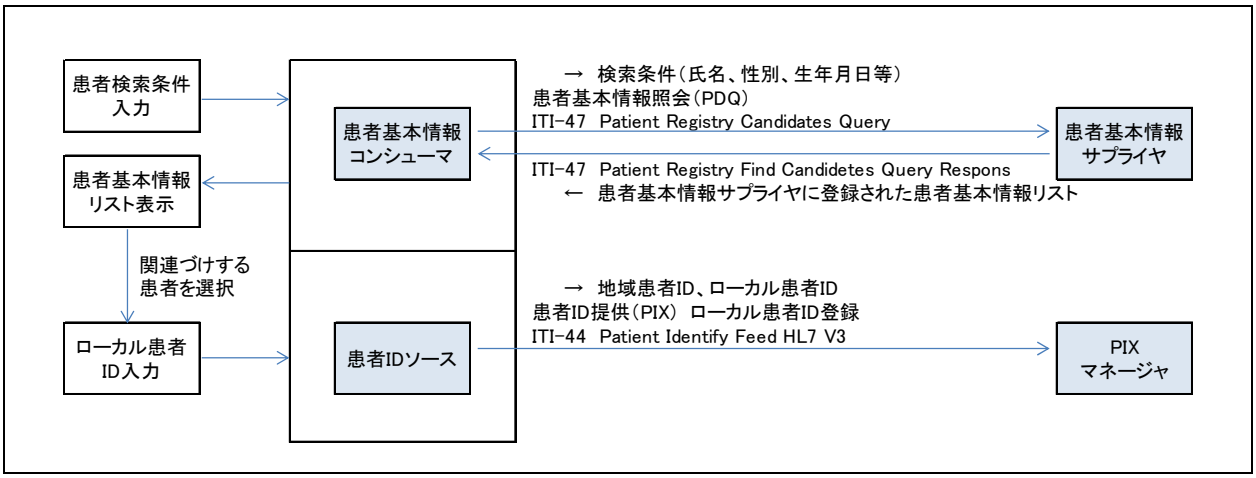


© JAHIS 2014

b-2）地域患者 ID が不明な患者の関連づけのみ行うケース

＜利用シーン＞

既に地域医療連携システムに参加している患者に対して、医療機関のローカル患者 ID で地域患者 ID を検索してから、関連づけする。



c）ローカル患者 ID の関連づけと文書登録を連続して行う場合

＜利用シーン＞

既に地域医療連携システムに参加している患者に対して、医療機関のローカル患者 ID を関連づけし、続けて医療機関に蓄積されているドキュメントを《ドキュメントリポジトリ》と《ドキュメントレジストリ》に登録する。IHE ITI テクニカルフレームワークでは、複数のアクタが一体で実装される場合には、アクタ間のトランザクションの省略を容認している。このため《患者 ID ソース》、《ドキュメントソース》、《ドキュメントリポジトリ》の配置形態の違いにより、複数の実装形態が考えられる。ここでは 4 つのシーケンス図を例示する。

© JAHIS 2014

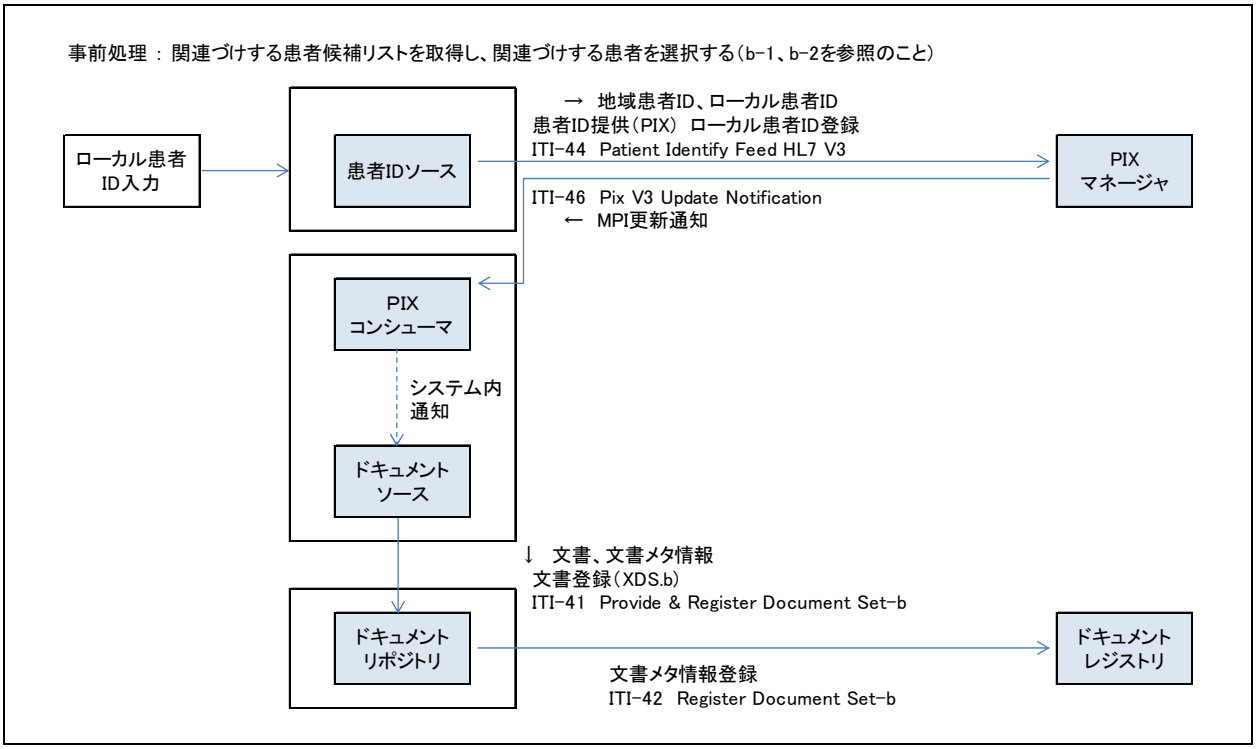
c-1)《患者 ID ソース》と《ドキュメントソース》が異なるサーバ、もしくはアプリケーション上に実装されるケース

本ケースでは《患者 ID ソース》、《ドキュメントソース》と《ドキュメントリポジトリ》が別々のサーバ、もしくはアプリケーションで構成されることを想定しており、《PIX マネージャ》から発行される MPI 更新通知をトリガとして、《ドキュメントソース》が《ドキュメントリポジトリ》へ文書登録を行うケースを対象としている。

【一般的なアクタの配置】

- センター側 《患者 ID ソース》、《PIX マネージャ》、《ドキュメントレジストリ》
- 医療機関 《PIX コンシューマ》、《ドキュメントソース》、《ドキュメントリポジトリ》
  ※小規模医療機関の《ドキュメントリポジトリ》はセンター側に配置する場合もありうる。

なお IHE ITI では《PIX コンシューマ》と《ドキュメントソース》間のトランザクションは規定されていないため、各実装システムにおいて独自に定める必要がある。



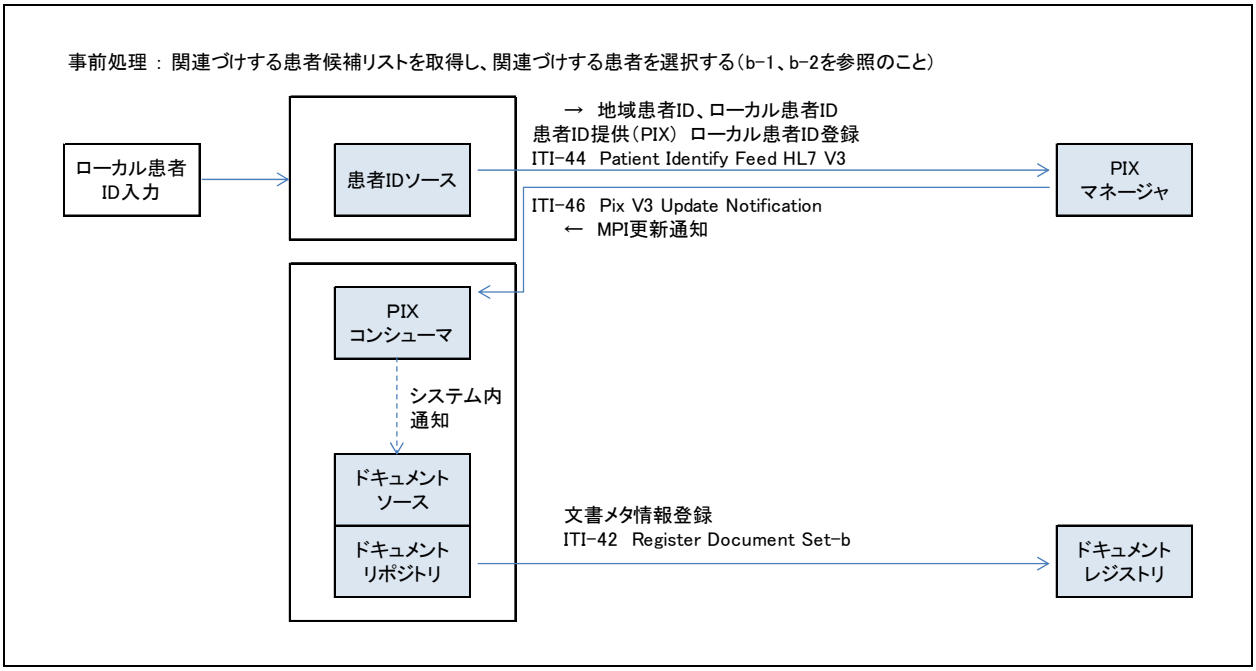
© JAHIS 2014

c-2) 《患者 ID ソース》と《ドキュメントソース》が異なるサーバ上に実装されるが、《ドキュメントソース》と《ドキュメントリポジトリ》が一体実装されるケース

本ケースは《患者 ID ソース》と《ドキュメントソース》が別々のサーバもしくはアプリケーションで構成されるため、《PIX マネージャ》から《PIX コンシューマ》に通知される MPI 更新通知をトリガとして文書関連づけを行うが、《ドキュメントソース》と《ドキュメントレジストリ》が一体で実装されるため文書登録のトランザクション（ITI-41）は発生しない。

【一般的なアクタの配置】

- センター側　《患者 ID ソース》、《PIX マネージャ》、《ドキュメントレジストリ》
- 医療機関　　《PIX コンシューマ》、《ドキュメントソース＋ドキュメントリポジトリ》



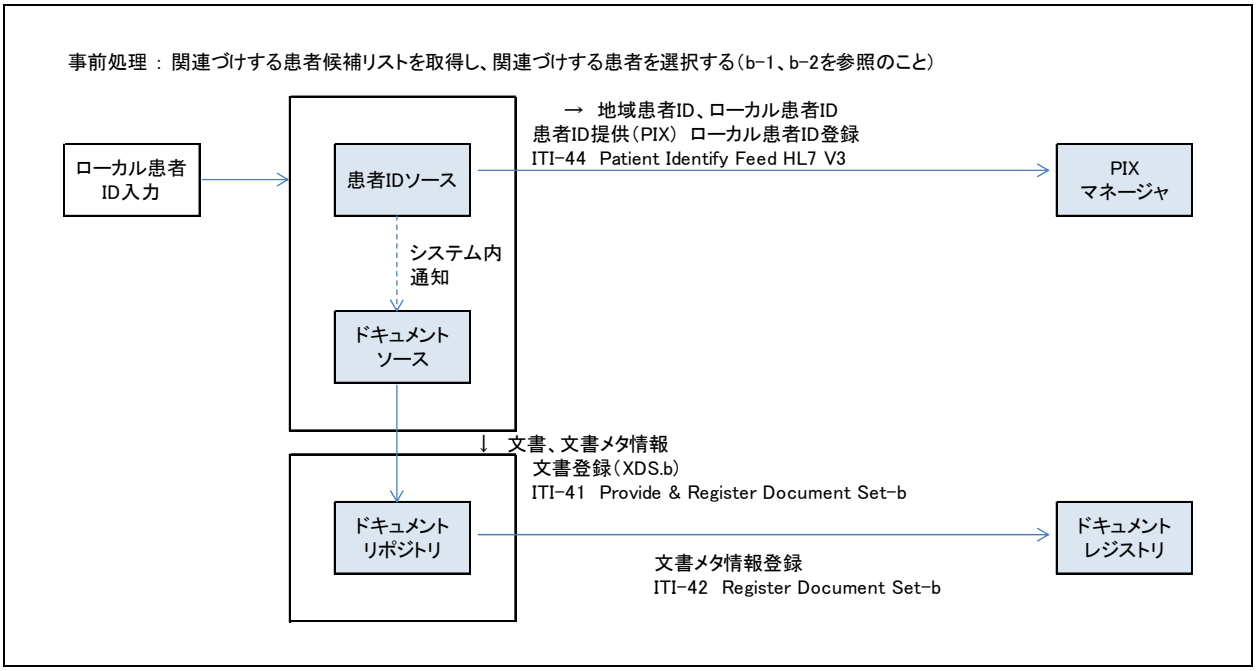
© JAHIS 2014

c-3) 《患者 ID ソース》と《ドキュメントソース》が同一サーバ上で一体実装されるケース

本ケースは《患者 ID ソース》と《ドキュメントソース》が医療機関側に配置され、また《ドキュメントリポジトリ》も医療機関の別サーバに実装されることを想定している。このため MPI 情報更新の通知を PIX マネージャから受け取る必要がない。

【一般的なアクタの配置】

- センター側　《PIX マネージャ》、《ドキュメントレジストリ》
- 医療機関　《患者 ID ソース》、《PIX コンシューマ》、《ドキュメントソース》、《ドキュメントリポジトリ》



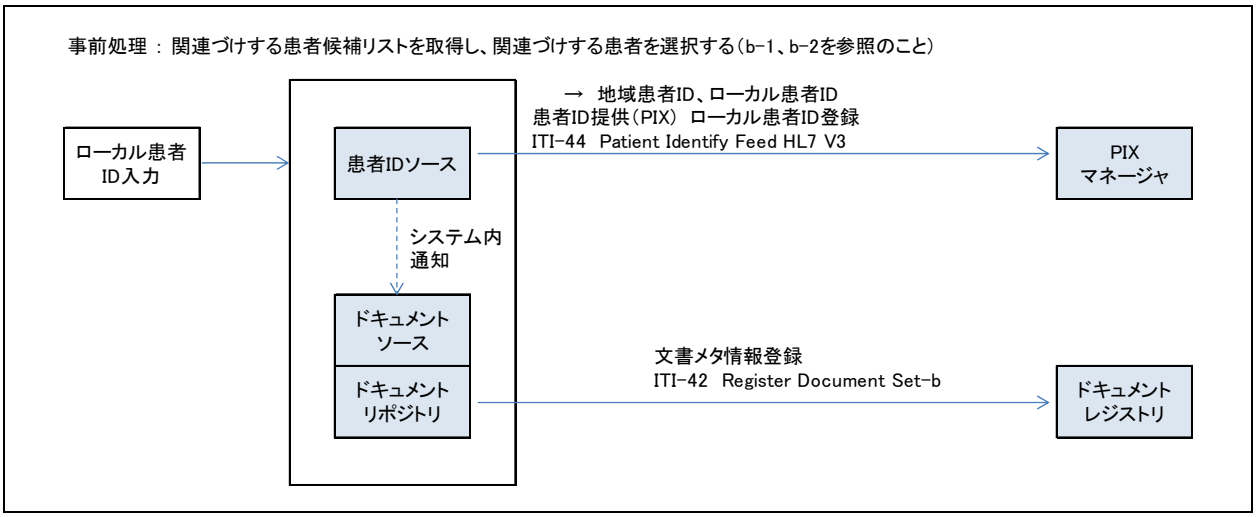
© JAHIS 2014

c-4) 《患者 ID ソース》と《ドキュメントソース》および《ドキュメントリポジトリ》が同一サーバ上で一体実装されるケース

本ケースは《患者 ID ソース》と《ドキュメントソース＋ドキュメントリポジトリ》が医療機関側に配置される場合に適用される。

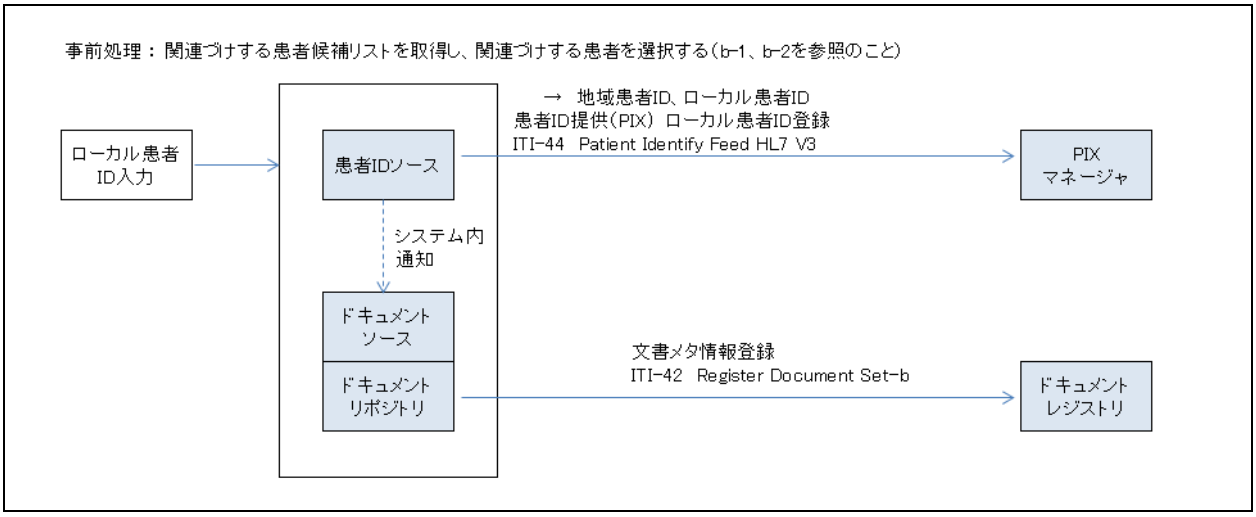
【一般的なアクタの配置】

- センター側 《PIX マネージャ》、《ドキュメントレジストリ》
- 医療機関 《ドキュメントソース＋ドキュメントリポジトリ》



c-4 を用いて 《ドキュメントソース＋ドキュメントレポジトリ》に SS-MIX2 標準化ストレージを採用した場合の事例を以下に示す

※SS-MIX2 標準化ストレージの更新差分をセンター側へ取り込み、《ドキュメントリポジトリ》の文書メタ情報更新機能をセンター側に実装してもよい。

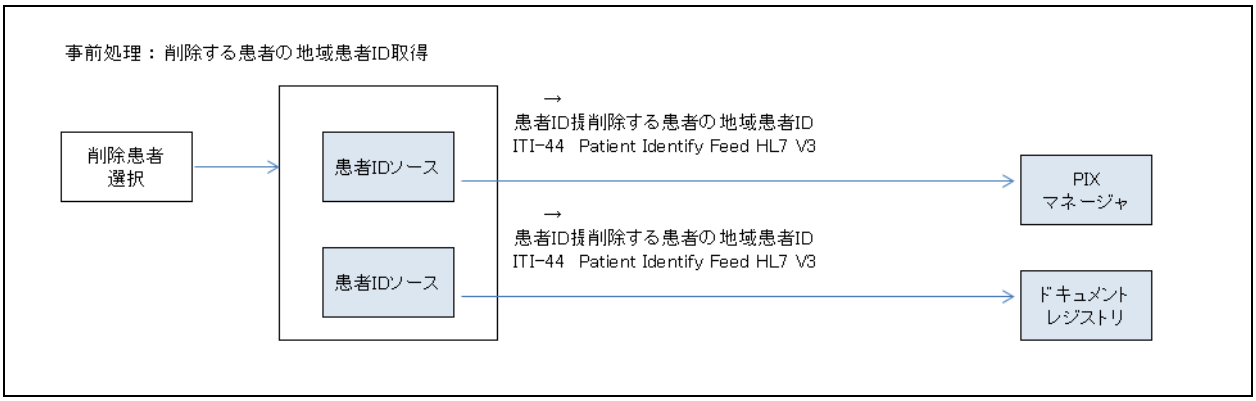


© JAHIS 2014

d) 患者基本情報の削除（地域医療連携システムからの削除）とローカル患者 ID の関連づけ解除

＜利用シーン＞

地域医療連携システムから脱退などの理由により患者を削除する場合や、特定の医療施設の情報提供を行えないようにする場合に使用する。MPI、《ドキュメントレジストリ》の情報のみ削除し、以降の文書参照を行えないようにする。



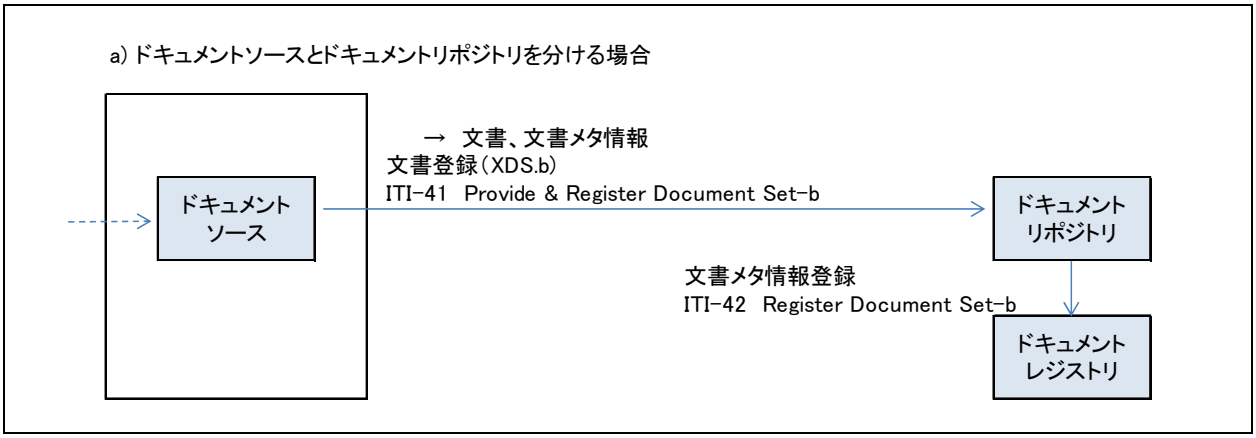
※ドキュメントリポジトリの削除は、2.4.8 「ドキュメントレジストリ・リポジトリの削除」を参照のこと。

2.4.3. ドキュメントリポジトリの登録

＜利用シーン＞

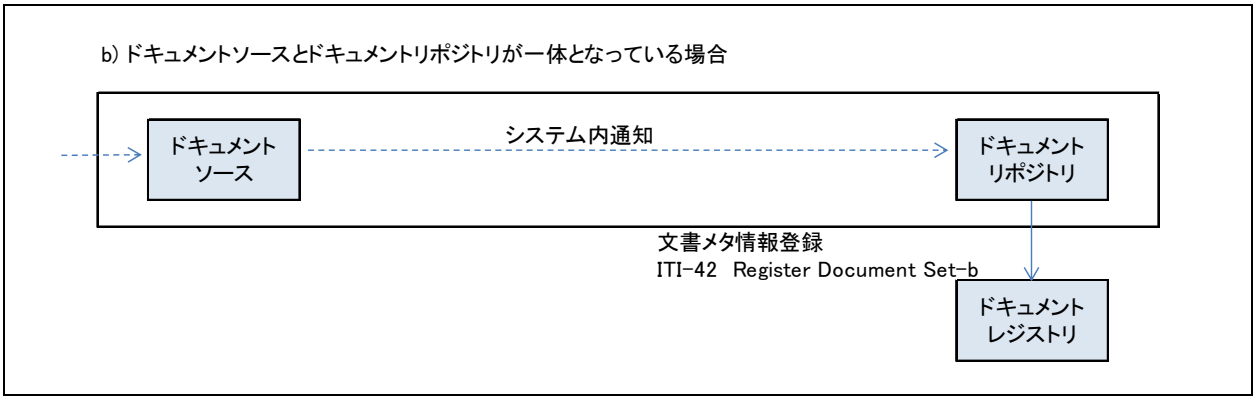
患者登録とは別のタイミングで、ドキュメントの登録のみを行いたい場合。《ドキュメントソース》と《ドキュメントリポジトリ》を一体として実装するか否かによって異なる。

a)《ドキュメントソース》と《ドキュメントリポジトリ》を分ける場合



© JAHIS 2014

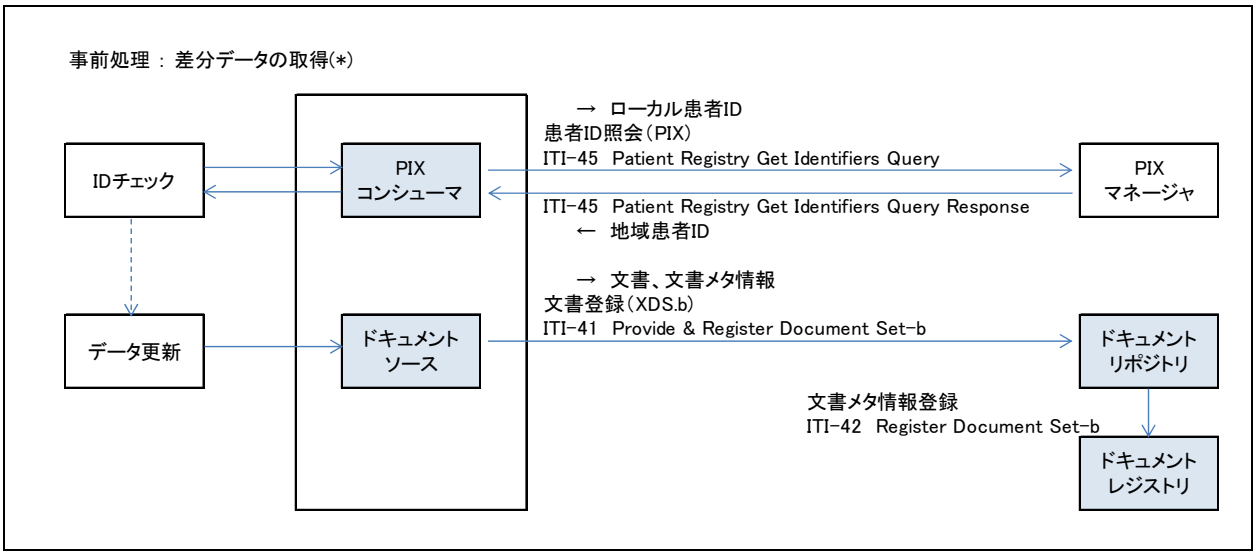
b)《ドキュメントソース》と《ドキュメントリポジトリ》が一体となっている場合



2.4.4. ドキュメントリポジトリの差分更新

＜利用シーン＞

医療機関のローカル患者 ID を関連づけした際などに、医療機関に蓄積されているドキュメントを《ドキュメントレジストリ》と《ドキュメントリポジトリ》へ一括登録する。



《ドキュメントレジストリ》及び《ドキュメントリポジトリ》を最新化するにあたっての差分データ抽出処理は、以下の３パターンが考えられる。実装にあたり、どのパターンを使用するかは限定しないため、各施設、及び、地域ドメインで構築されている SS-MIX2 標準化ストレージの構築状況や構成等を踏まえ、実装すること。ただし、この 3 パターンに限定するものではない。

（1） インデックスデータベース
SS-MIX2 標準化ストレージで追加されたインデックスデータベースを検索する。

（2） 受信メッセージログ（トランザクションストレージ）
受信アプリケーションで SS-MIX2 標準化ストレージを構築した場合、ファイルを更新した際のログ（トランザクションストレージ）をチェックする。

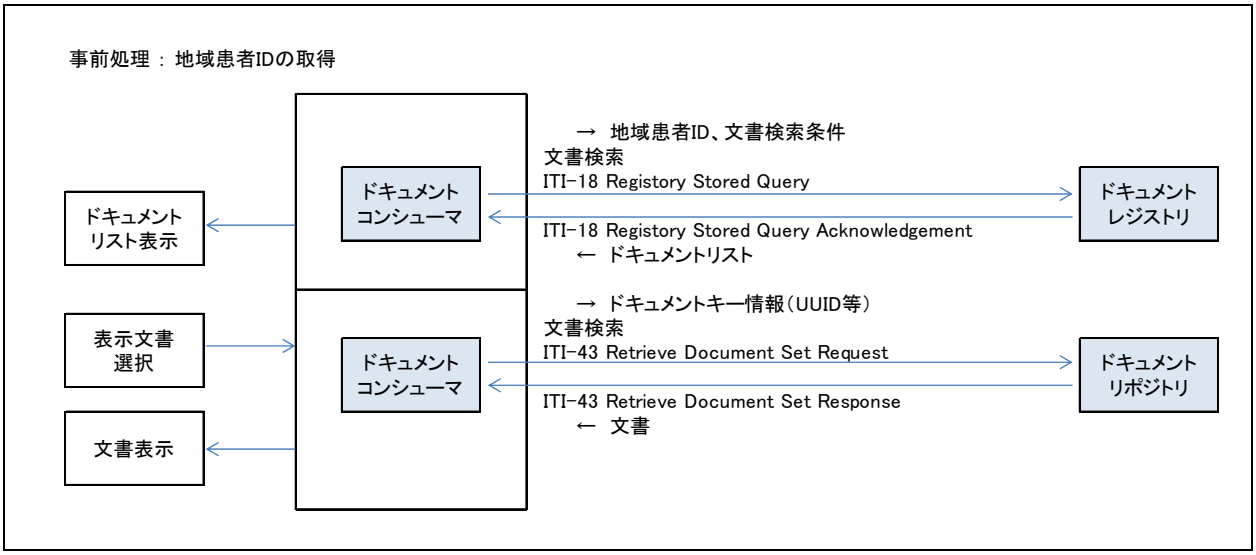
（3） ファイルの更新日時
SS-MIX2 標準化ストレージ内の全ファイルの更新日時をチェックする。

© JAHIS 2014

2.4.5. 文書の検索と表示

＜処理例＞

文書の検索は、いろいろなシーケンスが考えられうるため、処理例として、地域患者 ID を使ってドキュメントリストを取得する例、及び、その中の１つの文書を選択し、選択されたドキュメントの情報を取得するシーケンスを示す。検索に使用する地域患者 ID は､患者から提示を受けるなどして事前に取得済であること。



※患者属性は MPI に格納されるものと、各文書に埋め込まれたものが独立して存在する。実装に当たっては各文書に埋め込まれた患者属性も表示可能とする実装が求められる。

なお各文書に埋め込まれた患者属性を表示する際、文書に埋め込まれた属性情報の一部もしくは全部が欠損しているケースが想定される。その場合は利用者の混乱防止のため属性情報が欠損していることを利用者に明示すること。

※《ドキュメントレジストリ》に格納されるメタデータで使用される時刻は UTC（Coordinated Universal Time：協定世界時）である。このため画面に表示する際は JST（Japan Standard Time：日本標準時）に変換（+9）が必要となる。

2.4.6. 施設登録機能

機能としては必要であるが本書の対象外とする（地域医療連携システム毎に実装を検討すること)。

2.4.7. 利用者登録機能

機能としては必要であるが本書の対象外とする（地域医療連携システム毎に実装を検討すること)。

© JAHIS 2014

2.4.8. ドキュメントレジストリ・リポジトリの削除

IHE ITI TF（Rev 9.0）には、《ドキュメントレジストリ》の削除、及び、《ドキュメントリポジトリ》の削除については規定がない。しかし患者が地域医療連携センターに蓄積されている診療情報(《ドキュメントリポジトリ》）の削除を希望する場合は、削除できる機能を実装すること。

ただし各医療機関に保持された診療情報（《ドキュメントリポジトリ》）の削除は各医療機関の責任において行うものとし、本書の対象外とする。

なお、IHE ITI の将来の版で、《ドキュメントリポジトリ》の削除、及び、《ドキュメントレジストリ》の削除を行うトランザクションが定義される予定である。

© JAHIS 2014

3. セキュリティ要求

本章では、本書におけるセキュリティ要求を記載する。対応する IHE ITI 統合プロファイルは、時刻同期（CT）、及び、監査証跡（ATNA）であり、含まれる IHE トランザクションは、時刻維持[ITI-1]、ノード認証[ITI-19]、監査イベント記録[ITI-20]である。基本的な方針として、IHE ITI で規定された範囲内は、原則として IHE の規定に従い、IHE で規定されていない領域については、我が国の保健医療分野における安全管理のための規約となる、３省ガイドライン（「医療情報の安全管理に関するガイドライン（厚生労働省）」、「医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン（経済産業省）」、「ASP・SaaS 事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理ガイドライン（総務省）」）を遵守するものとする。

3.1. 監査証跡

監査の目的は、基準と行動の乖離を見つけることである。ここでいう基準とは医療情報の安全管理に関する３省ガイドラインである。本書に基づき構築されるシステムが、３省ガイドラインを遵守していることを説明可能にするためには、いつ誰が何の情報を参照したかについて証跡をログとして取得することが必要である。

監査証跡（ログ）は、ATNA 統合プロファイルに従い実装する。ATNA 統合プロファイルでは、同一のセキュリティポリシにより管理されるドメインをセキュアドメイン、セキュアドメインを構成するアクタを《セキュアノード》と定義し、《セキュアノード》と《監査記録リポジトリ》との間で監査証跡（ログ）を記録するための監査イベント記録トランザクション[ITI-20]が定義されている。ただし、IHE ではセキュアドメインがセキュアであるかどうかについては言及されていないため用語の使い方には注意が必要である。現実的には、３省ガイドラインを遵守していることがセキュアドメインであることの前提条件である。

IHE ITI Rev 9.0 の監査証跡（ログ）の定義では、IHE が参照標準としている DICOM (Part15,16)の監査証跡（ログ）のメッセージ定義と同一のイベントコードを使用しているにも関わらず、両者で矛盾する定義がなされている箇所が存在する。本書では、「技術仕様」において我が国の National Extension として定義された監査証跡（ログ）の仕様に基づいた実装を採用し、DICOM(Part15,16)では規定していない新たなイベントコードを使用した。

個々の IHE トランザクションの送受信において、送信アクタ、及び、受信アクタに要求される監査証跡（ログ）の定義は、4 章と 5 章の各トランザクション定義の中の、セキュリティ要求の項に含めた。監査証跡（ログ）の定義表の記載項目の説明を、表 3-1 に示す。

表 3-1 監査証跡（ログ）定義表の記載項目

No	項目	説明
1	分類	監査証跡（ログ）メッセージの項目の分類を示す。数字は分類の存在数を示す。 (1)：1 個のみ存在する。 (0..1)：0 個または 1 個存在する。 (0..n)：0 個から N 個存在する。
2	フィールド名	監査証跡（ログ）メッセージの項目名称。
3	オプション	必須／任意といった項目の設定条件を示す。 M：必須（Mandatory） C：条件付き必須（Conditional Mandatory） U：オプション（User Option） NA：利用不可（Not Applicable）
4	値の制限	フィールドに対する設定値の説明や制限を示す。

© JAHIS 2014

3.1.1. 監査イベント記録 [ITI-20]

監査イベント記録トランザクション[ITI-20]は、監査証跡（ログ）を記録するために使用するトランザクションである。《セキュアノード》は、IHE トランザクションに関連するイベントが発生したときに、監査証跡ログを生成しなければならない。また、《監査記録リポジトリ》は、監査イベント記録メッセージを受付けられなければならない。本書で対象とするIHEトランザクションに関連するトリガイベントを表 3-2に示す。なお、イベント関連情報のEventIDに記録するイベントコードは、地域ドメインで協議の上、定義しても構わない。本書でも参考として使用可能なコード表を表 3-3 に提示する。表 3-2 のイベントコードはコード表 3-3 のコードを例示したものである。

表 3-2 監査証跡ログの記録対象となるトリガイベント

トリガイベント	説明	イベントコード
Patient Record	個人情報へのアクセスイベント。	EV(110110, IHEJ, “Patient Record”)
IHE-import	システム間通信による個人情報の入力イベント。	EV(110115, IHEJ, “IHE Import”)
IHE-export	システム間通信による個人情報の出力イベント。	EV(110116, IHEJ, “IHE Export”)
PIX-query	PIXクエリによる検索行為を表すイベント。	EV(110117, IHEJ, “PIX Query”)
PDQ-query	PDQクエリによる検索行為を表すイベント。	EV(110118, IHEJ, “PDQ Query”)
XDS-query	XDS（ストアド）クエリによる検索行為を表すイベント。	EV(110119, IHEJ, “XDS Query”)

コンテキストID（400_IHEJ）
監査イベントID
タイプ：拡張可能　バージョン：20131025

表 3-3 監査イベントID

符号化体系指定子	コード値	コード意味	備考
IHEJ	110110	Patient Record	
IHEJ	110115	IHE-Import	
IHEJ	110116	IHE-Export	
IHEJ	110117	PIX-Query	
IHEJ	110118	PDQ-Query	
IHEJ	110119	XDS-Query	

コンテキストID（401_IHEJ）
監査イベントタイプコード
タイプ：拡張可能　バージョン：20131025

表 3-4 監査イベントタイプコード

符号化体系指定子	コード値	コード意味	備考
IHE Transactions	ITI-18	Registry Stored Query	

© JAHIS 2014

IHE Transactions	ITI-41	Provide and Register Document Set-b	
IHE Transactions	ITI-42	Register Document Set-b	
IHE Transactions	ITI-43	Retrive Document Set	
IHE Transactions	ITI-44	Patient Identity Feed HL7 V3	
IHE Transactions	ITI-45	PIXV3 Query	
IHE Transactions	ITI-46	PIXV3 Update Notification	
IHE Transactions	ITI-47	Patient Demographics Query HL7 V3	

3.1.2. 監査イベント記録の伝送

IHE ITI では、2 つの伝送方式を規定している。《監査イベントリポジトリ》は、両方の伝送方式をサポートすること。IHE アクタは、いずれかの伝送方式をサポートすること。

a) Syslog Messages over TLS (RFC5425)
Syslog プロトコル (RFC5424) を Syslog Messages over TLS (RFC5425) で使用する。TLS のバージョンは 1.2 を推奨する。

b) Syslog Messages over UDP (RFC5426)
Syslog プロトコル (RFC5224) を Syslog Messages over UDP (RFC5426) で使用する。

3.1.3. 監査イベント記録のメッセージフォーマット

RFC-3881 に準拠した XML 形式で出力する。XML 形式の詳細は、RFC-3881、及び、「JAHIS 標準　ヘルスケア分野における監査証跡のメッセージ標準規約」を参照のこと。

3.2. 時刻同期

IHE ITI の時刻同期 (CT) プロファイルは、複数のアクタやコンピュータ間での時刻同期の方式を定義している。CT では、タイムクライアントとタイムサーバの 2 つのアクタが定義されており、時刻維持[ITI-1]トランザクションにより、ネットワークタイムプロトコル (NTP) を利用して時刻同期を行う。また、その精度は、1 秒以内と定められている。

一方で、我が国では、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」において、時刻同期については、「*アクセスの記録に用いる時刻情報は信頼できるものであること。医療機関等の内部で利用する時刻情報は同期している必要があり、また標準時刻と定期的に一致させる等の手段で標準時と診療事実の記録として問題のない範囲の精度を保つ必要がある。*」とされており、実現手段として NTP であることを必須要件とはしていない。特に、院内システムは、外部とのネットワーク接続ができないといった理由から、実状として、NTP 以外の手段を使用した時刻同期が行われていることが多い。また、地域医療連携における文書共有においては、1 秒の不整合が問題となるユースケースも見当たらない。

我が国のこのような状況を鑑みると、本書におけるシステム間での時刻同期は、医療情報システムの安全管理に関するガイドラインで規定された内容を遵守していれば、必ずしも NTP による実現を必須としないも

© JAHIS 2014

のとし、タイムサーバアクタ、及び、タイムクライアントアクタの実装は、本書の対象外とする。また、時刻同期における精度についても、標準時と診療事実の記録として問題のない範囲の精度を保つものとし、1秒以内であることを要求しない。

3.3. ノード認証

IHE ITI では、ATNA 統合プロファイルの中で、同一のセキュリティポリシにより管理されるドメインをセキュアドメイン、セキュアドメインを構成するアクタを《セキュアノード》アクタと定義し、《セキュアノード》間のトランザクションを定義している。そこでは、セキュアノード間の認証は、X.509 公開鍵証明書に基づく双方向のノード認証が要求される。一方、我が国では、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」において、ネットワークを利用して医療情報を施設外部と交換する場合に遵守すべき最低限のガイドラインとして「*データ送信元と送信先での、拠点の出入り口・使用機器・使用機器上の機能単位・利用者等の必要な単位で、相手の確認を行う必要がある。採用する通信方式や運用管理規程により、採用する認証手段を決めること。認証手段としては PKI による認証、Kerberos のような鍵配布、事前配布された共通鍵の利用、ワンタイムパスワード等の容易に解読されない方法を用いるのが望ましい。*」とされており、相手先の識別と認証を実現することは要求されるがその手段は明記されていない。本書においても、ノード認証が実現できており、我が国の３省ガイドラインの規約に遵守できていることが担保できていれば、必ずしも公開鍵証明書ベースである必要はないものとする。なお、IHE で使用する「セキュアドメイン」は、そこで使用されるセキュリティポリシの安全度については言及していないことに留意する。

3.4. アクセス制御

IHE ITI は、その性質上、関連する複数の統合プロファイルを組み合わせて要求を実現するフレームワークである。そのため、PIX や PDQ、XDS といった各プロファイル単独の実装だけでは、必ずしも要求されたことを実現できるわけではない。アクセス制御に関しても同様であり、BPPC や XUA など他のプロファイルと組み合わせて実装することで実現できるものであり、XDS そのものに特定の方式によるアクセス制御の仕組みが含まれているわけではない。また、ITI のフレームワーク以外の方式により実現することも可能である。これらは、各地域ドメインのセキュリティポリシやプライバシーポリシに依存し方式を定め実現されるべきであり、本書で方式を規定したり、例示をしたりすることは適切ではないと判断した。したがって、アクセス制御方式については、３省ガイドラインの規定に従い、各地域ドメインでポリシを定め、適切に運用頂くものとし、具体的な方式の言及は、本書の対象外とする。

© JAHIS 2014

4. PIX／PDQ

本章では、本書で使用する PIXV3 統合プロファイル、及び、PDQV3 統合プロファイルについて、IHE ITI トランザクションの詳細を説明する。本書全体のスコープの中での本章の記述範囲を図 4-1 に示す。本章の構成は、図 4-2 に示す通り、PIX と PDQ のそれぞれについて、統合プロファイルの概要とトランザクション定義の節から構成される。トランザクション定義は、トランザクション毎の項があり、1 つの項は、インターフェース定義、メッセージ定義、セキュリティ要求、その他の注意事項から構成される。

インターフェース定義は、アクタ間でやり取りされる SOAP メッセージのインターフェース仕様を定義する WSDL の仕様を示す。メッセージ定義は、SOAP メッセージのペイロードを記述する XML 仕様を定義する。セキュリティ要求は、対応するトランザクションの送信と受信に関連する監査証跡ログメッセージの仕様を示す。

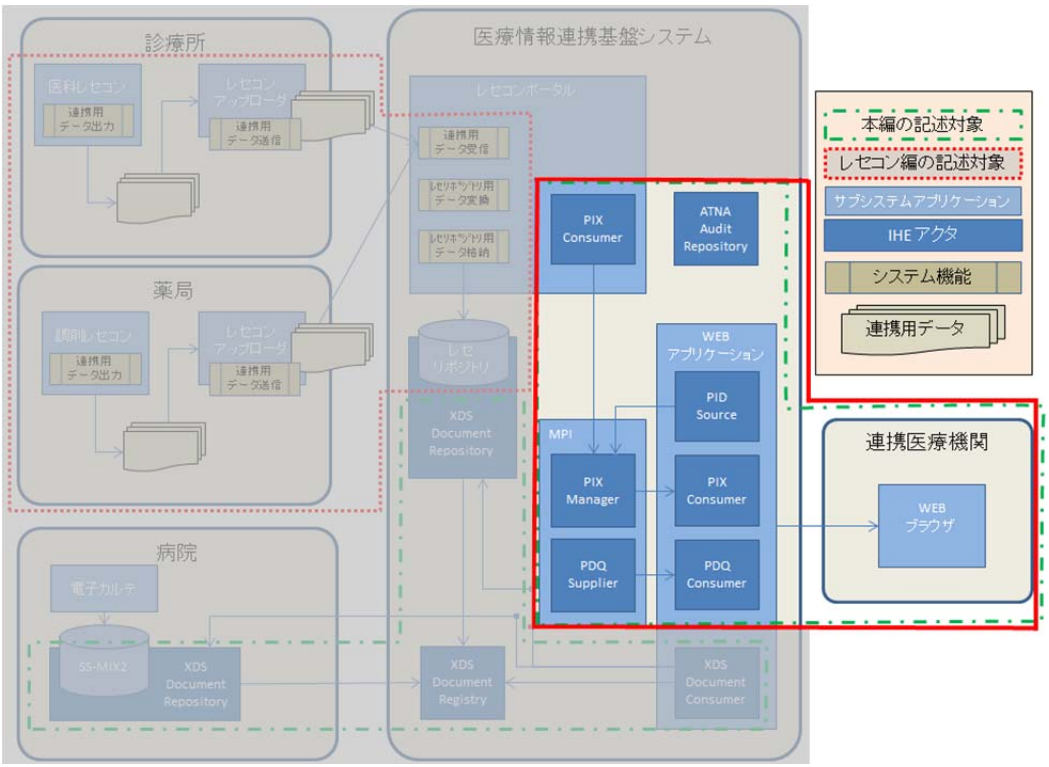


図 4-1 本章の記述範囲

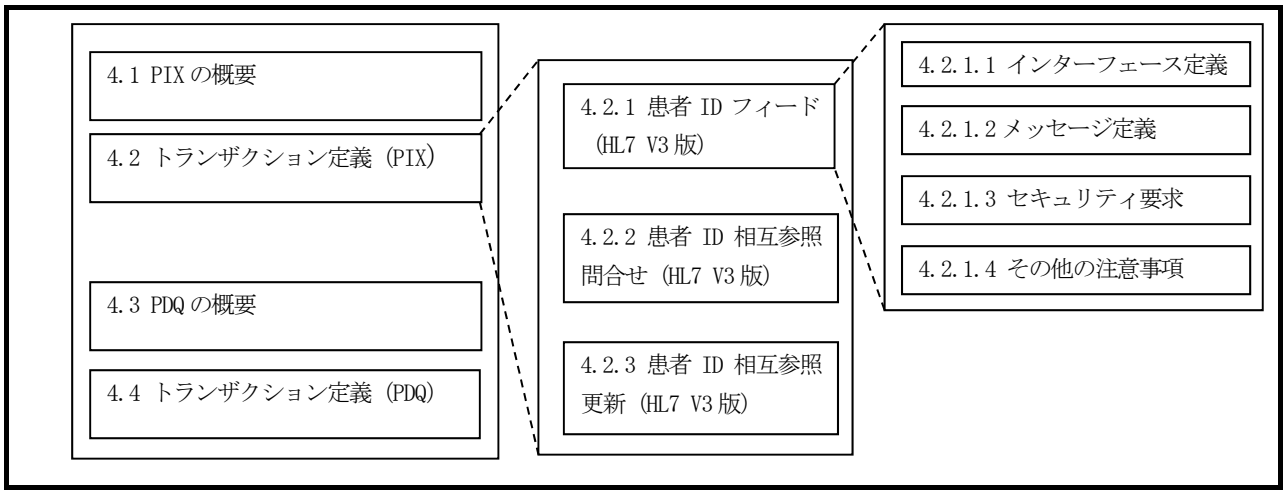


図 4-2　4 章「PIX/PDQ」の章構成

© JAHIS 2014

4.1. PIX の概要

PIX 統合プロファイルは、患者 ID の提供、及び、患者 ID の問合せ／更新通知を実現するための統合プロファイルである。メッセージフォーマットとしてHL7 V2 形式メッセージを使用するPIX 統合プロファイルと、HL7 V3 形式、及び、SOAP ベースのWeb サービスを使用するPIXV3 統合プロファイルの 2 種類の統合プロファイルが存在する。本書では、地域医療連携における施設間通信に用いることから、Web サービスとの親和性を考慮し、PIXV3 統合プロファイルを採用するものとする。図 4-3 と表 4-1 に、PIXV3 統合プロファイルで定義される IHE アクタを示す。

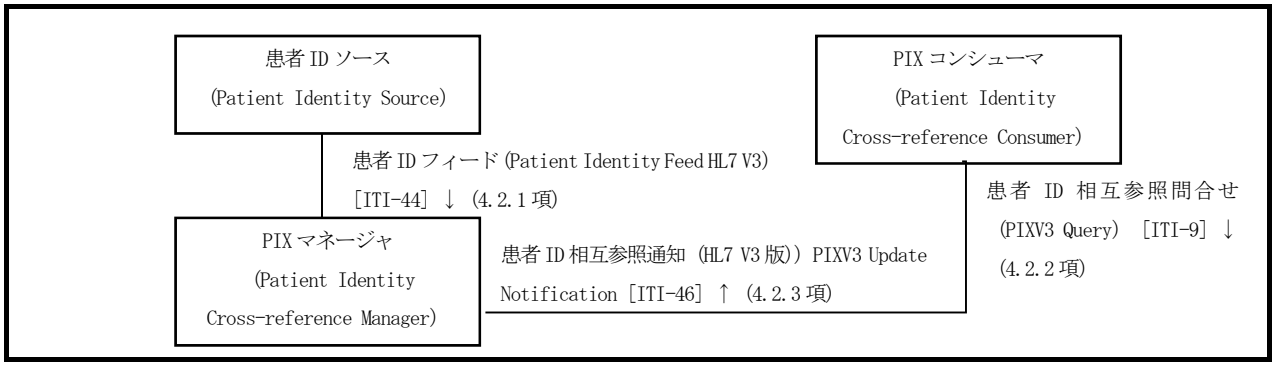


図 4-3 PIXV3 統合プロファイルのアクタ図

表 4-1 PIXV3 の IHE アクター一覧

No	IHE アクタ	説明
1	患者 ID ソース (Patient Identity Source)	PIX マネージャに、患者 ID の生成、更新、マージ等、患者 ID に関するイベントを通知する。
2	PIX マネージャ (Patient Identity Cross-reference Manager)	複数の患者 ID ドメインに対して、各患者 ID ドメインの患者 ID ソースから提供される患者 ID の相互参照を管理する。
3	PIX コンシューマ (Patient Identity Cross-reference Consumer)	PIX マネージャに対して、患者 ID リストに関する問合せを行う。

© JAHIS 2014

4.2. トランザクション定義（PIXV3）

PIXV3 統合プロファイルで定義されるトランザクションを表 4-2 に示す。患者 ID フィード（HL7 V3 版）[ITI-44]、患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）[ITI-45]、患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）[ITI-46]の 3 つのトランザクションが定義されている。あるアクタとトランザクションに対してオプショナリティ列が「R」である場合、当該アクタを実装する際には、そのトランザクションを必ず実装しなければならないことを意味する。

表 4-2　PIXV3 のトランザクション一覧

IHE アクタ	トランザクション	説明	オプショナリティ	掲載項
患者 ID ソース	患者 ID フィード(HL7 V3 版)（Patient Identity Feed HL7 V3[ITI-44]）	患者 ID の提供を行う。	R	4.2.1
PIX コンシューマ	患者 ID 相互参照問合せ(HL7 V3 版)(PIXV3 Query [ITI-45])	患者 ID の問合せを行う。	R	4.2.2
	患者 ID 相互参照更新通知(HL7 V3 版)（PIXV3 Update Notification [ITI-46]）	患者 ID の更新通知を受ける。	O	4.2.3
PIX マネージャ	患者 ID フィード(HL7 V3 版)（Patient Identity Feed HL7 V3 [ITI-44]）	患者 ID の提供を受ける。	R	4.2.1
	患者 ID 相互参照問合せ(HL7 V3 版)(PIXV3 Query [ITI-45])	患者 ID の問合わせを受け応答を返す。	R	4.2.2
	患者 ID 相互参照更新通知(HL7 V3 版)（PIXV3 Update Notification [ITI-46]）	患者 ID の更新通知を行う。	R	4.2.3

4.2.1. 患者 ID フィード（HL7 V3 版）（Patient Identity Feed）[ITI-44]

患者 ID フィード（HL7 V3 版）トランザクション[ITI-44]を実装するための参照規格は、HL7 V3 2008 年 Normative Edition の Patient Administration DSTU, Patient Topic である。

図 4-4 に、本メッセージを実現する HL7 V3 メッセージインタラクションを示す。本トランザクションには、患者レジストリレコード追加、患者レジストリレコード修正、患者レジストリレコード重複解決の 3 種類のメッセージインタラクションが含まれる。１つのメッセージインタラクションには、《患者 ID ソース》からの送信メッセージと、《PIX マネージャ》からの応答メッセージが定義される。3 種類のメッセージインタラクションのうち、応答メッセージは全てにおいて共通のメッセージが使用されるため、本項には「4.2.1.2.1 患者レジストリレコード追加メッセージ（Patient Registry Record Added)」、「4.2.1.2.2　患者レジストリレコード修正メッセージ（Patient Registry Record Revised)」、「4.2.1.2.3　患者レジストリ重複解消メッセージ（Patient Registry Duplicate Resolved)」、「4.2.1.2.4 受諾応答メッセージ（Accept Acknowledgement)」の 4 種類のメッセージ定義が含まれる。図 4-4 において、メッセージ名の後の括弧内の番号は、本書の掲載項番号を示す。また、メッセージ名の下の記号は、対応する HL7 V3 メッセージインタラクションの成果物識別子を示す。

© JAHIS 2014

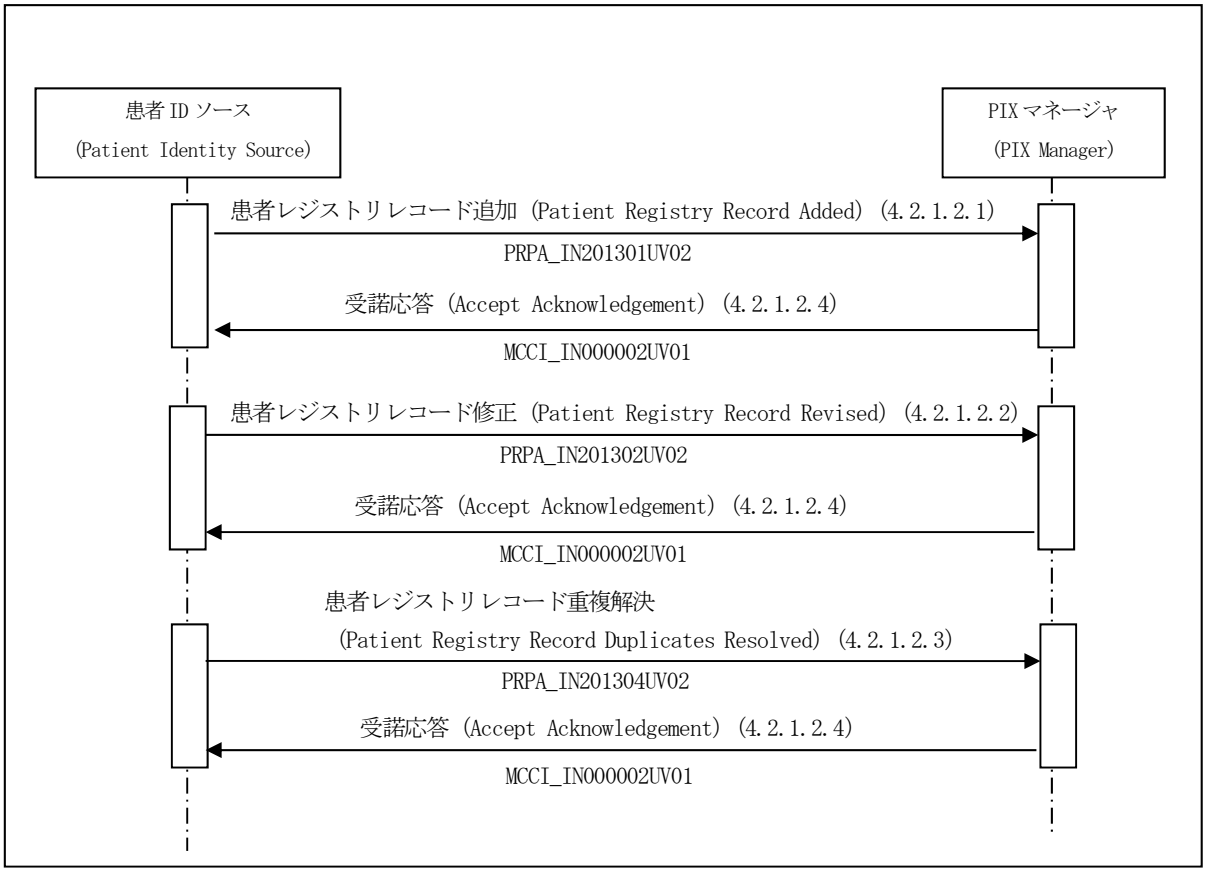


図 4-4 患者 ID フィード（HL7 V3 版）のインタラクション

「4.2.1.2 メッセージ定義」では、各メッセージインタラクションで使用される XML メッセージの定義を「1.4 本書の読み方」に示した記法で説明する。読みやすさの観点から、1 つの XML メッセージの仕様を、複数の定義表に分割して説明する。これらの XML 定義表の関係を、図 4-5 から図 4-7 に示す。また、各メッセージインタラクションの定義（構成要素）を表 4-3 から表 4-6 に示す。

1）患者レジストリレコード追加インタラクション

MPI に新しい患者を登録する際に使用するメッセージインタラクション。XML 定義表の関係を図 4-5 に示し、メッセージインタラクションの構成要素を表 4-3 に示す。患者基本属性情報の表現に関する XML 定義は、患者レジストリレコード追加インタラクションと、患者レジストリレコード修正インタラクションで、共通の XML 定義（表 4-13）を使用する。また、メッセージの作成者、及び、管理責任者を表現するために、担当者・組織情報に関する XML 定義（表 4-12）を共通で使用する。

© JAHIS 2014

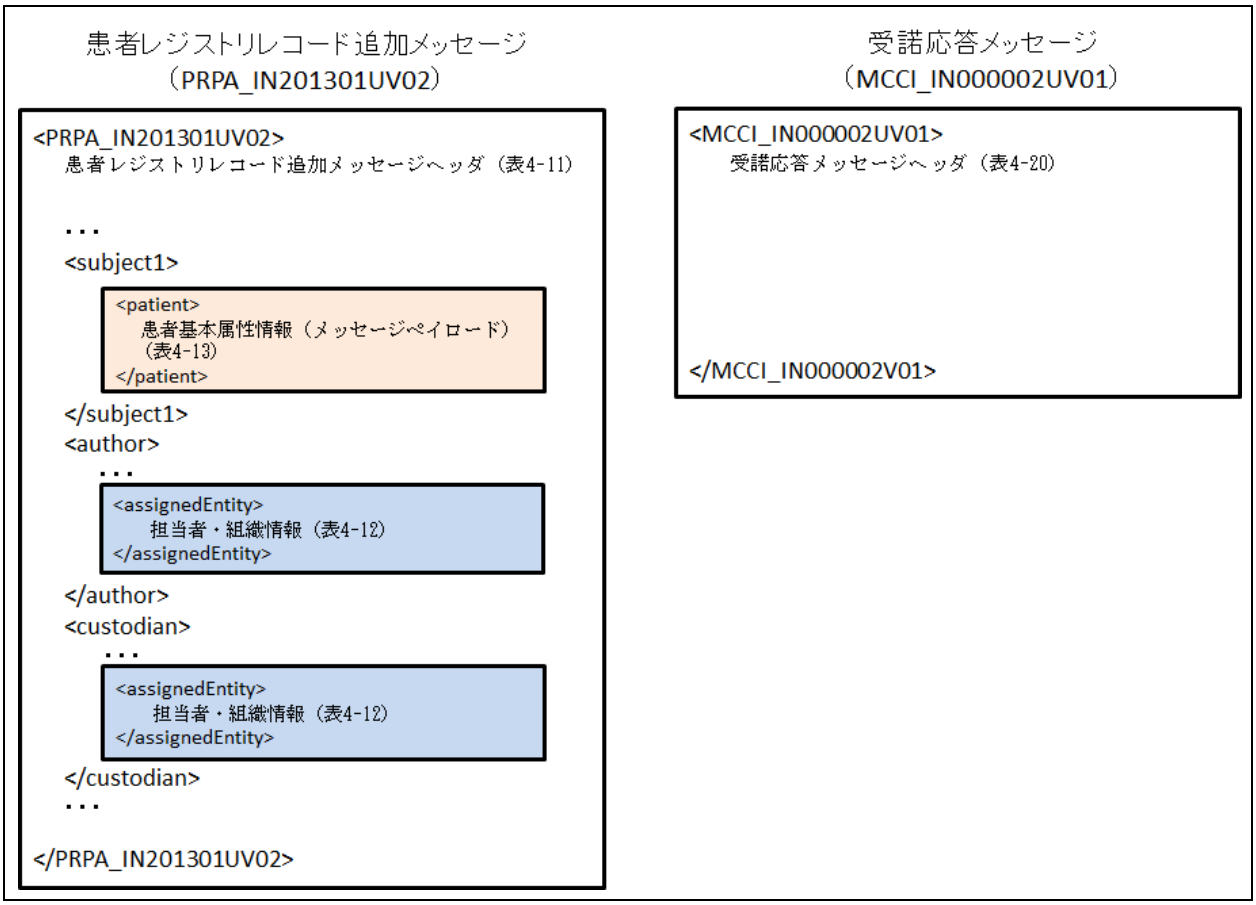


図 4-5 患者レジストリレコード追加メッセージの XML 定義表の関係

表 4-3 患者レジストリレコード追加メッセージインタラクション

種別	名前	成果物識別子	備考
メッセージインタラクション	Patient Registry Record Added	PRPA_IN201301UV02	成果物識別子は、患者レジストリレコード追加メッセージのルート要素名となる。また、その成果物識別子を表 4-11 の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Informer	PRPA_AR201301UV02	《患者 ID ソース》に対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Tracker	PRPA_AR201302UV02	《PIX マネージャ》に対応する。
トリガイベント	Patient Registry Record Added	PRPA_TE201301UV02	成果物識別子を表 4-11 の XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Send Message Payload	MCCI_MT000100UV01	対応する XML 定義は、表 4-11 に含まれる。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	Master File / Registry Notification Control Act, Role Subject	MFMI_MT700701UV01	対応する XML 定義は、表 4-11 に含まれる。
メッセージ型(ペイロード)	Patient Activate	PRPA_MT201301IHE	対応する XML 定義は、表 4-13 に含まれる。

© JAHIS 2014

2）患者レジストリレコード修正インタラクション

MPI に登録された患者の患者基本属性を修正する際に使用するメッセージインタラクション。XML 定義表の関係を図 4-6 に示し、メッセージインタラクションの構成要素を表 4-4 に示す。患者基本属性情報の表現に関する XML 定義は、患者レジストリレコード追加インタラクションと、患者レジストリレコード修正インタラクションで、共通の XML 定義（表 4-13）を使用する。また、メッセージの作成者、及び、管理責任者を表現するために、担当者・組織情報に関する XML 定義（表 4-12）を共通で使用する。

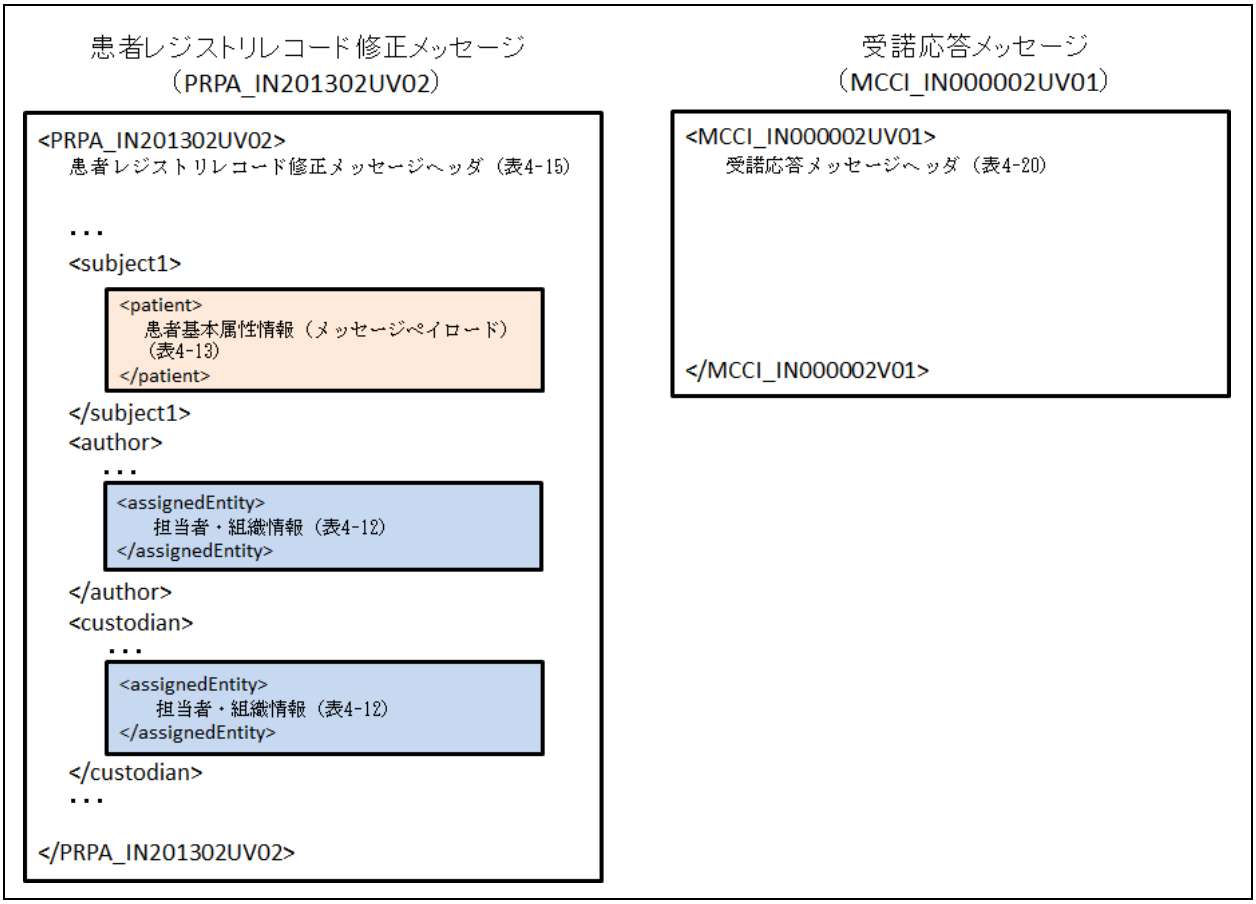


図 4-6 患者レジストリレコード修正メッセージの XML 定義表の関係

表 4-4 患者レジストリレコード修正メッセージインタラクション

種別	名前	成果物識別子	備考
メッセージインタラクション	Patient Registry Record Revised	PRPA_IN201302UV02	成果物識別子は患者レジストリレコード修正メッセージのルート要素名となる。 また、その成果物識別子を表 4-15 の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Informer	PRPA_AR201301UV02	《患者 ID ソース》に対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Tracker	PRPA_AR201302UV02	《PIX マネージャ》に対応する。

© JAHIS 2014

トリガイベント	Patient Registry Record Added	PRPA_TE201302UV02	成果物識別子を表 4-15 の XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Send Message Payload	MCCI_MT000100UV01	対応する XML 定義は、表 4-15 に含まれる。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	Master File / Registry Notification Control Act, Role Subject	MFMI_MT700701UV01	対応する XML 定義は、表 4-15 に含まれる。
メッセージ型（ペイロード）	Patient Activate	PRPA_MT201301IHE	対応する XML 定義は表 4-13 に含まれる。

3）患者レジストリレコード重複修正インタラクション

MPI に同一患者の異なるレコードが存在した際に、両レコードをマージして１つの患者基本属性レコードとするための重複修正のメッセージインタラクション。XML 定義表の関係を図 4-7 に示し、メッセージインタラクションの構成要素を表 4-5 に示す。患者基本属性情報の表現に関する XML 定義は表 4-18 を使用する。また、メッセージの作成者、及び、管理責任者を表現するために、担当者・組織情報に関する XML 定義（表 4-12）を共通で使用する。

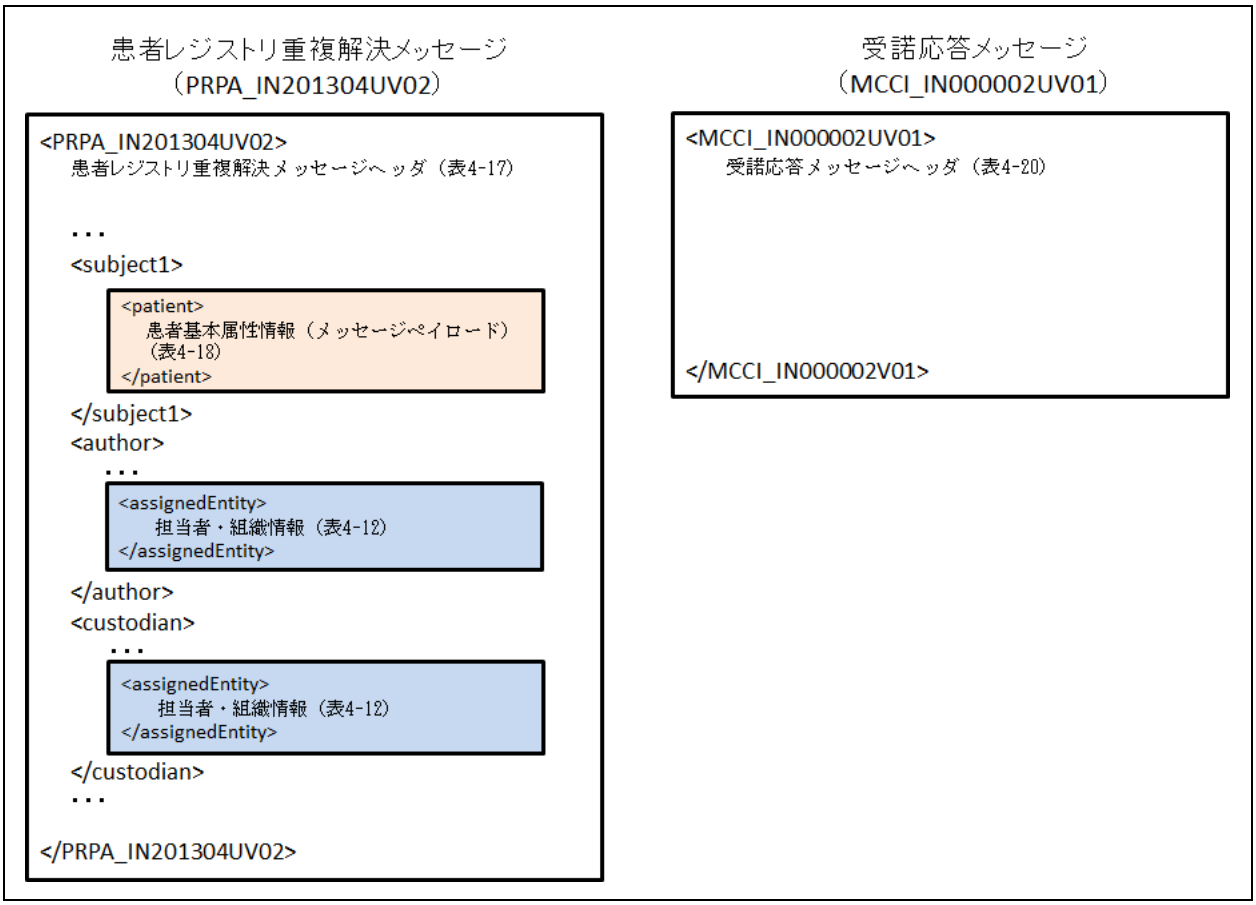


図 4-7 患者レジストリ重複解決メッセージの XML 定義表の関係

© JAHIS 2014

表 4-5 患者レジストリレコード重複解決メッセージインタラクション

種別	名前	成果物識別子	備考
メッセージインタラクション	Patient Registry Duplicates Resolved	PRPA_IN201304UV02	成果物識別子は、患者レジストリ重複解決メッセージのルート要素名となる。 また、その成果物識別子を表 4-17 の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Informer	PRPA_AR201301UV02	《患者 ID ソース》に対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Tracker	PRPA_AR201302UV02	《PIX マネージャ》に対応する。
トリガイベント	Patient Registry Record Added	PRPA_TE201302UV02	成果物識別子を表 4-17 の XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Send Message Payload	MCCI_MT000100UV01	対応する XML 定義は、表 4-17 に含まれる。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	Master File / Registry Notification Control Act, Role Subject	MFMI_MT700701UV01	対応する XML 定義は、表 4-17 に含まれる。
メッセージ型（ペイロード)	Patient Activate	PRPA_MT201303IHE	対応する XML 定義は表 4-18 に含まれる。

4）受諾応答

1）から3）のメッセージに対する、応答メッセージインタラクション。表 4-6 にメッセージインタラクションを示す。受諾応答メッセージは、メッセージヘッダのみから構成されペイロードを含まない。

表 4-6 受諾応答メッセージインタラクション

種別	名前	識別子	備考
メッセージインタラクション	Accept Ack	MCCI_IN000002UV01	成果物識別子は応答メッセージのルート要素名となる。 また、その成果物識別子を表 4-20 の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Notification Message Sender	MCCI_AR900001UV01	《PIX マネージャ》に対応する。
受信アプリケーションロール	Notification Message Receiver	MCCI_AR900004UV01	《患者 ID ソース》に対応する。
トリガイベント	Send Message Accept Acknowledgement	MCCI_TE000002UV01	成果物識別子を表 4-20 の XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Accept Acknowledgement	MCCI_MT000200UV01	対応する XML 定義は、表 4-20 に含まれる。

5）登録メッセージの項目について

登録メッセージでは、地域患者 ID、ローカル患者 ID、及び、住基４情報である、氏名（漢字氏名、カナ氏名）、性別、生年月日、住所の全てを登録する必要がある。患者レジストリレコード登録メッセージにお

© JAHIS 2014

ける、それぞれの項目の設定方法を表 4-7 に示す。地域患者 ID、ローカル患者 ID は、IHE ITI の仕様では、patient/id 要素（表 4-13　XML No 1.2）と asOtherIDs/id 要素（表 4-13 XML No 1.6.16.2）の 2 か所に設定することが可能である。そのうち、patient/id 要素には最低 1 つの患者 ID が設定されなければならない。また、asOtherIDs/id 要素は、患者に関係する運転免許証番号など付加的な識別子を設定する目的で使用される。本書では、すべての ID は patient/id 要素に設定するものとし、asOtherIDs 要素は使用しない。

表 4-7 患者基本属性の設定方法

No	項目	XML 定義	説明	制約
1	地域患者 ID ／ ローカル患者 ID	表 4-13 XMLNo 1.2	患者の識別子を指定する。HL7 V3 データ型 II 型を使用し、root 属性には、識別子の患者 ID ドメインを示す ISO OID、つまり、地域患者 ID の場合は地域ドメインの OID、ローカル患者 ID の場合はその施設を識別する OID を指定する。 id 要素の extension 属性には、root 属性に指定された患者 ID ドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。具体的には、地域患者 ID の場合は、地域患者 ID、ローカル患者 ID の場合は、ローカル患者 ID を指定する。 本書では、地域患者 ID に対するローカル患者 ID の代わりに、メールアドレス等の任意のニーモニックを設定することも許容している。その場合には、ニーモニック用に各地域で決められた OID を使用し、地域患者 ID やローカル患者 ID と同様に id 要素に指定する。 例) ・患者 ID ドメインの OID：1.2.3.4.5 ・地域患者 ID：987654 <id root="1.2.3.4.5" extension="987654"/>	必須
2	氏名	表 4-13 XMLNo 1.6.3	共通データ仕様「6.2 氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有)」を使用して設定する。 姓、名、ミドルネームを区別して設定し、漢字氏名とカナ氏名の両方を必須で設定する。カナは全角カナのみとし、半角カナ（JIS X0201）は使用しない。	必須
3	性別	表 4-13 XMLNo 1.6.5	共通データ仕様「6.3 性別」に従って、性別コードを設定する。	必須
4	生年月日	表 4-13 XMLNo 1.6.6	共通データ仕様「6.4 生年月日」に従って、西暦で設定する。	必須
5	住所	表 4-13 XMLNo 1.6.11	住所は、都道府県や市区町村などの要素を構造化して記述することが望ましいが、記載ルールを整備し、一定のコンセンサスを得る必要がある。本書では、非構造化データとしてのみ設定することとし、共通データ仕様「6.6 住所（非構造化データ)」を使用する。	必須

© JAHIS 2014

4.2.1.1. インターフェース定義

患者 ID フィード (HL7 V3　版) の Web サービスインターフェース仕様を、表 4-8、表 4-9、及び、表 4-10 に示す。《PIX マネージャ》は、SOAP メッセージ形式の患者レジストリレコード追加メッセージ、患者レジストリレコード修正メッセージ、患者レジストリ重複解消メッセージを受理することができ、SOAP メッセージ形式の受諾応答メッセージを応答できなければならない。《PIX コンシューマ》は、 SOAP メッセージ形式の患者レジストリレコード追加メッセージ、患者レジストリレコード修正メッセージ、患者レジストリ重複解消メッセージを生成することができ、SOAP メッセージ形式の受諾応答メッセージを受理できなければならない。

表 4-8 患者 ID フィード（HL7 V3 版）メッセージで使用する XML 名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:pixv3:2007
wsoap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
xsi	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
hl7	urn:hl7-org:v3

表 4-9 患者 ID フィード（HL7 V3 版）で使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
hl7:PRPA_IN201301UV02	PRPA_IN201301UV02.xsd
hl7:PRPA_IN201302UV02	PRPA_IN201302UV02.xsd
hl7:PRPA_IN201304UV02	PRPA_IN201304UV02.xsd
hl7:MCCI_IN000002UV01	MCCI_IN000002UV01.xsd

表 4-10 患者 ID フィード（HL7 V3 版）WSDL 定義

WSDL			
PIXManager.wsdl			
ポートタイプ			
PIXManager_PortType			
オペレーション			
患者レジストリレコード追加　(PIXManager_PRPA_IN201301UV02)			
	入力メッセージ	患者レジストリレコード追加メッセージ（tns:PRPA_IN201301UV02_Message）	
		part	Body
		要素	hl7:PRPA_IN201301UV02
		アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201301UV02
	出力メッセージ	受諾応答メッセージ（tns:MCCI_IN000002UV01_Message）	
		part	Body
		要素	hl7:MCCI_IN000002UV01
		アクション	urn:hl7-org:v3:MCCI_IN000002UV01
患者レジストリレコード修正　(PIXManager_PRPA_IN201302UV02)			
	入力メッセージ	患者レジストリレコード修正メッセージ（tns:PRPA_IN201302UV02_Message）	

© JAHIS 2014

				part	Body
				要素	hl7:PRPA_IN201302UV02
				アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201302UV02
			出力メッセージ	受諾応答メッセージ（tns:MCCI_IN000002UV01_Message）	
				part	Body
				要素	hl7:MCCI_IN000002UV01
				アクション	urn:hl7-org:v3:MCCI_IN000002UV01
		患者レジストリ重複解決　（PIXManager_PRPA_IN201304UV02）			
			入力メッセージ	患者レジストリ重複解決メッセージ（tns:PRPA_IN201304UV02_Message）	
				part	Body
				要素	hl7:PRPA_IN201304UV02
				アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201304UV02
			出力メッセージ	受諾応答メッセージ（tns:MCCI_IN000002UV01_Message）	
				part	Body
				要素	hl7:MCCI_IN000002UV01
				アクション	urn:hl7-org:v3:MCCI_IN000002UV01

バインディング（SOAP 1.2 binding）				
PIXManager_Binding_Soap12				
ポートタイプ	tns:PIXManager_PortType			
バインディングスタイル	文書指向（document）			
トランスポート	HTTP			
オペレーション	PIXManager_PRPA_IN201301UV02	SOAPAction	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201301UV02	
		input	リテラル形式（literal）	
		output	リテラル形式（literal）	
	PIXManager_PRPA_IN201302UV02	SOAPAction	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201302UV02	
		input	リテラル形式（literal）	
		output	リテラル形式（literal）	
	PIXManager_PRPA_IN201304UV02	SOAPAction	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201304UV02	
		input	リテラル形式（literal）	
		output	リテラル形式（literal）	
サービス				
PIXManager_Service				
バインディング	tns:PIXManager_Binding_Soap12			

患者 ID フィード（HL7 V3 版）の WSDL の例を、図 4-8 に示す。本例は、当該メッセージに関連する部分のみを抜粋したものであり、完全な例は、ITI の FTP サイト（9.1 引用規格 IHE ITI TF-2x Appendix W）を参照のこと。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<definitions name="PIXManager" targetNamespace="urn:ihe:iti:pixv3:2007"
   xmlns:tns="urn:ihe:iti:pixv3:2007"
   xmlns:wsoap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
```

© JAHIS 2014

```
    xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
    xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
    xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
    <documentation>Example WSDL for PIX Manager</documentation>
    <types>
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
            xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include

schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201301UV02.xsd"/>
        </xsd:schema>
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
            xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include

schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201302UV02.xsd"/>
        </xsd:schema>
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
            xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include

schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201304UV02.xsd"/>
        </xsd:schema>
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
            xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include

schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/MCCI_IN000002UV01.xsd"/>
        </xsd:schema>
        . . .
    </types>
    <message name="PRPA_IN201301UV02_Message">
        <part element="hl7:PRPA_IN201301UV02" name="Body"/>
    </message>
    <message name="PRPA_IN201302UV02_Message">
        <part element="hl7:PRPA_IN201302UV02" name="Body"/>
    </message>
    <message name="PRPA_IN201304UV02_Message">
        <part element="hl7:PRPA_IN201304UV02" name="Body"/>
    </message>
    <message name="MCCI_IN000002UV01_Message">
        <part element="hl7:MCCI_IN000002UV01" name="Body"/>
```

© JAHIS 2014

```
    </message>
    . . .
    <portType name="PIXManager_PortType">
        <operation name="PIXManager_PRPA_IN201301UV02">
            <input message="tns:PRPA_IN201301UV02_Message"
                wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201301UV02"/>
            <output message="tns:MCCI_IN000002UV01_Message"
                wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:MCCI_IN000002UV01"/>
        </operation>
        <operation name="PIXManager_PRPA_IN201302UV02">
            <input message="tns:PRPA_IN201302UV02_Message"
                wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201302UV02"/>
            <output message="tns:MCCI_IN000002UV01_Message"
                wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:MCCI_IN000002UV01"/>
        </operation>
        <operation name="PIXManager_PRPA_IN201304UV02">
            <input message="tns:PRPA_IN201304UV02_Message"
                wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201304UV02"/>
            <output message="tns:MCCI_IN000002UV01_Message"
                wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:MCCI_IN000002UV01"/>
        </operation>
        . . .
    </portType>
    <binding name="PIXManager_Binding_Soap12" type="tns:PIXManager_PortType">
        <wsoap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
        <operation name="PIXManager_PRPA_IN201301UV02">
            <wsoap12:operation soapAction="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201301UV02"/>
            <input>
                <wsoap12:body use="literal"/>
            </input>
            <output>
                <wsoap12:body use="literal"/>
            </output>
        </operation>
        <operation name="PIXManager_PRPA_IN201302UV02">
            <wsoap12:operation soapAction="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201302UV02"/>
            <input>
                <wsoap12:body use="literal"/>
            </input>
            <output>
                <wsoap12:body use="literal"/>
            </output>
        </operation>
        <operation name="PIXManager_PRPA_IN201304UV02">
            <wsoap12:operation soapAction="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201304UV02"/>
            <input>
```

© JAHIS 2014

```
            <wsoap12:body use="literal"/>
         </input>
         <output>
            <wsoap12:body use="literal"/>
         </output>
      </operation>
      ・・・
   </binding>
   <service name="PIXManager_Service">
      <port binding="tns:PIXManager_Binding_Soap12" name="PIXManager_Port_Soap12">
         <wsoap12:address location="http://servicelocation/PIXManager_Soap12"/>
      </port>
   </service>
</definitions>
```

図 4-8 WSDL の例（患者 ID フィード（HL7 V3 版））

4.2.1.2. メッセージ定義

4.2.1.2.1. 患者レジストリレコード追加メッセージ（Patient Registry Record Added）

表 4-11 に、患者レジストリレコード追加メッセージのメッセージヘッダ部の XML 定義表を示す。

表 4-11 XML 定義（患者レジストリレコード追加メッセージ：メッセージヘッダ）

/PRPA_IN201301UV02

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id	M :1..1	M :1..1		メッセージ毎に固有なメッセージ ID.。	
1.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID/UUID	メッセージ ID。 [解説] root 属性に UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	メッセージ ID。 [解説] root 属性のみでユニークな ID を構成できない場合、root 属性と extension	●

© JAHIS 2014

					属性を組み合わせてユニークな ID とする。	
2	creationTime	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージの作成日時のタイムスタンプ。	
2.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	日付	メッセージの作成日時。 書式：YYYYMMDDHHMMSS	●
3	versionCode	O :0..1	O :0..1		使用する HL7 のバージョンを指定するコード。	
3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 HL7StandardVersionCode から「**V3PR1**」を設定。	
4	interactionId	**M :1..1**	**M :1..1**		HL7 のメッセージインタラクション ID。	
4.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	HL7 の成果物を識別する OID である「**2.16.840.1.113883.1.6**」を設定。	
4.2	@extension	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	本メッセージのインタラクション ID である「**PRPA_IN201301UV02**」を設定。	
5	processingCode	**M :1..1**	**M :1..1**		処理コード。	
5.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	送信システムの状態と関連したメッセージの処理目的。HL7 V3 コード定義 ProcessingID からコードを設定する。 ・デバギング：「D」、 ・本系（プロダクション）：「P」、 ・トレーニング：「T」 [JAHIS] 「本系」を示す「**P**」を設定。	
6	processingModeCode	**M :1..1**	**M :1..1**		HL7 メッセージの処理モード。	
6.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	メッセージの処理モード。HL7 V3 コード定義 ProcessingMode からコードを設定する。 ・アーカイブモード：「A」 ・イニシャルロードモード：「I」 ・現在処理中：「T」 ・アーカイブからの復帰「R」 [JAHIS] 「現在処理中」を表す「**T**」を設定。	
7	acceptAckCode	**M :1..1**	**M :1..1**		応答条件区分。	
7.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	応答メッセージが要求されるかどうかを示す。HL7 V3 コード定義 AcknowledgementCondition からコードを指定。 ・常に必要：「AL」 ・エラーまたは拒否時のみ：「ER」 ・応答しない：「NE」 [JAHIS] 常に応答を返すことを意味する「**AL**」	

© JAHIS 2014

					を設定。	
8	sequenceNumber	0 :0..1	*N*		[JAHIS] シーケンス番号プロトコルを使用する際に使用するシーケンス番号。本書では使用しない。	
9	receiver	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージの受信者の情報。	
9.1	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 CommunicationFunction から、メッセージの受信者を示す「**RCV**」を設定。	
9.2	device	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージの受信装置（アプリケーション）の情報。	
9.2.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から、装置を表す「**DEV**」を設定。	
9.2.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から、個別のインスタンスを表す「**INSTANCE**」を設定。	
9.2.3	id	**M :1..1**	**M :1..1**		受信装置（アプリケーション）を識別する識別子。extension 属性は使用してはならない。	
9.2.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	受信装置を示す ISO OID。extension 属性は指定しないため、OID のみで装置を識別できる必要がある。	●
9.2.4	name	0 :0..*	0 :0..*		受信装置の名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
9.2.5	telecom	0 :0..*	0 :0..*		受信装置のネットワークアドレス。	
9.2.5.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	受信装置のネットワークアドレス。 例えば、受信装置の URL を設定する。	●
9.2.6	manufacturerModelName	0 :0..1	0 :0..1		受信アプリケーションの製品名。 [JAHIS] フリーテキストで指定するものとし、コードでの指定は本書では使用しない。	
9.2.6.1	@code	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9.2.6.2	@codeSystem	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9.2.6.3	@codeSystemName	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9.2.6.4	@displayName	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9.2.6.5	text()	0 :0..1	0 :0..1	文字列	製品名称。	●
9.2.7	softwareName	0 :0..1	0 :0..1		受信アプリケーションのソフトウェア名称。 [JAHIS] フリーテキストで指定するものとし、コードでの指定は本書では使用しな	

© JAHIS 2014

					い。	
9.2.7.1	@code	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9.2.7.2	@codeSystem	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9.2.7.3	@codeSystemName	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9.2.7.4	@displayName	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
9.2.7.5	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	受信アプリケーションのソフトウェア名称。	●
9.2.8	asAgent	0 :0..1	0 :0..1		受信アプリケーションが所属する施設の情報。	
9.2.8.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**AGNT**」を設定。	
9.2.8.2	representedOrganization	**M :1..1**	**M :1..1**		受信施設情報。	
9.2.8.2.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から組織を表す「**ORG**」を設定。	
9.2.8.2.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
9.2.8.2.3	id	**M :1..***	**M :1..***		施設の識別子。extension 属性は使用してはならない。	
9.2.8.2.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	組織の識別子を表す ISO OID。	●
9.2.8.2.4	name	0 :0..*	0 :0..*		受信施設の組織名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
9.2.8.2.5	teleocm	0 :0..*	0 :0..*		受信施設の連絡先電話番号。共通データ仕様「電話番号」を使用する。	●
10	sender	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージの送信者の情報。	
10.1	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 CommunicationFunction から、メッセージの送信者を示す「**SND**」を設定。	
10.2	device	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージの送信装置（アプリケーション）の情報。	
10.2.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から、装置を表す「**DEV**」を設定。	
10.2.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から、個別のインスタンスを表す「**INSTANCE**」を設定。	
10.2.3	id	**M :1..1**	**M :1..1**		送信装置（アプリケーション）を識別する識別子。extension 属性は使用してはならない。	
10.2.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	送信装置を示す ISO OID。extension 属性は指定しないため、OID のみで装置を識別できる必要がある。	●
10.2.4	name	0 :0..1	0 :0..1		送信装置の名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●

© JAHIS 2014

10.2.5	telecom	0 :0..1	0 :0..1		送信装置のネットワークアドレス。	
10.2.5.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	送信装置のネットワークアドレス。 例えば、送信装置の URL を設定する。	●
10.2.6	manufacturerModelName	0 :0..1	0 :0..1		送信アプリケーションの製品名。	
10.2.6.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	製品名称。	●
10.2.7	softwareName	0 :0..1	0 :0..1		送信アプリケーションのソフトウェア名称。	
10.2.7.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	送信アプリケーションのソフトウェア名称。	●
10.2.8	asAgent	0 :0..1	0 :0..1		送信アプリケーションが所属する施設の情報。	
10.2.8.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**AGNT**」を指定。	
10.2.8.2	representedOrganization	**M :1..1**	**M :1..1**		送信施設情報。	
10.2.8.2.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から組織を表す「**ORG**」を設定。	
10.2.8.2.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
10.2.8.2.3	id	**M :1..***	**M :1..***		施設の識別子。extension 属性は使用しない。	
10.2.8.2.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	組織の識別子を表す ISO OID。 [JAHIS] 送信施設を識別する OID を指定する。 詳細は「8 オブジェクト識別子 (OID) 定義」参照。	●
10.2.8.2.4	name	0 :0..*	0 :0..*		送信施設の組織名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
10.2.8.2.5	teleocm	0 :0..*	0 :0..*		送信施設の連絡先電話番号。共通データ仕様「電話番号」を使用する。	
11	controlActProcess	**M :1..1**	**M :1..1**		トリガイベントコントロールアクトラッパー	
11.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 ActClass から「**CACT**」を設定。	
11.2	@moodCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 ActMood から「**EVN**」を設定。	
11.3	id	0 :0..*	*N*		[JAHIS] トリガイベントコントロールアクトラッパーの識別子。本書では使用しない。	
11.4	code	0 :0..1	0 :0..1		HL7 トリガイベントコード。	
11.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	本メッセージのトリガイベントの成果物 ID を示す「**PRPA_TE201302UV02**」を設定。	
11.4.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	HL7 トリガイベントコードのコード体系を識別する OID「**2.16.840.1.113883.1.18**」を設定。	
11.5	effectiveTime	0 :0..1	0 :0..1		メッセージ送信のタイムスタンプ。	

© JAHIS 2014

					[JAHIS] IHE では、IVL<TS>型として日時の期間を指定することができるが、本書では単一の日時として指定する。	
11.5.1	center	**M :1..1**	**M :1..1**	日付	タイムスタンプ。	
11.5.1.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	日付	書式：YYYYMMDD[HH[MM[SS[.U[U[U]]]]]]	●
11.6	languageCode	0 :0..1	0 :0..1		言語コード。 [JAHIS] RFC5646 を使用する。	
11.6.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	半角英字	[JAHIS] IEFT3066 (RFC5646)で表現される言語コード。 日本語の場合「**ja-JP**」を設定する。	●
11.6.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	RFC5646 の言語コードを識別する OID「**2.16.840.1.113883.6.121**」を設定する。	
11.6.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系名称として「**IETF3066**」を設定する。	
11.6.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	言語コードの表示名を設定する。	●
11.7	subject	**M :1..***	**M :1..***		登録イベントへの関連を表す。	
11.7.1	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 ActRelationshipType から「**SUBJ**」を設定する。	
11.7.2	@contextControlInd	**M :1..1**	**M :1..1**	真偽値	ControlAct の文脈を下位に伝播させないことを示す「**false**」を設定する。	
11.7.3	registrationEvent	**M :1..1**	**M :1..1**			
11.7.3.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	半角英字	HL7 V3 コード定義 ActClass から「**REG**」を設定する。	
11.7.3.2	@moodCode	**M :1..1**	**M :1..1**	半角英字	HL7 V3 コード定義 ActMood から「**EVN**」を設定する。	
11.7.3.3	id	0 :0..*	0 :0..*		患者情報の登録イベントを識別する ID。 [解説] 必須ではないが、指定する場合には、共通データ仕様「人が読解可能でない識別子」、あるいは、「人が読解可能な識別子（その他のアクタによる識別子)」に従って設定する。	●
11.7.3.4	statusCode	**M :1..1**	**M :1..1**		登録状態を表すコード。	
11.7.3.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	半角英字	「**active**」を設定。	
11.7.3.5	effectiveTime	0 :0..1	0 :0..1		登録イベントが発生したタイムスタンプ。 [IHE 制約]：値が設定された場合 XML No. 11.8.3.7.3 と同じ時間を設定すること。	

© JAHIS 2014

					[JAHIS] IHE では、IVL<TS>型として日時の期間を指定することができるが、本書では単一の日時として指定する。	
11.7.3.5.1	center	0 :0..1	0 :0..1		単一の日付を指定する。	
11.7.3.5.1.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	日付	書式：YYYYMMDD[HH[MM[SS[.U[U[U[U]]]]]]]	●
11.7.3.6	subject1	**M :1..1**	**M :1..1**			
11.7.3.6.1	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 ParticipationType から「**SBJ**」を設定する。	
11.7.3.6.2	patient	**M :1..1**	**M :1..1**		登録メッセージのペイロードのルート要素。表 4-13 参照。	
11.7.3.7	author	0 :0..1	0 :0..1		登録イベントの作成者または作成装置の情報。	
11.7.3.7.1	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 ParticipationType から「**AUT**」を設定する。	
11.7.3.7.2	@contextControlCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 コード定義 ContextControl から「**AP**」を設定する。	
11.7.3.7.3	time	0 :0..1	0 :0..1		登録イベントが作成されたタイムスタンプ。 [IHE 制約]：値が設定された場合、XML No 11.8.3.5 と同じ時間を設定すること。 [JAHIS] IHE では、IVL<TS>型として日時の期間を指定することができるが、本書では単一の日時として指定する。	
11.7.3.7.3.1	center	0 :0..1	0 :0..1		タイムスタンプ。	
11.7.3.7.3.1.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	日付	書式：YYYYMMDD[HH[MM[SS[.U[U[U[U]]]]]]]	●
11.7.3.7.4	modeCode	0 :0..1	0 :0..1		参加形態コード	
11.7.3.7.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	[JAHIS] コード表 7-5「参加形態コード」の使用を推奨するが、ドメイン内、及び、ドメイン間の協議の上、他のコードを使用してもよい。	●
11.7.3.7.4.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	参加形態コードのコード体系を示す OID を設定する。	●
11.7.3.7.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	参加形態コードのコード体系の名称を設定する。	●
11.7.3.7.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コードの表示名を設定する。	●
11.7.3.7.5	assignedEntity	**M :1..1**	**M :1..1**		登録者・登録装置・登録組織情報。 表 4-12 の担当者・組織情報の XML 定義表を参照。	
11.7.3.8	custodian	**M :1..1**	**M :1..1**		登録の責任者・責任組織情報。	
11.7.3.8.1	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 ParticipationType	

© JAHIS 2014

					から「CST」を設定。	
11.7.3.8.2	@contextControlCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 ContextControl から「AP」を設定。	
11.7.3.8.3	assignedEntity	M :1..1	M :1..1		登録の責任者・責任組織情報。 表 4-12 の担当者・組織情報の XML 定義表を参照。	

メッセージヘッダ内から参照される担当者・組織情報の XML 定義表を、表 4-12 に示す。

表 4-12 XML 定義（患者レジストリレコード追加メッセージ：担当者・組織情報）

/PRPA_IN201301UV02/controlActProcess/subject/registrationProcess/author/
/PRPA_IN201301UV02/controlActProcess/subject/registrationProcess/custodian

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	assignedEntity	M :1..1	M :1..1		人または装置または組織。 表 4-11 の XML No 11.8.3.8 から使用される場合には、患者 ID 情報の登録プロセスの作成者（または装置、あるいは組織）を表現する。 表 4-11 の XML No 11.8.4.3 から使用される場合には、患者 ID ソースに責任を持つアプリケーションまたは組織を表現する。	
1.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 コード定義 RoleClass から「ASSIGNED」を設定。	
1.2	id	M :1..*	M :1..*		人または装置または組織の識別子。 共通データ仕様「人が読解可能でない識別子」、あるいは、 「人が読解可能な識別子（他のアクタによる識別子）」のいずれかを使用する。	●
1.3	code	0 :0..1	0 :0..1		XML No 1.3.10 で示される組織の中での役割を示すコード。 [JAHIS] 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカ、事務職員、といった役割を識別する。 任意のコードが使用可能であり、ドメイン内、または、ドメイン間で合意の上、コードを決めて使用すること。 コード表 7-19「職種区分コード」を使用してもよい。	
1.3.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	役割コードのコード値。	●
1.3.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	役割コードのコード体系を識別する	●

© JAHIS 2014

					OID。	
1.3.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	役割コードのコード体系名称。	●
1.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	役割コードの表示名。	●
1.4	addr	0 :0..*	0 :0..*		人または装置または組織の住所。 共通データ仕様「住所」参照。	●
1.5	telecom	0 :0..*	0 :0..*		人または装置または組織の電話番号。 共通データ仕様「電話番号」を使用。	●
1.6	assignedPerson	0 :0..1	0 :0..1		関係者の情報。XML No. 1.6、1.7、1.8 は選択構造であり、いずれか1つのみが関連する。	
1.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 コード定義 EntityClass から「**PSN**」を設定。	
1.6.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.6.3	name	0 :0..*	0 :0..*		氏名。共通データ仕様「氏名（漢字・カナ・ローマ字）」を使用する。	●
1.7	assignedDevice	0 :0..1	0 :0..1		関係する装置の情報。XML No. 1.6、1.7、1.8 は選択構造であり、いずれか1つのみが関連する。	
1.7.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	半角英字	HL7 コード定義 EntityClass から「**DEV**」を設定。	
1.7.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	半角英字	HL7 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.7.3	id	0 :0..*	0 :0..*		装置の識別子。共通データ仕様「人が読解可能でない識別子」、あるいは、「人が読解可能な識別子（他のアクタによる識別子）」を使用する。	●
1.7.4	manufacturerModelName	0 :0..1	0 :0..1		モデル名。 [JAHIS] フリーテキストで指定するものとし、コードでの指定は本書では使用しない。	
1.7.4.1	@code	0 :0..1	*N*	コード	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.7.4.2	@codeSystem	0 :0..1	*N*	OID	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.7.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.7.4.4	@displayName	0 :0..1	*N*	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.7.4.5	text()	0 :0..1	0 :0..1	文字列	モデル名称のフリーテキスト。	●
1.7.5	softwareName	0 :0..1	0 :0..1		ソフトウェア製品名。 [JAHIS] フリーテキストで指定するものとし、コードでの指定は本書では使用	

© JAHIS 2014

					しない。	
1.7.5.1	@code	0 :0..1	N	コード	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.7.5.2	@codeSystem	0 :0..1	N	OID	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.7.5.3	@codeSystemName	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.7.5.4	@displayName	0 :0..1	N	文字列	[JAHIS] 本書では使用しない。	
1.7.5.5	text()	0 :0..1	0 :0..1	文字列	製品名称のフリーテキスト。	●
1.8	assignedOrganization	0 :0..1	0 :0..1		関係組織の情報。XML No. 1.6、1.7、1.8 は選択構造であり、いずれか1つのみが関連する。	
1.8.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**ORG**」を設定。	
1.8.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.8.3	name	**M :1..***	**M :1..***		組織名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
1.9	representedOrganization	0 :0..1	0 :0..1		XML No. 1.6、1.7、1.8 の人、装置、組織が所属する組織の情報。	
1.9.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**ORG**」を設定。	
1.9.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.9.3	id	**M :1..***	**M :1..***		組織の識別子情報。共通データ仕様「人が読解可能でない識別子」、あるいは、「人が読解可能な識別子（他のアクタによる識別子）」を使用する。	●
1.9.4	code	0 :0..1	0 :0..1		組織の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 7-8「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.9.4.1	code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	コード値。	●
1.9.4.2	codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	コード体系を識別する OID.	●
1.9.4.3	codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.9.4.4	displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.9.5	name	0 :0..*	0 :0..*		組織名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	
1.9.6	contactParty	**M :1..***	**M :1..***		組織の担当者情報。	
1.9.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から	

© JAHIS 2014

					「CON」を設定。	
1.9.6.2	id	0 :0..*	0 :0..*		担当者の識別子情報。 使用する場合、共通データ仕様「識別子（人が解釈することを意図しない識別子）」、あるいは、「識別子（その他のアクタ）」を使用する。	●
1.9.6.3	code	0 :0..1	0 :0..1		担当者の役割コード。 使用する場合、ドメイン内、及び、ドメイン間での合意の上、任意のコードを使用することが可能。 ［JAHIS］ 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカ、事務職員、といった組織内での役割を識別する。 コード表 7-19「職種区分コード」を使用してもよい。	
1.9.6.3.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	役割コードのコード値。	●
1.9.6.3.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	役割コードのコード体系を示すOID.	●
1.9.6.3.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	役割コードのコード体系名称。	●
1.9.6.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	役割コードの表示名。	●
1.9.6.4	addr	0 :0..*	0 :0..*		担当者の住所。共通データ仕様「住所」参照。 XML No. 1.9.6.4 住所、XML No. 1.9.5.5 電話番号、XML No. 1.9.6.6 担当者の個人情報のいずれかは出現しなければならない。	●
1.9.6.5	telecom	0 :0..*	0 :0..*		担当者の連絡先電話番号。共通データ仕様「電話番号」を使用。 XML No. 1.9.6.4 住所、XML No. 1.9.5.5 電話番号、XML No. 1.9.6.6 担当者の個人情報のいずれかは出現しなければならない。	●
1.9.6.6	contactPerson	0 :0..1	0 :0..1		担当者の個人情報。 XML No. 1.9.6.4 住所、XML No. 1.9.5.5 電話番号、XML No. 1.9.6.6 担当者の個人情報のいずれかは出現しなければならない。	
1.9.6.6.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「PSN」を設定。	
1.9.6.6.2	@determinerCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.9.6.6.3	name	M :1..*	M :1..*		担当者の氏名。共通データ仕様「氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有」を使用する。	●

© JAHIS 2014

HL7 V3 メッセージのペイロードに相当する、患者基本属性情報を表す XML 定義表を表 4-13 に示す。

表 4-13 XML 定義（患者レジストリレコード追加メッセージ：メッセージペイロード）

/PRPA_IN201301UV02/controlActProcess/subject/registrationEvent/subject1						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	patient	M :1..1	M :1..1		患者識別情報	
1.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**PAT**」を設定。	
1.2	id	M :1..*	M :1..*		患者 ID。 異なる患者 ID ドメインの ID も本要素、または、OtherIDs.id のいずれかに含むことができるが、同一の ID を両方に設定してはならない。 共通データ型「識別子（その他のアクタ）」を使用する。最低１つの患者 ID が指定されなければならない。	●
1.3	statusCode	M :1..1	M :1..1		当該レコードの状態を表すコード。	
1.3.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 コード定義 RoleStatus から「**active**」を設定。	
1.4	confidentialityCode	0 :0..*	0 :0..*		守秘レベルコード。	
1.4.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	コード表 7-13「守秘レベルコード」からコードを設定。ドメイン内、及び、ドメイン間の協議により他のコードを使用することも可能である。	●
1.4.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	「守秘レベルコード」のコード体系を識別する OID を設定。コード表 7-13 を使用する場合には「2.16.840.1.113883.5.25」を設定。他のコードを使用する場合は、そのコード体系を識別する OID を指定する。	●
1.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「守秘レベルコード」のコード体系名称を指定する。コード表 7-13 を使用する	●

© JAHIS 2014

					場合には「**Confidentiality**」を設定する。	
1.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「守秘レベルコード」の表示名を設定。	●
1.5	veryImportantPersonCode	0 :0..1	0 :0..1		VIP 区分	
1.5.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	コード表 7-14「VIP コード」からのコードを設定。ドメイン内、またはドメイン間の協議の上、他のコードを利用することも可能。	●
1.5.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	コード表 7-14 を使用する場合、「VIP コード」のコード体系を示す OID「**2.16.840.1.113883..5.1075**」を設定。その他のコードを使用する場合は、そのコード体系を識別する OID を設定。	●
1.5.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード表 7-14 を使用する場合、「VIP コード」のコード体系名称として「**PatientImportance**」を設定。 その他のコードを使用する場合は、そのコード体系の名称を設定。	●
1.5.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コードの表示名を設定。	●
1.6	patientPerson	**M :1..1**	**M :1..1**		患者。	
1.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**PSN**」を設定。	
1.6.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.6.3	name	**M :1..***	**M :1..***		患者氏名。共通データ型「氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有）」を参照。	●
1.6.4	telecom	0 :0..*	0 :0..*		患者の連絡先。共通データ型「電話番号」を参照。	●
1.6.5	administrativeGenderCode	0 :0..1	0 :0..1		患者の性別。節 共通データ型「性別」参照。	●
1.6.6	birthTime	0 :0..1	0 :0..1		患者の生年月日。節 共通データ型「生年月日」参照。	●
1.6.7	deceasedInd	0 :0..1	0 :0..1		患者の死亡区分。	
1.6.7.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	真偽値	「true」または「false」を	●

© JAHIS 2014

					設定。	
1.6.8	deceasedTime	0 :0..1	0 :0..1		患者の死亡日時。	
1.6.8.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	日付	書式：YYYY[MM[DD[HH[MM[SS]]]]]	●
1.6.9	multipleBirthInd	0 :0..1	*N*		多生児区分 [JAHIS] JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.6.10	multipleBirthOrderNumber	0 :0..1	*N*		多生児の出生順位 [JAHIS] JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.6.11	addr	0 :0..*	0 :0..*		患者の住所。共通データ型「住所」参照。	●
1.6.12	maritalStatusCode	0 :0..1	0 :0..1		患者の婚姻状況。	
1.6.12.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	婚姻状況を表すコード。 コード表 7-15「婚姻状況コード」参照。ドメイン内、及び、ドメイン間の協議により他のコードを使用することも可能。	●
1.6.12.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	コード体系を識別する OID。 コード表 7-15 を使用する場合は「**2.16.840.1.113883.12.2**」を設定。	●
1.6.12.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系の名称。コード表 7-15 を使用する場合は「**HL70002**」を設定。	●
1.6.12.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.6.13	religiosAffilicationCode	0 :0..1	*N*		宗教区分。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせ本仕様では使用しない。	
1.6.14	raceCode	0 :0..*	*N*		人種コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせ本仕様では使用しない。	
1.6.15	ethinicGroupCode	0 :0..*	*N*		民族コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせ本仕様では使用しない。	
1.6.16	asOtherIDs	0 :0..*	0 :0..*		その他の患者 ID。XML No 1.2 の説明も参照すること。	
1.6.16.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**ROL**」も	

© JAHIS 2014

					しくはその下位のコードを設定。 ID が患者 ID の場合、RoleClass から「**PAT**」を設定。	
1.6.16.2	id	**M :1..***	**M :1..***		共通データ型「な識別子(その他のアクタ)」を使用する。	●
1.6.16.3	scopingOrganization	**M :1..1**	**M :1..1**		その他の患者 ID の患者 ID ドメイン（割当機関）の情報。	
1.6.16.3.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	半角英字	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**ORG**」を設定。	
1.6.16.3.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	半角英字	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.6.16.3.3	id	**M :1..***	**M :1..***		患者 ID ドメイン（割当機関）を識別する識別子。root 属性のみを指定する。XML No 1.6.16.2 の root 属性と同じ値が指定されなければならない。	●
1.6.16.3.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	患者 ID ドメイン（割当機関）を識別する OID を設定。XML No 1.6.16.2 に設定される ID の root 属性と同じ値が設定されなければならない。	●
1.6.16.3.4	code	0 :0..1	0 :0..1		割当機関の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 7-8「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.6.16.3.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	「施設区分コード」のコード値を設定。	●
1.6.16.3.4.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	「施設区分コード」のコード体系を識別する OID を設定。	●
1.6.16.3.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「施設区分コード」のコー	●

© JAHIS 2014

					ド体系名称を設定。	
1.6.16.3.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「施設区分コード」の表示名を設定。	●
1.6.16.3.5	name	0 :0..*	0 :0..*		割当施設の名称。共通データ定義「単純名称」を使用。	●
1.6.16.3.6	addr	0 :0..*	0 :0..*		割当施設の住所。共通データ型「住所」参照。	●
1.6.17	personalRelationship	0 :0..*	0 :0..*		患者と他の個人との関係	
1.6.17.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**PRS**」を設定。	
1.6.17.2	id	0 :0..*	0 :0..*		関係を識別する ID。 使用する場合には、共通データ定義「識別子（その他のアクタ）」を使用する。	●
1.6.17.3	code	**M :1..1**	**M :1..1**		関係を識別するコード。ドメイン内、及び、ドメイン間の協議により任意のコードが使用可能。 [JAHIS] 本書では参考としてコード表 7-16「関係区分コード」を提示する。その他にも、PHR データ交換規格で定義されたコード表 7-17「続柄コード」などを使用可能。	
1.6.17.3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	「関係区分」のコード値を設定。	●
1.6.17.3.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	「関係区分」のコード体系を識別する OID を設定。	●
1.6.17.3.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「関係区分」のコード体系名称を設定。	●
1.6.17.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「関係区分」のコードの表示名を設定。	●
1.6.17.4	relationshipHolder	**M :1..1**	**M :1..1**		関係者情報。	
1.6.17.4.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 コード定義 EntityClass から「**PSN**」を設定。	
1.6.17.4.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.6.17.4.3	id	0 :0..*	0 :0..*		関係者を識別する ID。使用する場合には、共通データ定義「識別子（その他のアクタ）」を使用する。	●
1.6.17.4.4	name	0 :0..*	0 :0..*		関係者の氏名。共通データ	●

© JAHIS 2014

					型「氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有）」を参照。	
1.6.17.4.5	desc	0 :0..1	0 :0..1		関係者に対する説明。	
1.6.17.4.5.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	関係者の説明。	●
1.6.17.4.6	statusCode	0 :0..1	0 :0..1		関係者の状態コード。	
1.6.17.4.6.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityStatus からのコードを指定。 ・有効：「**active**」 ・無効：「**inactive**」 ・削除された；「**nullified**」	●
1.6.17.4.7	administrativeGenderCode	0 :0..1	0 :0..1		関係者の性別。 共通データ型「性別」参照。	●
1.6.17.4.8	birthTime	0 :0..1	0 :0..1		関係者の生年月日。 共通データ型「生年月日」参照。	●
1.6.17.4.9	deceasedInd	0 :0..1	0 :0..1		関係者の死亡区分。	
1.6.17.4.9.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	真偽値	「**true**」または「**false**」を設定。	●
1.6.17.4.10	deceasedTime	0 :0..1	0 :0..1		関係者の死亡日時。	
1.6.17.4.10.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	日時	書式：YYYY[MM[DD[HH[MM[SS]]]]]	●
1.6.17.4.11	multipleBirthInd	0 :0..1	*N*		関係者の多生児区分。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.17.4.12	multipleBirthOrderNumber	0 :0..1	*N*		関係者の出生順序。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.17.4.13	organDonorInd	0 :0..1	*N*		関係者のドナー区分。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.17.4.14	maritalStatusCode	0 :0..1	*N*		関係者の婚姻状況。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.17.4.15	religiousAffiliationCode	0 :0..1	*N*		関係者の宗教コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.17.4.16	raceCode	0 :0..1	*N*		関係者の人種コード。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.17.4.17	ethnicGroupCode	0 :0..1	*N*		関係者の民族コード。	

© JAHIS 2014

					[JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.18	citizen	**0 :0..***	*N*		患者の市民権情報。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせて本書では使用しない。	
1.6.19	employee	0 :0..*	0 :0..*		患者の雇用関係情報。	
1.6.19.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**EMP**」を設定。	
1.6.19.2	statusCode	0 :0..1	0 :0..1		雇用状態。	
1.6.19.2.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	コード表 7-18「役割状態コード」からのコード値を設定。	●
1.6.19.3	occupationCode	0 :0..1	0 :0..1		職業区分。ドメイン内、及び、ドメイン間の協議に基づき任意のコードを使用可能。 [JAHIS] 本書ではコード表 7-19「職業区分コード」を提示する。	
1.6.19.3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	「職業区分コード」からのコード値を設定。	●
1.6.19.3.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	「職業区分コード」のコード体系を識別する OID。	●
1.6.19.3.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「職業区分コード」のコード体系名称。	●
1.6.19.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「職種区分コード」の表示名。	●
1.6.19.4	employerOrganization	**M :1..1**	**M :1..1**		雇用者組織情報。	
1.6.19.4.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**ORG**」を設定。	
1.6.19.4.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.6.19.4.3	id	0 :0..*	0 :0..*		雇用者組織を識別する ID。使用する場合には共通データ定義「識別子（その他のアクタ）」を使用する。	●
1.6.19.4.4	code	0 :0..1	0 :0..1		組織区分コード。メイン内、及び、ドメイン間の協議に基づき任意のコードを使用可能。 [JAHIS]	

© JAHIS 2014

					本書ではコード表 7-20「組織区分コード」を提示する。	
1.6.19.4.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	「組織区分コード」からのコード値を設定。	●
1.6.19.4.4.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	「組織区分コード」のコード体系を識別する OID を設定。	●
1.6.19.4.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「組織区分コード」のコード体系名称を設定。	●
1.6.19.4.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「組織区分コード」のコードの表示名を設定。	●
1.6.19.4.5	name	0 :0..*	0 :0..*		雇用者組織の名称。共通データ定義「単純名称」を使用。	●
1.6.19.4.6	contactParty	**M :1..***	**M :1..***		雇用者組織の連絡先担当者情報	
1.6.19.4.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**CON**」を設定。	
1.6.19.4.6.2	id	0 :0..*	0 :0..*		連絡先担当者を識別する ID。 使用する場合には共通データ定義「識別子（その他のアクタ）」を使用する。	●
1.6.19.4.6.3	code	0 :0..1	0 :0..1		連絡先担当者の区分を識別するコード。使用する場合には、ドメイン内、及び、ドメイン間で協議の上、任意のコードを使用可能。	
1.6.19.4.6.3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	「担当者区分コード」からのコード値を設定。	●
1.6.19.4.6.3.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	「担当者区分コード」のコード体系を識別する OID。	●
1.6.19.4.6.3.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「担当者区分コード」のコード体系名称を設定。	●
1.6.19.4.6.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「担当者区分コード」の表示名称を設定。	●
1.6.19.4.6.4	addr	0 :0..*	0 :0..*		連絡先担当者の住所。共通データ型「住所」参照。	●
1.6.19.4.6.5	telecom	0 :0..*	0 :0..*		連絡先担当者の電話番号。共通データ型「電話番号」を参照。	●
1.6.19.4.6.6	contactPerson	0 :0..1	0 :0..1		連絡先担当者個人情報	
1.6.19.4.6.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**PSN**」を設定。	

© JAHIS 2014

1.6.19.4.6.6.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.6.19.4.6.6.3	name	**M :1..***	**M :1..***		氏名情報。共通データ仕様「氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有）」を使用する。	●
1.6.20	languageCommunication	0 :0..*	*N*		患者のコミュニケーション言語情報。 [JAHIS] 他の JAHIS 標準規格に合わせ本書では使用しない。	
1.7	providerOrganization	**M :1..1**	**M :1..1**		患者 ID の割当施設の情報。	
1.7.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**ORG**」を設定。	
1.7.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.7.3	id	**M :1..***	**M :1..***		割当施設の識別子。共通データ定義「識別子（その他のアクタ）」を使用する。	●
1.7.4	code	0 :0..1	0 :0..1		組織の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 7-8「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.7.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	「役割コード」のコード値を設定。	●
1.7.4.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	「役割コード」のコード体系を識別する OID を設定。	●
1.7.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「役割区分コード」のコード体系名称を設定。	●
1.7.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「組織区分コード」のコードの表示名を設定。	●
1.7.5	name	0 :0..*	0 :0..*			
1.7.6	contactParty	**M :1..***	**M :1..***		連絡先担当者情報。	
1.7.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleCass から「**CON**」を設定。	
1.7..6.2	id	0 :0..*	0 :0..*		連絡先担当者を識別する ID。使用する場合には共通	●

© JAHIS 2014

					データ定義「識別子（その他のアクタ）」を使用する。	
1.7.6.3	code	0 :0..1	0 :0..1		連絡先担当者の役割コード。使用する場合、ドメイン内、及び、ドメイン間での合意の上、任意のコードを使用することが可能。 [JAHIS] 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカ、事務職員、といった組織内での役割を識別する。	
1.7.6.3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	「役割コード」からのコード値を設定。	●
1.7.6.3.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	「役割コード」のコード体系を識別する OID。	●
1.7.6.3.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「役割コード」のコード体系名称を設定。	●
1.7.6.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	「役割コード」の表示名称を設定。	●
1.7.6.4	addr	0 :0..*	0 :0..*		連絡先担当者の住所。共通データ型「住所」参照。	●
1.7.6.5	telecom	0 :0..*	0 :0..*		連絡先担当者の電話番号。共通データ型「電話番号」を参照。	●
1.7.6.6	contactPerson	0 :0..1	0 :0..1		連絡先担当者個人情報。	
1.7.6.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**PSN**」を設定。	
1.7.6.6.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.7.6.6.3	name	**M :1..***	**M :1..***		担当者氏名。共通データ仕様「氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有）」を使用。	●

患者レジストリレコード追加メッセージのメッセージサンプルを図 4-9 に示す。図中の番号は、表 4-14 の対応する設定値の番号を表す。

表 4-14 患者レジストリレコード追加メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	メッセージ ID（OID）	2.16.840.1.113883.19.3.2409
2	メッセージ ID（識別子）	0987
3	メッセージ作成日時	2013 年 8 月 3 日 13 時 6 分 24 秒
4	受信アプリケーション識別子	1.2.840.114350.1.13.99999.4567
5	受信アプリケーションネットワークアドレス	https://example.org/PatientFeed

© JAHIS 2014

6	送信アプリケーション識別子	1.2.840.114350.1.13.99998.8734.1.1
7	ローカル患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
8	ローカル患者 ID（識別子）	012345
9	地域患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.1
10	地域患者 ID（識別子）	0000087654
11	ニーモニック（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.9999
12	ニーモニック（識別子）	taro@sample.com
13	患者氏名	患者太郎
14	患者カナ氏名	カンジャタロウ
15	患者性別	男性
16	患者生年月日	1957 年 3 月 23 日
17	患者郵便番号	105-0004
18	患者住所	東京都港区新橋２丁目５－５
19	医療機関 ID	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
20	医療機関名	JAHIS 病院
21	医療機関連絡先電話番号	03-9999-9999
22	登録責任組織 ID	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
23	登録責任組織名称	JAHIS 病院

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201301UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201
301UV02.xsd" xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="0987"/>
  <creationTime value="20130803130624"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201301UV02"/>
  <processingCode code="P"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="AL"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
      <telecom value="https://example.org/PatientFeed"/>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734.1.1"/>
    </device>
  </sender>
  <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
    <subject typeCode="SUBJ">
      <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
        <statusCode code="active"/>
        <subject1 typeCode="SBJ">
```

1 2 3 4 5 6

© JAHIS 2014

```
        <patient classCode="PAT">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="012345"/>
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.1" extension="0000087654"/>
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.9999" extension="taro@sample.com"/>
          <statusCode code="active"/>
          <patientPerson>
            <name use="IDE">
              <family>患者</family>
              <given>太郎</given>
            </name>
            <name use="SYL">
              <family>カンジャ</family>
              <given>タロウ</given>
            </name>
            <administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"
                                      codeSystemName="HL70001" displayName="男性"/>
            <birthTime value="19570323"/>
            <addr>
              <postalCode>105-0004</postalCode>
                東京都港区新橋２丁目５－５
            </addr>
          </patientPerson>
          <providerOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
            <name>JAHIS病院</name>
            <contactParty classCode="CON">
              <telecom value="tel:+03-9999-9999"/>
            </contactParty>
          </providerOrganization>
        </patient>
      </subject1>
      <custodian typeCode="CST">
        <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
          <assignedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
            <name>JAHIS病院</name>
          </assignedOrganization>
        </assignedEntity>
      </custodian>
    </registrationEvent>
  </subject>
 </controlActProcess>
</PRPA_IN201301UV02>
```

7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

図 4-9 患者レジストリレコード追加メッセージのサンプル

© JAHIS 2014

4.2.1.2.2. 患者レジストリレコード修正メッセージ（Patient Registry Record Revised）

患者レジストリレコード修正メッセージのメッセージヘッダの XML 定義は、患者レジストリレコード追加メッセージのメッセージヘッダ（表 4-10）とほぼ共通のため、表 4-15 に差分のみ示す。

表 4-15 XML 定義（患者レジストリレコード修正メッセージ：メッセージヘッダ）

/PRPA_IN201302UV02						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
～						
4	interactionId	M :1..1	M :1..1		HL7 のメッセージインタラクション ID。	
4.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID	HL7 の成果物を識別する OID である「2.16.840.1.113883.1.6」を設定。	
4.2	@extension	M :1..1	M :1..1	文字列	本メッセージのインタラクション ID である「PRPA_IN201302UV02」を設定	
～						
11.4	code	M :1..1	M :1..1		HL7 トリガイベントコード	
11.4.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	本メッセージのトリガイベントの成果物 ID を示す「PRPA_TE201302UV02」を設定。	
11.4.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	HL7 トリガイベントコードのコード体系を識別する OID「2.16.840.1.113883.1.18」を設定。	
～						

患者レジストリレコード修正メッセージのメッセージペイロードの XML 定義表は、「患者レジストリレコード追加メッセージのメッセージペイロードの XML 定義と共通である。表 4-13 を参照のこと。

患者レジストリレコード修正メッセージのメッセージサンプルを図 4-10 に示す。図中の番号は、表 4-16 に示す設定値を表す。

表 4-16 患者レジストリレコード修正メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	ローカル患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
2	ローカル患者 ID（識別子）	043210
3	ニーモニック（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.9999
4	ニーモニック（識別子）	09011111111
5	患者氏名	患者花子
6	患者カナ氏名	カンジャハナコ
7	患者性別	女性
8	患者生年月日	1942 年 10 月 23 日
9	患者郵便番号	105-0004
10	患者住所	東京都港区新橋２丁目５－５

© JAHIS 2014

11	医療機関 ID	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
12	医療機関名	JAHIS 病院
13	医療機関連絡先電話番号	03-9999-9999
14	登録責任組織 ID	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
15	登録責任組織名称	JAHIS 病院

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201302UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
 xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201302UV02.xsd"
 xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
   <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="3456"/>
   <creationTime value="20130806091603"/>
   <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201302UV02"/>
   <processingCode code="P"/>
   <processingModeCode code="T"/>
   <acceptAckCode code="AL"/>
   <receiver typeCode="RCV">
      <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
         <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
         <telecom value="https://example.org/PatientFeed"/>
      </device>
   </receiver>
   <sender typeCode="SND">
      <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
         <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734.1.1"/>
      </device>
   </sender>
   <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
      <subject typeCode="SUBJ">
         <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
            <statusCode code="active"/>
            <subject1 typeCode="SBJ">
               <patient classCode="PAT">
                  <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="043210"/>   1   2
                  <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.9999" extension="09011111111"/>   3   4
                  <statusCode code="active"/>
                  <patientPerson>
                     <name use="IDE">
                        <family>患者</family>   5
                        <given>花子</given>
                     </name>
                     <name use="SYL">
                        <family>カンジャ</family>   6
                        <given>ハナコ</given>
                     </name>   7
```

© JAHIS 2014

```
                    <administrativeGenderCode code="F" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.12"
codeSystemName="HL70001" displayName="女性"/>
                    <birthTime value="19421023"/>  8
                    <addr>
                        <postalCode>154-0004</postalCode>  9
                        東京都港区新橋２丁目５－５  10
                    </addr>
                </patientPerson>
                <providerOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
                    <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>  11
                    <name>JAHIS病院</name>  12
                    <contactParty classCode="CON">
                        <telecom value="tel:03-1111-1111"></telecom>  13
                    </contactParty>
                </providerOrganization>
            </patient>
        </subject1>
        <custodian typeCode="CST">
            <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
                <id  root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>  14
                <assignedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
                    <name>JAHIS病院</name>  15
                </assignedOrganization>
            </assignedEntity>
        </custodian>
    </registrationEvent>
  </subject>
</controlActProcess>
</PRPA_IN201302UV02>
```

図 4-10 患者レジストリレコード修正メッセージのサンプル

4.2.1.2.3. 患者レジストリ重複解消メッセージ（Patient Registry Duplicate Resolved）

メッセージヘッダの XML 定義表は、患者レジストリレコード追加メッセージのメッセージヘッダ(表 4-11)とほぼ共通のため、差分のみ示す。

表 4-17 XML 定義（患者レジストリ重複解消メッセージ：メッセージヘッダ）

/PRPA_IN201304UV02						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
～						

© JAHIS 2014

4	interactionId	M :1..1	M :1..1		HL7 のメッセージインタラクション ID。	
41	@root	M :1..1	M :1..1	OID	HL7 の成果物を識別する OID である「2.16.840.1.113883.1.6」を設定。	
42	@extension	M :1..1	M :1..1	文字列	本メッセージのインタラクション ID である「PRPA_IN201304UV02」を設定	
～						
114	code	M :1..1	M :1..1		HL7 トリガイベントコード	
1141	@code	M :1..1	M :1..1	コード	本メッセージのトリガイベントの成果物 ID を示す「PRPA_TE201304UV0」を設定。	
1142	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	HL7 トリガイベントコードのコード体系を識別する OID「2.16.840.1.113883.1.18」を設定。	
～						
1185	replacementOf	M :1..1	M :1..1		削除対象の ID	
11851	@typeCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 ActRelationshipType から「RPLS」を設定。	
11852	priorRegistration	M :1..1	M :1..1			
118521	@classCode	M :1..1	M :1..1		HL7 V3 コード定義 ActClass から「REG」を設定する。	
118522	@moodCode	M :1..1	M :1..1		HL7 V3 コード定義 ActMood から「EVN」を設定する。	
118523	id	0 :0..1	0 :0..1		過去の登録イベントを識別する ID。	
118524	statusCode	M :1..1	M :1..1		過去の登録イベントの状態コード。	
1185241	@code	M :1..1	M :1..1		HL7 V3 コード定義 ActStatus から「obsolete」を設定する。	
118525	subject1	0 :0..1	M :1..1			
1185251	priorRegistrationRole	M :1..1	M :1..1		重複が解消された後に削除されることになる患者 ID。	
11852511	@classCode	M :1..1	M :1..1		HL7 V3 コード定義 RoleClass から「ROL」を設定する。	
11852512	id	M :1..*	M :1..*		重複が解消された後に削除されることになる患者 ID。共通データ仕様「人が解釈することを意図しない識別子」に従って設定。	

© JAHIS 2014

患者レジストリ重複解消メッセージのメッセージペイロードの XML 定義を表 4-18 に示す。

表 4-18 XML 定義（患者レジストリ重複解消メッセージ：メッセージペイロード）

/PRPA_IN201304UV02/controlActProcess/subject/registrationEvent/subject1						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	patient	M :1..1	M :1..1		患者識別情報。	
1.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「PAT」を設定。	
1.2	id	M :1..*	M :1..*		患者 ID。共通データ仕様「患者 ID（PIX マネージャ）」を使用。providerOrganization 要素が存在する場合、本 id には、当該組織が発行した ID のみが指定されなければならない。また、本 ID の root 属性と、providerOrganization.id の root 属性とは一致しなければならない。	●
1.3	statusCode	M :1..1	M :1..1		当該レコードの状態を表すコード。	
1.3.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 RoleStatus から「active」を設定。他の値は使用してはならない。	
1.4	patientPerson	M :1..1	M :1..1		患者個人情報。	
1.4.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「PSN」を設定。	
1.4.2	@determinerCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.4.3	name	M :1..1	M :1..1		患者氏名。共通データ仕様「氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有）」を使用。	●
1.5	providerOrganization	0 :0..1	0 :0..1		患者 ID を発行した発行機関の情報。	
1.5.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「ORG」を設定。	
1.5.2	@determinerCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「INSTANCE」を設定。	
1.5.3	id	M :1..*	M :1..*		組織の識別子。	
1.5.3.1	@root	M :1..1	M :1..1	OID/UUID	組織の識別子の名前空間を示す UUID または OID。	●

© JAHIS 2014

					[IHE 制約] もし患者 ID の発行機関が指定された場合、XML No 1.1.1 に指定される患者 ID は、当該発行機関が発行した識別子に限られる。また、その root 属性と、本項目に指定される OID は一致しなければならず、本 id 要素の extension 属性は使用してはならない。	
1.5.4	code	0 :0..1	0 :0..1		組織の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 7-8「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.5.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	組織の役割コード。	●
1.5.4.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	コード体系を示す OID.	●
1.5.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.5.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.5.5	name	0 :0..*	0 :0..*		組織名称	
1.5.5.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	組織名称文字列。	●
1.5.6	contactParty	**M :1..***	**M :1..***		連絡先担当者情報。	
1.5.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**CON**」を設定。	
1.5.6.2	id	0 :0..*	0 :0..*		担当者の識別子情報。	
1.5.6.2.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID/UUID	識別子の名前空間を示す UUID または OID.	●
1.5.6.2.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	識別子文字列。	●
1.5.6.3	code	0 :0..1	0 :0..1		連絡先担当者の役割コード。使用する場合、ドメイン内、及び、ドメイン間での合意の上、任意のコードを使用することが可能。 [JAHIS] 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカ、事務職員、といった組織内での役割を識別する。コード表 7-19「職業区分コード」を使用してもよい。	
1.5.6.3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	役割コード値。	●
1.5.6.3.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	コード体系を表す OID	●
1.5.6.3.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.5.6.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	役割コードの表示名称。	●
1.5.6.4	addr	0 :0..*	0 :0..*		担当者の住所。共通データ仕様「住	●

© JAHIS 2014

					所」を使用。	
1.5.6.5	telecom	0 :0..*	0 :0..*		担当者の連絡先情報。共通データ仕様「電話番号」を使用。	●
1.5.6.6	contactPerson	0 :0..1	0 :0..1		担当者個人情報。	
1.5.6.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**PSN**」を設定。	
1.5.6.6.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.5.6.6.3	name	**M :1..***	**M :1..***		担当者氏名。共通データ仕様「氏名(漢字・カナ／ミドルネーム有)」を使用。	●

患者レジストリ重複解消メッセージのサンプルメッセージを図 4-11 に示す。図中の番号は、表 4-19 の対応する設定値を表す。

表 4-19 患者レジストリ重複解消メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	有効な患者 ID (OID)	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
2	有効な患者 ID (識別子)	043210
3	無効にされる患者 ID (OID)	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
4	無効にされる患者 ID (識別子)	098765
5	患者氏名	患者花子
6	患者カナ氏名	カンジャハナコ
7	登録責任組織 ID	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
8	登録責任組織名称	JAHIS 病院

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201304UV02 xmlns="urn:hl7-org:v3" xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201304UV02.xsd"
ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="6754"/>
  <creationTime value="20130803162915"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201304UV02"/>
  <processingCode code="P"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="AL"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
      <telecom value="https://example.org/PatientFeed"/>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
```

© JAHIS 2014

```
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734.1.1"/>
    </device>
  </sender>
  <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
    <subject typeCode="SUBJ">
      <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
        <statusCode code="active"/>
        <subject1 typeCode="SBJ">
          <patient classCode="PAT">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="043210"/>
            <statusCode code="active"/>
            <patientPerson>
              <name use="IDE">
                <family>患者</family>
                <given>花子</given>
              </name>
              <name use="SYL">
                <family>カンジャ</family>
                <given>ハナコ</given>
              </name>
            </patientPerson>
          </patient>
        </subject1>
        <custodian typeCode="CST">
          <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
            <assignedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
              <name>JAHIS病院</name>
            </assignedOrganization>
          </assignedEntity>
        </custodian>
        <replacementOf typeCode="RPLC">
          <priorRegistration classCode="REG" moodCode="EVN">
            <subject1 typeCode="SBJ">
              <priorRegisteredRole classCode="PAT">
                <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="098765"/>
              </priorRegisteredRole>
            </subject1>
          </priorRegistration>
        </replacementOf>
      </registrationEvent>
    </subject>
  </controlActProcess>
</PRPA_IN201304UV02>
```

1 2 5 6 7 8 3 4

図 4-11 患者レジストリ重複解消メッセージのメッセージサンプル

© JAHIS 2014

4.2.1.2.4. 受諾応答メッセージ（Accept Acknowledgement）

表 4-20 に受諾応答メッセージの XML 定義表を示す。処理に成功した場合、XML No 10.1 の応答コードに、「CA」を設定し、処理に失敗した場合は「CR」（リジェクト）または「CE」（エラー）を設定する。詳細なエラーメッセージは、XML No 10.4.3.1 に文字列で設定することができる。

- 「CR」：受理できないメッセージ種別や構文エラー。メッセージを修正しなければ受理されない。
- 「CE」：構文エラー以外のエラー。再送することで受理される可能性がある。

表 4-20 XML 定義（受諾応答メッセージ：メッセージヘッダ）

/PRPA_IN201310UV02						
XMLNo	**要素 / 属性**	**IHE**	**JAHIS**	**記法**	**説明**	**設定区分**
1	id	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージ毎に固有なメッセージ ID。	
1.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID/UUID	メッセージ ID。 [解説] root 属性に UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性に OID を使用する場合など、root 属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	メッセージ ID。 [解説] root 属性のみでユニークな ID を構成できない場合、root 属性と extension 属性を組み合わせてユニークな ID とする。	●
2	creationTime	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージの作成日時のタイムスタンプ。	
2.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	日付	メッセージの作成日時。 書式：YYYYMMDDHHMMSS	●
3	versionCode	0 :0..1	0 :0..1		使用する HL7 のバージョンを指定するコード。	
3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 HL7StandardVersionCode から「**V3PR1**」を指定。	
4	interactionId	**M :1..1**	**M :1..1**		HL7 のメッセージインタラクション ID。	
4.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	HL7 の成果物を識別する OID であ	

© JAHIS 2014

					る「2.16.840.1.113883.1.6」を設定。	
4.2	@extension	M :1..1	M :1..1	文字列	本メッセージのインタラクション ID である「PRPA_IN201310UV02」を設定	
5	processingCode	M :1..1	M :1..1		処理コード。	
5.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	送信システムの状態と関連したメッセージの処理目的。HL7 V3 コード定義 ProcessingID からコードを設定する。 ・デバギング：「D」 ・本系（プロダクション）：「P」 ・トレーニング：「T」 [JAHIS] 「本系」を示す「P」を設定。	
6	processingModeCode	M :1..1	M :1..1		HL7 メッセージの処理モード。	
6.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	メッセージの処理モード。HL7 V3 コード定義 ProcessingMode からコードを設定する。 ・アーカイブモード：「A」 ・イニシャルロードモード：「I」 ・現在処理中：「T」 ・アーカイブからの復帰：「R」 [JAHIS] 「現在処理中」を表す「T」を設定。	
7	acceptAckCode	M :1..1	M :1..1		応答条件区分。	
7.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	応答メッセージが要求されるかどうかを示す。HL7 V3 コード定義 AcknowledgementCondition から、応答を返さないことを意味する「NE」を設定。	
8	receiver	M :1..1	M :1..1		メッセージの受信者の情報。	
8.1	@typeCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 CommunicationFunction から、メッセージの受信者を示す「RCV」を設定。	
8.2	device	M :1..1	M :1..1		メッセージの受信装置（アプリケーション）の情報。	
8.2.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から、装置を表す「DEV」を設定。	
8.2.2	@determinerCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から、個別のインスタンスを表す「INSTANCE」を設定。	
8.2.3	id	M :1..1	M :1..1		受信装置（アプリケーション）を	

© JAHIS 2014

					識別する識別子。extension 属性は使用してはならない。	
8231	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	受信装置を示す ISO OID。extension 属性は指定しないため、OID のみで装置を識別できる必要がある。	●
824	name	0 :0..*	0 :0..*		受信装置の名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
825	telecom	0 :0..*	0 :0..*		受信装置のネットワークアドレス。	
8251	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	受信装置のネットワークアドレス。 例えば、受信装置の URL を設定する。	●
826	manufacturerModelName	0 :0..1	0 :0..1		受信アプリケーションの製品名。	
8261	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	製品名称。	●
827	softwareName	0 :0..1	0 :0..1		受信アプリケーションのソフトウェア名称。	
8271	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	受信アプリケーションのソフトウェア名称。	●
828	asAgent	0 :0..1	0 :0..1		受信アプリケーションが所属する施設の情報。	
8281	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**AGNT**」を指定。	
8282	representedOrganization	**M :1..1**	**M :1..1**		受信施設情報。	
82821	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から組織を表す「**ORG**」を設定。	
82822	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
82823	id	**M :1..***	**M :1..***		施設の識別子。extension 属性は使用してはならない。	
828231	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	組織の識別子を表す ISO OID。 [JAHIS] 「8 オブジェクト識別子 (OID) 定義」を参照。	
82824	name	0 :0..*	0 :0..*		受信施設の組織名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
82825	teleocm	0 :0..*	0 :0..*		受信施設の連絡先電話番号。共通データ仕様「電話番号」を使用する	●
9	sender	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージの送信者の情報。	
91	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	H7 V3 コード定義 CommunicationFunction から、メッセージの送信者を示す「**SND**」を設定。	

© JAHIS 2014

9.2	device	**M :1..1**	**M :1..1**		メッセージの送信装置（アプリケーション）の情報。	
9.2.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から、装置を表す「**DEV**」を設定。	
9.2.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から、個別のインスタンスを表す「**INSTANCE**」を設定。	
9.2.3	id	**M :1..1**	**M :1..1**		送信装置（アプリケーション）を識別する識別子。extension 属性は使用してはならない。	
9.2.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	送信装置を示す ISO OID。extension 属性は指定しないため、OID のみで装置を識別できる必要がある。	●
9.2.4	name	0 :0..1	0 :0..1		送信装置の名称。共通データ仕様「単純名称」を使用する。	●
9.2.5	telecom	0 :0..1	0 :0..1		送信装置のネットワークアドレス。	
9.2.5.1	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	送信装置のネットワークアドレス。 例えば、送信装置の URL を設定する。	●
9.2.6	manufacturerModelName	0 :0..1	0 :0..1		送信アプリケーションの製品名。	
9.2.6.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	製品名称	●
9.2.7	softwareName	0 :0..1	0 :0..1		送信アプリケーションのソフトウェア名称。	
9.2.7.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	送信アプリケーションのソフトウェア名称。	●
9.2.8	asAgent	0 :0..1	0 :0..1		送信アプリケーションが所属する組織の情報。	
9.2.8.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**AGNT**」を指定。	
9.2.8.2	representedOrganization	**M :1..1**	**M :1..1**		送信施設情報。	
9.2.8.2.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から組織を表す「**ORG**」を設定。	
9.2.8.2.2	@determinerCode	0 :0..1	0 :0..1	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
9.2.8.2.3	id	**M :1..***	**M :1..***		施設の識別子。extension 属性は使用しない。	
9.2.8.2.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	組織の識別子を表す ISO OID。 ［JAHIS］ 「8 オブジェクト識別子（OID）定義」を参照。	●
9.2.8.2.4	name	0 :0..*	0 :0..*		送信施設の組織名称。共通データ	●

© JAHIS 2014

					仕様「単純名称」を使用する。	
9.2.8.2.5	teleocm	0 :0..*	0 :0..*		受信施設の連絡先電話番号。共通データ仕様「電話番号」を使用する。	●
10	acknowledgement	0 :0..*	0 :0..*			
10.1	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	コード表 7-2「アプリケーション応答コード」より、いずれかのコードを指定する。 ［JAHIS］ 受諾レベル応答として、「CA」、「CE」、「CR」のいずれかのコードを指定する。	●
10.2	@expectedSequenceNumber	0 :0..1	*N*	数値	［JAHIS］ 本書ではシーケンスナンバープロトコルは使用しないため本項目は使用しない。	
10.3	targetMessage	**M :1..1**	**M :1..1**		応答対象となるメッセージ。	
10.3.1	id	**M :1..1**	**M :1..1**			
10.3.1.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID/UUID	応答対象となる照会メッセージのメッセージ識別子の UID。OID または UUID。表 4-11、表 4-15、表 4-17 の XML No 1.1 を設定する。	●
10.3.1.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	応答対象となる照会メッセージのメッセージ識別子。表 4-11、表 4-15、表 4-17 の XML No 1.2 を設定する。	●
10.4	acknowledgementDetail	0 :0..*	0 :0..*		エラー情報の詳細	
10.4.1	@typeCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	コード表 7-4「詳細応答コード」より、いずれかのコードを指定する。 ・エラー：「E」 ・警告：「W」 ・情報：「I」	●
10.4.2	code	0 :0..1	0 :0..1		補足的なエラーコード。 ［JAHIS］ HL7 で決められているコード表「詳細応答コード」のコードを使用することも可能であるが、各ドメイン間の合意の上で、より詳細なエラーコードを決めてもよい。	
10.4.2.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	エラーコードのコード値。	●
10.4.2.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	エラーコードのコード体系を識別する OID。	●
10.4.2.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	エラーコードのコード体系名。	●
10.4.2.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	エラーコードの表示名。	●

© JAHIS 2014

10.4.3	text	0 :0..1	0 :0..1		補足的なエラー内容の説明。	
10.4.3.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	エラー内容の説明。	●
10.4.4	location	0 :0..*	0 :0..*		エラー箇所を識別する XPATH。	
10.4.4.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	XPATH 文字列。	●

受諾応答メッセージのメッセージサンプルを図 4-12 に示す。図中の番号は、表 4-21 の対応する設定値を表す。

表 4-21 患者レジストリ重複解消メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	受諾レベル応答コード	受理 (CA)
2	対象メッセージ ID (OID)	2.16.840.1.113883.19.3.2409
3	対象メッセージ ID (識別子)	0987

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<MCCI_IN000002UV01 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
 xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/MCCI_IN000002UV01.xsd"
 xmlns="urn:hl7-org:v3"  ITSVersion="XML_1.0">
   <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="7890"/>
   <creationTime  value="20130803130625"/>
   <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="MCCI_IN000002UV01"/>
   <processingCode code="P"/>
   <processingModeCode code="T"/>
   <acceptAckCode code="NE"/>
   <receiver typeCode="RCV">
      <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
         <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
      </device>
   </receiver>
   <sender typeCode="SND">
      <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
         <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567.1.1"/>
         <telecom value="https://example.org/PatientFeed"/>
      </device>
   </sender>
   <acknowledgement>
      <typeCode code="CA"/>  1
      <targetMessage>
         <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="0987"/>  2  3
      </targetMessage>
   </acknowledgement>
</MCCI_IN000002UV01>
```

図 4-12 受諾応答メッセージのメッセージサンプル

© JAHIS 2014

4.2.1.3. セキュリティ要求

《患者 ID ソース》は、患者 ID フィード（HL7 V3 版）[ITI-44]を使用し、《PIX マネージャ》に問合せを送信する際には、「個人情報へのアクセス」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

《PIX マネージャ》は、《患者 ID ソース》から患者 ID フィード（HL7 V3 版）[ITI-44]を受信した際には、「個人情報へのアクセス」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

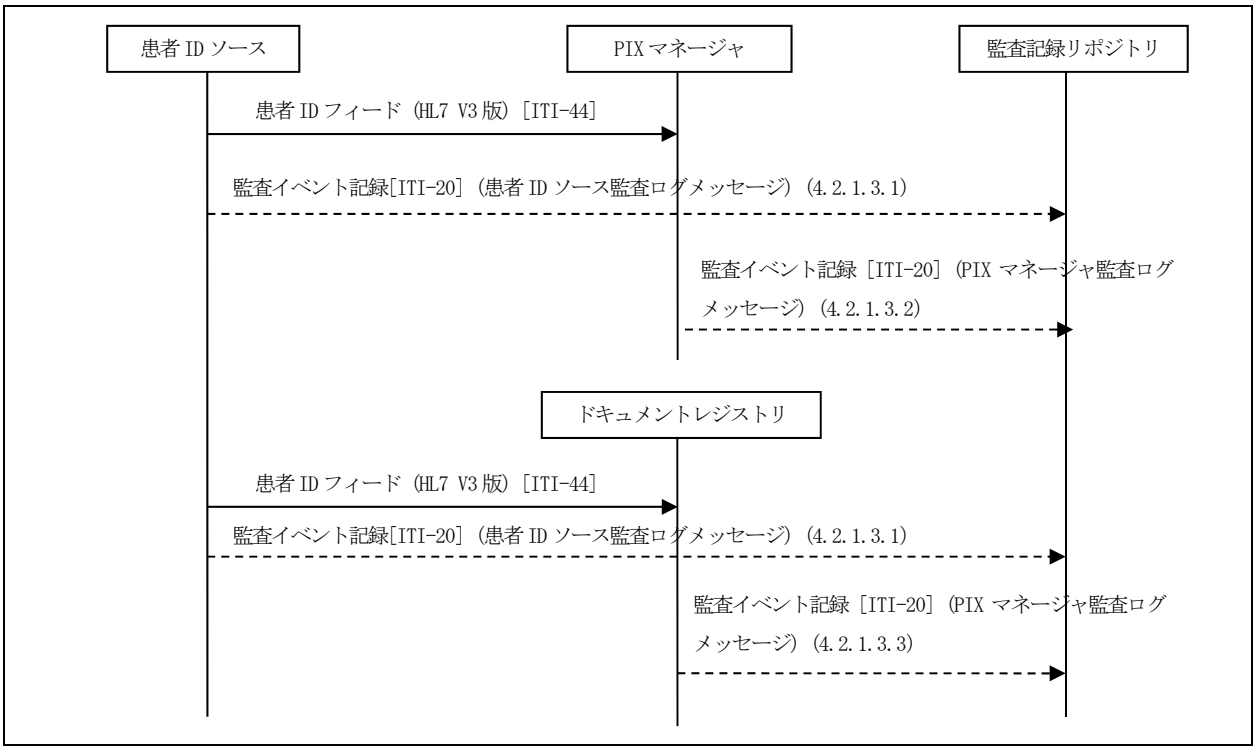


図 4-13 患者 ID フィード（HL7 V3 版）[ITI-44]送受信時の監査ログメッセージ

4.2.1.3.1. 患者 ID ソース監査ログメッセージ

本メッセージは、《患者 ID ソース》が、患者 ID フィード（HL7 V3 版）[ITI-44]を実行した際の、個人情報へのアクセスイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 4-22 患者 ID ソース監査ログメッセージ（患者 ID フィード（HL7 V3 版）送信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連） (1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110110, IHEJ, “Patient Record”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “C”（作成） “U”（更新） “D”（削除）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。

© JAHIS 2014

	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-44”, “IHE Transactions”, “Patient Identity Feed”)
Source(ユーザ関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。以下の値が入る。 EV(110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Human Requestor（ユーザ関連） (0..n) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	U	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。
	NetworkAccessPointTypeCode	NA	ネットワークアクセスポイントのタイプ。
	NetworkAccessPointID	NA	ネットワークアクセスポイントに対する ID。
Destination(ユーザ関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。

© JAHIS 2014

	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。以下の値が入る。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source (発生源システム関連) (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient(関係者オブジェクト関連 (アクセスされた患者情報)) (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1 (人)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 1 (患者)
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV 2 (患者 ID)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectDetail	M	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

4.2.1.3.2. PIX マネージャ監査ログメッセージ

本メッセージは、《PIX マネージャ》が《患者 ID ソース》から患者 ID フィード (HL7 V3 版) [ITI-44]を受信した際の、個人情報へのアクセスイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 4-23 PIX マネージャ監査ログメッセージ (患者 ID フィード (HL7 V3 版) 受信時)

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event (イベント関連) (1) (AuditMessage/Event	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV (110110, IHEJ, “Patient Record”)
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下

© JAHIS 2014

Identification)			の値が入る。 EV: “C” (作成) “U” (更新) “D” (削除)
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-44”, “IHE Transactions”, “Patient Identity Feed”)
Source (ユーザ関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。以下の値が入る。 EV(110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Destination (ユーザ関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 Destination : EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名

© JAHIS 2014

			“2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source（発生源システム関連） (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient（関係者オブジェクト関連(アクセスされた患者情報)） (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1（人）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 1（患者）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV 2（患者 ID）
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectDetail	M	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 ・タイプ：II 型(リテラル文字列) ・値： message.id の値

4.2.1.3.3. ドキュメントレジストリ監査ログメッセージ

患者 ID フィード(HL7 V3 版)を受信した際のドキュメントレジストリ監査ログメッセージは、「4.2.1.3.2 PIX マネージャ監査ログメッセージ」と同一である。

4.2.1.4. その他の注意事項

1）患者レジストリレコード登録／修正メッセージ受信時の振る舞い

《PIX マネージャ》は、患者レジストリレコード登録メッセージ、及び、患者レジストリレコード修正メッセージで受け取った情報項目から、患者の相互関連付けを行うが、その処理の詳細は IHE の対象外である。本書では、医療施設毎に地域患者 ID とローカル患者 ID を必ず一組にして登録することを必須としていることから、地域患者 ID を元に同一の患者を識別し、関連付けを行うこととなる[1]。相互関連付けが終わると、関連付けられた新しい ID が、患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）[ITI-45]で利用可能にならなければならない。また、《PIX マネージャ》に、通知を受ける（関心のある）アクタとして設定された《PIX コンシューマ》に対して、患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）[ITI-46]により通知されなければならない。

XDS.b 統合プロファイルの中でこれらのメッセージが使用される場合、《ドキュメントレジストリ》は、各

[1] 地域の中である患者が複数の地域患者 ID を保有している場合に、別の医療施設で別の地域患者 ID とその施設でのローカル ID を紐づけることは構わない。

© JAHIS 2014

XDS アフィニティドメインによって指定された患者 ID ドメインの患者 ID のみを格納しなければならない。本書では、地域医療連携ドメインの地域患者 ID となる。メッセージの中に他の患者 ID ドメインの患者 ID が含まれていた場合は、それらの ID は無視しなければならない。

2） 患者レジストリ重複解決メッセージ受信時の振る舞い

《PIX マネージャ》は、患者レジストリ重複解決メッセージを受信すると、伝送ラッパーに含まれる旧患者 ID への参照をペイロードに含まれる新患者 ID によって置き換える処理を行う。処理が完了した後、相互関連付けの処理を再適用し、問合せ可能な状態にするとともに、患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）[ITI-46]により関心のある《PIX コンシューマ》に通知しなければならない。

《ドキュメントレジストリ》は、患者レジストリ重複解決メッセージを受信すると、レジストリ内の情報に対して、旧患者 ID の患者情報を新患者 ID の患者情報にマージした上で、全てのサブミッションセットについて、新患者 ID を参照するように更新する。

次の状態が検知された場合、《ドキュメントレジストリ》の状態を更新してはならない。

- 旧患者 ID は、この XDS アフィニティドメインに割り当てられた正しい発行機関によって発行されていない。
- 新患者 ID は、この XDS アフィニティドメインに割り当てられた正しい発行機関によって発行されていない。
- 旧患者 ID と新患者 ID が同一である。
- 旧患者 ID が別のメッセージにより既にマージ済みである。
- 新患者 ID が別のメッセージにより既にマージ済みである。
- 旧患者 ID は、《ドキュメントレジストリ》が現在有効であると認識していない。

上記の条件のいずれにも該当しない場合、《ドキュメントレジストリ》は次の責務を実行しなければならない。

- 患者 ID のマージ処理を記録しなければならない。
- 複数のマージトランザクションにより、マージ処理の記録は連鎖しうる。
- 旧患者 ID を参照する文書セットの登録[ITI-42]メッセージは、XDSUnknownPatientId エラーを発生し棄却されなければならない。
- 旧患者 ID を参照するストアドクエリでは、何も返却されない。
- 新患者 ID を参照するストアドクエリでは、マージされた患者 ID の連鎖したリストに記録された全ての患者 ID にマッチする適切なメタデータを返却する。
- ストアドクエリトランザクションは何も変更されない。

© JAHIS 2014

4.2.2. 患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）（PIXV3 Query）[ITI-45]

患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）トランザクション[ITI-45]は、患者 ID をキーにして、当該患者に関連付く他の患者 ID の問合せを行う問合せメッセージである。参照規格は、HL7 V3 2008 年 Normative Edition の、Patient Administration DSTU, Patient Topic である。本項には、患者 ID 照会メッセージと患者 ID 照会応答メッセージの 2 つのメッセージが定義されている。

図 4-14 に、本メッセージを実現する HL7 V3 メッセージインタラクションを示す。１つのメッセージインタラクションには、《PIX コンシューマ》からの送信メッセージと、《PIX マネージャ》からの応答メッセージが定義される。従って本項には「4.2.2.2.1　患者 ID 照会メッセージ（Patient Registry Get Identifiers Query)」、「4.2.2.2.2 患者 ID 照会応答メッセージ（Patient Registry Get Identifiers Query Response)」の 2 種類のメッセージ定義が含まれる。図 4-14 において、メッセージ名の後の括弧内の番号は、本書の掲載項番号を示す。また、メッセージ名の下の記号は、対応する HL7 V3 メッセージインタラクションの成果物識別子を示す。

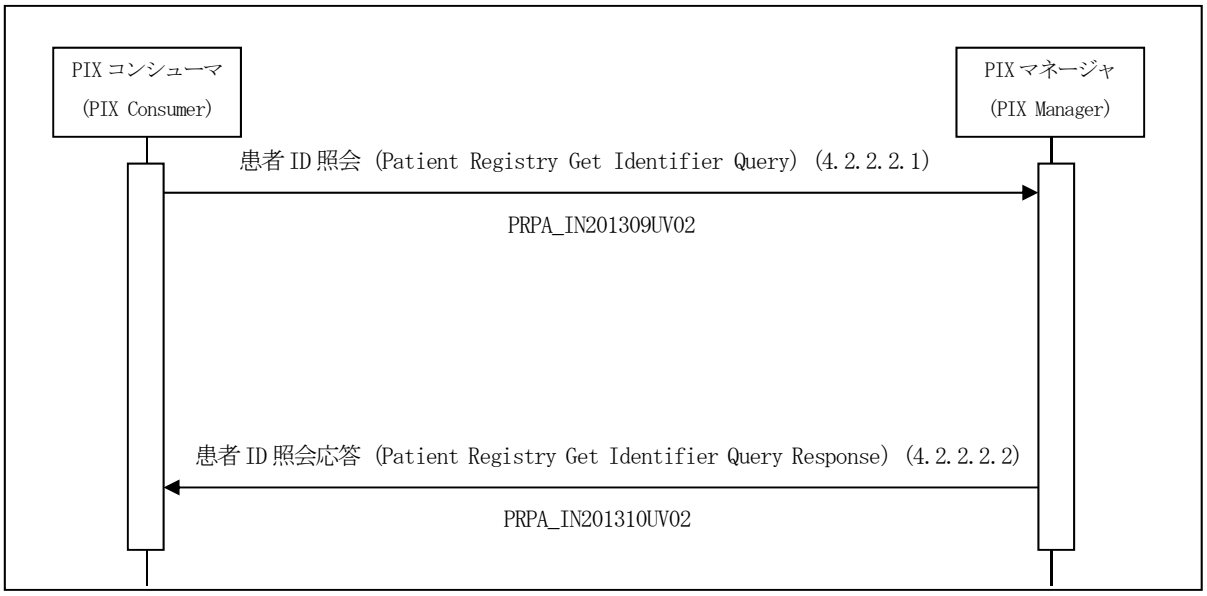


図 4-14 患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）のインタラクション

1）患者 ID 相互参照問合せインタラクション

患者 ID 照会メッセージに使用するメッセージの XML 定義表の関係を図 4-15 に示す。また、患者 ID 照会メッセージのメッセージインタラクションの構成要素を表 4-24 に、患者 ID 照会応答メッセージのメッセージインタラクションの構成要素を表 4-25 に示す。メッセージ定義の詳細は、JAHIS ITI 適用ガイドを参照のこと。

© JAHIS 2014

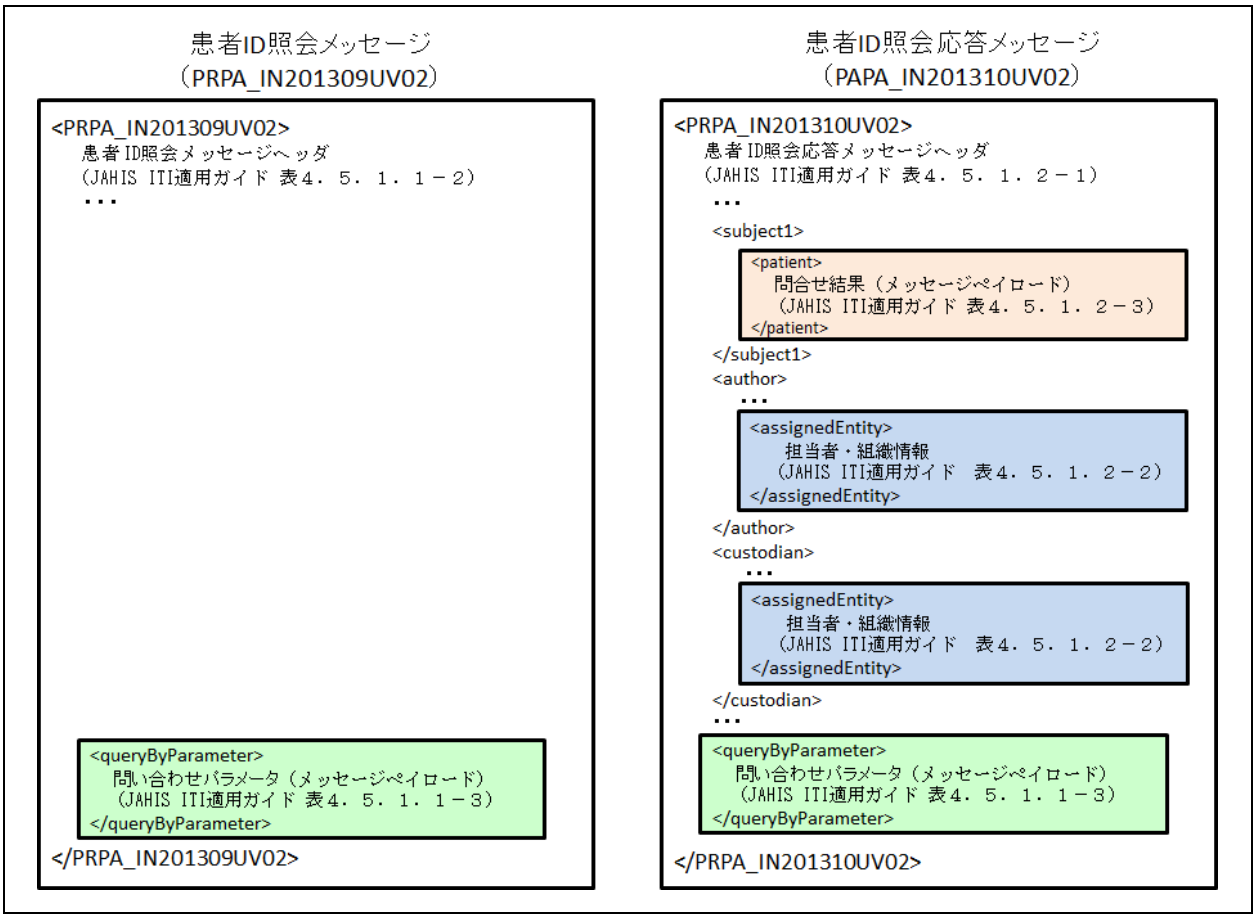


図 4-15 患者 ID 照会メッセージの XML 定義表の関係

表 4-24 患者 ID 照会メッセージインタラクション

種別	名前	成果物識別子	備考
メッセージインタラクション	Patient Registry Get Identifiers Query	PRPA_IN201309UV02	成果物識別子は、患者 ID 照会メッセージのルート要素名となる。また、その成果物識別子を JAHIS ITI 適用ガイド 表の４．５．１．１－２ XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Query Placer	PRPA_AR201303UV02	《PIX コンシューマ》に対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Query Filler	PRPA_AR201304UV02	《PIX マネージャ》に対応する。
トリガイベント	Patient Registry Get Identifiers Query	PRPA_TE201309UV02	成果物識別子を JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．１－２ XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Send Message Payload	MCCI_MT000100UV01	対応する XML 定義は、JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．１－２に含まれる。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	Query Control Act Request: Query By Parameter	QUQI_MT021001UV01	対応する XML 定義は、JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．１－２に含まれる。
メッセージ型（ペイロ	Patient Registry Query	PRPA_MT201307UV02	対応する XML 定義は JAHIS ITI 適

© JAHIS 2014

ード)	By Identifier		用ガイド 表４．５．１．１－３に含まれる。
受信者責務	トリガイベント	PRPA_TE201310UV02	受信アプリケーションは問合せの応答を返さなければならない。
	インタラクション	PRPA_IN201310UV02	応答メッセージのインタラクション。

表 4-25 患者 ID 照会応答メッセージインタラクション

種別	名前	識別子	備考
メッセージインタラクション	Patient Registry Get Identifiers Query Response	PRPA_IN201310UV02	成果物識別子は、患者 ID 照会応答メッセージのルート要素名となる。 また、その成果物識別子を JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．２－１の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Query Filler	PRPA_AR201304UV02	《PIX マネージャ》に対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Query Placer	PRPA_AR201303UV02	《PIX コンシューマ》に対応する。
トリガイベント	Patient Registry Get Identifiers Query Response	PRPA_TE201310UV02	成果物識別子を JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．２－１の XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Application Level Acknowledgement	MCCI_MT000300UV01	対応する XML 定義は、JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．２－１に含まれる。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	Master File / Registry Query Response,Role Subject	MFMI_MT700711UV01	対応する XML 定義は、JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．２－１に含まれる。
クエリ応答タイプ	Patient Identifiers	PRPA_MT201304UV02	対応する XML 定義は JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．２－３に含まれる。
クエリ定義	Patient Registry Query By Identifier	PRPA_MT201307UV02	対応する問合せメッセージのペイロードのメッセージ型。

2）患者 ID 照会メッセージの検索パラメータ

患者 ID 照会メッセージに使用する検索パラメータを表 4-26 に示す。表中の「XML 定義」は、XML 定義表中の該当箇所を示す。また、「パラメータ識別子 (semanticsText)」は、問合せパラメータを識別するために XML 中に設定する文字列を示す。データソースパラメータに値を指定することで、特定の患者 ID ドメインの ID のみを返却することができる。

© JAHIS 2014

表 4-26 患者 ID 照会メッセージの検索パラメータ

No	パラメータ名	XML 定義	パラメータ識別子(semanticsText)	説明	制約	多重度
1	患者 ID	JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．１－３ XML No 4.2	Patient.id	問合せ対象となる患者の識別子を指定する。HL7 V3 データ型 II 型を使用し、root 属性に識別子の名前空間を示す ISO OID、つまり、地域患者 ID の場合は地域ドメインの OID、ローカル患者 ID の場合はその施設を識別する OID を指定する。 extension 属性に、root に指定されたドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。具体的には、地域患者 ID の場合は、地域患者 ID、ローカル患者 ID の場合は、ローカル患者 ID を指定する。 例) ・地域ドメインの OID：1.2.3.4.5 ・地域患者 ID：987654 <value root="1.2.3.4.5" extension="987654"/>	必須	1..1
2	データソース	JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．１－３ XML No 4.1	Datasource.id	患者 ID ドメインの発行組織／発行者を特定するためのパラメータ。データソースパラメータが指定された場合、患者 ID の root 属性の OID がデータソースの root 属性の OID に一致する患者 ID のみが返却される。 複数のデータソースパラメータが指定された場合には、各データソースに対応する患者 ID ドメインについて、該当する患者 ID を返却する。 もしデータソースパラメータが指定されない場合、患者 ID に指定された ID を持つすべての患者 ID を、全患者 ID ドメインの中から返却する。 データソースの指定には HL7 V3 データ型 II 型を使用し、root 属性に患者 ID ドメインを示す ISO OID を指定する。extension 属性は使用してはならない。 例) ・地域ドメインの OID：1.2.3.4.5 <value root="1.2.3.4.5 "/>	任意	0..*

© JAHIS 2014

3）患者 ID 照会応答メッセージの主要な項目

患者 ID 照会応答メッセージの主要な項目を表 4-27 に示す。応答メッセージで返却される患者 ID は、IHE ITI の仕様では、patient/id 要素（XML No 1.1.1）と asOtherIDs/id 要素（XML No 1.1.3.5.2）の 2 か所に設定することが可能である。そのうち、patient/id 要素には最低 1 つの患者 ID が設定されなければならない。また、asOtherIDs/id 要素は、患者に関係する運転免許証番号など付加的な識別子を設定する目的で使用される。本書では、すべての ID は patient/id 要素に設定するものとし、asOtherIDs 要素は使用しない。

また、provider Organization 要素は省略可能であるが、設定する場合は、providerOrganization/id 要素の root 属性（XML No 1.1.4.3.1）は、patient 要素の中の少なくとも 1 つの id 要素の root 属性と一致しなければならないことに留意する。

さらに、問合せパラメータで使用した患者 ID は、応答メッセージのペイロードには含まず、問合せパラメータにのみ含まれなければならないことに留意する。

表 4-27 患者 ID 照会応答メッセージの主要な項目

No	項目名	XML 定義	説明	制約	多重度
1	地域患者 ID	JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．２－３XML No 1.1.1	メッセージ送信側（PIX マネージャ）は、メッセージペイロードのpatient 要素の id 要素に設定する。 root 属性には､地域ドメインの OID を指定する。 extension 属性には、root に指定されたドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。地域患者 ID に相当する。 メッセージ受信側（PIX コンシューマ）は、patient 要素の id 要素に設定された複数の患者 ID のうち、root 属性の OID により、どれが地域患者 ID であるかを識別する必要がある。 例) ・地域ドメインの OID：1.2.3.4.5 ・地域患者 ID：987654 <id root="1.2.3.4.5" extension="987654"/>	1 と 2 のいずれかは必須	0..1
2	ローカル患者 ID	JAHIS ITI 適用ガイド 表４．５．１．２－３XML No 1.1.1	メッセージ送信側（PIX マネージャ）は、メッセージペイロードのpatient 要素の id 要素に設定する。 root 属性には、ローカル患者 ID の発行施設の OID を指定する。 extension 属性には、root に指定されたドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。ローカル患者 ID に相当する。 メッセージ受信側（PIX コンシューマ）は、patient 要素の id 要素に設定された複数の患者	1 と 2 のいずれかは必須	0..*

© JAHIS 2014

			IDのうち、root属性のOIDにより、どれがローカル患者IDであるかを識別する必要がある。 例) ・医療機関のOID：1.2.3.4.6 ・ローカル患者ID：001234 <id root="1.2.3.4.6 " extension="001234"/>		
3	患者氏名	JAHIS ITI適用ガイド 表４．５．１．２－３ XML No 1.1.3.4	メッセージ送信側（PIX マネージャ）は、共通データ仕様「氏名（漢字・カナ)、ミドルネーム有」を使用して設定する。 メッセージ受信側（PIX コンシューマ）は、漢字氏名、カナ氏名の要素の順番は任意であることに留意する。use 属性の値により識別しなければならない。 例) ・患者太郎（カンジャタロウ） <name use="IDE"> <family>患者</family> <given>太郎</given> </name> <name use="SYL"> <family>カンジャ</family> <given>タロウ</given> </name>	必須	

4.2.2.1. インターフェース定義

患者ID相互参照問合せ（HL7 V3 版）のWebサービスインターフェース仕様を、表 4-28、表 4-29、及び、表 4-30に示す。《PIXマネージャ》は、SOAPメッセージ形式の患者ID照会メッセージを受理することができ、SOAPメッセージ形式の患者ID照会応答メッセージを応答できなければならない。《PIXコンシューマ》は、 SOAPメッセージ形式の患者ID照会メッセージを生成することができ、SOAPメッセージ形式の患者ID照会応答メッセージを受理できなければならない。

なお、WSDLは、JAHIS IHE ITI適用ガイド「4.4 インターフェース定義」と同じであるが、本書において、インターフェース定義の表現方法を変更したため再掲する。

表 4-28 患者ID相互参照問合せメッセージで使用するXML名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:pixv3:2007
wsoap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
xsi	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
hl7	urn:hl7-org:v3

© JAHIS 2014

表 4-29 患者 ID 相互参照問合せメッセージで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
hl7:PRPA_IN201309UV02	PRPA_IN201309UV02.xsd
hl7:PRPA_IN201310UV02	PRPA_IN201310UV02.xsd

表 4-30 患者 ID 相互参照問合せ WSDL 定義

WSDL			
PIXManager.wsdl			
ポートタイプ			
PIXManager_PortType			
オペレーション			
患者 ID 相互参照問合せ　(PIXManager_PRPA_IN201309UV02)			
入力メッセージ	患者 ID 照会メッセージ（tns:PRPA_IN201309UV02_Message）		
	part	Body	
	要素	hl7:PRPA_IN201309UV02	
	アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201309UV02	
出力メッセージ	患者 ID 照会応答メッセージ（tns:PRPA_IN201310UV02_Message）		
	part	Body	
	要素	hl7:PRPA_IN201310UV02	
	アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201310UV02	
バインディング（SOAP 1.2 binding）			
PIXManager_Binding_Soap12			
ポートタイプ	tns:PIXManager_PortType		
バインディングスタイル	文書指向（document）		
トランスポート	HTTP		
オペレーション	PIXManager_PRPA_IN201309UV02	SOAPAction	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201309UV02
		input	リテラル形式（literal）
		output	リテラル形式（literal）
サービス			
PIXManager_Service			
バインディング	tns:PIXManager_Binding_Soap12		

患者 ID 相互参照問合せの WSDL の例を、図 4-16 に示す。本例は、当該メッセージに関連する部分のみを抜粋したものであり、完全な例は、ITI の FTP サイト（9.1 引用規格 IHE ITI TF-2x Appendix W）を参照のこと。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<definitions name="PIXManager" targetNamespace="urn:ihe:iti:pixv3:2007"
    xmlns:tns="urn:ihe:iti:pixv3:2007"
    xmlns:wsoap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
    xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
    xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
    xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
```

© JAHIS 2014

```
    <documentation>Example WSDL for PIX Manager</documentation>
    <types>
        . . .
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
            xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include

schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201309UV02.xsd"/>
        </xsd:schema>
        <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
            xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
            <!-- Include the message schema -->
            <xsd:include

schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201310UV02.xsd"/>
        </xsd:schema>
    </types>
    . . .
    <message name="PRPA_IN201309UV02_Message">
        <part element="hl7:PRPA_IN201309UV02" name="Body"/>
    </message>
    <message name="PRPA_IN201310UV02_Message">
        <part element="hl7:PRPA_IN201310UV02" name="Body"/>
    </message>
    <portType name="PIXManager_PortType">
        . . .
        <operation name="PIXManager_PRPA_IN201309UV02">
            <input message="tns:PRPA_IN201309UV02_Message"
                wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201309UV02"/>
            <output message="tns:PRPA_IN201310UV02_Message"
                wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201310UV02"/>
        </operation>
    </portType>
    <binding name="PIXManager_Binding_Soap12" type="tns:PIXManager_PortType">
        <wsoap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
        . . .
        <operation name="PIXManager_PRPA_IN201309UV02">
            <wsoap12:operation soapAction="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201309UV02"/>
            <input>
                <wsoap12:body use="literal"/>
            </input>
            <output>
                <wsoap12:body use="literal"/>
            </output>
        </operation>
```

© JAHIS 2014

```
    </binding>
    <service name="PIXManager_Service">
        <port binding="tns:PIXManager_Binding_Soap12" name="PIXManager_Port_Soap12">
            <wsoap12:address location="http://servicelocation/PIXManager_Soap12"/>
        </port>
    </service>
</definitions>
```

図 4-16 WSDL の例（患者 ID 相互参照問合せ）

4.2.2.2. メッセージ定義

患者 ID 相互参照問合せトランザクションは、照会メッセージとその応答メッセージの 2 つのメッセージから定義される。XML 定義表は、JAHIS IHE ITI 適用ガイドを参照のこと。

4.2.2.2.1. 患者 ID 照会メッセージ（Patient Registry Get Identifiers Query）

JAHIS IHE ITI 適用ガイド「4.5.1.1 患者 ID 照会メッセージ（Patient Registry Get Identifiers Query (PRPA_IN201309UV02)）」を参照のこと。本書にはメッセージサンプルのみ示す。

図中の番号は、表 4-31 に示す設定値を表す。

表 4-31 患者 ID 照会メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	照会実施者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99997.2.7766
2	照会実施者 ID（識別子）	USR5568
3	照会実施者職種	MedicalDoctor（医師）
4	照会実施者氏名	イシタロウ
5	照会実施者所属医療機関（OID）	1.2.392.200119.6.102
6	照会実施者所属医療機関（識別子）	1398765432
7	問合せメッセージ ID（OID）	2.16.840.1.113883.19.3.2409
8	問合せメッセージ ID（識別子）	33452
9	検索条件：患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
10	検索条件：患者 ID（識別子）	043210
11	検索条件：対象患者 ID ドメイン（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.1

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201309UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201
309UV02.xsd" xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="1234"/>
  <creationTime value="20130810140900"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201309UV02"/>
  <processingCode code="P"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="AL"/>
```

© JAHIS 2014

```
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
      <telecom value="https://example.org/PIXQuery"/>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.7788"/>
    </device>
  </sender>
  <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
    <code code="PRPA_TE201309UV02" codeSystem="2.16.840.1.113883.1.18"/>
    <authorOrPerformer typeCode="AUT">
      <assignedPerson classCode="ASSIGNED">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.7766" extension="USR5568"/>
        <code code="MedicalDoctor" codeSystem="1.2.840.114350.1.13.99999.5.1"
              codeSystemName="職種コード" displayName="医師"/>
        <assignedPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
          <name use="SYL">イシタロウ</name>
        </assignedPerson>
        <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
          <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1398765432"/>
        </representedOrganization>
      </assignedPerson>
    </authorOrPerformer>
    <queryByParameter>
      <queryId root="2.16.840.1.113883.19.3.2410" extension="33452"/>
      <statusCode code="new"/>
      <responsePriorityCode code="I"/>
      <parameterList>
        <dataSource>
          <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.1"/>
          <semanticsText>Datasource.id</semanticsText>
        </dataSource>
        <patientIdentifier>
          <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="043210
          <semanticsText>Patient.Id</semanticsText>
        </patientIdentifier>
      </parameterList>
    </queryByParameter>
  </controlActProcess>
</PRPA_IN201309UV02>
```

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

図 4-17 患者 ID 照会メッセージのサンプル

© JAHIS 2014

4.2.2.2.2. 患者 ID 照会応答メッセージ（Patient Registry Get Identifiers Query Response）

JAHIS IHE ITI 適用ガイド「4.5.1.2 患者 ID 照会応答メッセージ（Patient Registry Get Identifiers Response（PRPA_IN201310UV02））」を参照のこと。本書にはメッセージサンプルのみ示す。

図中の番号は、示す設定値を表す。

表 4-32 患者 ID 照会メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	アプリケーションレベル応答コード	受理（AA）
2	検索結果：患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.1
3	検索結果：患者 ID（識別子）	0000012345
4	検索結果：患者氏名	患者花子
5	検索結果：患者カナ氏名	カンジャハナコ
6	登録責任組織（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.1
7	問合せ結果コード	OK（返却値存在）
8	問合せメッセージ ID（OID）	2.16.840.1.113883.19.3.2409
9	問合せメッセージ ID（識別子）	33452
10	検索条件：患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
11	検索条件：患者 ID（識別子）	043210
12	検索条件：対象患者 ID ドメイン（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.1

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201310UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN2013
10UV02.xsd" xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="4321"/>
  <creationTime value="20130810140901"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201310UV02 "/>
  <processingCode code="P"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="NE"/>
    <receiver typeCode="RCV">
      <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.7788"/>
      </device>
    </receiver>
    <sender typeCode="SND">
      <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
        <telecom value="https://example.org/PIXQuery"/>
      </device>
```

© JAHIS 2014

```
  </sender>
  <acknowledgement>
    <typeCode code="AA"/>  1
    <targetMessage>
      <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="1234"/>
    </targetMessage>
  </acknowledgement>
  <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
    <code code="PRPA_TE201310UV02" codeSystem="2.16.840.1.113883.1.18"/>
    <subject typeCode="SUBJ">
    <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
      <statusCode code="active"/>
      <subject1 typeCode="SBJ">
        <patient classCode="PAT">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.1" extension="0000012345"/>  2  3
          <statusCode code="active"/>
          <patientPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
            <name use="IDE">
              <family>患者</family>  4
              <given>花子</given>
            </name>
            <name use="SYL">
              <family>カンジャ</family>
              <given>ハナコ</given>  5
            </name>
        </patientPerson>
      </patient>
    </subject1>
    <custodian typeCode="CST">
      <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.1"/>  6
      </assignedEntity>
    </custodian>
  </registrationEvent>
</subject>
<queryAck>
  <queryId root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="33452"/>  7  8
  <queryResponseCode code="OK"/>  9
</queryAck>
<queryByParameter>
  <queryId root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="33452"/>
  <statusCode code="new"/>
  <responsePriorityCode code="I"/>
  <parameterList>
    <dataSource>
      <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.1"/>  10
```

© JAHIS 2014

```
        <semanticsText>Datasource.id</semanticsText>
      </dataSource>
      <patientIdentifier>
        <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="012345"/>   11   12
        <semanticsText>Patient.Id</semanticsText>
      </patientIdentifier>
    </parameterList>
  </queryByParameter>
</controlActProcess>
</PRPA_IN201310UV02>
```

図 4-18 患者 ID 照会応答メッセージのサンプル

4.2.2.3. セキュリティ要求

《PIX コンシューマ》は、患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）[ITI-45]を使用し、《PIX マネージャ》に問合せを送信する際には、「PIX 問合せ」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

《PIX マネージャ》は、《PIX コンシューマ》から、患者 ID 相互参照問合せ（HL7 V3 版）[ITI-45]を受信した際には、「PIX 問合せ」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

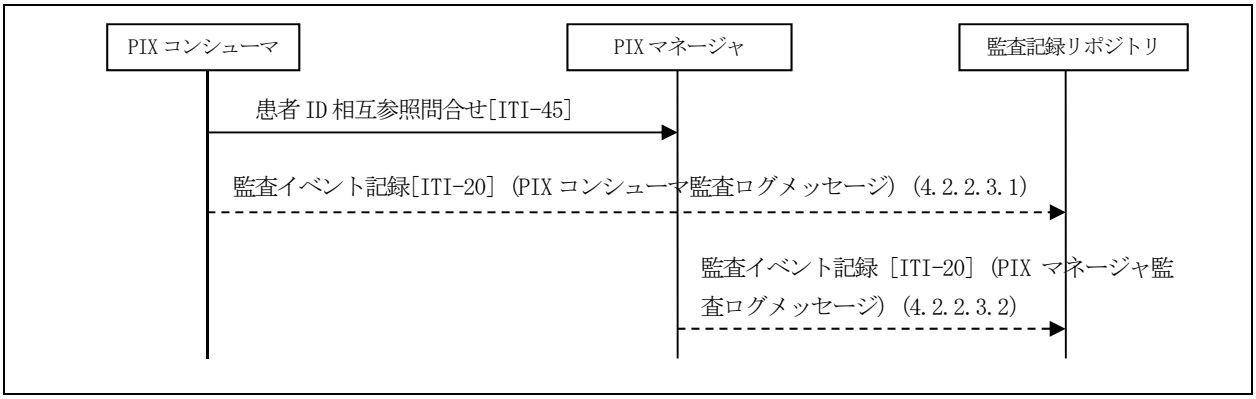


図 4-19 患者 ID フィード（HL7 V3 版）[ITI-44]送受信時の監査ログメッセージ

4.2.2.3.1. PIX コンシューマ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《PIX コンシューマ》が、患者 ID 相互参照問合せ[ITI-45]を実行した際の、PIX 問合せイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 4-33 PIX コンシューマ監査ログメッセージ（患者 ID 相互参照問合せ送信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連）(1) (AuditMessage/Event Identification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110117, IHEJ, “PIX Query”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV “E”（実行）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。

© JAHIS 2014

	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-45”, “IHE Transactions”, “PIX Query”)
Source (問合せ元関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索を発行したプロセスの ID。これは発生源(AuditSourceID)においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索を発行したプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索を発行したプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索を発行したプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの検索を発行したプロセスの役割。以下の値が入る。 EV (110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Human Requestor (他の関係者関連) (0..n) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	関係しており認識されている他の関係者の ID。特に要求者である人あるいはプロセスの ID。これは発生源(AuditSourceID)においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	他の関係者の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	他の関係者の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	他の関係者が本イベントの要求者か否かを示す。 RFC3881 の規定に従う。
	RoleIDCode	U	他の関係者の役割。 RFC3881 の規定に従う。
	NetworkAccessPointTypeCode	NA	
	NetworkAccessPointID	NA	
Destination (問合せ元関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索に応答するプロセスの ID。これは発生源(AuditSourceID)においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索に応答するプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索に応答するプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索に応答するプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 “false”
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセ

© JAHIS 2014

			スの役割。 EV (110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source (発生源関連) (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditSourceID	M	発生源のユニークな ID。
	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源の場所。AuditSourceID を就職するために使う。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源のタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Query (関係者オブジェクト関連(問合せ内容)) (1) (Participating Object)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 (システム)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 “24” (query)
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。 EV(“ITI-45”, “IHE Transactions”, “PIX Query”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	U	関係者オブジェクトのインスタンスの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectQuery	M	base64 で符号化された検索内容。本内容は本装置開発ベンダにて内容が分析できなければならない。
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

4.2.2.3.2. PIX マネージャ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《PIX マネージャ》が、患者 ID 相互参照問合せ[ITI-45]を受信した際の、PIX 問合せイベントを記録するための監査ログメッセージである。

© JAHIS 2014

表 4-34 PIX マネージャ監査ログメッセージ（患者 ID 相互参照問合せ受信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連） (1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110117, IHEJ, “PIX Query”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV “E”（実行）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-45”, “IHE Transactions”, “PIX Query”)
Source（問合せ元関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索を発行したプロセスの ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索を発行したプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索を発行したプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索を発行したプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。 RFC3881 の規定に従う。
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの検索を発行したプロセスの役割。以下の値が入る。 EV（110153, DCM, “Source Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Destination（問合せ元関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索に応答するプロセスの ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索に応答するプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索に応答するプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索に応答するプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 “false”
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV（110152, DCM, “Destination Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。

© JAHIS 2014

			“1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source（発生源関連） (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditSourceID	M	発生源のユニークな ID。
	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源の場所。AuditSourceID を就職するために使う。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源のタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Query（関係者オブジェクト関連(問合せ内容)） (1) (Participating Object)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2（システム）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 “24”（query）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。 EV(“ITI-45”, “IHE Transactions”, “PIX Query”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	U	関係者オブジェクトのインスタンスの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectQuery	M	base64 で符号化された検索内容。本内容は本装置開発ベンダにて内容が分析できなければならない。
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

4.2.2.4. その他の注意事項

問合せを受信した《PIX マネージャ》に期待される動作について、JAHIS IHE ITI 適用ガイドの「4.6.1 PIX マネージャに期待されるアクション」の解説を参照のこと。

© JAHIS 2014

4.2.3. 患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）（ITI-46）

患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）[ITI-46]トランザクションは、《PIX マネージャ》において患者 ID 相互参照情報が更新された際に、その情報に関心を持つ《PIX コンシューマ》に通知するためのメッセージである。参照規格は、HL7 バージョン3 2008年 Normative Edition の、Patient Administration DSTU, Patient Topic である。

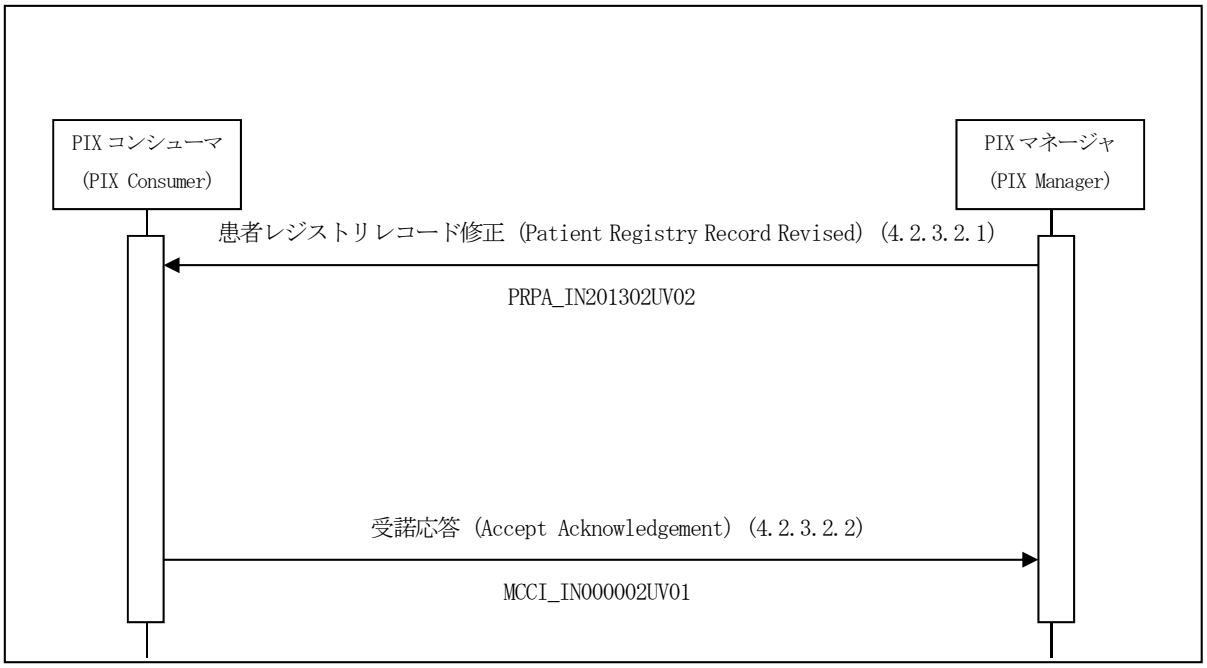


図 4-20 患者 ID 相互参照更新通知のインタラクション

1）患者レジストリレコード修正インタラクション

患者 ID 相互参照更新通知は、患者 ID フィード（HL7 V3 版）[ITI-44]トランザクションでも使用される、患者レジストリレコード修正インタラクションを使用する。XML 定義表の関係を図 4-21 に示し、メッセージインタラクションの構成要素を表 4-35 に示す。

患者基本属性情報の表現に関する XML 定義は、患者レジストリレコード修正インタラクションの定義と異なるため XML 定義（表 4-41）に再定義をする。また、メッセージの作成者、及び、管理責任者を表現するために、担当者・組織情報に関する XML 定義（表 4-12）を共通で使用する。

© JAHIS 2014

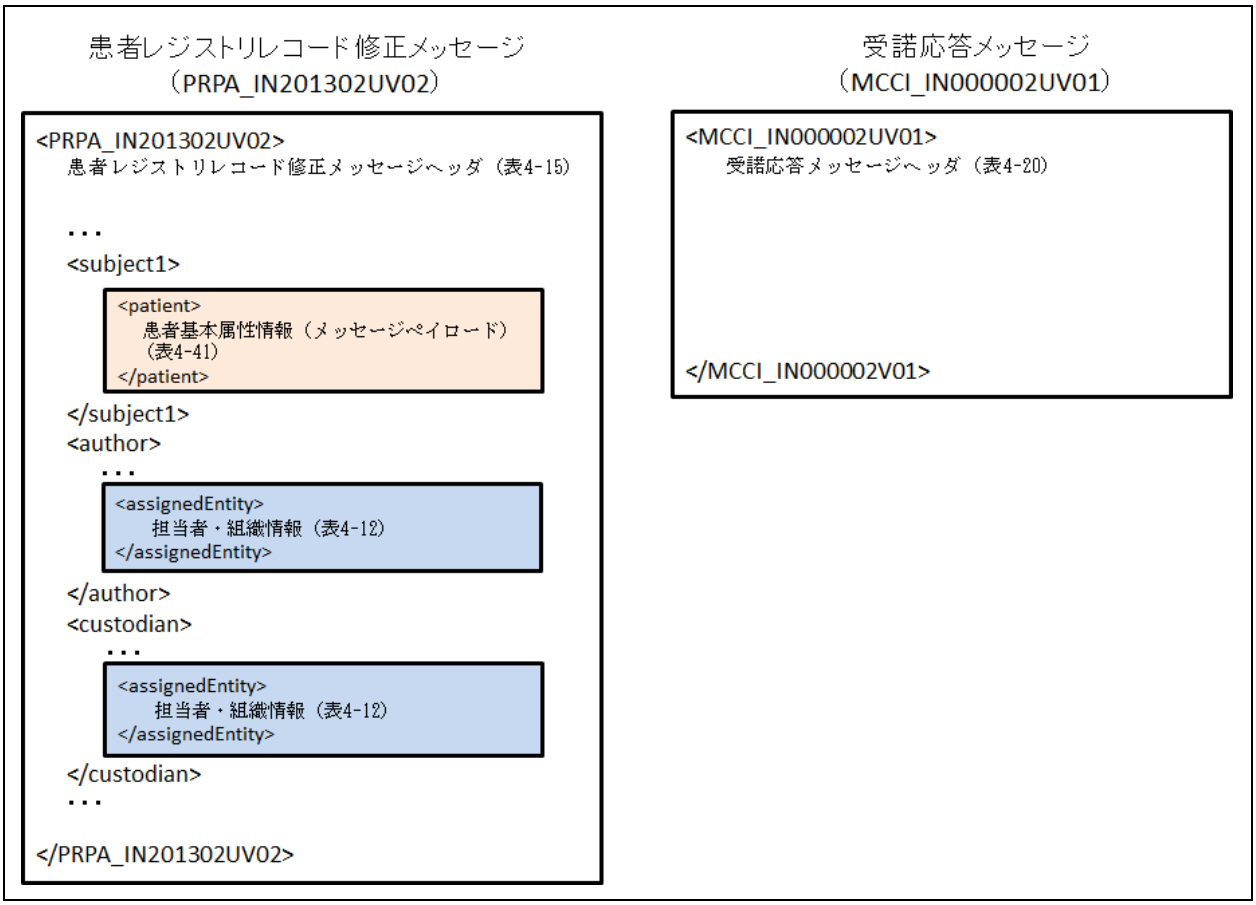


図 4-21 患者レジストリレコード修正メッセージの XML 定義表の関係

表 4-35 患者レジストリレコード修正メッセージインタラクション

種別	名前	成果物識別子	備考
メッセージインタラクション	Patient Registry Record Revised	PRPA_IN201302UV02	成果物識別子は患者レジストリレコード修正メッセージのルート要素名となる。 また、その成果物識別子を表 4-15 の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Informer	PRPA_AR201301UV02	《患者 ID ソース》に対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Tracker	PRPA_AR201302UV02	《PIX マネージャ》に対応する。
トリガイベント	Patient Registry Record Added	PRPA_TE201302UV02	成果物識別子を表 4-15 の XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Send Message Payload	MCCI_MT000100UV01	対応する XML 定義は、表 4-15 に含まれる。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	Master File / Registry Notification Control Act, Role Subject	MFMI_MT700701UV01	対応する XML 定義は、表 4-15 に含まれる。
メッセージ型（ペイロード）	Patient Activate	PRPA_MT201301IHE	対応する XML 定義は表 4-41 に含まれる。

© JAHIS 2014

2）受諾応答

1）のメッセージに対する、応答メッセージインタラクション。患者 ID フィードで使用するものと同一のメッセージインタラクションを使用する。表 4-36 にメッセージインタラクションを示す。受諾応答メッセージは、メッセージヘッダのみから構成されペイロードを含まない。

表 4-36 受諾応答メッセージインタラクション

種別	名前	識別子	備考
メッセージインタラクション	Accept Ack	MCCI_IN000002UV01	成果物識別子は応答メッセージのルート要素名となる。 また、その成果物識別子を表 4-20 の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Notification Message Sender	MCCI_AR900001UV01	《PIX マネージャ》に対応する。
受信アプリケーションロール	Notification Message Receiver	MCCI_AR900004UV01	《患者 ID ソース》に対応する。
トリガイベント	Send Message Accept Acknowledgement	MCCI_TE000002UV01	成果物識別子を表 4-20 の XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Accept Acknowledgement	MCCI_MT000200UV01	対応する XML 定義は、表 4-20 に含まれる。

3）患者 ID 相互参照更新通知メッセージの主要項目

患者 ID 相互参照更新通知メッセージで通知される主要な項目を表 4-37 に示す。応答メッセージで返却される患者 ID は、IHE ITI の仕様では、patient/id 要素(XML No 1.1.1)と asOtherIDs/id 要素(XML No 1.1.3.5.2)の 2 か所に設定することが可能である。そのうち、patient/id 要素には最低 1 つの患者 ID が設定されなければならない。また、asOtherIDs/id 要素は、患者に関係する運転免許証番号など付加的な識別子を設定する目的で使用される。本書では、すべての ID は patient/id 要素に設定するものとし、asOtherIDs 要素は使用しない。

表 4-37 通知メッセージの主要項目

No	項目名	XML 定義	説明	制約	多重度
1	地域患者 ID	表 4-37 XML No 1.1.1。	メッセージ送信側（PIX マネージャ）は、メッセージペイロードの patient 要素の id 要素に設定する。 root 属性には、地域ドメインの OID を指定する。extension 属性には、root に指定されたドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。地域患者 ID に相当する。 メッセージ受信側（PIX コンシューマ）は、patient 要素の id 要素、もしくは、asOtherIDs 要素の id 要素に設定された複数の患者 ID のうち、root 属性の OID により、どれが地域患者 ID	1 と 2 のいずれかは必須	0..1

© JAHIS 2014

			であるかを識別する必要がある。 例) ・地域ドメインのOID：1.2.3.4.5 ・地域患者ID：987654 <id root="1.2.3.4.5" extension="987654"/>		
2	ローカル患者ID	表 4-37 XML No 1.1.1	メッセージ送信側（PIX マネージャ）は、メッセージペイロードのpatient要素のid要素に設定する。 root 属性には、ローカル患者 ID の発行施設のOIDを指定する。 extension属性には、rootに指定されたドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。ローカル患者IDに相当する。 メッセージ受信側（PIX コンシューマ）は、patient要素のid要素、もしくは、asOtherIDs要素のid要素に設定された複数の患者IDのうち、root属性のOIDにより、どれがローカル患者IDであるかを識別する必要がある。 例) ・医療機関のOID：1.2.3.4.6 ・ローカル患者ID：001234 <id root="1.2.3.4.6 " extension="001234"/>	1と2のいずれかは必須	0..*
3	患者氏名	表 4-37 XML No 1.1.3.4	メッセージ送信側（PIX マネージャ）は、共通データ仕様「氏名（漢字・カナ）、ミドルネーム有」を使用して設定する。 メッセージ受信側（PIX コンシューマ）は、漢字氏名、カナ氏名の要素の順番は任意であることに留意する。use 属性の値により識別しなければならない。 例) ・患者太郎（カンジャタロウ） <name use="IDE"> <family>患者</family> <given>太郎</given> </name> <name use="SYL"> <family>カンジャ</family> <given>タロウ</given> </name>	必須	

© JAHIS 2014

4.2.3.1. インターフェース定義

患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3　版）の Web サービスインターフェース仕様を、表 4-38、表 4-39、及び、表 4-40 に示す。《PIX コンシューマ》は、SOAP メッセージ形式の患者レジストリレコード修正メッセージを受理することができ、SOAP メッセージ形式の受諾応答メッセージを応答できなければならない。《PIX マネージャ》は、 SOAP メッセージ形式の患者レジストリレコード修正メッセージを生成することができ、SOAP メッセージ形式の受諾応答メッセージを受理できなければならない。

表 4-38 患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）メッセージで使用する XML 名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:pixv3:2007
wsoap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
xsi	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
hl7	urn:hl7-org:v3

表 4-39 患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）で使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
hl7:PRPA_IN201302UV02	PRPA_IN201302UV02.xsd
hl7:MCCI_IN000002UV01	MCCI_IN000002UV01.xsd

表 4-40 患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）WSDL 定義

WSDL			
PIXConsumer.wsdl			
ポートタイプ			
PIXConsumer_PortType			
オペレーション			
患者 ID 更新相互参照更新通知　(PIXConsumer_PRPA_IN201302UV02)			
入力メッセージ	患者レジストリレコード修正メッセージ（tns:PRPA_IN201302UV02_Message）		
	part	Body	
	要素	hl7:PRPA_IN201302UV02	
	アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201302UV02	
出力メッセージ	受諾応答メッセージ（tns:MCCI_IN000002UV01_Message）		
	part	Body	
	要素	hl7:MCCI_IN000002UV01	
	アクション	urn:hl7-org:v3:MCCI_IN000002UV01	
バインディング（SOAP 1.2 binding）			
PIXConsumer_Binding_Soap12			
ポートタイプ	tns:PIXConsumer_PortType		
バインディングスタイル	文書指向（document）		
トランスポート	HTTP		
オペレーション	PIXConsumer_PRPA_IN201302UV02	SOAPAction	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201301UV02
		input	リテラル形式（literal）

© JAHIS 2014

			output	リテラル形式（literal）
サービス				
	PIXConsumer_Service			
	バインディング	tns:PIXConsumer_Binding_Soap12		

患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）の WSDL の例を、図 4-22 に示す。本例は、当該メッセージに関連する部分のみを抜粋したものであり、完全な例は、ITI の FTP サイト（9.1 引用規格 IHE ITI TF-2x Appendix W）を参照のこと。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<definitions name="PIXConsumer" targetNamespace="urn:ihe:iti:pixv3:2007"
xmlns:tns="urn:ihe:iti:pixv3:2007" xmlns:wsoap11="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns:wsoap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
  <documentation>Example WSDL for PIX Consumer, receiving update notifications</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include
schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201302UV02.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include
schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/MCCI_IN000002UV01.xsd"/>
    </xsd:schema>
  </types>
  <message name="PRPA_IN201302UV02_Message">
    <part element="hl7:PRPA_IN201302UV02" name="Body"/>
  </message>
  <message name="MCCI_IN000002UV01_Message">
    <part element="hl7:MCCI_IN000002UV01" name="Body"/>
  </message>
  <portType name="PIXConsumer_PortType">
    <operation name="PIXConsumer_PRPA_IN201302UV02">
      <input message="tns:PRPA_IN201302UV02_Message"
wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201302UV02"/>
      <output message="tns:MCCI_IN000002UV01_Message"
wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:MCCI_IN000002UV01"/>
    </operation>
  </portType>
```

© JAHIS 2014

```
  <binding name="PIXConsumer_Binding_Soap12" type="tns:PIXConsumer_PortType">
    <wsoap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    <operation name="PIXConsumer_PRPA_IN201302UV02">
      <wsoap12:operation soapAction="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201302UV02"/>
      <input>
        <wsoap12:body use="literal"/>
      </input>
      <output>
        <wsoap12:body use="literal"/>
      </output>
    </operation>
  </binding>
  <service name="PIXConsumer_Service">
    <port binding="tns:PIXConsumer_Binding_Soap12" name="PIXConsumer_Port_Soap12">
      <wsoap12:address location="http://servicelocation/PIXConsumer_Soap12"/>
    </port>
  </service>
</definitions>
```

図 4-22 WSDL の例（患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版））

4.2.3.2. メッセージ定義

メッセージインタラクションは、患者レジストリレコード修正メッセージと同様であるが、メッセージペイロードに記録可能な情報が異なる。

4.2.3.2.1. 患者レジストリレコード修正メッセージ（Patient Registry Record Revised）

メッセージヘッダの XML 定義は、「患者レジストリレコード修正」と同一である。表 4-15 を参照のこと。メッセージペイロードの XML 定義を示す。

表 4-41 XML 定義（患者レジストリレコード修正メッセージ：メッセージペイロード）

/PRPA_IN201302UV02/controlActProcess/subject/registrationEvent/subject1						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	patient	M :1..1	M :1..1		患者識別情報。	
1.1	@classCode	M :1..1	M :1..1	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「PAT」を設定。	
1.2	id	M :1..*	M :1..*		患者 ID。共通データ仕様「患者 ID（PIX マネージャ）」を使用。providerOrganization 要素が存在する場合、本 id には、当該組織が発行した ID のみが指定されなけ	●

© JAHIS 2014

					ればならない。また、本 ID の root 属性と、providerOrganization.id の root 属性とは一致しなければならない。	
1.3	statusCode	**M :1..1**	**M :1..1**		当該レコードの状態を表すコード。	
1.3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleStatus から「**active**」を設定。他の値は使用してはならない。	
1.4	patientPerson	**M :1..1**	**M :1..1**		患者個人情報。	
1.4.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**PSN**」を設定。	
1.4.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.4.3	name	**M :1..1**	**M :1..1**		患者氏名。共通データ仕様「氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有)」を使用。	●
1.4.4	asOtherIDs	0 :0..*	0 :0..*		患者が持つ他の識別子。例えば、運転免許証番号や被保険者証番号など。	
1.4.4.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**ROL**」 もしくはその下位のコードを設定。 ID が患者 ID の場合、RoleClass から「**PAT**」を設定。	
1.4.4.2	id	**M :1..***	**M :1..***		患者が持つ他の識別子。	
1.4.4.2.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID/UUID	識別子の名前空間を示す UID または OID。 XML No 1.4.4.3.3.1 scopingOrganization の root 属性と一致しなければならない。	●
1.4.4.2.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	識別子文字列。	●
1.4.4.3	scopingOrganization	**M :1..1**	**M :1..1**		識別子を発行した組織。	
1.4.4.3.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**ORG**」を設定。	
1.4.4.3.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.4.4.3.3	id	**M :1..***	**M :1..***		組織の識別子。	
1.4.4.3.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	UID	識別子の名前空間を示す UID または OID。XMLNo 1.4.4.2.1 に指定される識別子と一致しなければならず、本 ID の extension 属性は指定されてはならない。	
1.4.4.3.4	code	0 :0..1	0 :0..1		組織の種別や分類を示すコード。	

© JAHIS 2014

					使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 7-20「組織区分コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.4.4.3.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	組織の役割コード。	●
1.4.4.3.4.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	コード体系を示すOID.	●
1.4.4.3.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.4.4.3.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.4.4.3.5	name	0 :0..*	0 :0..*		組織名。共通データ仕様「単純名称」を使用。	●
1.4.4.3.6	addr	0 :0..*	0 :0..*		住所。共通データ仕様「住所」仕様。	●
1.5	providerOrganization	0 :0..1	0 :0..1		患者 ID を発行した発行機関の情報。	
1.5.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**ORG**」を設定。	
1.5.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.5.3	id	**M :1..***	**M :1..***		組織の識別子。	
1.5.3.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID/UUID	組織の識別子の名前空間を示すUUID またはOID。 [IHE 制約] もし患者 ID の発行機関が指定された場合、XML No 1.1.1 に指定される患者 ID は、当該発行機関が発行した識別子に限られる。また、そのroot 属性と、本項目に指定される OID は一致しなければならず、本 id 要素の extension 属性は使用してはならない。	●
1.5.4	code	0 :0..1	0 :0..1		組織の種別や分類を示すコード。使用する場合には、任意のコード体系を使用することができる。 [JAHIS] 本書では例としてコード表 7-8「医療機関の役割コード」を示すが、ドメイン内、及び、ドメイン間の合意に基づき、他のコードも使用することができる。	
1.5.4.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	組織の役割コード。	●
1.5.4.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	コード体系を示すOID.	●

© JAHIS 2014

1.5.4.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.5.4.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コードの表示名。	●
1.5.5	name	0 :0..*	0 :0..*		組織名称	
1.5.5.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	組織名称文字列。	●
1.5.6	contactParty	**M :1..***	**M :1..***		連絡先担当者情報。	
1.5.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 RoleClass から「**CON**」を設定。	
1.5.6.2	id	0 :0..*	0 :0..*		担当者の識別子情報。	
1.5.6.2.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID/UUID	識別子の名前空間を示す UUID または OID.	●
1.5.6.2.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	識別子文字列。	●
1.5.6.3	code	0 :0..1	0 :0..1		連絡先担当者の役割コード。使用する場合、ドメイン内、及び、ドメイン間での合意の上、任意のコードを使用することが可能。 [JAHIS] 例えば、医師、看護師、薬剤師、医療ソーシャルワーカ、事務職員、といった組織内での役割を識別する。コード表 7-1「職種コード」を使用してもよい。	
1.5.6.3.1	@code	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	役割コード値。	●
1.5.6.3.2	@codeSystem	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	コード体系を表す OID	●
1.5.6.3.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	コード体系名称。	●
1.5.6.3.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	役割コードの表示名称。	●
1.5.6.4	addr	0 :0..*	0 :0..*		担当者の住所。共通データ仕様「住所」を使用。	●
1.5.6.5	telecom	0 :0..*	0 :0..*		担当者の連絡先情報。共通データ仕様「電話番号」を使用。	●
1.5.6.6	contactPerson	0 :0..1	0 :0..1		担当者個人情報。	
1.5.6.6.1	@classCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityClass から「**PSN**」を設定。	
1.5.6.6.2	@determinerCode	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	HL7 V3 コード定義 EntityDeterminer から「**INSTANCE**」を設定。	
1.5.6.6.3	name	**M :1..***	**M :1..***		担当者氏名。共通データ仕様「氏名(漢字・カナ／ミドルネーム有)」を使用。	●

患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）トランザクションで使用する患者レジストリレコード修正メッセージのメッセージサンプルを図 4-23 に示す。図中の番号は、表 4-42 に示す設定値を表す。

表 4-42 患者レジストリレコード修正メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	ローカル患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
2	ローカル患者 ID（識別子）	043210

© JAHIS 2014

3	地域患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.1
4	地域患者 ID（識別子）	0000012345
5	ニーモニック（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.9999
6	ニーモニック（識別子）	09011111111
7	患者氏名	患者花子
8	患者カナ氏名	カンジャハナコ
9	患者性別	女性
10	患者生年月日	1942 年 10 月 23 日
11	患者郵便番号	105-0004
12	患者住所	東京都港区新橋２丁目５－５
13	医療機関 ID	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
14	医療機関名	JAHIS 病院
15	医療機関連絡先電話番号	03-9999-9999
16	登録責任組織 ID	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
17	登録責任組織名称	JAHIS 病院

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201302UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN2013
02UV02.xsd" xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="2.16.840.1.113883.19.3.2409" extension="3456"/>
  <creationTime value="20130806091603"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201302UV02"/>
  <processingCode code="P"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="AL"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99999.4567"/>
      <telecom value="https://example.org/PatientFeed"/>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734.1.1"/>
    </device>
  </sender>
  <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
    <subject typeCode="SUBJ">
      <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
        <statusCode code="active"/>
        <subject1 typeCode="SBJ">
          <patient classCode="PAT">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="043210"/>
            <id root="1.2.840.114350.1.13.9998.1" extension="0000012345"/>
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.9999" extension="09011111111"/>
```

1 2 3 4 5 6

© JAHIS 2014

```
          <statusCode code="active"/>
          <patientPerson>
            <name use="IDE">
              <family>患者</family>
              <given>花子</given>
            </name>
            <name use="SYL">
              <family>カンジャ</family>
              <given>ハナコ</given>
            </name>
            <administrativeGenderCode code="F" codeSystem="2.16.840.1.113883.6.12"
codeSystemName="HL70001" displayName="女性"/>
            <birthTime value="19421023"/>
            <addr>
              <postalCode>154-0004</postalCode>
              東京都港区新橋２丁目５－５
            </addr>
          </patientPerson>
          <providerOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
            <name>JAHIS病院</name>
            <contactParty classCode="CON">
              <telecom value="tel:03-1111-1111"/>
            </contactParty>
          </providerOrganization>
        </patient>
      </subject1>
      <custodian typeCode="CST">
        <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
          <assignedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
            <name>JAHIS病院</name>
          </assignedOrganization>
        </assignedEntity>
      </custodian>
    </registrationEvent>
  </subject>
 </controlActProcess>
</PRPA_IN201302UV02>
```

7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

図 4-23 患者 ID 相互参照更新通知メッセージのメッセージサンプル

4.2.3.2.2. 受諾応答メッセージ（Accept Acknowledgement）

受諾応答メッセージの XML 定義は表 4-20 を参照すること。

© JAHIS 2014

4.2.3.3. セキュリティ要求

《PIX マネージャ》は、患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）[ITI-46]を使用し、《PIX コンシューマ》に問合せを送信する際には、「個人情報へのアクセス」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

《PIX コンシューマ》は、《PIX マネージャ》から患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）[ITI-46]を受信した際には、「個人情報へのアクセス」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

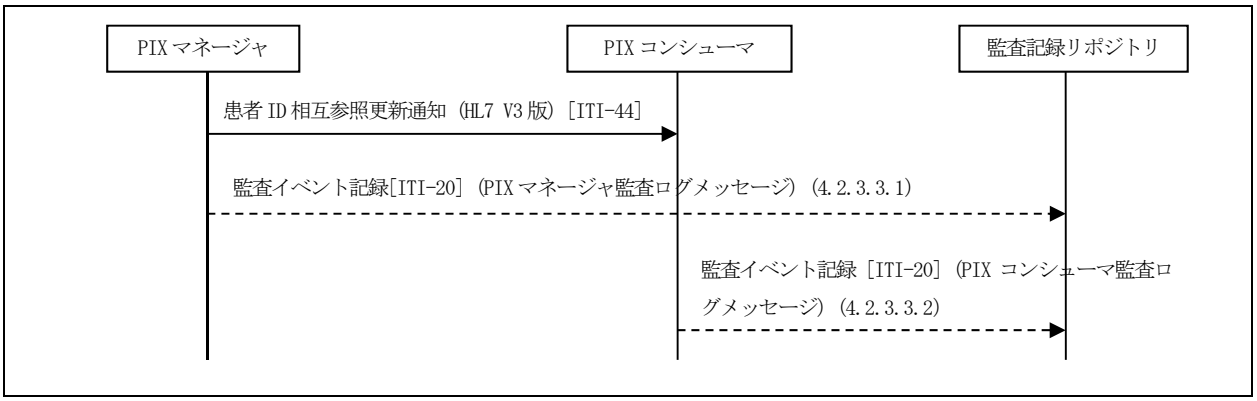


図 4-24 患者 ID フィード（HL7 V3 版）[ITI-44]送受信時の監査ログメッセージ

4.2.3.3.1. PIX マネージャ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《PIX マネージャ》が、患者 ID 相互参照更新通知[ITI-46]を実行した際の、個人情報へのアクセスイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 4-43 PIX マネージャ監査ログメッセージ（患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）送信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連）(1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110110, IHEJ, “Patient Record”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “R”（読み取り）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-46”, “IHE Transactions”, “PIX Update Notification”)
Source（ユーザ関連）(1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。

© JAHIS 2014

			RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。以下の値が入る。 EV(110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Human Requestor (ユーザ関連) (0..n) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	U	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。
	NetworkAccessPointTypeCode	NA	ネットワークアクセスポイントのタイプ。
	NetworkAccessPointID	NA	ネットワークアクセスポイントに対する ID。
Destination (ユーザ関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 “false”
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。以下の値が入る。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。

© JAHIS 2014

			RFC3881 の規定に従う。
Audit Source（発生源システム関連） (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient（関係者オブジェクト関連（アクセスされた患者情報）） (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1（人）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 1（患者）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV 2（患者 ID）
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectDetail	M	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 ・タイプ：II 型（リテラル文字列） ・値： message.id の値

4.2.3.3.2. PIX コンシューマ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《PIX コンシューマ》が、患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）[ITI-46]を受信した際の、個人情報へのアクセスイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 4-44 PIX コンシューマ監査ログメッセージ（患者 ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）受信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連） (1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110110, IHEJ, “Patient Record”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “U”（更新）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-46”, “IHE Transactions”, “PIX Update Notification”)
Source（ユーザ関連）	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかって

© JAHIS 2014

(1) (AuditMessage/ActiveParticipant)			いる場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。以下の値が入る。 EV(110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Destination（ユーザ関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 “false”
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。以下の値が入る。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source（発生源システム関連） (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient（関係者オブジェクト関連（アクセスされた患者情報））	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1（人）
	ParticipantObjectTypeCo	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。

© JAHIS 2014

(1) (AuditMessage/ ParticipantObjectId entification)	deRole		EV 1（患者）
	ParticipantObjectDataLi feCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDType Code	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV 2（患者 ID）
	ParticipantObjectSensit ivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectDetail	M	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 タイプ：II 型（リテラル文字列） 値：message.id の値

4.2.3.4. その他の注意事項

《PIX マネージャ》は、患者の ID リストの情報が更新される場合は常に ID 相互参照更新通知（HL7 V3 版）トランザクションを開始する。《PIX マネージャ》は、通知を受信する《PIX コンシューマ》を設定可能でなければならない。この設定情報には、通知を受ける《PIX コンシューマ》の識別子と、それぞれの《PIX コンシューマ》に対して、そのコンシューマが関心を持つ患者 ID ドメインのリストを含む。《PIX マネージャ》から《PIX コンシューマ》に提供される情報は、《PIX マネージャ》に対して設定された設定情報を元に、《PIX マネージャ》が管理する複数のドメインの中で、通知を受ける《PIX コンシューマ》が関心を持っている患者 ID ドメインに対する患者 ID の相互参照リストしか含んではならない。《PIX マネージャ》は、全てのドメインに関心を持つ《PIX コンシューマ》が在り得ることを考慮しておく必要がある。

《PIX コンシューマ》は、更新通知メッセージを受信すると、それが関心を持つ全てのドメインに対して、影響を受ける内部的な患者識別子情報を更新しなければならない。更新通知メッセージに、単一のドメインに対する複数の識別子が含まれる場合、《PIX コンシューマ》は、それらの ID の全てを利用するか、全ての ID を無視するかのいずれかをとらなければならない。前者の場合、《PIX コンシューマ》は、ある一人の患者に対して、複数の識別子を正しく集約し処理できなければならない。もしそのような処理が可能でなければ、後者のように、全ての識別子を無視しなければならない。

© JAHIS 2014

4.3. PDQ の概要

患者基本情報問合せ（PDQ）統合プロファイルは、複数の分散されたアプリケーションが、患者情報サーバに対してユーザが指定する検索基準に基づき患者リストを照会し、患者基本情報を取得する方法を提供する。地域医療連携において施設間通信に用いることからWebサービスとの親和性を考慮し、HL7 V3 形式のメッセージを使用するPDQV3統合プロファイルを採用する。図 4-25 と表 4-45 に、PDQV3統合プロファイルで定義されるIHEアクタを示す。

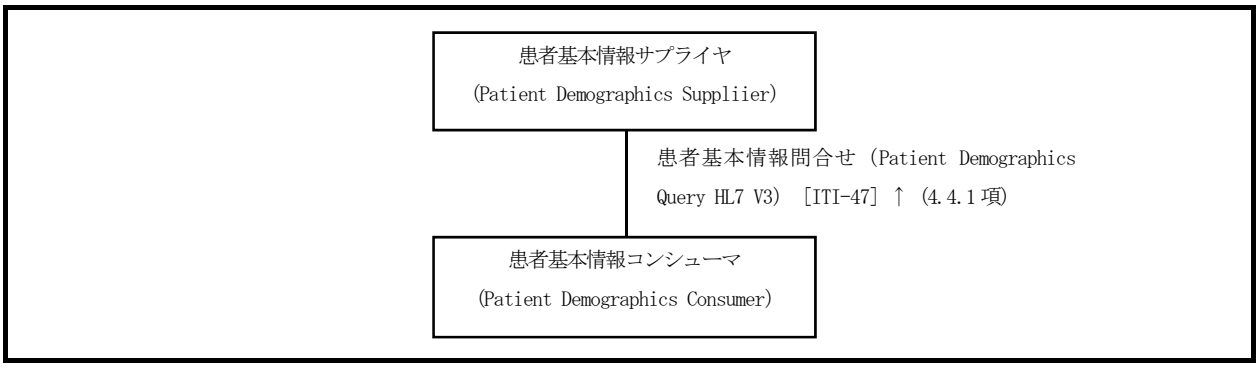


図 4-25 PDQV3 統合プロファイルのアクタ図

表 4-45 PDQV3 の IHE アクター一覧

No	IHE アクタ	説明
1	患者基本情報コンシューマ	検索パラメータを使用して患者基本情報を検索する。
2	患者基本情報サプライヤ	患者基本情報利用者からの問い合わせに対して、検索条件にマッチした患者基本情報を返す。

4.4. トランザクション定義（PDQV3）

PDQV3 統合プロファイルで定義されるトランザクションを表 4-46 に示す。本統合プロファイルには、患者基本情報問合せ（HL7 V3版）[ITI-47]が定義されている。

表 4-46 PDXV3 のトランザクション一覧

IHE アクタ	トランザクション	説明	オプショナリティ	掲載項
患者基本情報コンシューマ	患者基本情報問合せ(HL7 V3 版)(Patient Demographics Query HL7 V3[ITI-47])	患者基本情報の問合せを行う。	R	4.4.1
患者基本情報サプライヤ	患者基本情報問合せ(HL7 V3 版)(Patient Demographics Query HL7 V3[ITI-47])	患者基本情報の問合せを受け応答を返す。	R	4.4.1

© JAHIS 2014

4.4.1. 患者基本情報問合せ（ HL7 V3 版） [ITI-47]

図 4-26 に、本メッセージを実現する HL7 V3 メッセージインタラクションを示す。１つのメッセージインタラクションには、《患者基本情報コンシューマ》からの送信メッセージと、《患者基本情報サプライヤ》からの応答メッセージが定義される。従って本項には「4.4.1.2.1 患者基本情報照会メッセージ (Patient Registry Find Candidates Query)」、「4.4.1.2.2 患者基本情報照会応答メッセージ (Patient Registry Find Candidates Query Response)」の 2 種類のメッセージ定義が含まれる。図 4-26 において、メッセージ名の後の括弧内の番号は、本書の掲載項番号を示す。また、メッセージ名の下の記号は、対応する HL7 V3 メッセージインタラクションの成果物識別子を示す。

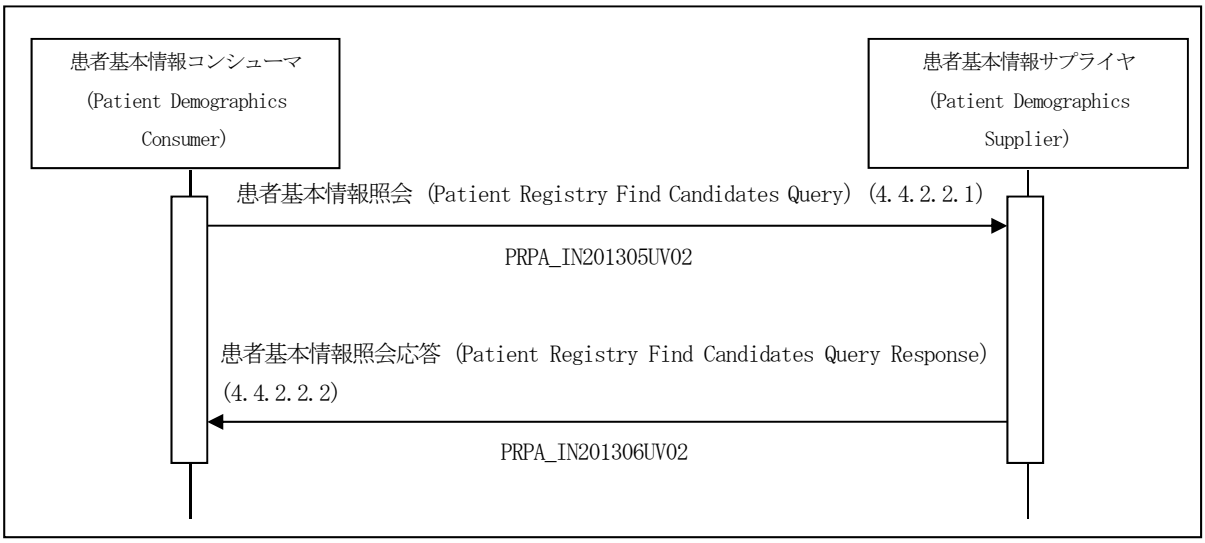


図 4-26 患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）のインタラクション

１）患者基本情報問合せインタラクション

患者基本情報を検索するためのインタラクション。XML 定義表の関係を図 4-27 に示し、メッセージインタラクションの構成要素を表 4-47 及び、表 4-48 に示す。

© JAHIS 2014

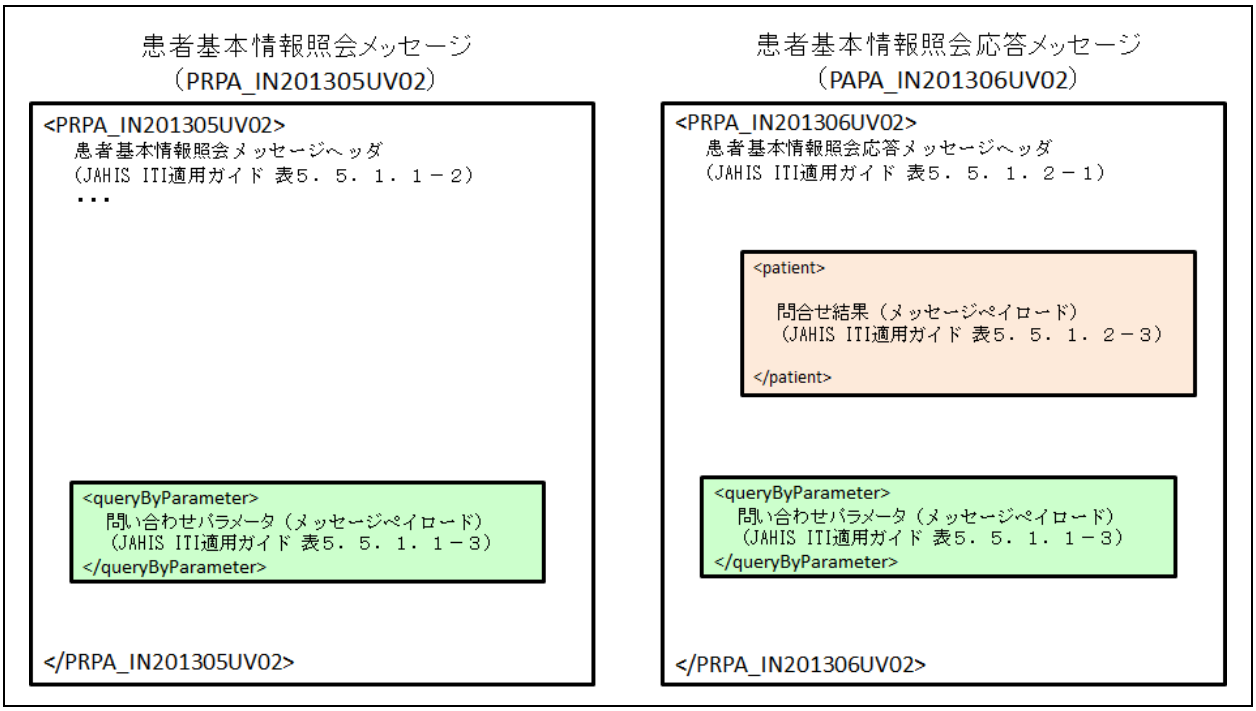


図 4-27 患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）の XML 定義表の関係

表 4-47 患者基本情報照会メッセージインタラクション

種別	名前	成果物識別子	備考
メッセージインタラクション	Patient Registry Find Candidates Query	PRPA_IN201305UV02	成果物識別子は、患者 ID 照会メッセージのルート要素名となる。また、その成果物識別子を JAHIS ITI 適用ガイド 表の５．５．１．１－２ XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Query Placer	PRPA_AR201303UV02	《患者基本情報コンシューマ》に対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Query Filler	PRPA_AR201304UV02	《患者基本情報サプライヤ》に対応する。
トリガイベント	Patient Registry Find Candidates Query	PRPA_TE201305UV02	成果物識別子を JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－２ XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Send Message Payload	MCCI_MT000100UV01	対応する XML 定義は、JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－２に含まれる。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	Query Control Act Request: Query By Parameter	QUQI_MT021001UV01	対応する XML 定義は、JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－２に含まれる。
メッセージ型（ペイロード）	Patient Registry Query By Demographics	PRPA_MT201306UV02	対応する XML 定義は JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－３に含まれる。
受信者責務	トリガイベント	PRPA_TE201306UV02	受信アプリケーションは問合せの応答を返さなければならない。
	インタラクション	PRPA_IN201306UV02	応答メッセージのインタラクション。

© JAHIS 2014

表 4-48 患者基本情報照会応答メッセージインタラクション

種別	名前	識別子	備考
メッセージインタラクション	Patient Registry Find Candidates Query Response	PRPA_IN201306UV02	成果物識別子は、患者 ID 照会応答メッセージのルート要素名となる。 また、その成果物識別子を JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－１の XML No 4.2 に設定する。
送信アプリケーションロール	Patient Registry Query Filler	PRPA_AR201304UV02	《患者基本情報サプライヤ》に対応する。
受信アプリケーションロール	Patient Registry Query Placer	PRPA_AR201303UV02	《患者基本情報コンシューマ》に対応する。
トリガイベント	Patient Registry Find Candidates Query Response	PRPA_TE201306UV02	成果物識別子を JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－１の XML No 11.4.1 に設定する。
伝送ラッパー	Application Level Acknowledgement	MCCI_MT000300UV01	対応する XML 定義は、JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－１に含まれる。
トリガイベントコントロールアクトラッパー	Master File / Registry Query Response,Role Subject	MFMI_MT700711UV01	対応する XML 定義は、JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－１に含まれる。
クエリ応答タイプ	Patient Registry Find Candidates Response	PRPA_MT201310UV02	対応する XML 定義は JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－３に含まれる。
クエリ定義	Patient Registry Query By Demographics	PRPA_MT201306UV02	対応する問合せメッセージのペイロードのメッセージ型。

２）患者基本情報照会メッセージの検索パラメータ

患者基本情報照会メッセージに使用する検索パラメータを表 4-49 に示す。

表 4-49 患者基本情報照会メッセージの検索パラメータ

No	パラメータ名	XML 定義	パラメータ識別子（semanticsText）	説明	必須／任意	多重度
1	患者氏名（LivingSubjectName）	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－３ XMLNo 7.4	LivingSubject.name	問合せ対象となる個人の氏名を表すパラメータ。単一の HL7 V3 データ型 PN 型を使用する。 1)姓のみ、2)名のみ、3)姓名を指定、4)姓名区別なし、の４つの方法でパラメータを設定することができるが、本書では、MPI の患者氏名は姓名分けて格納されているため 4)は使用しない。 また use 属性にコード表 7-9「名前使用コード」を使うことで、漢字氏名、カナ氏名、	任意	0..*

© JAHIS 2014

				ローマ字の 3 種類を指定することができる。 ただし、本書では、ローマ字は使用しない。 もし完全一致検索ではなく部分一致検索で照会する場合には、use 属性に「SRCH」を指定する。「SRCH」を指定した場合の検索方法は、XML No.6.1.1.1 に指定されたマッチングアルゴリズムに従う。複数の属性値を指定する場合は、例 1)のように半角スペースで区切る。 1)姓のみ指定（部分一致検索） <value use=”SYL SRCH”> <family>ヤマ</family> </value> 2)名のみ指定 <value use=”SYL”> <given>タロウ</given> </value> 3)姓名を指定 <value use=”SYL”> <family>ヤマダ</family> <given>タロウ</given> </value>		
2	患者性別（LivingSubjectAdministrativeGender)	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－３ XMLNo 7.1	LivingSubject.administrativeGender	問合せ対象となる個人の性別を表すパラメータ。コード表 7-10「性別コード」からのコードを指定する。 1) 男性 <value code=M” codeSystem=”2.16.840.1.113883.12.1”/> 2) 女性 <value code=F” codeSystem=”2.16.840.1.113883.12.1”/>	任意	0..1
3	患者生年月日（LivingSub	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－３	LivingSubject.birthTime	問合せ対象となる個人の生年月日、及び、時間を表す。1) 特定の日付または時刻、2)日付の期	任意	0..1

© JAHIS 2014

	jectBirthTime)	XMLNo 7.2		間、3)おおよその日付を示すことができる。期間を指定する場合には、inclusive 属性で開始または終了を検索範囲に含むか否かを指定することができる。 1) 1960 年 1 月 1 日 03:00 <value @xsi:type="TS" value="196001010300" /> 2) 1959 年 12 月 1 日～1960 年 3 月 31 日 <value> <low value="19591201" inclusive="true" /> <high value="19600331" inclusive="true" /> </value> 3) 1960 年 1 月 <value @xsi:type="TS" value="196001" />		
4	患者住所（PatientAddress)	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－３ XMLNo 7.7	Patient.addr	問合せ対象となる個人に関連する１つ以上の住所を表す。住所は、都道府県や市区町村などの要素を構造化して記述することが望ましいが、記載ルールを整備し、一定のコンセンサスを得る必要がある。本書では、非構造化データとしてのみ設定することとし、共通データ仕様「6.6 住所（非構造化データ)」を使用する。 例）非構造化指定 <value>東京都港区新橋９－８－７</value>	任意	0..1
5	地域患者 ID／ローカル患者 ID（LivingSubjectId)	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－３ XMLNo 7.3	LivingSubject.id	問合せ対象となる患者 ID を表す。複数の ID が指定された場合には、全ての ID がマッチする必要がある。 例) <value root="1.2.3.4" extension="1234" />	任意	0..*

© JAHIS 2014

6	その他の ID OtherIDsScopingOrganization Parameter	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－３ XMLNo 7.6	OtherIDs.scopingOrganization.id	問合せ対象となる患者 ID の患者 ID ドメイン（割当機関）を表すパラメータ。HL7 V3 データ型 II 型を使用し、割当機関を示す ISO OID を指定する。 本パラメータが指定された場合、患者 ID またはその他の ID として返却される ID は、指定された患者 ID ドメインのみの ID となる。本パラメータが指定されなかった場合、《患者基本情報サプライヤ》が知りうる全ての患者 ID ドメインの ID を返す。 例) <value root=”1.2.3.4”/>	任意	0..1
7	母親の旧姓（MothersMaidenName）	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．１－３ XMLNo 7.5	Person.MothersMaidenName	問合せ対象となる個人の母親の旧姓を指定する任意パラメータ。 「Patient Demographics」オプションをサポートする場合のみ使用可能。指定方法は、LivingSubjectName と同様である。	未使用	－
8	患者電話番号（PatientTelecom）	JAHIS ITI 適用ガイド表５．５．１．１－３ XMLNo 7.8	Patient.telecom	問合せ対象となる個人の電話番号またはメールアドレスを指定する任意パラメータ。 「Patient Demographics」オプションをサポートする場合のみ使用可能。 1)電話番号、2)FAX 番号、3)電子メールアドレスを指定することができる。 1)電話番号 <value value=”tel:03-1111-2222”/> 2)FAX 番号 <value value=”fax:03-1111-9999”/> 3)電子メールアドレス <value value=”mailto:test@tmporg.jp”/>	未使用	－

© JAHIS 2014

2）応答情報の項目

患者基本情報照会応答メッセージの主要な項目を表 4-50 に示す。応答メッセージで返却される患者 ID は、IHE ITI の仕様では、patient/id 要素（XML No 1.2）と asOtherIDs/id 要素（XML No 1.6.16.2）の 2 か所に設定することが可能である。そのうち、patient/id 要素には最低 1 つの患者 ID が設定されなければならない。また、asOtherIDs/id 要素は、患者に関係する運転免許証番号など付加的な識別子を設定する目的で使用される。本書では、すべての ID は patient/id 要素に設定するものとし、asOtherIDs 要素は使用しない。

表 4-50 患者 ID 照会応答メッセージの主要な項目

No	項目名	XML 定義	説明	制約	多重度
1	地域患者 ID	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－２ XML No 1.2	メッセージ送信側（《患者基本情報サプライヤ》）は、メッセージペイロードの patient 要素の id 要素に設定する。 root 属性には、地域ドメインの OID を指定する。 extension 属性には、root に指定されたドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。地域患者 ID に相当する。 メッセージ受信側（《患者基本情報コンシューマ》）は、patient 要素の id 要素に設定された複数の患者 ID のうち、root 属性の OID により、どれが地域患者 ID であるかを識別する必要がある。 例） ・地域ドメインの OID：1.2.3.4.5 ・地域患者 ID：987654 <id root="1.2.3.4.5" extension="987654"/>	1 と 2 のいずれかは必須	0..1
2	ローカル患者 ID	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－２ XML No 1.2	メッセージ送信側（《患者基本情報サプライヤ》）は、メッセージペイロードの patient 要素の id 要素に設定する。 root 属性には、ローカル患者 ID の発行施設の OID を指定する。 extension 属性には、root に指定されたドメインの中でユニークな患者識別子を指定する。ローカル患者 ID に相当する。 メッセージ受信側（《患者基本情報コンシューマ》）は、patient 要素の id 要素に設定された複数の患者 ID のうち、root 属性の OID により、どれがローカル患者 ID であるかを識別する必要がある。	1 と 2 のいずれかは必須	0..*

© JAHIS 2014

			例) ・医療機関の OID：1.2.3.4.6 ・ローカル患者 ID：001234 <id root="1.2.3.4.6 " extension="001234"/>		
3	患者氏名	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－２ XML No 1.6.3	メッセージ送信側(《患者基本情報サプライヤ》)は、共通データ仕様「氏名（漢字・カナ)、ミドルネーム有」を使用して設定する。 メッセージ受信側（《患者基本情報コンシューマ》）は、漢字氏名、カナ氏名の要素の順番は任意であることに留意する。use 属性の値により識別しなければならない。 例) ・患者太郎（カンジャタロウ) <name use="IDE"> <family>患者</family> <given>太郎</given> </name> <name use="SYL"> <family>カンジャ</family> <given>タロウ</given> </name>	必須	1..1
4	性別	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－２ XML No 1.6.5	メッセージ送信側(《患者基本情報サプライヤ》)は、共通データ仕様「性別」を使用して設定する。 メッセージ受信側（《患者基本情報コンシューマ》）は、共通データ仕様「性別」に従って、コード表 7-10「性別コード」より患者の性別を識別する。	任意	0..1
5	生年月日	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－２ XML No 1.6.6	メッセージ送信側(《患者基本情報サプライヤ》)は、共通データ仕様「6.4 生年月日」を使用して西暦で設定する。 メッセージ受信側（《患者基本情報コンシューマ》）は、共通データ仕様「6.4 生年月日」に従って患者の生年月日を識別する。	任意	0..1
6	住所	JAHIS ITI 適用ガイド 表５．５．１．２－２ XML No 1.6.11	メッセージ送信側(《患者基本情報サプライヤ》)は、共通データ仕様「6.6 住所（非構造化データ)」を使用して、患者の住所を非構造化された形式で設定する。	任意	0..*

© JAHIS 2014

4.4.1.1. インターフェース定義

患者基本情報問合せ（HL7 V3　版）の Web サービスインターフェース仕様を、表 4-51、表 4-52、及び、表 4-53 に示す。《患者基本情報サプライヤ》は、SOAP メッセージ形式の患者 ID 照会メッセージを受理することができ、SOAP メッセージ形式の患者基本情報照会応答メッセージを応答できなければならない。《患者基本情報コンシューマ》は、 SOAP メッセージ形式の患者基本情報照会メッセージを生成することができ、SOAP メッセージ形式の患者基本情報照会応答メッセージを受理できなければならない。

なお、WSDL は、JAHIS IHE ITI 適用ガイド「5.4 インターフェース定義」と同じであるが、本書において、インターフェース定義の表現方法を変更したため再掲する。

表 4-51 患者基本情報問合せメッセージで使用する XML 名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:pixv3:2007
wsoap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchema
xsi	http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance
hl7	urn:hl7-org:v3

表 4-52 患者基本情報問合せメッセージで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
hl7:PRPA_IN201305UV02	PRPA_IN201305UV02.xsd
hl7:PRPA_IN201306UV02	PRPA_IN201306UV02.xsd

表 4-53 患者基本情報問合せ WSDL 定義

WSDL			
PDQSupplier.wsdl			
ポートタイプ			
PDQSupplier_PortType			
オペレーション			
患者基本情報問合せ　(PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02)			
	入力メッセージ	患者基本情報照会メッセージ（tns:PRPA_IN201305UV02_Message）	
		part	Body
		要素	hl7:PRPA_IN201305UV02
		アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201305UV02
	出力メッセージ	患者基本情報照会応答メッセージ（tns:PRPA_IN201306UV02_Message）	
		part	Body
		要素	hl7:PRPA_IN201306UV02
		アクション	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201306UV02
バインディング（SOAP 1.2 binding）			
PDQSupplier_Binding_Soap12			
ポートタイプ	tns:PDQSupplier_PortType		
バインディングスタイル	文書指向（document）		
トランスポート	HTTP		

© JAHIS 2014

	オペレーション	PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02	SOAPAction	urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201305UV02
			input	リテラル形式（literal）
			output	リテラル形式（literal）
サービス				
	PIXManager_Service			
	バインディング	tns:PDQSupplier_Binding_Soap12		

患者基本情報問合せのWSDLの例を図 4-28に示す。本例は、当該メッセージに関連する部分のみを抜粋したものであり、完全な例は、ITIのFTPサイト（9.1引用規格 IHE ITI TF-2x Appendix W）を参照のこと。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<definitions name="PDQSupplier" targetNamespace="urn:ihe:iti:pdqv3:2007"
xmlns:tns="urn:ihe:iti:pdqv3:2007" xmlns:wsoap11="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns:wsoap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/"
xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
  <documentation>Example WSDL for PDQ Patient Demogrpahics Supplier</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include
schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201305UV02.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:hl7-org:v3"
xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include
schemaLocation="../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN201306UV02.xsd"/>
    </xsd:schema>
    ～
  </types>
  <message name="PRPA_IN201305UV02_Message">
    <part element="hl7:PRPA_IN201305UV02" name="Body"/>
  </message>
  <message name="PRPA_IN201306UV02_Message">
    <part element="hl7:PRPA_IN201306UV02" name="Body"/>
  </message>
  ～
  <portType name="PDQSupplier_PortType">
    <operation name="PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02">
      <input message="tns:PRPA_IN201305UV02_Message"
wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201305UV02"/>
      <output message="tns:PRPA_IN201306UV02_Message"
```

© JAHIS 2014

```
wsaw:Action="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201306UV02"/>
    </operation>
    ～
  </portType>
  <binding name="PDQSupplier_Binding_Soap12" type="tns:PDQSupplier_PortType">
    <wsoap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    <operation name="PDQSupplier_PRPA_IN201305UV02">
      <wsoap12:operation soapAction="urn:hl7-org:v3:PRPA_IN201305UV02"/>
      <input>
        <wsoap12:body use="literal"/>
      </input>
      <output>
        <wsoap12:body use="literal"/>
      </output>
    </operation>
    ～
  </binding>
  <service name="PDQSupplier_Service">
    <port binding="tns:PDQSupplier_Binding_Soap12" name="PDQSupplier_Port_Soap12">
      <wsoap12:address location="http://example.org/PDQSupplier_Soap12"/>
    </port>
  </service>
</definitions>
```

図 4-28 WSDL の例（患者基本情報問合せ（HL7 V3 版））

4.4.1.2. メッセージ定義

4.4.1.2.1. 患者基本情報照会メッセージ（Patient Registry Find Candidates Query）

JAHIS IHE ITI 適用ガイド「5.5.1.1 患者基本情報照会メッセージ（Patient Registry Find Candidates Query（PRPA_IN201305UV02））」を参照のこと。メッセージサンプルを図 4-29 に示す。図中の番号は、表 4-54 に示す設定値を表す。

表 4-54 患者基本情報照会メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	照会実施者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99997.2.7766
2	照会実施者 ID（識別子）	USR5568
3	照会実施者職種	MedicalDoctor（医師）
4	照会実施者氏名	イシタロウ
5	照会実施者所属医療機関（OID）	1.2.392.200119.6.102
6	照会実施者所属医療機関（識別子）	1398765432
7	問合せメッセージ ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.28.1.18.5.999
8	問合せメッセージ ID（識別子）	18204
9	問合せ要求上限	5 レコード

© JAHIS 2014

10	マッチングアルゴリズム	前方一致（JAHIS IHE ITI 適用ガイド コード表 9-12 を使用した例）
11	最小関連度	75
12	検索条件：性別	男性（M）
13	検索条件：生年月日	1963 年 8 月 4 日
14	検索条件：カナ氏名	カンジャ
15	検索条件：対象患者 ID ドメイン１（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
16	検索条件：対象患者 ID ドメイン２（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.1
17	検索条件：対象患者 ID ドメイン３（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.9999

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201305UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN2013
05UV02.xsd" xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="1.2.840.114350.1.13.0.1.7.1.1" extension="35423"/>
  <creationTime value="20130428150301"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201305UV02"/>
  <processingCode code="T"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="AL"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.999.234"/>
      <telecom value="http://servicelocation/PDQuery"/>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.999.567"/>
    </device>
  </sender>
  <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
    <code code="PRPA_TE201305UV02" codeSystem="2.16.840.1.113883.1.18"/>
    <authorOrPerformer typeCode="AUT" contextControlCode="AP">
      <time>
        <center value="20130428150300"/>
      </time>
      <modeCode code="ELECTRONIC" codeSystem="2.16.840.1.113883.5.1064"
codeSystemName="ParticipationMode" displayName="electronic data"/>
      <assignedPerson classCode="ASSIGNED">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.7766" extension="USR5568"/> 1  2
        <code code="MedicalDoctor" codeSystem="1.2.840.114350.1.13.99999.5.1" codeSystemName="
職種コード" displayName="医師"/>  3
        <assignedPerson classCode="PSN" determinerCode="INSTANCE">
```

© JAHIS 2014

```
        <name use="SYL">イシタロウ</name>
      </assignedPerson>
      <representedOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
        <id root="1.2.392.200119.6.102" extension="1398765432"/>
      </representedOrganization>
    </assignedPerson>
  </authorOrPerformer>
  <queryByParameter>
    <queryId root="1.2.840.114350.1.13.28.1.18.5.999" extension="18204"/>
    <statusCode code="new"/>
    <initialQuantity value="5"/>
    <matchCriterionList>
      <matchAlgorithm>
        <value xsi:type="ST">PFXM</value>
        <semanticsText>MatchAlgorithm</semanticsText>
      </matchAlgorithm>
      <minimumDegreeMatch>
        <value xsi:type="INT" value="75"/>
        <semanticsText>MinimumDegreeMatch</semanticsText>
      </minimumDegreeMatch>
    </matchCriterionList>
    <parameterList>
      <livingSubjectAdministrativeGender>
        <value code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"/>
        <semanticsText>LivingSubject.administrativeGender</semanticsText>
      </livingSubjectAdministrativeGender>
      <livingSubjectBirthTime>
        <value value="19630804"/>
        <semanticsText>LivingSubject..birthTime</semanticsText>
      </livingSubjectBirthTime>
      <livingSubjectName>
        <value xsi:type="PN" use="SYL SRCH">
          <family>カンジャ</family>
        </value>
        <semanticsText>LivingSubject.name</semanticsText>
      </livingSubjectName>
      <otherIDsScopingOrganization>
        <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
        <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
      </otherIDsScopingOrganization>
      <otherIDsScopingOrganization>
        <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.1"/>
        <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
      </otherIDsScopingOrganization>
      <otherIDsScopingOrganization>
        <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.9999"/>
```

4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

© JAHIS 2014

```
        <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
      </otherIDsScopingOrganization>
    </parameterList>
  </queryByParameter>
 </controlActProcess>
</PRPA_IN201305UV02>
```

図 4-29 患者基本情報照会メッセージのサンプル

4.4.1.2.2. 患者基本情報照会応答メッセージ（Patient Registry Find Candidates Query Response）

JAHIS IHE ITI 適用ガイド「5.5.1.2 患者基本情報照会応答メッセージ (Patient Registry Find Candidates Query Response (PRPA_IN201306UV02))」を参照のこと。メッセージサンプルをに示す。図中の番号は表 4-55 に示す設定値を表す。

表 4-55 患者基本情報照会応答メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	検索結果１：患者 ID（患者 ID ドメイン１）	1.2.840.114350.1.13.99998.8734 / 012345
2	検索結果１：患者 ID（患者 ID ドメイン２）	1.2.840.114350.1.13.99998.1 / 0000087654
3	検索結果１：患者 ID（患者 ID ドメイン３）	1.2.840.114350.1.13.99998.9999 / taro@sample.com
4	検索結果１：氏名	患者太郎
5	検索結果１：カナ氏名	カンジャタロウ
6	検索結果１：性別	男性 (M)
7	検索結果１：生年月日	1963 年 8 月 4 日
8	検索結果１：住所	105-0004 東京都港区新橋２丁目５－５
9	検索結果１：検索確度	92
10	検索結果２：患者 ID（患者 ID ドメイン１）	1.2.840.114350.1.13.99998.8734 / 032105
11	検索結果２：患者 ID（患者 ID ドメイン２）	1.2.840.114350.1.13.99998.1 / 0000055667
12	検索結果２：患者 ID（患者 ID ドメイン３）	1.2.840.114350.1.13.99998.9999 / NULL(No Information)
13	検索結果２：氏名	患者一郎
14	検索結果２：カナ氏名	カンジャイチロウ
15	検索結果２：性別	男性 (M)
16	検索結果２：生年月日	1963 年 8 月 4 日
17	検索結果２：住所	100-0001 東京都千代田区
18	検索結果２：検索確度	92
19	問合せ応答コード	返却値存在 (OK)
20	検索条件：性別	男性 (M)
21	検索条件：生年月日	1963 年 8 月 4 日
22	検索条件：カナ氏名	カンジャ
23	検索条件：対象患者 ID ドメイン１ (OID)	1.2.840.114350.1.13.99998.8734
24	検索条件：対象患者 ID ドメイン２ (OID)	1.2.840.114350.1.13.99998.1
25	検索条件：対象患者 ID ドメイン３ (OID)	1.2.840.114350.1.13.99998.9999

© JAHIS 2014

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<PRPA_IN201306UV02 xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:hl7-org:v3 ../../schema/HL7V3/NE2008/multicacheschemas/PRPA_IN2013
06UV02.xsd" xmlns="urn:hl7-org:v3" ITSVersion="XML_1.0">
  <id root="1.2.840.114350.1.13.999.238" extension="55789"/>
  <creationTime value="20070428150302"/>
  <interactionId root="2.16.840.1.113883.1.6" extension="PRPA_IN201306UV02"/>
  <processingCode code="T"/>
  <processingModeCode code="T"/>
  <acceptAckCode code="NE"/>
  <receiver typeCode="RCV">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.999.567"/>
    </device>
  </receiver>
  <sender typeCode="SND">
    <device classCode="DEV" determinerCode="INSTANCE">
      <id root="1.2.840.114350.1.13.999.234"/>
      <telecom value="http://servicelocation/PDQuery"/>
    </device>
  </sender>
  <acknowledgement>
    <typeCode code="AA"/>
    <targetMessage>
      <id root="1.2.840.114350.1.13.0.1.7.1.1" extension="35423"/>
    </targetMessage>
  </acknowledgement>
  <controlActProcess classCode="CACT" moodCode="EVN">
    <code code="PRPA_TE201306UV02" codeSystem="2.16.840.1.113883.1.18"/>
    <subject typeCode="SUBJ">
      <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
        <statusCode code="active"/>
        <subject1 typeCode="SBJ">
          <patient classCode="PAT">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="012345"/>
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.1" extension="0000087654"/>
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.9999" extension="taro@sample.com"/>
            <statusCode code="active"/>
            <patientPerson>
              <name use="IDE">
                <family>患者</family>
                <given>太郎</given>
              </name>
              <name use="SYL">
```

1

2

3

4

© JAHIS 2014

```
            <family>カンジャ</family>
            <given>タロウ</given>
          </name>
          <administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"/>
          <birthTime value="19630804"/>
          <addr>
            <postalCode>105-0004</postalCode>
            東京都港区新橋２丁目５－５
          </addr>
        </patientPerson>
        <providerOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
          <name>JAHIS病院</name>
          <contactParty classCode="CON">
            <telecom value="tel:03-9999-9999"/>
          </contactParty>
        </providerOrganization>
        <subjectOf1>
          <queryMatchObservation classCode="COND" moodCode="EVN">
            <code code="DOM" codeSystem="1.2.840.114350.1.13.99999.5.7"/>
            <value xsi:type="INT" value="92"/>
          </queryMatchObservation>
        </subjectOf1>
      </patient>
    </subject1>
    <custodian typeCode="CST">
      <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
      </assignedEntity>
    </custodian>
  </registrationEvent>
</subject>
<subject typeCode="SUBJ">
  <registrationEvent classCode="REG" moodCode="EVN">
    <id nullFlavor="NA"/>
    <statusCode code="active"/>
    <subject1 typeCode="SBJ">
      <patient classCode="PAT">
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734" extension="032105"/>
        <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.1" extension="0000055667"/>
        <statusCode code="active"/>
        <patientPerson>
          <name use="IDE">
            <family>患者</family>
            <given>一郎</given>
          </name>
```

5 6 7 8 9 10 11 13

© JAHIS 2014

```
            <name use="SYL">                                    14
              <family>カンジャ</family>
              <given>イチロウ</given>
            </name>
            <administrativeGenderCode code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"/>   15
            <birthTime value="19630804"/>                       16
            <addr>
              <postalCode>100-0001</postalCode>                 17
              東京都千代田区
            </addr>
            <asOtherIDs classCode="CIT">
              <id nullFlavor="NI"/>
              <scopingOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
                <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.9999"/>     12
              </scopingOrganization>
            </asOtherIDs>
          </patientPerson>
          <providerOrganization classCode="ORG" determinerCode="INSTANCE">
            <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
            <name>JAHIS病院</name>
            <contactParty classCode="CON">
              <telecom value="tel:03-9999-9999"/>
            </contactParty>
          </providerOrganization>
          <subjectOf1>
            <queryMatchObservation classCode="COND" moodCode="EVN">
              <code code="DOM" codeSystem="1.2.840.114350.1.13.99999.5.7"/>
              <value xsi:type="INT" value="92"/>                18
            </queryMatchObservation>
          </subjectOf1>
        </patient>
      </subject1>
      <custodian typeCode="CST">
        <assignedEntity classCode="ASSIGNED">
          <id root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>
        </assignedEntity>
      </custodian>
    </registrationEvent>
  </subject>
  <queryAck>
    <queryId root="1.2.840.114350.1.13.28.1.18.5.999" extension="18204"/>
    <queryResponseCode code="OK"/>                              19
    <resultTotalQuantity value="2"/>
    <resultCurrentQuantity value="2"/>
    <resultRemainingQuantity value="0"/>
  </queryAck>
```

© JAHIS 2014

```
    <queryByParameter>
      <queryId root="1.2.840.114350.1.13.28.1.18.5.999" extension="18204"/>
      <statusCode code="new"/>
      <initialQuantity value="2"/>
      <parameterList>
        <livingSubjectAdministrativeGender>
          <value code="M" codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"/>     20
          <semanticsText>LivingSubject.administrativeGender</semanticsText>
        </livingSubjectAdministrativeGender>
        <livingSubjectBirthTime>
          <value value="19630804"/>     21
          <semanticsText>LivingSubject..birthTime</semanticsText>
        </livingSubjectBirthTime>
        <livingSubjectName>
          <value use="SYL SRCH">
            <family>カンジャ</family>     22
          </value>
          <semanticsText>LivingSubject.name</semanticsText>
        </livingSubjectName>
        <otherIDsScopingOrganization>
          <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.8734"/>     23
          <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
        </otherIDsScopingOrganization>
        <otherIDsScopingOrganization>
          <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.1"/>     24
          <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
        </otherIDsScopingOrganization>
        <otherIDsScopingOrganization>
          <value root="1.2.840.114350.1.13.99998.9999"/>     25
          <semanticsText>OtherIDs.scopingOrganization.id</semanticsText>
        </otherIDsScopingOrganization>
      </parameterList>
    </queryByParameter>
  </controlActProcess>
</PRPA_IN201306UV02>
```

図 4-30 患者基本情報照会応答メッセージのメッセージサンプル

4.4.1.3. セキュリティ要求

《患者基本情報コンシューマ》は、患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）[ITI-47]を使用し、《患者基本情報サプライヤ》に問合せを送信する際には、「患者基本情報問合せ」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

《患者基本情報サプライヤ》は、《患者基本情報コンシューマ》から患者基本情報問合せ(HL7 V3 版)[ITI-47]を受信した際には、「患者基本情報問合せ」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

© JAHIS 2014

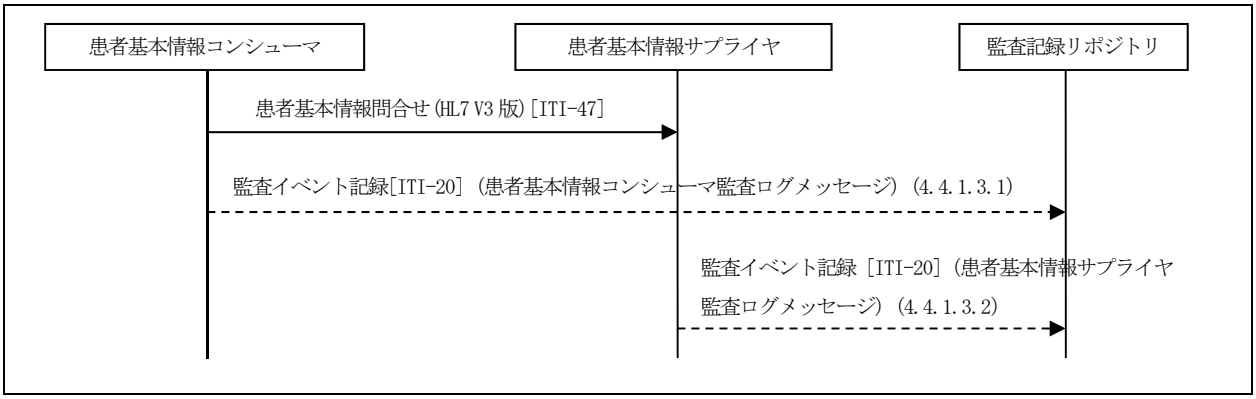


図 4-31 患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）[ITI-47]送受信時の監査ログメッセージ

4.4.1.3.1. 患者基本情報コンシューマ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《患者基本情報コンシューマ》が患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）[ITI-47]を実行した際の、患者基本情報問合せイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 4-56 患者基本情報コンシューマ監査ログメッセージ（患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）送信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連） (1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110118, IHEJ, “PDQ Query”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV “E”（実行）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-47”, “IHE Transactions”, “Patient Demographics Query”)
Source（問合せ元関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索を発行したプロセスの ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索を発行したプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索を発行したプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索を発行したプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの検索を発行したプロセスの役割。以下の値が入る。 EV（110153, DCM, “Source Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeC	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。

© JAHIS 2014

	ode		RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Human Requestor（他の関係者関連） （0..n） （AuditMessage/ActiveParticipant）	UserID	M	関係しており認識されている他の関係者の ID。特に要求者である人あるいはプロセスの ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	他の関係者の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	他の関係者の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	他の関係者が本イベントの要求者か否かを示す。 RFC3881 の規定に従う。
	RoleIDCode	U	他の関係者の役割。 RFC3881 の規定に従う。
	NetworkAccessPointTypeCode	NA	
	NetworkAccessPointID	NA	
Destination（問合せ元関連） (1) （AuditMessage/ActiveParticipant）	UserID	M	検索に応答するプロセスの ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索に応答するプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索に応答するプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索に応答するプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 “false”
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV（110152, DCM, “Destination Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source（発生源関連）	AuditSourceID	U	発生源のユニークな ID。
	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源の場所。AuditSourceID を

© JAHIS 2014

(1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)			就職するために使う。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源のタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Query（関係者オブジェクト関連(問合せ内容)） (1) (Participating Object)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2（システム）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 “24”（query）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。 EV(“ITI-47”, “IHE Transactions”, “Patient Demographics Query”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	U	関係者オブジェクトのインスタンスの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectQuery	M	base64 で符号化された検索内容。本内容は本装置開発ベンダにて内容が分析できなければならない。
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

4.4.1.3.2. 患者基本情報サプライヤ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《患者基本情報サプライヤ》が《患者基本情報コンシューマ》から患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）[ITI-47]を受信した際の、患者基本情報問合せイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 4-57 患者基本情報サプライヤ監査ログメッセージ（患者基本情報問合せ（HL7 V3 版）受信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連） (1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110118, IHEJ, “PDQ Query”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV “E”（実行）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-47”, “IHE Transactions”, “Patient Demographics Query”)
Source（問合せ元関	UserID	M	検索を発行したプロセスの ID。これは発生源

© JAHIS 2014

連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)			(AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索を発行したプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索を発行したプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索を発行したプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。 RFC3881 の規定に従う。
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの検索を発行したプロセスの役割。 以下の値が入る。 EV (110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Destination (問合せ元関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索に応答するプロセスの ID。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索に応答するプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索に応答するプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索に応答するプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 “false”
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV (110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source (発生源関連) (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditSourceID	M	発生源のユニークな ID。
	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源の場所。AuditSourceID を就職するために使う。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源のタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Query (関係者オブジェクト関連 (問合せ内容)) (1) (Participating	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 (システム)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 “24” (query)
	ParticipantObjectDataLi	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。

© JAHIS 2014

Object)	feCycle		RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDType Code	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。 EV(“ITI-47”, “IHE Transactions”, “Patient Demographics Query”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	U	関係者オブジェクトのインスタンスの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectQuery	M	base64 で符号化された検索内容。本内容は本装置開発ベンダにて内容が分析できなければならない。
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

4.4.1.4. その他の注意事項

問合せを受信した《患者基本情報サプライヤ》に期待される動作について、JAHIS IHE ITI 適用ガイドの「5.6.1　患者基本情報サプライヤに期待されるアクション」の解説を参照のこと。

© JAHIS 2014

5. XDS.b

本章では、XDS.b 統合プロファイルについて、IHE ITI トランザクションの詳細を説明する。本書全体のスコープの中での本章の記述範囲を図 5-1 に示す。本章は、図 5-2 に示す通り、XDS.b の概要、メタデータ定義、トランザクション定義の４つの節から構成される。このうち、メタデータ定義は、主に ITI TF-3 (Cross-Transaction Specifications and Content Specifications)に規定された XDS メタデータの仕様のうち、本書に関連する部分を説明した節であり、このうちメタデータの XML 仕様は、トランザクション定義で説明する XDS.b の各メッセージ定義の中から参照される。トランザクション定義の構成は、4 章と同様であり、図 5-2 の構成をとる。

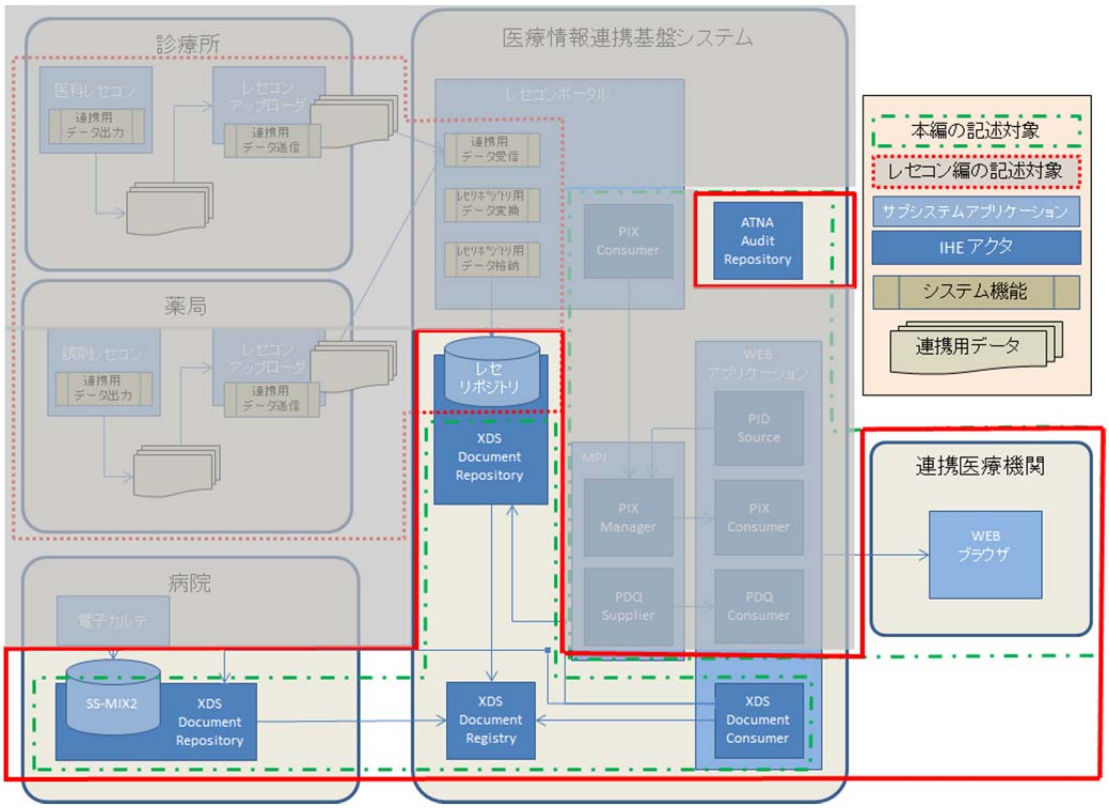


図 5-1 本章の記述範囲

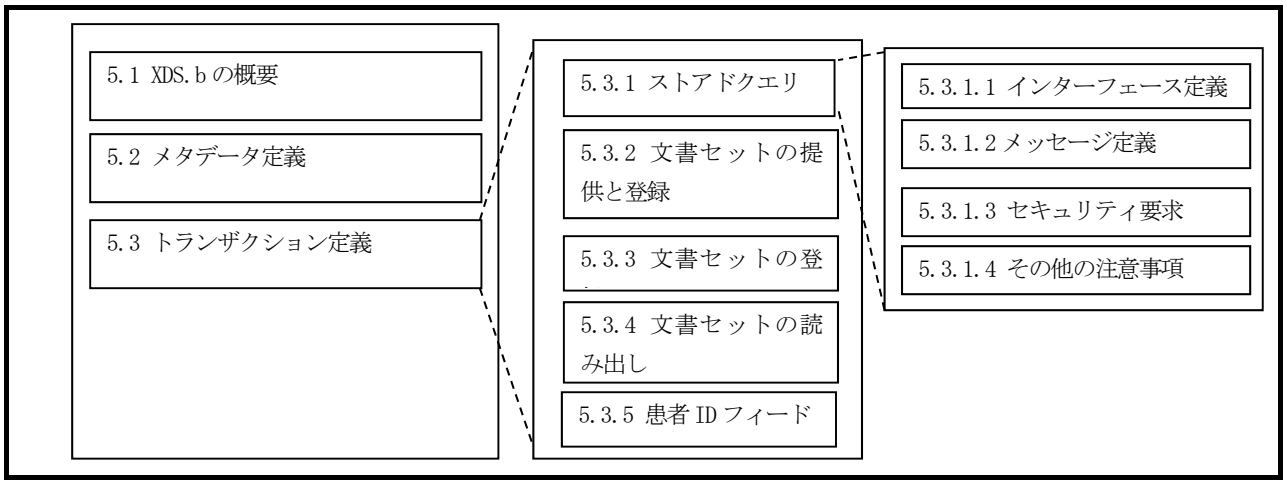


図 5-2　5 章「XDS.b」の章構成

© JAHIS 2014

5.1. XDS.b の概要

XDS.b 統合プロファイルは、同一の地域ドメイン（XDS アフィニティドメイン）に属する複数の医療機関の間で、患者の診療記録を文書として共有する仕組みを提供する。本統合プロファイルは、ebXML レジストリ標準と、SOAP 仕様に基づく。図 5-3、及び、表 5-1 に、XDS.b 統合プロファイルで定義される IHE アクタを示す。

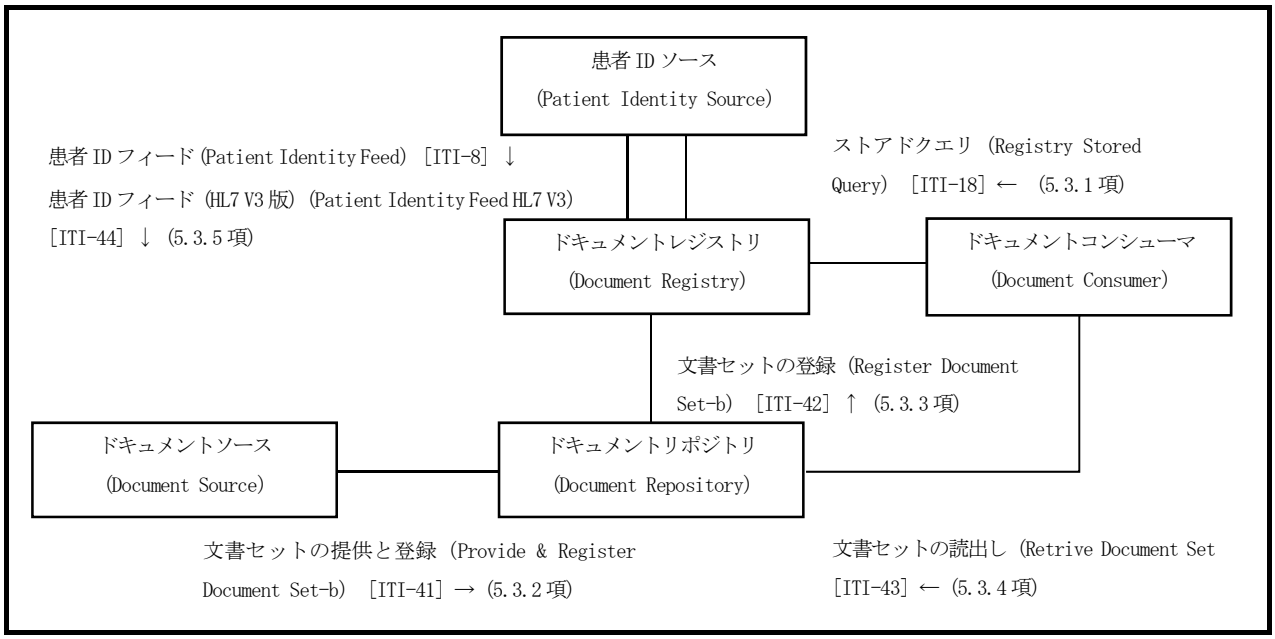


図 5-3 XDS.b 統合プロファイルのアクタ図

表 5-1 XDS.b の IHE アクター一覧

No	IHE アクタ	説明
1	ドキュメントコンシューマ (Document Consumer)	文書の利用者。《ドキュメントレジストリ》に対して文書の問合せを行ない、《ドキュメントリポジトリ》から文書を読み出す。
2	ドキュメントソース (Document Source)	文書、及び、文書のメタデータを提供する。
3	ドキュメントリポジトリ (Document Repository)	文書を保管するとともに、《ドキュメントレジストリ》への登録に対して責任を持つ。
4	ドキュメントレジストリ (Document Registry)	文書のメタデータを管理する。《ドキュメントコンシューマ》からの問合せに応答する。
5	統合化されたドキュメントソース／リポジトリ (Integrated Document Source/Repository)	《ドキュメントソース》と《ドキュメントリポジトリ》を単一のアクタに統合化したアクタ。
6	患者 ID ソース (Patient Identity Source)	文書に対するユニークな患者 ID を提供する。

© JAHIS 2014

5.2. メタデータ定義

本書では、IHE ITI で規定されたメタデータオブジェクト（Metadata Object Types）のうち、サブミッションセット（SubmissionSet）とドキュメントエントリ（DocumentEntry）を使用する。また、それらのメタデータを関連付ける 2 つの関連（Association Types）を使用する。サブミッションセットには、複数のドキュメントエントリを関連付けることができるが、本書では、1 つのサブミッションセットに対して、１つのドキュメントエントリを関連付けることを前提とする。

表 5-2 XDS メタデータ一覧

XDS メタデータ	分類	説明	掲載項
DocumentEntry	オブジェクト	1 つの文書のメタデータ。	5.2.2
SubmissionSet	オブジェクト	リポジトリに登録する、一連の文書を関連付ける。	5.2.3
HasMember	関連	文書間の関係を定義する。本書の範囲ではサブミッションセットとドキュメントエントリを関連付けるために使用する。	5.2.4
Relationship	関連	文書間の関連を表現する。本書では、IHE ITI で定義される Replace、Transform、Append、Transform and Replace、Signs の 5 種類の関連のうち、Replace と Append のみを使用する。	5.2.5

5.2.1. メタデータ属性の共通仕様

5.2.1.1. メタデータ属性のデータ型

メタデータ属性に使用するデータ型の仕様を示す。

表 5-3 メタデータ属性のデータ型

XDS データ型	元となった標準規格	符号化仕様
CX	HL7 V2 識別子	書式：IDNumber^^^&OIDofAA&ISO IDNumber: 識別子 OIDofAA：識別子発行機関の OID 例：543797436^^^&1.2.840.113619.6.197&ISO ‘&’は、XML 文書の中では実体参照を使用して「&」と記述されることに留意する。
DTM	HL7 V2 日時	書式：YYYY[MM[DD[hh[mm[ss]]]]] YYYY：西暦 MM： 月 DD: 日 HH：時間（24 時間） mm：分 ss:秒 レジストリ内の日時は全て UTC で表現する。
OID	ISO オブジェクト識別子	ISO オブジェクト識別子。文字数は 64 文字以内に制限される。 例：1.3.6.1.4.1.21367.2005.3.7

© JAHIS 2014

Field	HL7 V2 メッセージセグメント	HL7 V2 のメッセージセグメント。
SHA1	SHA1 アルゴリズムによる文書のハッシュ値	RFC3174 SHA1 によって計算されたハッシュ値。 [JAHIS] SHA1 の脆弱性の問題から使用が縮小される方向であることから本書では、SHA2 を使用するものとし、SHA1 は使用しない。
SHA2	SHA2 アルゴリズムによる文書のハッシュ値	[JAHIS] RFC5754 SHA2 によって計算されたハッシュ値。本書で追加。SHA1 の説明参照。
OID URN	RFC3061 OID の URN シンタックス。	例：urn :oid :1.3.6.1.4.1.21367.2005.3.7。
URN	RFC2141	事前に定義された URN。
UUID	ユニバーサル固有識別子	DCE Universally Unique Identifier (UUID) 。URN 表記を使用する。 例：urn:uuid:9e0110f8-4748-4f1e-b0a8-cecae32209c7
XON	HL7 V2 拡張複合組織 ID と名称	施設名。次の成分のみを使用する。 ・ XON.1 ： 施設名 (必須) ・ XON.6.2 ： 割当機関の ID 組織識別子が OID でない場合は必須。 ・ XON.6.3 ： 割当機関の ID 種別 組織識別子が OID でない場合は必須で値は「ISO」をとる。 ・ XON.10 ： 医療機関コード 医療機関コードが OID の場合、XON.10 のみに OID を指定する。医療機関コードが OID でない場合、割り当て機関の OID を XON.6 に指定し、XON.10 に医療機関コードを設定する。XON.6 と XON.10 を組み合わせた値をユニークな識別子として使用する。 例 1： A 病院^^^^^&1.2.392.200119.6.102&ISO^^^^1312345670 例 2： A 病院^^^^^^^^^1.2.392.200119.6.102.1312345670
数値	W3C XML Schema Part2	XML Schema Part 2 ： Data Types section 3.3.13
MIME Type	RFC 2046	
Code	ebRIM Classification	詳細は、0 項 ebRIM Classification の説明を参照。

HL7 V2 のフィールド値を使用する場合は、表 5-4 に示す標準の HL7 セパレータを使用する。

© JAHIS 2014

表 5-4 メタデータ属性で使用する HL7 セパレータ

種別	セパレータ
フィールドセパレータ	|
成分セパレータ	^
副成分セパレータ	&
反復セパレータ	~

メタデータの各属性は、ebRIM の仕様に基づいて XML で記述される。その記述方法は、使用する ebRIM の仕様により表 5-5 の通りに分類される。以下、0 項から 5.2.1.7 項で、それぞれの区分について XML によるコーディング方法を説明する。また、表 5-12 のドキュメントエントリの属性の説明、及び、表 5-15 のサブミッションセットの説明の「区分」列に、各メタデータ属性がどの方法で記述されるかを示す。

表 5-5 メタデータ属性のコーディング方法の分類

No	種類	区分	説明	掲載項
1	ebRIM 分類（ebRIM Classification）	CL	属性値は、Classification オブジェクトを使用してコード化される。	0
2	XML 属性	AT	属性値は、包含するオブジェクトの XML 属性として表現される。	5.2.1.4
3	ebRIM スロット（ebRIM Slot）	SL	属性値が ebRIM Slot として表現される。	5.2.1.5
4	ebRIM 外部識別子（ebRIM External Identifier）	EI	属性値が ebRIM External Identifier オブジェクトとして表現される。	5.2.1.6
5	ebRIM 名称（ebRIM Name）	NA	属性値が ebRIM Name オブジェクトとして表現される。本書で説明するメタデータ属性の中には該当する属性は含まれない。	－
6	ebRIM 説明（ebRIM Description）	DE	属性値が ebRIM Description オブジェクトとして表現される。本書で説明するメタデータ属性の中には該当する属性は含まれない。	－
7	作成者情報（Author）	AU	サブ属性を ebRIM Slot として含む、ebRIM Classification オブジェクトとして表現される。DocumentEntry の Author 属性、SubmissionSet の Author 属性で使用される。	5.2.1.7

© JAHIS 2014

5.2.1.2. レジストリオブジェクトリスト（Registry Object List）

レジストリへのメタデータの格納、及び、問合せの応答として返されるメタデータは、ebRIM の RegistryObjectList（レジストリオブジェクトリスト）オブジェクトとして表現される。図 5-4 に、メタデータの構成を示す。

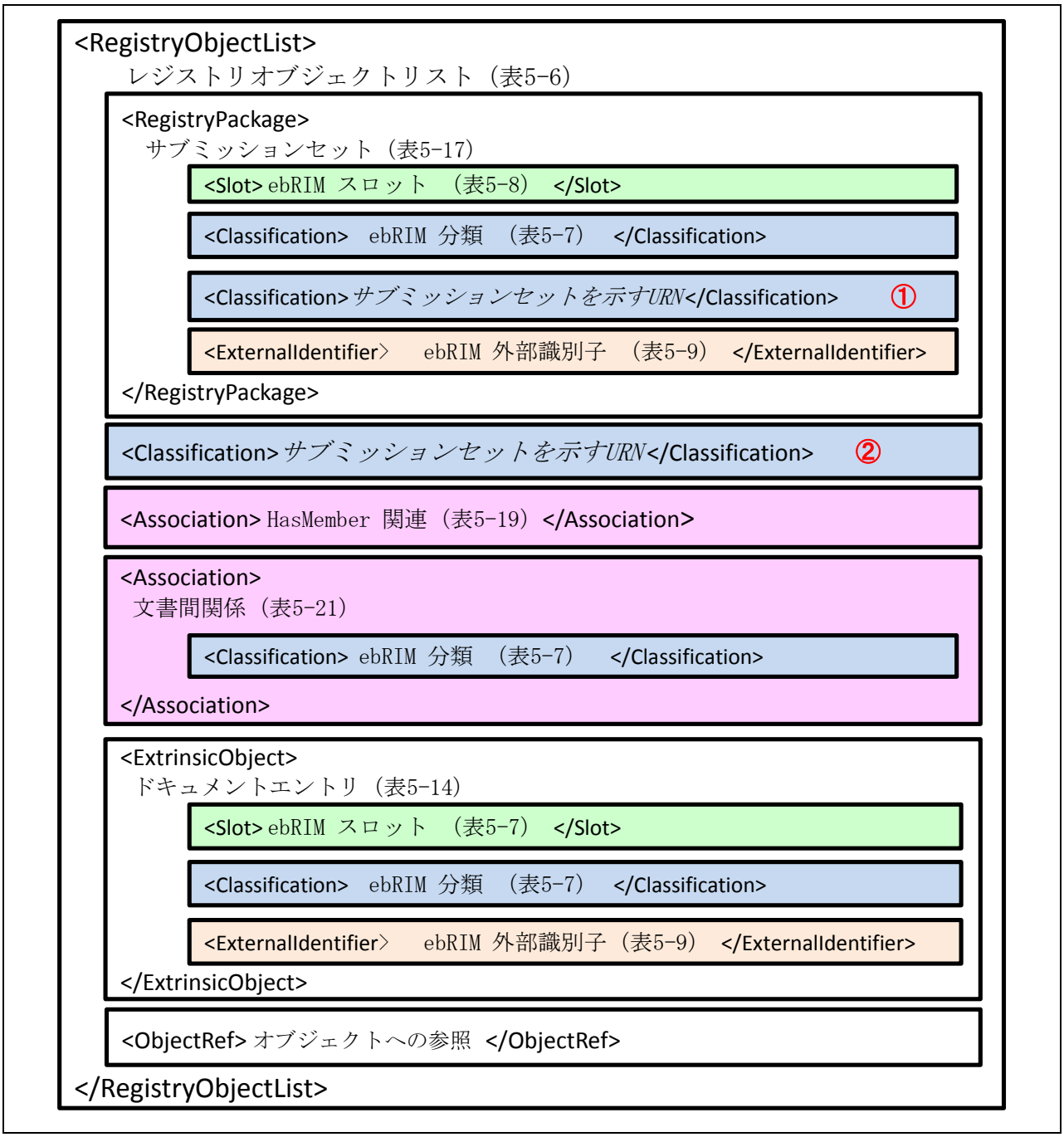


図 5-4 メタデータの構成

レジストリオブジェクトリストは、サブミッションセット、ドキュメントエントリ、関連（Association）のリストを含む。RegistryPackage 要素は、サブミッションセットであることを識別するための URN を持つ Classification 要素と組み合わせることで、その RegistryPackage 要素が、サブミッションセットを表現し

© JAHIS 2014

ていることを示す。その方法として、ebRIM では次の 2 つの方法が許容されている。

1. RegistryPackage の子要素として Classification 要素（①）を含む方法
2. RegistryPackage 要素と同一の階層に Classification 要素（②）を含む方法

いずれの場合も、Classification 要素の classifiedObject 属性は、関連する RegistryPackage の id 属性の値と一致していなければならない。

レジストリオブジェクトリストの XML 定義を表 5-6 に示す。

表 5-6 XML 定義（レジストリオブジェクトリスト）

rim :RegistryObjectList						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	rim :RegistryPackage	0 :0..*	**M :1..1**		サブミッションセットを表す。XML 定義の詳細は表 5-17 を参照。 XMLNo 1, 2, 3, 4 ,5 の出現順序は問わない。	
2	rim :Classfication	0 :0..1	0 :0..1		RegistryPackage が、サブミッションセットであることを示す。RegistryPackage と同じ階層の Classification 要素を使用する場合にはこの形式をとる。別の方法として、RegistryPackage の子要素の Classification 要素に、同様の情報を記述する方法もある。 XMLNo 1, 2, 3, 4 ,5 の出現順序は問わない。	
21	@classifiedObject	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	対応する RegistryPackage の id 属性の値。	●
22	@classficationNode	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	対応する RegistryPackage がサブミッションセットであることを示す UUID。 表 5-16 の「SubmissionSet」に示された UUID を設定する。	
23	@id	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	本 ClassificationObject を識別する ID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●
24	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Classification**」を設定する。登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）で使用する場合は任意であるが、問合せ応答系のトランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。	
3	rim :Association	0 :0..*	**M :1..1**		Association を表す。XML 定義の詳細は表 5-21 参照。 XMLNo 1, 2, 3, 4,5 の出現順序は問わない。	
4	rim :ExtrinsicObject	0 :0..*	**M :1..1**		ドキュメントエントリを表す。XML 定義の詳細は表 5-14 参照。 XMLNo 1, 2, 3, 4, 5 の出現順序は問わない。	
5	rim :ObjectRef	0 :0..*	0 :0..*		問合せ応答系トランザクション（[ITI-18]）の場合に使用する。返却タイプが「ObjectRef」の場合には、返却されるオブジェクトの ID（DocumentEntry.entryUUID、または、SubmissionSet.entryUUID）を返す。	

© JAHIS 2014

					「LeafClass」の場合には、返却されるオブジェクトリスト内のオブジェクトによって参照されるオブジェクト（オブジェクトリストには含まれない）の ID を返す。 XMLNo 1, 2, 3, 4 ,5 の出現順序は問わない。	
5.1	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	オブジェクトを識別する ID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●

5.2.1.3. ebRIM 分類（ebRIM Classification）

ebRIM 分類（ebRIM Classification）オブジェクトは、メタデータの中でコードとして表現される属性のために使用される。コードは、コード値、表示名、コード体系の 3 つの必須項目から構成される。複数のコード値を設定する場合は、rim:Classification 要素単位で繰り返す。

表 5-7 XML 定義（ebRIM Classification）

rim :Classification						
XMLNo	**要素 / 属性**	**IHE**	**JAHIS**	**記法**	**説明**	**設定区分**
1.1	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	本 Classification オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M :1..1	M :1..1	UUID	本 Classification オブジェクトが、どのメタデータ属性に対応するかを識別する IHE ITI で決められた UUID を設定する。ドキュメントエントリで使用する UUID は、表 5-13 参照のこと。サブミッションセットに使用する UUID は、表 5-16 を参照のこと。	
1.3	@classifiedObject	M :1..1	M :1..1	UUID	本 Classification オブジェクトが含まれるメタデータ内のオブジェクトの ID。DocumentEntry の場合、その entryUUID。	●
1.4	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）では任意であるが、問合せ応答系のトランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。設定する場合、 「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Classification**」を設定。	
1.5	@nodeRepresentation	M :1..1	M :1..1	コード	コード値を設定する。	●
2	rim :Slot	M :1..1	M :1..1		コード体系	
2.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「**codingScheme**」を設定。	
2.2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1			
2.2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
2.2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	コード体系を識別する名前または識別子を設定。	●

© JAHIS 2014

3	rim :Name	**M :1..1**	**M :1..1**		コード表示名	
3.1	rim :LocalizedString	**M :1..1**	**M :1..1**			
3.1.1	@charset	0 :0..1	0 :0..1	文字列	表示名の文字コード。デフォルト値は「**UTF-8**」。	●
3.1.2	@value	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	コード表示名を設定する。	●

ebRIM 分類の XML 例（DocumentEntry.classCode）

- コード：10160-0
- コード表示名：History and Physical
- コード体系：Connect-a-thon classCodes

```
<rim:Classification id="cl02"
classificationScheme="urn:uuid:41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="10160-0">
  <rim:Slot name="codingScheme">
    <rim:ValueList>
      <rim:Value>Connect-a-thon classCodes</rim:Value>
    </rim:ValueList>
  </rim:Slot>
  <rim:Name>
    <rim:LocalizedString value="History and Physical"/>
  </rim:Name>
</rim:Classification>
```

図 5-5 ebRIM 分類の XML 例（DocumentEntry.classCode）

5.2.1.4. XML 属性

メタデータ属性の中には XML の属性として表現されるものがある。例えば、ドキュメントエントリの entryUUID は、ExtrinsicObject 要素の id 属性で表現される。

XML 属性の XML 例（DocumentEntry.entryUUID）

- 属性値：urn:uuid:a6e06ca8-0c75-4064-9e5c-88b9045a96f6

```
<rim:ExtrinsicObject id="urn:uuid:a6e06ca8-0c75-4064-9e5c-88b9045a96f6" mimeType="text/xml"
objectType="urn:uuid:7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1">
    ・・・
</rim:ExtrinsicObject>
```

図 5-6 XML 属性の XML 例（DocumentEntry.entryUUID）

5.2.1.5. ebRIM スロット（ebRIM Slot）

ebRIM スロット（ebRIM Slot）オブジェクトとして表現される。name 属性にはメタデータ属性の名称を設定する。

© JAHIS 2014

表 5-8 XML 定義（ebRIM Slot）

rim :Slot						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	メタデータ属性名を設定。	
2	rim :ValueList	M :1..1	M :1..1			
2.1	rim :Value	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	メタデータ属性値を設定。	●

ebRIM Slot の XML 例（DocumentEntry.creationTime）

- 属性名：creationTime
- 属性値：20051224

```
<rim:Slot name="creationTime">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>20051224</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
```

図 5-7 ebRIM スロットの XML 例（DocumentEntry.creationTime）

5.2.1.6. ebRIM 外部識別子（ebRIM External Identifier）

ebRIM 外部識別子として表現される。

表 5-9 XML 定義（ebRIM External Identifier）

rim :ExternalIdentifier						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@identificationScheme	M :1..1	M :1..1	UUID	本 ExternalIdentifier オブジェクトが、どのメタデータ属性に対応するかを識別する IHE ITI で決められた UUID を設定する。ドキュメントエントリで使用する UUID は、表 5-13 参照のこと。サブミッションセットに使用する UUID は、表 5-16 を参照のこと。	
1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	識別子。	●
1.3	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	本 ExternalIdentifier を識別する UUID。	
1.4	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）では任意であるが、問合せ応答系のトランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。設定する場合、「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :ExternalIde	

© JAHIS 2014

					ntifier」を設定。	
1.5	@registryObject	M :1..1	M :1..1	UUID	本 ExternalIdentifier オブジェクトが含まれるメタデータ内のオブジェクトの ID。DocumentEntry の場合、その entryUUID。	●
2	rim :Name	M :1..1	M :1..1		識別子に割り当てられた名前。	
2.1	rim :LocalizedString	M :1..1	M :1..1			
2.1.1	@charset	0 :0..1	0 :0..1	文字列	表示名の文字コード。デフォルト値は「UTF-8」。	●
2.1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	識別子の名前。識別子によって、固定値が割り当てられている。表 5-10 に、外部識別子型の各メタデータ属性の設定値を示す。	●

表 5-10 外部識別子型のメタデータ属性の識別子名

No.	メタデータ	属性	設定値
1	DocumentEntry	patientId	XDSDocumentEntry.patientId
2	DocumentEntry	uniqueId	XDSDocumentEntry.uniqueId
3	SubmissionSet	patientId	XDSSubmissionSet.patientId
4	SubmissionSet	sourceId	XDSSubmissionSet.sourceId
5	SubmissionSet	uniqueId	XDSSubmissionSet.uniqueId

ebRIM External Identifier の XML 例（DocumentEntry.patientId）

- 属性値：SELF-5^^^&1.3.6.1.4.1.21367.2005.3.7&ISO

```
<rim:ExternalIdentifier id="ei01" registryObject="Document01"
   identificationScheme="urn:uuid:58a6f841-87b3-4a3e-92fd-a8ffeff98427"
   value="SELF-5^^^&amp;amp;1.3.6.1.4.1.21367.2005.3.7&amp;amp;ISO">
  <rim:Name>
    <rim:LocalizedString value="XDSDocumentEntry.patientId"/>
  </rim:Name>
</rim:ExternalIdentifier>
```

図 5-8 ebRIM 外部識別子の XML 例（DocumentEntry.patientId）

5.2.1.7. 作成者情報（author）

ドキュメントエントリとサブミッションセットの作成者を表す。4 つの副属性が定義されているが、本書では作成機関（authorInstitution）のみを必須で使用する。

表 5-11 XML 定義（作成者情報）

rim :Classification						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	本 Classification オブジェクトを識別する UUID。	●
1.2	@classificationScheme	M :1..1	M :1..1	UUID	本 Classification オブジェクトが、どの	

© JAHIS 2014

					メタデータ属性に対応するかを識別する IHE ITI で決められた UUID を設定する。ドキュメントエントリに使用する UUID は、表 5-13 の「author」を参照のこと。サブミッションセットに使用する UUID は、表 5-16 の「author」を参照のこと。	
1.3	@classifiedObject	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	本 Classification オブジェクトが含まれるメタデータ内のオブジェクトの ID。ドキュメントエントリの場合、その entryUUID。	●
1.4	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）では任意であるが、問合せ応答系のトランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。設定する場合、「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Classification**」を設定。	
2	rim :Slot	**M :1..1**	**M :1..1**		作成施設情報	
2.1	@name	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	「**authorInstitution**」を設定。	
2.2	rim :ValueList	**M :1..1**	**M :1..1**			
2.2.1	rim :Value	0 :0..*	**M :1..1**			
2.2.1.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	XON 型で作成施設を指定する。表 5-3 の XON 型の説明を参照のこと。	●

5.2.1.8. UUID

UUID は、RFC4122 に従ってフォーマットされる。UUID の構成要素の値が 10 から 15 をとる場合は 16 進数表記とし、小文字の’a’から’f’を使用しなければならない。

代替として、同一の登録要求の中に含まれるオブジェクトを参照する際に、「urn:uuid:」で始まらない任意の文字列を「シンボリック ID」として使用してもよい。この場合、《ドキュメントソース》は、シンボリック ID を使用して登録要求を作成することができるが、《ドキュメントレジストリ》は、レジストリへの登録処理の中で、それらを適切な UUID に置き換えなければならない。

一度 UUID 形式の ID 値が割り当てられたら、その値は変更してはならない。

© JAHIS 2014

5.2.2. ドキュメントエントリ（Document Entry）

本書で使用するドキュメントエントリの属性、及び、各トランザクションでの制約を表 5-12 に抜粋する。完全な属性の一覧は ITI TF-3 Cross-Transaction Specifications and Content Specifications を参照のこと。「データ型」列には、表 5-3 のデータ型を示す。「区分」列は、各属性の表現方法を、表 5-5 に示した区分で表している。

ITI-41、ITI-42、ITI-18 の各列は、各トランザクションの送信時(ITI-41、ITI-42)または受信時(ITI-18)の制約を示している。「R」は必須であり、当該トランザクションで値の設定が必須であることを示す。「R2」は、当該トランザクションで、その値がアクタにとって利用可能である場合には設定する必要があることを示す。「O」は任意であり、当該トランザクションで、その値を設定してもしなくても構わないことを示す。太字は、IHE ITI の制約を変更したことを示す。

表 5-12 ドキュメントエントリの属性

No	XDSDocumentEntry 属性	定義	データ型	区分	ITI-41	ITI-42	ITI-18
1	author	文書の作成者。 本書では下記 No 1.1、authorInstitution のみを使用し、必須とする。	ー	AU	**R**	**R**	**R**
1.1	authorInstitution	文書の作成者の所属する施設。XON 型で記述する。	XON	SL	**R**	**R**	**R**
2	availabilityStatus	文書の状態。次の 2 つの状態のいずれかをとる。問合せ応答系のトランザクション（[ITI-18]）のみ必須で設定する。 ・ 診療に利用可能： 「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :StatusType :Approved**」 ・ 廃棄された： 「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :StatusType :Deprecated**」 SS-MIX2 のコンディションフラグに相当する。	URN	AT	O	O	R
3	classCode	ドメインで決めた文書種別を表すコード。SS-MIX2 をデータソースに使用する場合コード表 7-25 に示す SS-MIX2 のデータ種別の先頭 3 バイトをコードとして使用する。 例 1： 処方・注射情報： OMP 例 2：検体検査情報： OML	Code	CL	R	R	R
4	classCodeDisplayName	文書識別のコードの表示名。 例 1：処方 例 2：検体検査	Code	CL	R	R	R
6	confidentialityCode	文書の守秘レベルを示すコード。コード表	Code	CL	R	R	R

© JAHIS 2014

		7-13「守秘レベル」からコード「N（通常）」を設定する。					
7	creationTime	リポジトリ登録要求日時。DTM 型で記述する。UTC で記録すること。 例：2013 年 10 月 2 日 10 時 5 分 45 秒(UTC) 20131002100545	DTM	SL	R	R	R
8	entryUUID	ドキュメントレジストリ内で文書を管理するために使用する世界的にユニークな ID。UUID 形式、または、シンボリック ID で記述する。シンボリック ID で指定された場合は、《ドキュメントレジストリ》が UUID を割り当てる。 entryUUID は、内部的な文書管理のために使用し、uniqueId は、文書の外部参照に使用する。 XML 断片例： <rim :ExtrinsicObject mimeType= "application/pdf" id="urn :uuid :a6e06ca8-0c75-4064-9e5c-88b9045a96f6" objectType="urn :uuid :7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1>	UUID	AT	R	R	R
11	formatCode	文書の形式を識別するコード。typeCode とともに文書利用者がある文書を処理することができるかどうかを判断することを可能にする。コード表 7-23「文書フォーマットコード」から指定する。 例：HL7V2.5	Code	CL	R	R	R
12	formatCodeDisplayName	文書の形式を識別するコードの表示名。 コード表 7-23「文書フォーマットコード」の表示名を使用する。 例：HL7 V2.5 形式	Code	CL	R	R	R
13	hash	IHE ではハッシュアルゴリズムとして SHA1 を使用するが本書では SHA2 を使用する。 《文書リポジトリ》が自動生成する。	SHA2 hash	SL	O	R	R
14	healthcareFacilityTypeCode	文書化された診療行為を実施した診療機関の種別を識別するコード。コード表 7-8「医療機関の役割コード」を参考に、各ドメイン、及び、ドメイン間の協議の上、コードが定義されることが望ましい。	Code	CL	R	R	R
15	healthcareFacilityTypeCodeDisplayName	診療機関の種別を識別するコードの表示名。	Code	CL	R	R	R
17	languageCode	文書の言語コードを指定する。IETF RFC 3066	Strin	SL	R	R	R

© JAHIS 2014

		の言語コードを使用し、日本語の文書であれば「ja-JP」を指定する。	g				
19	mimeType	文書の MIME タイプ。 コード表 7-24「MIME タイプ」からのコードを指定する。 DocumentEntry に対応する ExtrinsicObject の mimeType 属性に設定する。 例：text/x-hl7-ft	MIME type	AT	R	R	R
20	patientId	XDS アフィニティドメイン内での地域患者 ID。患者 ID ドメインを識別する ISO OID と、そのドメインでの患者 ID から構成される。CX 型で記述する。 例： ・地域患者 ID（543797436） ・地域ドメインを識別する OID（1.2.840.113619.6.197） 543797436^^^&1.2.840.113619.6.197&ISO	CX	EI	R	R	R
21	practiceSettingCode	文書化対象となった診療行為が実施された施設の専門性を示すコード。利用可能なコードとしてコード表 7-22「診療科コード」を示す。	Code	CL	R	R	R
22	practiceSettingCode DisplayName	施設の専門性を示すコードの表示名。コード表 7-22「診療科コード」を使用する場合、その表示名を設定する。	Code	CL	R	R	R
23	repositoryUniqueId	ドキュメントリポジトリを一意に識別する ID。文書がリポジトリに格納される際に、《ドキュメントリポジトリ》によって割り当てられる。	OID	SL	O	R	R
24	serviceStartTime	文書の公開日として、文書対象となった診療日を記録する。DTM 型で記述する。UTC で記録すること。	DTM	SL	R2	R2	R2
26	size	ドキュメントリポジトリに格納される文書のバイト長。《ドキュメントリポジトリ》が計算する。	数値	SL	O	R	R
27	sourcePatientId	ローカル患者 ID。 患者 ID ドメインを識別する ISO OID と、そのドメインでの患者 ID から構成される。CX 型で記述する。patientId の例を参照。	CX	SL	R	R	R
30	typeCode	文書クラスを細分化するコードとしての文書種別コード。SS-MIX2 が文書ソースの場合は、コード表 7-26 に示す SS-MIX2 のデータ種別を使用する。 例： OMP-01	Code	CL	R	R	R
31	typeCodeDisplayName	文書種別コードの表示名。	Code	CL	R	R	R

© JAHIS 2014

32	uniqueId	文書を一意に識別するための世界的にユニークな ID。別の文書内で文書を参照するために使用する。最大 128 バイト。最大 64 桁の OID と 16 桁の UTF-8 文字の組み合わせとなる(oid^extension。ただし OID のみでコード化される場合には^は省略される。) 例：医療機関コード＋オーダ番号＋枝番を uniqueId に設定する場合 ・ 医療機関コード (1.2.3.4.5.1312345670) ・ オーダ番号：987654321 ・ 枝番号：001 1.2.3.4.5.1312345670^987654321001	OID	EI	R	R	R

表 5-13 に、ドキュメントエントリで使用する UUID の一覧を示す。

表 5-13 ドキュメントエントリで使用する UUID

No	使用箇所	UUID	分類
1	DocumentEntry	urn:uuid:7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1	ClassificationNode
2	author	urn:uuid:93606bcf-9494-43ec-9b4e-a7748d1a838d	External Classification Scheme
3	classCode	urn:uuid:41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a	External Classification Scheme
4	classCodeDisplayName		
5	confidentialityCode	urn:uuid:f4f85eac-e6cb-4883-b524-f2705394840f	External Classification Scheme
6	formatCode	urn:uuid:a09d5840-386c-46f2-b5ad-9c3699a4309d	External Classification Scheme
7	formatCodeDisplayName		
8	healthcareFacilityTypeCode	urn:uuid:f33fb8ac-18af-42cc-ae0e-ed0b0bdb91e1	External Classification Scheme
9	healthcareFacilityTypeCodeDisplayName		
10	patientId	urn:uuid:58a6f841-87b3-4a3e-92fd-a8ffeff98427	ExternalIdentifier
11	practiceSettingCode	urn:uuid:cccf5598-8b07-4b77-a05e-ae952c785ead	External Classification Scheme
12	practiceSettingCodeDisplayName		
13	typeCode	urn:uuid:f0306f51-975f-434e-a61c-c59651d33983	External Classification Scheme
14	typeCodeDisplayName		
15	uniqueId	urn:uuid:2e82c1f6-a085-4c72-9da3-8640a32e42ab	ExternalIdentifier

© JAHIS 2014

表 5-14 に、ドキュメントエントリの XML 定義を示す。ドキュメントエントリは、RegistryObjectList 要素の子要素である ExtrinsicObject 要素で表現される。

表 5-14 XML 定義（ドキュメントエントリ）

rim :RegistryObjectList/rim :ExtrinsicObject						
XMLNo	**要素 / 属性**	**IHE**	**JAHIS**	**記法**	**説明**	**設定区分**
1.1	@id	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	本 RegistryPackage を識別する entryUUID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●
1.2	@mimeType	**M :1..1**	**M :1..1**	コード	DocumentEntry.mimeType の値を設定する。表 5-12 の説明を参照。	●
1.3	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）では任意であるが、問合せ応答系トランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。設定する場合、表 5-13 の「DocumentEntry」に示された UUID を設定することで、この ExtrinsicObject が、ドキュメントエントリを表していることを示す。	
1.4	@status	0 :0..1	0 :0..1	URN	問合せ応答系トランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。 DocumentEntry.statusCode の値を設定する。表 5-12 の説明を参照。	●
2	rim :Slot	0 :0..*	0 :0..*		ebRIM スロットオブジェクト。XML 定義の詳細は、表 5-8 を参照のこと。	
3	rim :Name	0 :0..1	*N*		ebRIM 名称オブジェクト。DocumentEntry.title を設定する場合に使用するが、本書では使用しない。	
4	rim :Description	0 :0..1	*N*		ebRIM 説明オブジェクト。DocumentEntry.comments を設定する場合に使用するが、本書では使用しない。	
5	rim :Classification	0 :0..*	**M :1..***		ebRIM 分類オブジェクト。XML 定義は、表 5-7 を参照のこと。	
6	rim :ExternalIdentifier	0 :0..*	**M :1..***		ebRIM 外部識別子オブジェクト。XML 定義は、表 5-9 を参照のこと。	

© JAHIS 2014

5.2.3. サブミッションセット（SubmissionSet）

本書で使用するサブミッションセットの属性、及び、各トランザクションでの制約を表 5-15 に抜粋する。他の属性については ITI TF-3 Cross-Transaction Specifications and Content Specifications を参照のこと。「データ型」列には、表 5-3 のデータ型を示す。「区分」列は、各属性の表現方法を、表 5-5 に示した区分で表している。

ITI-41、ITI-42、ITI-18 の各列は、各トランザクションの送信時(ITI-41、ITI-42)または受信時(ITI-18)の制約を示している。「R」は必須であり、当該トランザクションで値の設定が必須であることを示す。「R2」は、当該トランザクションで、その値がアクタにとって利用可能である場合には設定する必要があることを示す。「O」は任意であり、当該トランザクションで、その値を設定してもしなくても構わないことを示す。太字は、IHE ITI の制約を変更したことを示す。

表 5-15 サブミッションセットの属性

No	XDSSubmissionSet 属性	定義		区分	ITI-41	ITI-42	ITI-18
1	author	サブミッションセットの作成者。 本書では下記 No 1.1、authorInstitution のみを使用する。	―	AU	**R**	**R**	**R**
1.1	authorInstitution	サブミッションセットの作成者の所属する施設。XON 型で記述する。	XON	CL	**R**	**R**	**R**
2	availabilityStatus	サブミッションセットの状態。次の2つの状態のいずれかをとる。 ・ 提出トランザクションは未完了であり診療に利用可能でない： 「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :StatusType :Submitted**」 ・ 診療に利用可能： 「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :StatusType :Approved**」 リポジトリ、レジストリへの登録が成功した場合のみ設定されるため、値は常に「Approved」を取る。問合せ応答系トランザクション（[ITI-18]）では必須である。	URN	AT	O	O	R
4	contentTypeCode	サブミッションセットに含まれる XDSDocument に記述された診療行為の種別を識別するコード。SS-MIX2 をデータソースとする場合、SS-MIX2 データ種別の先頭3バイトを使用する。 例1： 処方・注射情報： OMP 例2：検体検査情報： OML	Code	CL	R	R	R
5	contentTypeCodeDisplayName	診療行為の種別コードの表示名。	Code	CL	R	R	R

© JAHIS 2014

6	entryUUID	ドキュメントレジストリ内でサブミッションセットを管理するために使用する世界的にユニークな ID。UUID 形式、または、シンボリック ID で記述する。シンボリック ID で指定された場合は、《ドキュメントレジストリ》が UUID を割り当てる。 entryUUID は、内部的な管理のために使用し、uniqueId は、文書の外部参照に使用する。	UUID	AT	R	R	R
9	patientId	地域患者 ID。患者 ID ドメインを識別する ISO OID と、そのドメインでの患者 ID から構成される。CX 型で記述する。表 5-12 の説明も参照のこと。	CX	EI	R	R	R
10	sourceId	サブミッションセットを提供した《ドキュメントソース》を識別する識別子。OID を指定する。	OID	EI	R	R	R
11	submissionTime	《ドキュメントソース》がサブミッションセットを作成し、《ドキュメントレジストリ》に登録した時刻。DTM 型で記述する。《ドキュメントソース》によって提供されなければならない。UTC で登録する。	DTM	SL	R	R	R
13	uniqueId	《ドキュメントソース》によって割り当てられた、サブミッションセットを一意に識別する世界的にユニークな ID。OID 形式で指定する。	OID	EI	R	R	R

表 5-16 にサブミッションセットで使用する UUID の一覧を示す。

表 5-16 サブミッションセットで使用する UUID

No	使用箇所	UUID	分類
1	SubmissionSet	urn:uuid:a54d6aa5-d40d-43f9-88c5-b4633d873bdd	ClassificationNode
2	author	urn:uuid:a7058bb9-b4e4-4307-ba5b-e3f0ab85e12d	External Classification Scheme
3	contentTypeCode	urn:uuid:aa543740-bdda-424e-8c96-df4873be8500	External Classification Scheme
4	contentTypeCodeDisplayName		
5	patientId	urn:uuid:6b5aea1a-874d-4603-a4bc-96a0a7b38446	ExternalIdentifier
5	sourceId	urn:uuid:554ac39e-e3fe-47fe-b233-965d2a147832	ExternalIdentifier
7	uniqueId	urn:uuid:96fdda7c-d067-4183-912ebf5ee74998a8	ExternalIdentifier

© JAHIS 2014

表 5-17 に、サブミッションセットの XML 定義を示す。サブミッションセットは、RegistryObjectList の子要素である RegistryPackage 要素として表現される。

表 5-17 XML 定義（サブミッションセット）

rim :RegistryObjectList/rim :RegistryPackage						
XMLNo	**要素 / 属性**	**IHE**	**JAHIS**	**記法**	**説明**	**設定区分**
1.1	@id	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	本サブミッションセットを識別する entryUUID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●
1.2	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）では任意であるが、問合せ応答系トランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。設定する場合、表 5-16 の「SubmissionSet」に示された UUID を設定することで、この RegistryPackage 要素がサブミッションセットを表現していることを示す。	
1.3	@status	0 :0..1	0 :0..1	URN	問合せ応答系トランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。 SubmissionSet.statusCode の値を設定する。 表 5-12 の説明を参照。	●
2	rim :Slot	0 :0..*	0 :0..*		ebRIM スロットオブジェクト。XML 定義の詳細は、表 5-8 を参照のこと。 XMLNo 2, 3, 4, 5, 6, 7 の出現順序は問わない。	
3	rim :Name	0 :0..1	*N*		ebRIM 名称オブジェクト。SubmissionSet.title を設定する場合に使用するが、本書では使用しない。	
4	rim :Description	0 :0..1	*N*		ebRIM 説明オブジェクト。SubmissionSet.comments を設定する場合に使用するが、本書では使用しない。	
5	rim :Classification	0 :0..*	**M :1..***		ebRIM 分類オブジェクト。XML 定義は、表 5-7 を参照のこと。 XMLNo 2, 3, 4, 5, 6, 7 の出現順序は問わない。	
6	rim :Classfication	0 :0..1	0 :0..1		RegistryPackage が、サブミッションセットであることを示す。RegistryPackage と同じ階層の子要素の Classification 要素を使用する場合にはこの形式をとる。別の方法として、RegistryPackage と同じ階層の Classification 要素に、同様の情報を記述する方法もある。 XMLNo 2, 3, 4, 5, 6, 7 の出現順序は問わな	

© JAHIS 2014

					い。	
6.1	@classifiedObject	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	対応する RegistryPackage の id 属性の値。	●
6.2	@classficationNode	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	対応する RegistryPackage がサブミッションセットであることを示すUUID。 表 5-16 の「SubmissionSet」に示されたUUIDを設定する。	
6.3	@id	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	本ClassificationObject を識別する ID(UUIDまたはシンボリック ID)を設定する。	●
6.4	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Classification**」を設定する。登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）で使用する場合は任意であるが、問合せ応答系のトランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。	
7	rim :ExternalIdentifier	0 :0..*	**M :1..***		ebRIM 外部識別子オブジェクト。XML 定義は、表 5-9 を参照のこと。	

© JAHIS 2014

5.2.4. HasMember 関連

IHE ITI では、HasMember 関連の使用方法として 4 通りの使用方法が定義されている。本書では、そのうちの 1 つである、サブミッションセットとドキュメントエントリの関連を示す際に使用する。関連のラベルとして、「Original」と「Reference」の 2 種類が定義されており、SubmissionSetStauts と名付けられた ebRIM スロットオブジェクトで表現される。「Original」は、ある文書を最初にリポジトリに登録する際に使用し、サブミッションセットに文書そのものを含めることを意味する。このとき、SubmissionSet.patientId と DocumentEntry.patientId は一致しなければならない。一方、「Reference」は、既に登録されている文書をサブミッションセット内で参照する場合に使用する。この場合は SubmissionSet.patientId と DocumentEntry.patientId は、必ずしも一致していなくてもよい。XML 定義を表 5-19 に示す。

表 5-18 HasMember のメタデータ属性

No	Association 属性	定義	制約
1	sourceObject	サブミッションセットオブジェクトの entryUUID。	R
2	targetObject	サブミッションセットに含まれるドキュメントエントリの entryUUID。	R
3	associationType	関連の種類を表す URN。固定値「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :AssociationType :HasMember」を設定する。	R

表 5-19 XML 定義（HasMember 関連）

rim :RegistryObjectList/rim :Association						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1.1	@id	M :1..1	M :1..1	UUID	本関連（Association）を識別する entryUUID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●
1.2	@associationType	M :1..1	M :1..1	URN	HasMember を表す「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :AssociationType :HasMember」を設定する。	
1.3	@sourceObject	M :1..1	M :1..1	UUID	HasMember で関連するサブミッションセットを識別する entryUUID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●
1.4	@targetObject	M :1..1	M :1..1	UUID	HasMember で関連するドキュメントエントリを識別する entryUUID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●
1.5	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）では任意であるが、問合せ応答系トランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。設定する場合「urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Association」を設定する。	
2	rim :Slot	M :1..1	M :1..1		サブミッションセットステータス	
2.1	@name	M :1..1	M :1..1	文字列	「SubmissionSetStatus」を設定。	

© JAHIS 2014

22	rim :ValueList	**M :1..1**	**M :1..1**			
221	rim :Value	**M :1..1**	**M :1..1**			
2211	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	関連のラベル。ドキュメントエントリの参照方法としてドキュメントそのものをサブミッションセットに含む場合「**Original**」、既存のドキュメントを参照する場合は「**Reference**」を設定する。	●

© JAHIS 2014

5.2.5. 文書間関係（Document Relationship）

ebRIM 関連（Association）オブジェクトを使って、2 つのドキュメントエントリの関係（文書間関係）を定義することができる。表 5-20 に本書で使用する文書間関係を示す。

文書間関係を定義するためには、1 つの新しいドキュメントエントリと、そのドキュメントエントリ、及び、既存のドキュメントエントリを関連付ける 1 つの関連（Association）オブジェクトを含むサブミッションセットを作成する。

新しいドキュメントエントリは、新しい uniqueId と entryUUID が割り当てられる。関連オブジェクトで参照される既存のドキュメントエントリはレジストリ内で承認状態(Approved)でなければならない。また、既存のドキュメントを識別するための entryUUID を、ストアドクエリ[ITI-18]などの方法で取得しなければならない。

表 5-20 文書間関係の種類

関連	associationType	定義
APND	urn :ihe :iti :2007 :AssociationType :APND	現在の文書は、元文書への追加である。
RPLC	urn :ihe :iti :2007 :AssociationType :RPLC	現在の文書は、元文書から置き換えられた文書である。

表 5-21 XML 定義（文書間関係）

rim :RegistryObjectList/rim :Association						
XMLNo	**要素 / 属性**	**IHE**	**JAHIS**	**記法**	**説明**	**設定区分**
1.1	@id	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	本関連（Association）を識別する entryUUID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●
1.2	@associationType	**M :1..1**	**M :1..1**	URN	表 5-20 の文書関係の種類を表す URN を設定する。	●
1.3	@sourceObject	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	サブミッションセット内のドキュメントエントリを識別する entryUUID(UUID またはシンボリック ID)を設定する。	●
1.4	@targetObject	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	関連する既存のドキュメントエントリを識別する entryUUID(UUID を設定する。	●
1.5	@objectType	0 :0..1	0 :0..1	URN	登録系のトランザクション（[ITI-41]、[ITI-42]）では任意であるが、問合せ応答系トランザクション（[ITI-18]）では必須で設定する。設定する場合「**urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ObjectType :RegistryObject :Association**」を設定する。	
2	rim :Classification	0 :0..1	0 :0..1		関連の説明を含むことができる。XML 定義は、表 5-7 参照。	

© JAHIS 2014

5.2.5.1. 追加（Append）

新しいドキュメントエントリが、既存のドキュメントと追加の関係にある場合、AssociationType が APND である文書間関係を使用する。このとき、元のドキュメントエントリの状態は変更されず、Approved のままである。図 5-9 の例は、サブミッションセット SS02 が、ドキュメントエントリ DE01 に対してドキュメントエントリ DE02 を追加する登録であることを示す。追加後も、ドキュメントエントリ DE01 の状態は Approved のままである。

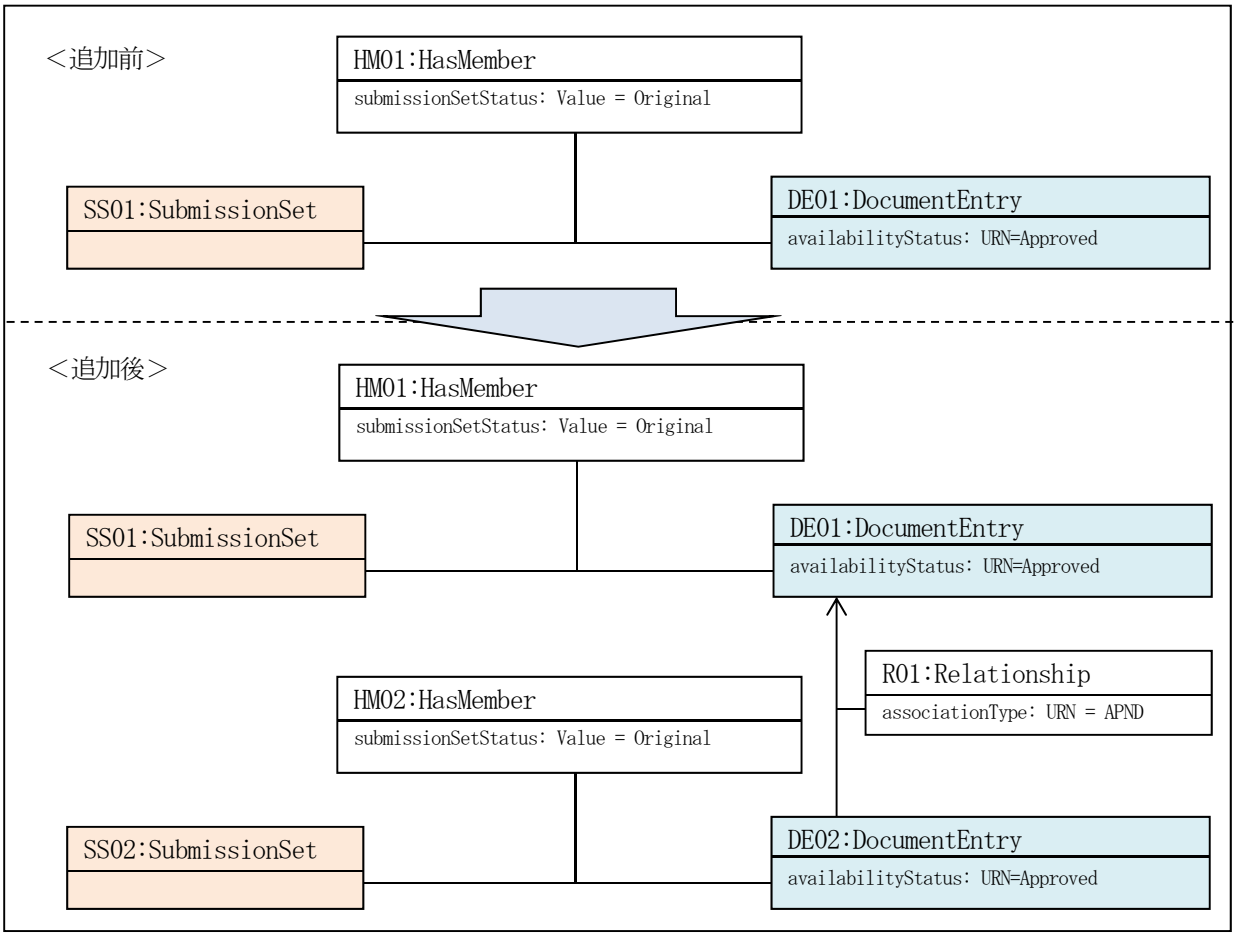


図 5-9 文書間関係（APND）

5.2.5.2. 置換（Replace）

新しいドキュメントエントリが、既存のドキュメントを置き換える関係にある場合、AssociationType が RPLC である文書間関係を使用する。このとき、元のドキュメントエントリの状態は、Deprecated に変更される。図 5-10 の例は、サブミッションセット SS02 が、既存のドキュメントエントリ DE01 に対して、新しいドキュメントエントリ DE02 で置き換える登録であることを示す。追加後、ドキュメントエントリ DE01 の状態が Deprecated に変更されていることに留意する。

© JAHIS 2014

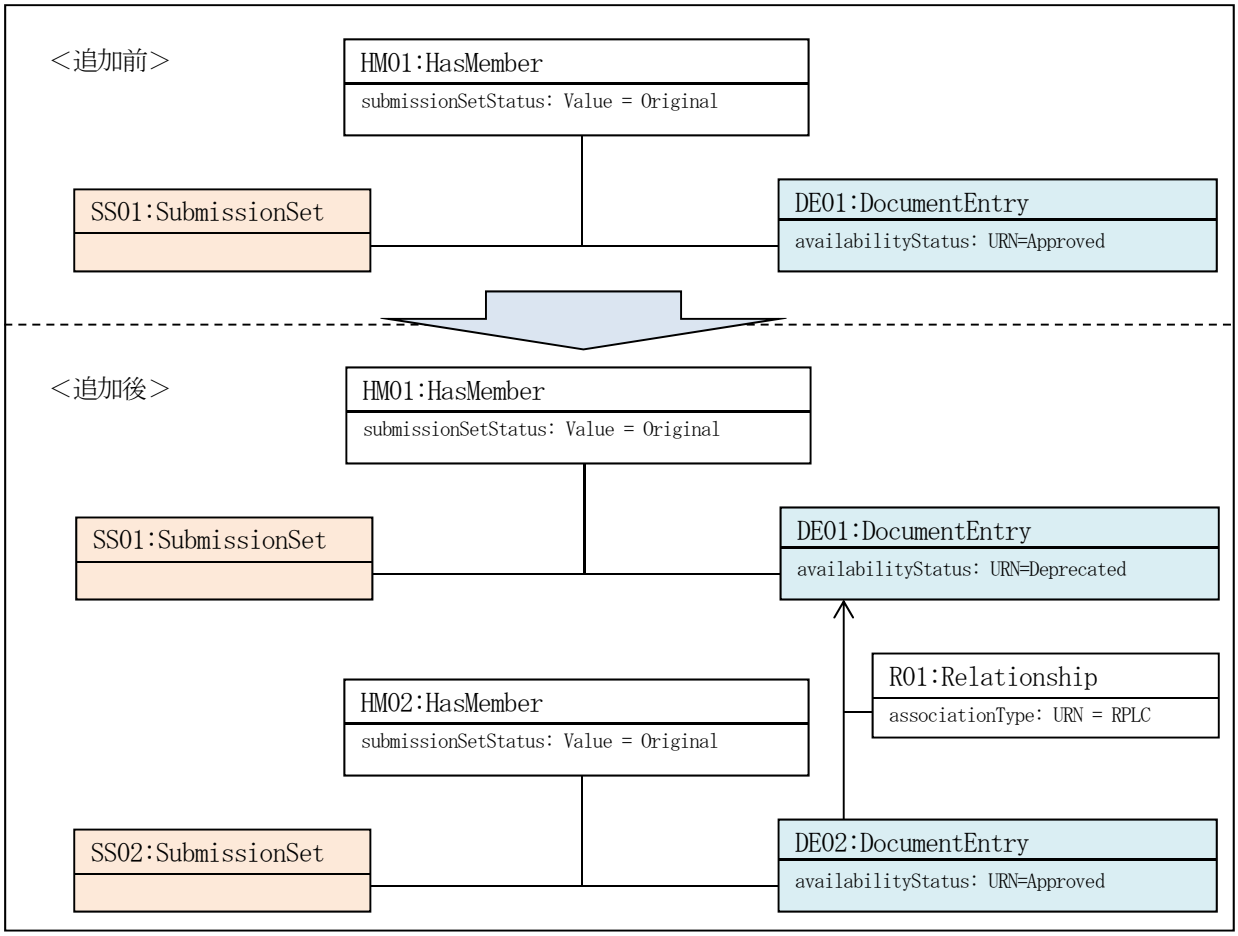


図 5-10 文書間関係（RPLC）

© JAHIS 2014

5.3. トランザクション定義

XDS.b 統合プロファイルで定義されるトランザクションを表 5-22 に示す。

表 5-22 XDS.b のトランザクション一覧

IHE アクタ	トランザクション	説明	オプショナリティ	掲載項
ドキュメントコンシューマ	ストアドクエリ（Registry Stored Query [ITI-18]）	問合せにより《ドキュメントレジストリ》からメタデータを取得する。	R	5.3.1
	文書セットの読出し（Retrieve Document Set [ITI-43]）	《ドキュメントリポジトリ》から文書を取得する。	R	5.3.4
ドキュメントソース	文書セットの提供と登録（Provide and Register Document Set-b [ITI-41]）	《ドキュメントリポジトリ》へ文書とそのメタデータを送信する。	R	5.3.2
ドキュメントリポジトリ	文書セットの提供と登録（Provide and Register Document Set-b [ITI-41]）	《ドキュメントソース》から文書を受け取る。	R	5.3.2
	文書セットの登録（Register Document Set-b [ITI-42]）	《ドキュメントレジストリ》へメタデータを登録する。	R	5.3.3
	文書セットの読出し（Retrieve Document Set [ITI-43]）	《ドキュメントコンシューマ》から要求された文書を返却する。	R	5.3.4
ドキュメントレジストリ	文書セットの登録（Register Document Set-b [ITI-42]）	《ドキュメントリポジトリ》からのメタデータを登録する。	R	5.3.3
	ストアドクエリ（Registry Stored Query [ITI-18]）	《ドキュメントコンシューマ》からのメタデータに関する問合せを受ける。	R	5.3.1
	患者 ID フィード（HL7 V3 版）（Patient Identity Feed HL7 v3 [ITI-44]）	《患者 ID ソース》から患者 ID の提供を受ける。(HL7 V3 版)	R*1	5.3.5
統合化されたドキュメントソース／リポジトリ	文書セットの登録（Register Document Set-b [ITI-42]）	《ドキュメントレジストリ》へメタデータを登録する。	R	5.3.3
	文書セットの読出し（Retrieve Document Set [ITI-43]）	《ドキュメントコンシューマ》から要求された文書を返却する。	R	5.3.4
患者 ID ソース	患者 ID フィード（HL7 V3 版）（Patient Identity Feed HL7 v3 [ITI-44]）	《ドキュメントレジストリ》に対して患者 ID の提供を行う（HL7 V3 版）	R*1	5.3.5

*注 1: IHE ITI では、HL7 V2 版と HL7 V3 版のいずれかを実装すればよいとされているが、本書では、HL7 V3 版のみを使用するため、必須で実装しなければならない。

© JAHIS 2014

5.3.1. ストアドクエリ（Registry Stored Query）[ITI-18]

ストアドクエリトランザクション[ITI-18]は、あらかじめ定義されたクエリ（問合せ文）を使用して、さまざまな種類の問合せを発行することができる。各クエリには、一定のパラメータが定義されており、ストアドクエリ照会メッセージでは、使用するクエリ、及び、そのクエリで定義された各パラメータのパラメータ値を指定する。クエリの指定は、IHE ITI で各クエリに割り当てられた UUID を使用する。本書では、ストアドクエリ照会メッセージで使用可能な 13 のクエリのうち、表 5-24 に抜粋したクエリのみ使用する。「クエリ ID」列の UUID は、クエリをメッセージ中で識別するために使用する。

参照規格は、ebRIM （OASIS/ebXML Registry Information Model v3.0）、及び、ebRS （OASIS/ebXML RegistryServices Specifications v3.0）である。

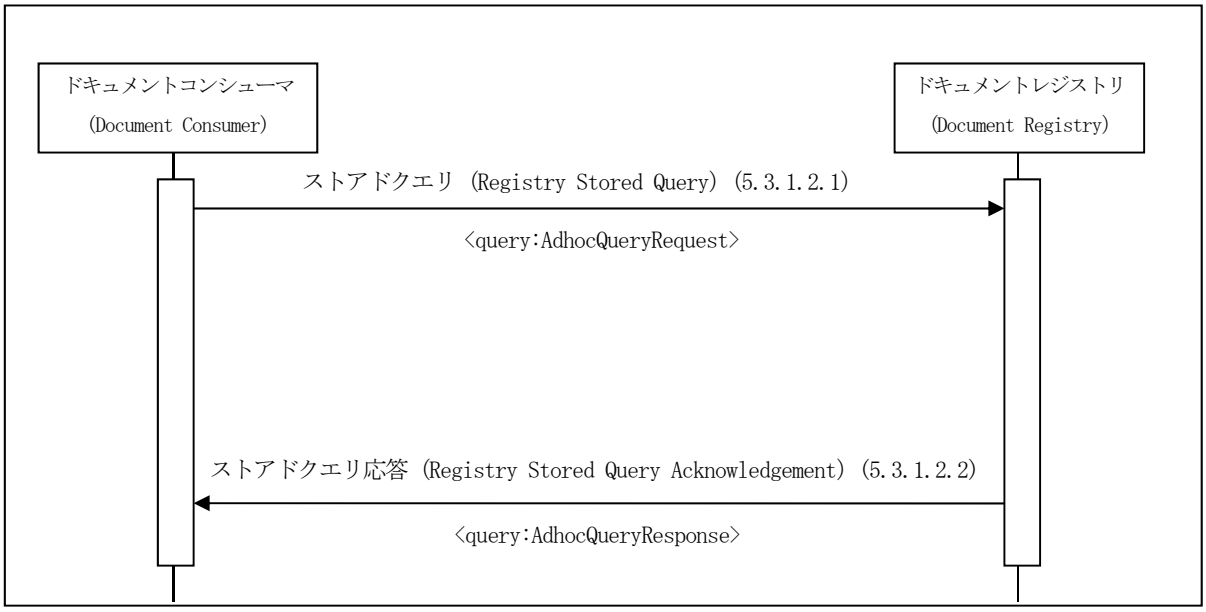


図 5-11 ストアドクエリのインタラクション

表 5-23 ストアドクエリのメッセージインタラクション

メッセージインタラクション	説明
ストアドクエリ（Registry Stored Query）	レジストリに対する問合せメッセージ。Adhoc Query Request メッセージを使用する。
ストアドクエリ応答（Registry Sotred Query Aknowledgement）	問合せに対する応答メッセージ。Adhoc Query Response メッセージを使用する。

表 5-24 ストアドクエリの一覧（抜粋）

クエリ名	説明	クエリ ID
FindDocuments	指定された患者に関する XDSDocumentEntry を検索する。	urn:uuid:14d4debf-8f97-4251-9a74-a90016b0af0d
GetDocuments	entryUUID または uniqueId で指定された XDSDocumentEntry を取得する。	urn:uuid:5c4f972b-d56b-40ac-a5fcc8ca9b40b9d4

© JAHIS 2014

GetDocumentsAndAssociations	entryUUID または uniqueId で指定された XDSDocumentEntry とその関連(Association)を取得する。	urn:uuid:bab9529a-4a10-40b3-a01ff68a615d247a
GetRelatedDocuments	entryUUID または uniqueId で指定された XDSDocumentEntry に Association で関連する XDSDocumenEntry を取得する。	urn:uuid:d90e5407-b356-4d91-a89f-873917b4b0e6

1）ストアドクエリのパラメータ

ストアドクエリは、に示す3つのパラメータを受ける。

表 5-25 ストアドクエリのパラメータ

パラメータ	説明	備考
returnType（返却タイプ）	問合せ結果の返却方法を指定する。	本項の２）返却タイプを参照
Query ID（クエリ ID）	問合せを識別するためのユニークな ID（UUID）。	表 5-24 のクエリ ID を指定する。
問合せパラメータ	問合せ毎に決められた検索条件。	詳細は、5.3.1.2.1 項の、A)～D)を参照。問合せパラメータの指定方法については、本項の３）クエリパラメータの指定方法を参照。

2）返却タイプの指定

返却タイプには、「ObjectRef」または「LeafClass」のいずれかの値を指定する。各設定値の意味は、表 5-26 を参照のこと。

表 5-26 返却タイプの設定値

returnType の設定値	説明	備考
LeafClass	問合せにマッチした ebXML オブジェクトを XML 要素の一覧として返却する。	完全な ebXML オブジェクトを返却する際に使用する。ebRIM スロットや ebRIM 分類などの完全な内容を伴った ExtrinsicObject 要素のリストとして返却される。返却される結果が少量の場合に使用する。
ObjectRef	問合せにマッチしたオブジェクトへの参照を UUID のリストとして返却する。	返却される結果が膨大な場合に、最初に参照リストを返却し、2 回目以降の問合せで、LeafClass のオブジェクトを返却する。XDSDocumentEntiry や XDSSubmissionSet など単一のオブジェクトを返却する問合せで使用する場合に有用である。

3）問合せパラメータの指定方法

各クエリで利用可能な問合せパラメータは、表 5-27 に示す項目で、5.3.1.2.1 項の A)～D)に仕様を示す。

© JAHIS 2014

表 5-27 問合せパラメータ仕様

項目	説明
パラメータ名	問合せパラメータを識別するパラメータ名。「$」で開始される。
属性	対応するドキュメントエントリのメタデータ属性。
制約	パラメータの必須／任意を示す。必須パラメータは「R」、任意パラメータは「O」で示す。
複数指定区分	複数の値を指定可能なパラメータは「M」で示す。

３－１） 日付型パラメータの指定方法

問合せパラメータで指定する日付値は、開始日を含み、終了日を含まない。つまり、From <= 対象項目値 < To と解釈される。開始日または終了日は省略してもよい。

３－２）コード型パラメータの指定方法

HL7 V2.5 の CE 型の表記法を使用し、CE 型の第 1 成分であるコード値と、第 3 成分であるコード体系を両方とも必須で指定する。第 2 成分は使用しない。

```
<Value>('code1^^coding-scheme1')</Value>
```

複数のパラメータを指定する場合には、次の例のように、カンマ（,）で区切ることで複数指定することができる。

```
<Value>('code1^^coding-scheme1','code2^^coding-scheme2')</Value>
```

３－３）単一の値の指定方法

数値は、シングルクォートを付けずに記録する。文字列は、シングルクォートで囲む。シングルクォート中のシングルクォートは、シングルクォートでエスケープする。

文字列検索には、SQL の LIKE 演算子と同様のワイルドカードを使用可能である。アンダースコア（'_'）は、0 文字以上の任意の文字と一致し、パーセント（'%'）は、任意の 1 文字と一致する。

３－４）複数の値の指定方法

複数の値を取り得るパラメータは、各パラメータを括弧内にカンマ（,）で連結する。括弧内の要素は、３－３）で示した、単一の値となる。このとき、検索条件は OR 条件と解釈する。例えば、以下の例は、「$XDSDocumentEntryEventCodeList の値が'a'または'b'」という検索条件として解釈する。

```
<rim:Slot name="$XDSDocumentEntryEventCodeList">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>('a', 'b')</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
```

複数の値を記述する場合、スキーマによって決められた Value 要素の最大長を超えてしまう場合がある。その場合、Slot 要素の中に複数の Value 要素を記述し、各々のパラメータは括弧で囲まれる。

© JAHIS 2014

```
<Slot name="$uuid">
  <ValueList>
    <Value>('urn:uuid:a96d7361-6617-488a-891c-ee3f37d1f218','urn:uuid:5655a68
0-1b6a-11dd-bd0b-0800200c9a66')</Value>
    <Value>('urn:uuid:ae135e81-2056-4829-a5b4-cf9531941f96')</Value>
  </ValueList>
</Slot>
```

これは、以下の条件と同等に扱われる。

```
<Slot name="$uuid">
  <ValueList>
    <Value>('urn:uuid:a96d7361-6617-488a-891c-ee3f37d1f218','urn:uuid:5655a68
0-1b6a-11dd-bd0b-0800200c9a66','urn:uuid:ae135e81-2056-4829-a5b4-cf9531941f96
')</Value>
  </ValueList>
</Slot>
```

３－５）複数条件の指定方法

単一の Slot に対して、複数の Value 要素は OR 条件と解釈する。次の例は、「$XDSDocumentEntryEventCodeList の値が’a’または’b’」と解釈する。これは、３－４）で示した例と同じ結果となる。

```
<rim:Slot name="$XDSDocumentEntryEventCodeList">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>('a')</rim:Value>
    <rim:Value>('b')</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
```

同一の Slot を複数記述する場合は AND 条件と解釈する。次の例は、「$XDSDocumentEntryEventCodeList の値が’a’かつ ’b’」と解釈する。

```
<rim:Slot name="$XDSDocumentEntryEventCodeList">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>('a')</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
<rim:Slot name="$XDSDocumentEntryEventCodeList">
  <rim:ValueList>
    <rim:Value>('b')</rim:Value>
  </rim:ValueList>
</rim:Slot>
```

© JAHIS 2014

３－６）文書ステータスの指定方法

XDS で使用する RegistryObject の状態は、次の 3 種類である。

- urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Submitted
- urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Approved
- urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Deprecated

もし上記以外の状態を《ドキュメントレジストリ》が受理した場合、値が設定されていないものとして処理しなければならない。

5.3.1.1. インターフェース定義

ストアドクエリトランザクションの Web サービスインターフェース仕様を、表 5-28、表 5-29、及び、表 5-30 に示す。《ドキュメントレジストリ》は、SOAP メッセージ形式のストアドクエリメッセージを受理することができ、SOAP メッセージ形式のレジストリクエリ応答メッセージを応答できなければならない。また、《ドキュメントコンシューマ》は、 SOAP メッセージ形式のストアドクエリメッセージを生成することができ、SOAP メッセージ形式のストアドクエリ応答メッセージを受理できなければならない。

なお、WSDL は、JAHIS IHE ITI 適用ガイド「6.4 インターフェース定義」と同じであるが、本書において、インターフェース定義の表現方法を変更したため再掲する。

表 5-28 ストアドクエリで使用する XML 名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:xds-b:2007
soap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchem
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
ihe	urn:ihe:iti:xds-b:2007
query	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0
rs	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0

表 5-29 ストアドクエリで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
AdhocQueryRequest AdhocQueryResponse ResponseOption	query.xsd
AdhocQuery Slot ValueList Value RegistryObjectList ExtrinsicObject	rim.xsd
	rs.xsd
	lcm.xsd

© JAHIS 2014

表 5-30 ストアドクエリ WSDL 定義

WSDL			
XDS.b_DocumentRegistry.wsdl			
ポートタイプ			
DocumentRegistry_PortType			
オペレーション			
ストアドクエリ (DocumentRegistry_RegistryStoredQuery)			
入力メッセージ	ストアドクエリメッセージ (RegistryStoredQuery_Message)		
	part	body	
	要素	query:AdhocQueryRequest	
	アクション	urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQuery	
出力メッセージ	ストアドクエリ応答メッセージ (RegistryStoredQueryResponse_Message)		
	part	body	
	要素	query:AdhocQueryResponse	
	アクション	urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQueryResponse	
バインディング (SOAP 1.2 binding)			
DocumentRegistry_Binding_Soap12			
ポートタイプ	ihe:DocumentRegistry_PortType		
バインディングスタイル	文書指向 (document)		
トランスポート	HTTP		
オペレーション	DocumentRegistry_RegisterDocumentSet-b	SOAPAction	urn:ihe:iti:2007:RegisterDocumentSet-b
		input	リテラル形式 (literal)
		output	リテラル形式 (literal)
サービス			
DocumentRegistry_Service			
バインディング	ihe:DocumentRegistry_Binding_Soap12		

ストアドクエリの WSDL の例を、図 5-12 に示す。本例は、当該メッセージに関連する部分のみを抜粋したものであり、完全な例は、ITI の FTP サイト (9.1 引用規格 IHE ITI TF-2x Appendix W) を参照のこと。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<!-- This wsdl file is for an XDS.b Document Registry Actor -->
<definitions xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl" name="DocumentRegistry">
  <documentation>IHE XDS.b Document Registry</documentation>
  <types>
```

© JAHIS 2014

```
   ~
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/query.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/lcm.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <!-- While no elements are directly used from this schema in the WSDL, it needs to be present
here in order for
                 code generating toolkits to work properly -->
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rim.xsd"/>
    </xsd:schema>
  </types>
  <message name="RegistryStoredQuery_Message">
    <documentation>Registry Stored Query</documentation>
    <part name="body" element="query:AdhocQueryRequest"/>
  </message>
  <message name="RegistryStoredQueryResponse_Message">
    <documentation>Registry Stored Query Response</documentation>
    <part name="body" element="query:AdhocQueryResponse"/>
  </message>
  ~
  <portType name="DocumentRegistry_PortType">
    ~
    <operation name="DocumentRegistry_RegistryStoredQuery">
      <input message="ihe:RegistryStoredQuery_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQuery"/>
      <output message="ihe:RegistryStoredQueryResponse_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQueryResponse"/>
    </operation>
```

© JAHIS 2014

```
    ～
  </portType>
  <binding name="DocumentRegistry_Binding_Soap12" type="ihe:DocumentRegistry_PortType">
    <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    ～
    <operation name="DocumentRegistry_RegistryStoredQuery">
      <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:RegistryStoredQuery"/>
      <input>
        <soap12:body use="literal"/>
      </input>
      <output>
        <soap12:body use="literal"/>
      </output>
    </operation>
    ～
  </binding>
  <service name="DocumentRegistry_Service">
    <port name="DocumentRegistry_Port_Soap12" binding="ihe:DocumentRegistry_Binding_Soap12">
      <soap12:address location="http://servicelocation/DocumentRegistry_Service"/>
    </port>
  </service>
</definitions>
```

図 5-12 WSDL の例ストアドクエリ

5.3.1.2. メッセージ定義

ストアドクエリメッセージの XML 定義表の関係を図 5-13 に示す。ストアドクエリメッセージには、「5.3.1 ストアドクエリ（Registry Stored Query）[ITI-18] 3）問合せパラメータの指定方法」で説明した仕様に基づき、検索条件を指定する。ストアドクエリ応答メッセージには、「5.2.1 メタデータ属性の共通仕様」の表 5-6 に示したメタデータの XML 仕様に従い、検索結果が返却される。

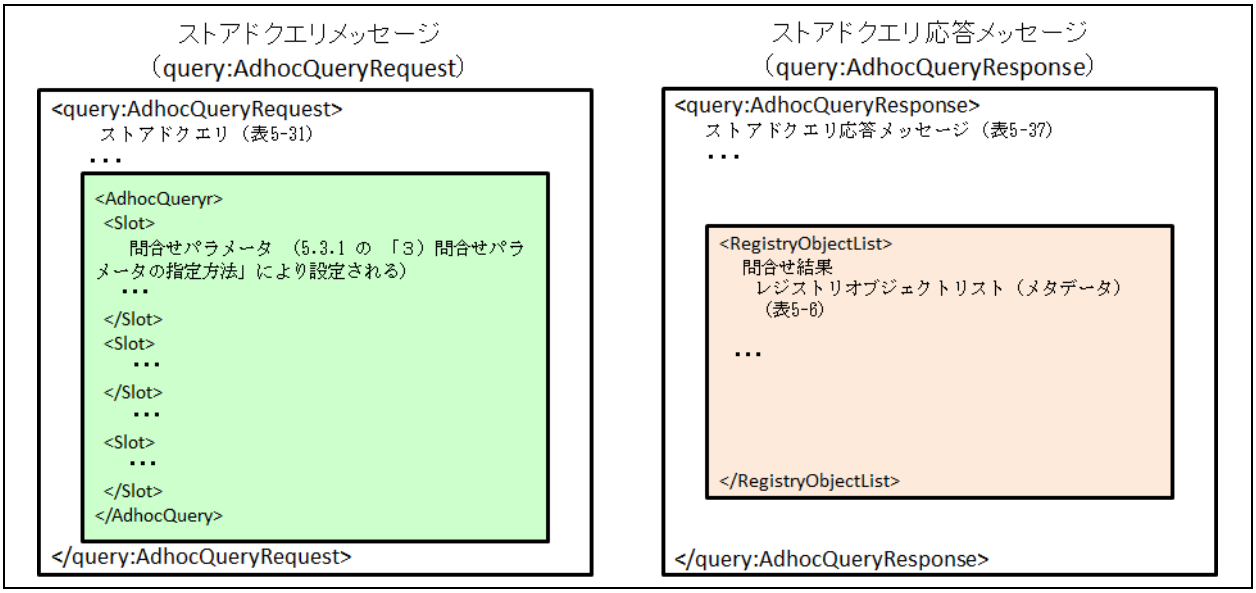


図 5-13 ストアドクエリの XML 定義表の関係

© JAHIS 2014

5.3.1.2.1. ストアドクエリメッセージ（Registry Stored Query）

ストアドクエリメッセージの XML 定義表をに表 5-31 に示す。

表 5-31 XML 定義（ストアドクエリ）

/AdhocQueryRequest						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	@federated	0 :0..1	*N*	半角英字	使用しない	
2	@fedaration	0 :0..1	*N*	URI	使用しない	
3	@startIndex	0 :0..1	0 :0..1	数値	検索結果の開始位置を指定する。デフォルト値は0。	●
4	@maxResults	0 :0..1	0 :0..1	数値	検索結果を返却する最大数。もしこの属性値が指定されない場合は全結果を返さなければならない。	●
5	ResponseOption	**M :1..1**	**M :1..1**		結果の形式を指定する	
5.1	@reternComposedObjects	0 :0..1	0 :0..1	真偽値	構成要素のオブジェクトを全て返却するかどうかを指定する。「**true** 」を指定する。	
5.2	@returnType	0 :0..1	0 :0..1	コード	「**LeafClass**」または「**ObjectRef**」を指定する。設定値の説明は、表 5-26 を参照。	●
6	AdhocQuery	**M :1..1**	**M :1..1**		ストアドクエリ	
6.1	@id	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	クエリの種類を識別するストアドクエリ ID。設定値は、表 5-24 の UUID を参照。	●
6.2	Slot	0 :0..*	0 :0..*		クエリパラメータ。 複数の Slot の繰り返しは AND 条件とみなす。	
6.2.1	@name	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	クエリパラメータ名。設定値は各クエリによって異なる。本項の A)～D)に記載されたクエリ毎の説明を参照。	●
6.2.2	ValueList	**M :1..1**	**M :1..1**		パラメータリスト。	
6.2.2.1	Value	0 :0..*	0 :0..*		複数の Value 要素は OR 条件とみなす。	
6.2.2.1.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	パラメータ値。設定方法は、「5.3.1 ストアドクエリ (Registry Stored Query) [ITI-18] 3）問合せパラメータの指定方法」を参照	◆

以下 A）から D)に、本書で使用する４つのストアドクエリで利用可能なクエリパラメータを説明する。

A） 文書の検索クエリ （FindDocuments）

本クエリは、指定された status 属性に一致する、指定された患者 ID を持つレジストリ内のドキュメント (XDSDocumentEntry オブジェクト）を検索するものである。

© JAHIS 2014

表 5-32 文書の検索クエリ（FindDocuments）のクエリパラメータ

戻り値	検索条件と一致した XDSDocumentEntry オブジェクト			
No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	$XDSDocumentEntryPatientId	XDSDocumentEntry.patientId	R	－
2	$XDSDocumentEntryClassCode（*注1	XDSDocumentEntry.classCode	O	M
3	$XDSDocumentEntryTypeCode（*注1	XDSDocumentEntry.typeCode	O	M
4	$XDSDocumentEntryPracticeSettingCode（*注1	XDSDocumentEntry.practiceSettingCode	O	M
5	$XDSDocumentEntiryCreationTimeFrom	XDSDocumentEntry.creationTime の下限	O	－
6	$XDSDocumentEntiryCreationTimeTo	XDSDocumentEntry.creationTime の上限	O	－
7	$XDSDocumentEntryServiceStartTimeFrom	XDSDocumentEntry.serviceStartTime の下限	O	－
8	$XDSDocumentEntryServiceStartTimeTo	XDSDocumentEntry.serviceStartTime の上限	O	－
9	$XDSDocumentEntryServiceStopTimeFrom	XDSDocumentEntry.serviceStopTime の下限	O	－
10	$XDSDocumentEntryServiceStopTimeTo	XDSDocumentEntry.serviceStopTime の上限	O	－
11	$XDSDocumentEntryHealthcareFacilityTypeCode（*注1	XDSDocumentEntry.healthcareFacilityTypeCode	O	M
12	$XDSDocumentEntryEventCodeList	XDSDocumentEntry.eventCodeList（*注2	O	M
13	$XDSDocumentEntryConfidentialityCode （*注1	XDSDocumentEntry.confidentialityCode（*注2	O	M
14	$XDSDocumentEntryAuthorPerson（*注4	XDSDocumentEntry.author	O	M
15	$XDSDocumentEntryFormatCode（*注1	XDSDocumentEntry.formatCode	O	M
16	$XDSDocumentEntryStatus	XDSDocumentEntry.status	R	M

注1） コード値の表記方法は、5.3.1 項の３－２）に示す。
注2） 複数条件の AND / OR の指定方法は、5.3.1 項の３－４）、及び、３－５）に従う。
注3） SQL の LIKE 演算子の表記法に従い、ワイルドカード(%)または(_)が使用可能である。5.3.1 項の３）に従う。

B） 文書の取得クエリ（GetDocuments）

本クエリは、entryUUID または uniqueId 属性のいずれかによって指定された XDSDocumentEntry オブジェクトを取得する。

表 5-33 文書の取得クエリ（GetDocuments）のクエリパラメータ

戻り値	要求された XDSDocumentEntry オブジェクト			
No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	$XDSDocumentEntryEntryUUID(*注3	XDSDocumentEntry.entryUUID	0（*注1	M

© JAHIS 2014

2	$XDSDocumentEntryUniqueId(*注3	XDSDocumentEntry.uniqueID	0 (*注1	M
3	$homeCommunityId	なし	0 (*注2	－

注1) $XDSDocumentEntryEntryUUID と$XDSDocumentEntryUniqueId のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) 《ドキュメントコンシューマ》は、指定された entryUUID または uniqueID を含む以前のストアドクエリ応答メッセージの home 属性に、homeCommunityId が指定されていた場合、AdhocQuery 要素の home 属性に その homeCommunityId を指定しなければならない。

注3) ストアドクエリの returnType に LeafClass が指定された場合、《ドキュメントレジストリ》は、全ての要求された DocumentEntry オブジェクトが、同一の患者 ID を含んでいることを検証しなければならない。もしその検証に失敗した場合、XDSResultNotSinglePatient エラーを返却し、メタデータを返却してはならない。

C) 文書と関連の取得クエリ (GetDocumentsAndAssociations)

本クエリは、entryUUID 属性、又は、uniqueID 属性のいずれかで指定された XDSDocumentEntry オブジェクトと、それに関連する Association オブジェクトを取得する。これは、GetDocuments クエリと GetAssociations クエリの両方を単一のクエリで実施するものである。

表 5-34 文書と関連の取得クエリ (GetDocumentsAndAssociations) のクエリパラメータ

戻り値	XDSDocumentEntry オブジェクト、及び、このオブジェクトと sourceObject 属性や targetObject 属性で関連するオブジェクト。			
No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	$XDSDocumentEntryEntryUUID(*注3	XDSDocumentEntry.entryUUID	0 (*注1	M
2	$XDSDocumentEntryUniqueId(*注3	XDSDocumentEntry.uniqueId	0 (*注1	M
3	$homeCommunityId	なし	0 (*注2	－

注1) $XDSDocumentEntryEntryUUID と$XDSDocumentEntryUniqueId のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) 《ドキュメントコンシューマ》は、指定された entryUUID または uniqueID を含む以前のストアドクエリ応答メッセージの home 属性に、homeCommunityId が指定されていた場合、AdhocQuery 要素の home 属性に その homeCommunityId を指定しなければならない。

注3) ストアドクエリの returnType に LeafClass が指定された場合、《ドキュメントレジストリ》は、全ての要求された DocumentEntry オブジェクトが、同一の患者 ID を含んでいることを検証しなければならない。もしその検証に失敗した場合、XDSResultNotSinglePatient エラーを返却し、メタデータを返却してはならない。

D) 関連する文書の取得クエリ (GetRelatedDocuments)

本クエリは、UUID または UniqueID で指定されたドキュメントに関連する XDSDocumentEntry オブジェクト

© JAHIS 2014

とその Association オブジェクトを取得する。

返却される Association オブジェクトは、以下の 3 つの条件を全て満たす。

- sourceObject 属性または targetObject 属性が、指定されたドキュメントを参照する
- sourceObject 属性と targetObject 属性の両方がドキュメントを参照する
- Association の associationType 属性が、$AssociationType パラメータに含まれる値に一致する

返却される XDSDocumentEntry オブジェクトは、上記に一致する Association オブジェクトの targetObject 属性または sourceObject 属性から参照される XDSDocumentEntry オブジェクトである。

表 5-35 関連する文書の取得クエリ（GetRelatedDocuments）のクエリパラメータ

戻り値	与えられた XDSDocumentEntry オブジェクトと関連の種別に対して、上記を満たす Association オブジェクトと、それに関連する XDSDocumentEntry オブジェクト

No	パラメータ名	属性	制約	複数指定区分
1	$XDSDocumentEntryEntryUUID	XDSDocumentEntry.entryUUID	0(*注 1	－
2	$XDSDocumentEntryUniqueId	XDSDocumentEntry.uniqueId	0(*注 1	－
3	$AssociationTypes	なし	R	M
4	$homeCommunityId	なし	0(*注 2	－

注1) $XDSDocumentEntryEntryUUID と$XDSDocumentEntryUniqueId のいずれかひとつが指定されなければならない。両方のパラメータが指定された場合エラーを返さなければならない。

注2) 《ドキュメントコンシューマ》は、指定された entryUUID または uniqueID を含む以前の Registry Stored Query 応答の home 属性に、homeCommunityId が指定されていた場合、AdhocQuery 要素の home 属性に その homeCommunityId を指定しなければならない。

ストアドクエリメッセージのサンプルメッセージを図 5-14 に示す。図中の番号は、表 5-36 の対応する設定値を表す。

表 5-36 ストアドクエリメッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	ストアドクエリ ID	urn:uuid:14d4debf-8f97-4251-9a74-a90016b0af0d
2	返却タイプ	LeafClass
3	検索条件：地域患者 ID（OID）	1.2.840.114350.1.13.99998.1
4	検索条件：地域患者 ID（患者 ID）	0000087654
5	検索条件：文書ステータス	承認済み（Approval）
6	検索条件：登録要求日時の下限	2013 年 1 月 1 日
7	検索条件：登録要求日時の上限	2013 年 8 月 31 日
8	検索条件：文書種別コード	OMP-01 （コード表 7-26 を使用した例）

© JAHIS 2014

```
<query:AdhocQueryRequest xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0 ../../schema/ebRS/query.
xsd" xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
  <query:ResponseOption returnComposedObjects="true" returnType="LeafClass"/>
  <rim:AdhocQuery id=" urn:uuid:14d4debf-8f97-4251-9a74-a90016b0af0d ">
    <rim:Slot name="$XDSDocumentEntryPatientId">
      <rim:ValueList>
        <rim:Value>'0000087654^^^&amp;1.2.840.114350.1.13.99998.1&amp;ISO'</rim:Value>
      </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Slot name="$XDSDocumentEntryStatus">
      <rim:ValueList>

<rim:Value>('urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Approved')</rim:Value>
      </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Slot name="$XDSDocumentEntryCreationTimeFrom">
      <rim:ValueList>
        <rim:Value>20130101</rim:Value>
      </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Slot name="$XDSDocumentEntryCreationTimeTo">
      <rim:ValueList>
        <rim:Value>20130831</rim:Value>
      </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Slot name="$XDSDocumentEntryTypeCode">
      <rim:ValueList>
        <rim:Value>('OMP-01^^1.2.840.114350.1.13.99998.5.11')</rim:Value>
      </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
  </rim:AdhocQuery>
</query:AdhocQueryRequest>
```

1 2 3 4 5 6 7 8

図 5-14 ストアドクエリメッセージサンプル

© JAHIS 2014

5.3.1.2.2. ストアドクエリ応答メッセージ（Registry Stored Query Response）

ストアドクエリ応答メッセージの XML 定義表を表 5-37 に示す。

表 5-37 XML 定義（ストアドクエリ応答メッセージ）

/AdhocQueryResponse						
XMLNo	**要素 / 属性**	**IHE**	**JAHIS**	**記法**	**説明**	**設定区分**
1	@status	**M :1..1**	**M :1..1**	URN	表 5-41 に示す結果状態のいずれかを設定する。	●
2	@requestId	O :0..1	O :0..1	URI	対応する要求メッセージの ID。	●
3	@startIndex	O :0..1	O :0..1	数値	本結果セットの最初の結果の開始インデックスを示す。デフォルトは 0。	●
4	@totalResultCount	O :0..1	O :0..1	数値	レジストリ中で検索条件にマッチした全結果数。	●
5	RegistryErrorList	O :0..1	O :0..1		エラーリスト。エラーが発生した場合に使用する。	
5.1	@highestSeverity	O :0..1	O :0..1	URN	エラーリストの中で最も重大なエラーの severity を設定する。	●
5.2	RegistryError	**M :1..***	**M :1..***		エラー	
5.2.1	@severity	O :0..1	O :0..1	URN	エラーレベル。表 5-39「severity」のいずれかを設定する。	●
5.2.2	@codeContext	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	エラーコードを補足するテキスト。	●
5.2.3	@errorCode	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	表 5-40 に示すエラーコード。	●
5.2.4	@location	O :0..1	O :0..1	文字列	エラーが発生した箇所を示す文字列。	●
6	RegistryObjectList	**M :1..1**	**M :1..1**		検索にマッチしたレジストリオブジェクトリスト。詳細は、XML 定義の表 5-6 を参照。	

ストアドクエリメッセージのサンプルメッセージを図 5-15 に示す。図中の番号は、表 5-38 の対応する設定値を表す。

表 5-38 ストアドクエリメッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	文書の作成者の所属施設（authorInstitution）	JAHIS 病院 （1.2.392.200196.102.11312345670）
2	文書の状態（availabilityStatus）	診療に利用可能（urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Approved）
3	文書種別（classCode）	処方・注射情報（OMP）
4	文書種別表示名（classCodeDisplayName）	処方・注射情報
5	守秘レベル（confidentialityCode）	N（通常）（コード表 7-13「守秘レベルコード」を使用）
6	リポジトリ登録要求日時（creationTime）	2012 年 12 月 23 日 11 時 19 分
7	エントリ UUID（entryUUID）	urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf

© JAHIS 2014

8	文書フォーマット (formatCode)	HL7V2.5 (HL7 V2.5 形式)
9	文書フォーマット表示名 (formatCodeDisplayName)	HL7 V2.5 形式
10	ハッシュ値 (hash)	01178361b7090400da704f024d951666720c322cb7094c694f8a6bdfb640e0bc
11	医療機関種別 (healthcareFacilityTypeCode)	一般病院 (一般病床) (04) (コード表 7-8「医療機関の役割コード」を使用)
12	医療機関種別表示名 (heathcareFacilityTypeCodeDisplayName)	一般病院 (一般病床)
13	言語コード (languageCode)	日本語 (ja-JP)
14	MIME タイプ (mimeType)	HL7 V2 形式 (text/x-hl7-ft)
15	地域患者 ID (OID) (patientId)	1.2.840.114350.1.13.9998.1
16	地域患者 ID (ID) (patientId)	0000087654
17	診療施設の専門性 (診療科) (practiceSettingCode)	内科 (01) (コード表 7-22「診療科コード」を使用)
18	診療施設の専門性 (診療科) 表示名 (practiceSettingCodeDisplayName)	内科
19	リポジトリユニーク ID (repositoryUniqueId)	1.2.840.114350.1.13.99998.9.1
20	文書公開日 (診療日) (serviceStartTime)	2012 年 12 月 23 日 8 時 0 分
21	サイズ (size)	4449 バイト
22	ローカル患者 ID (OID) (sourcePatientId)	1.2.392.200196.102.11312345670
23	ローカル患者 ID (ID) (sourcePatientId)	012345
24	文書種別コード (typeCode)	OMP-01 (処方オーダ) (コード表 7-26「文書種別コード」を使用)
25	文書種別コード表示名 (typeCodeDisplayName)	処方オーダ
26	ユニーク ID (uniqueId)	1.2.392.200196.102.11312345670.1^987654321001

```
<query:AdhocQueryResponse xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0 ../../schema/ebRS/query
.xsd" xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0" status="Success">
  <rim:RegistryObjectList>
    <rim:ExtrinsicObject xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
```

7

© JAHIS 2014

14

```
id="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf" isOpaque="false"
mimeType="text/x-hl7-ft" objectType="urn:uuid:7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1"
status="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:StatusType:Approved">
      <rim:Slot name="creationTime">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>201212231119</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="hash">
        <rim:ValueList>

<rim:Value>01178361b7090400da704f024d951666720c322cb7094c694f8a6bdfb640e0bc</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="languageCode">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>ja-JP</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="serviceStartTime">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>201212230800</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="size">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>4449</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="sourcePatientId">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>012345^^^&amp;1.2.392.200196.102.11312345670&amp;ISO</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="repositoryUniqueId">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.9.1</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:93606bcf-9494-43ec-9b4e-a7748d1a838d"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:ac872fc0-1c6e-439f-84d1-f76770a0ccdf"
objectType="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
        <rim:Slot name="authorInstitution">
          <rim:ValueList>
```

2 6 10 13 20 21 22 23 19

© JAHIS 2014

```
          <rim:Value>JAHIS病院^^^^^^^^^1.2.392.200196.102.11312345670</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:ac872fc0-1c6e-439f-84d1-f76770a0ccdf" nodeRepresentation="OMP"
objectType="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.5.10</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="処方・注射情報"/>
      </rim:Name>
      <rim:Description/>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:f4f85eac-e6cb-4883-b524-f2705394840f"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:f1a8c8e4-3593-4777-b7e0-8b0773378705" nodeRepresentation="N"
objectType="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>2.16.840.1.113883.5.25</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="Normal"/>
      </rim:Name>
      <rim:Description/>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:a09d5840-386c-46f2-b5ad-9c3699a4309d"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:b6e49c73-96c8-4058-8c95-914d83bd262a" nodeRepresentation="HL7V2.5"
objectType="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.5.9</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="HL7 V2.5形式"/>
```

1 3 4 5 8 9

© JAHIS 2014

```
      </rim:Name>
      <rim:Description/>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:f33fb8ac-18af-42cc-ae0e-ed0b0bdb91e1"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:61e2b376-d74a-4984-ac21-dcd0b8890f9d" nodeRepresentation="04"
objectType="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.2</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="一般病院（一般病床）"/>
      </rim:Name>
      <rim:Description/>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:cccf5598-8b07-4b77-a05e-ae952c785ead"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:fb7677c5-c42f-485d-9010-dce0f3cd4ad5" nodeRepresentation="01"
objectType="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.8</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="内科"/>
      </rim:Name>
      <rim:Description/>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification
classificationScheme="urn:uuid:f0306f51-975f-434e-a61c-c59651d33983"
classifiedObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
id="urn:uuid:0a8a8ed9-8be5-4a63-9b68-a511adee8ed5" nodeRepresentation="OMP-01"
objectType="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ObjectType:RegistryObject:Classification">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.11</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="処方オーダ"/>
      </rim:Name>
```

11 12 17 18 24 25

© JAHIS 2014

```
      <rim:Description/>
    </rim:Classification>
    <rim:ExternalIdentifier id="urn:uuid:db9f4438-ffff-435f-9d34-d76190728637"
registryObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
identificationScheme="urn:uuid:58a6f841-87b3-4a3e-92fd-a8ffeff98427"
objectType="ExternalIdentifier"
value="0000087654^^^&amp;1.2.840.114350.1.13.9998.1&amp;ISO">      15      16
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="XDSDocumentEntry.patientId"/>
      </rim:Name>
      <rim:Description/>
    </rim:ExternalIdentifier>
    <rim:ExternalIdentifier id="urn:uuid:c3fcbf0e-9765-4f5b-abaa-b37ac8ff05a5"
registryObject="urn:uuid:08a15a6f-5b4a-42de-8f95-89474f83abdf"
identificationScheme="urn:uuid:2e82c1f6-a085-4c72-9da3-8640a32e42ab"
objectType="ExternalIdentifier" value="1.2.392.200196.102.11312345670.1^987654321001">
      <rim:Name>                                                          26
        <rim:LocalizedString value="XDSDocumentEntry.uniqueId"/>
      </rim:Name>
      <rim:Description/>
    </rim:ExternalIdentifier>
  </rim:ExtrinsicObject>
  <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a"/>
  <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:f4f85eac-e6cb-4883-b524-f2705394840f"/>
  <rim:ObjectRef xmlns:q="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
id="urn:uuid:a09d5840-386c-46f2-b5ad-9c3699a4309d"/>
 </rim:RegistryObjectList>
</query:AdhocQueryResponse>
```

図 5-15 ストアドクエリ応答メッセージのサンプル

表 5-39 RegistryError 要素の属性値

属性	制約	値
errorCode	R	表 5-40 に示すエラーコード。
codeContext	R	エラーコードを補足するテキスト。
severity	R	エラーの重要度。 エラーレベル： urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ErrorSeverityType :Error 警告レベル： urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ErrorSeverityType :Warning
location	0	利用可能であれば、エラーが発生した場所を示す文字列。

© JAHIS 2014

表 5-40 ストアドクエリ応答メッセージで使用するエラーコード

No	エラーコード	説明
1	XDSMissingHomeCommunityId	homeCommunityId は必須であるが指定されていない。本書では XCA は対象外のため使用しない。
2	XDSRegistryBusy	ドキュメントレジストリはビジー状態である。
3	XDSRegistryError	内部エラー。より詳細なエラーコードが利用可能でない場合にのみ使用する。codeContext に、エラー条件の詳細を指定しなければならない。
4	XDSRegistryOutOfResources	リソースが減少している。
5	XDSResultNotSinglePatient	単一のストアドクエリで複数の患者 ID のメタデータが返却される。
6	XDSStoredQueryMissingParam	必須パラメータが存在しない。
7	XDSStoredQueryParamNumber	多重度が 1 であるパラメータに、複数の値が指定されている。
8	XDSTooManyResults	検索結果が多すぎる。結果は返却されない。
9	XDSUnavailableComminity	指定されたコミュニティは利用可能でない。本書では XCA は対象外であるため使用しない。
10	XDSUnknownCommunity	指定された homeCommunityId が識別できない。本書では XCA は対象外のため使用しない。
11	XDSUnknownStoredQuery	指定されたクエリ ID が識別できない。

表 5-41 ストアドクエリ応答メッセージの結果状態

AdhocQueryResponse 結果状態	RegistryErrorList 要素の有無	結果
urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success	存在する可能性がある。存在した場合、1 つ以上の警告レベルの RegistryError 要素が含まれる。	結果が返却されなければならない。1 つ以上のエントリを含んでいるかもしれない。
urn :ihe :iti :2007 :ResponseStatusType :PartialSuccess	存在し、1 つ以上の RegistryError 要素を含み、最低 1 つは、エラーレベルの結果を含む。	結果は 1 つ以上のエントリを含んでいるかもしれない。
urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ResponseStatusType :Failure	存在し、1 つ以上の RegistryError 要素を含み、最低 1 つは、エラーレベルの結果を含む。	結果は返却されない。

© JAHIS 2014

5.3.1.3. セキュリティ要求

《ドキュメントコンシューマ》は、ストアドクエリ[ITI-18]を使用し、《ドキュメントレジストリ》に問合せを送信する際には、「XDS 問合せ」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

《ドキュメントレジストリ》は《ドキュメントコンシューマ》からストアドクエリ［ITI-18]を受信した際には、「XDS 問合せ」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

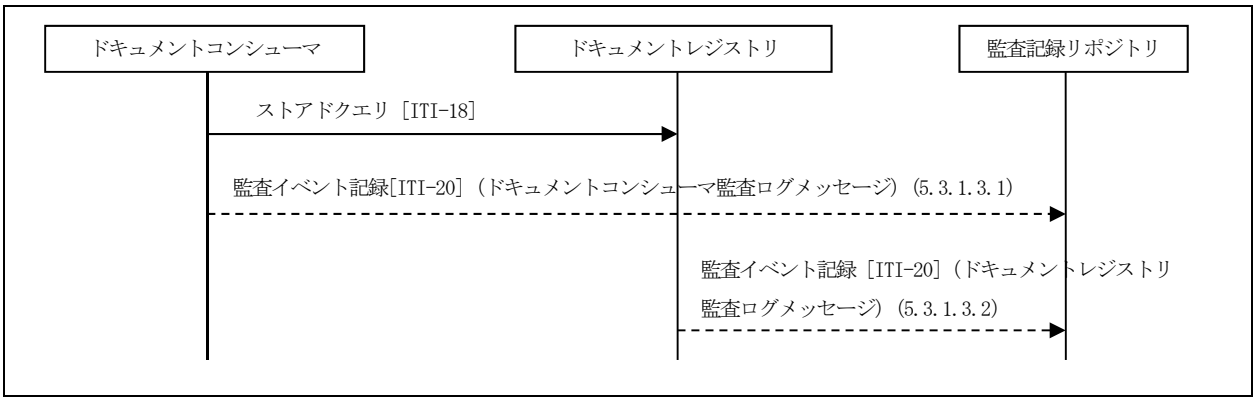


図 5-16 ストアドクエリ[ITI-18]送受信時の監査ログメッセージ

5.3.1.3.1. ドキュメントコンシューマ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《ドキュメントコンシューマ》が、ストアドクエリ[ITI-18]を実行した際の、XDS 問合せイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 5-42 ドキュメントコンシューマ監査ログメッセージ（ストアドクエリ送信時)

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連）(1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110119, IHEJ, “XDS Query”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV “E”（実行）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-18”, “IHE Transactions”, “Registry Stored Query”)
Source（問合せ元関連）(1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索を発行したプロセスの ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索を発行したプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索を発行したプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索を発行したプロセスが本イベントの要求者か否かを示

© JAHIS 2014

			す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの検索を発行したプロセスの役割。以下の値が入る。 EV (110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Human Requestor (他の関係者関連) (0..n) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	関係しており認識されている他の関係者の ID。特に要求者である人あるいはプロセスの ID。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	他の関係者の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	他の関係者の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	他の関係者が本イベントの要求者か否かを示す。 RFC3881 の規定に従う。
	RoleIDCode	U	他の関係者の役割。 RFC3881 の規定に従う。
	NetworkAccessPointTypeCode	NA	
	NetworkAccessPointID	NA	
Destination (問合せ元関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索に応答するプロセスの ID。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索に応答するプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索に応答するプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索に応答するプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 “false”
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV (110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。

© JAHIS 2014

Audit Source（発生源関連） (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditSourceID	M	発生源のユニークな ID。
	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源の場所。AuditSourceID を就職するために使う。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源のタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Query（関係者オブジェクト関連(問合せ内容)） (1) (Participating Object)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2（システム）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 “24”（query）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。 EV(“ITI-18”, “IHE Transactions”, “Registry Stored Query”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンスの ID。 RFC3881 の規定に従う。 ストアドクエリ 識別子（UUID）
	ParticipantObjectName	C	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 RFC3881 の規定に従う。 もし知り得る場合、<ihe:HomeCommunityId/>の値。
	ParticipantObjectQuery	M	base64 で符号化された検索内容。本内容は本装置開発ベンダにて内容が分析できなければならない。
	ParticipantObjectDetail	C	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。 ParticipantObjectDetail 要素は 1 回以上出現してもよい。 １つの要素には、type 属性の値に「QueryEncoding」を設定し、value 属性の値に、ParticipantObjectQuery を Base64 符号化する前に使用される文字コード（例えば UTF-8）を設定する。 もう 1 つの要素には、もし知り得る場合は type 属性の値に「urn:ihe:iti:xca:2010:homeCommunityId」を設定し、value 属性の値に homeCommunityID の値を設定する。

5.3.1.3.2. ドキュメントレジストリ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《ドキュメントレジストリ》が、ストアドクエリ[ITI-18]を受信した際の、XDS 問合せへのアクセスイベントを記録するための監査ログメッセージである。

© JAHIS 2014

表 5-43 ドキュメントレジストリ監査ログメッセージ（ストアドクエリ受信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連） (1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	監査イベントの ID。以下の値が入る。 EV（110119, IHEJ, “XDS Query”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV “E”（実行）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-18”, “IHE Transactions”, “Registry Stored Query”)
Source（問合せ元関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索を発行したプロセスの ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索を発行したプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索を発行したプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索を発行したプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。 RFC3881 の規定に従う。
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの検索を発行したプロセスの役割。以下の値が入る。 EV（110153, DCM, “Source Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Destination（問合せ元関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	検索に応答するプロセスの ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	検索に応答するプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	検索に応答するプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	検索に応答するプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV（110152, DCM, “Destination Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。

© JAHIS 2014

			“1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source (発生源関連) (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditSourceID	M	発生源のユニークな ID。
	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源の場所。AuditSourceID を就職するために使う。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源のタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Query (関係者オブジェクト関連(問合せ内容)) (1) (Participating Object)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 (システム)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 “24” (query)
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。 EV(“ITI-18”, “IHE Transactions”, “Registry Stored Query”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンスの ID。 RFC3881 の規定に従う。 ストアドクエリ識別子 (UUID)
	ParticipantObjectName	C	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 RFC3881 の規定に従う。 もし知り得る場合 <ihe:HomeCommunityId/>の値。
	ParticipantObjectQuery	M	base64 で符号化された検索内容。本内容は本装置開発ベンダにて内容が分析できなければならない。
	ParticipantObjectDetail	C	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。 ParticipantObjectDetail 要素は 1 回以上出現してもよい。 １つの要素には、type 属性の値に「QueryEncoding」を設定し、value 属性の値に、ParticipantObjectQuery を Base64 符号化する前に使用される文字コード (例えば UTF-8) を設定する。 もう 1 つの要素には、もし知り得る場合は type 属性の値に「urn:ihe:iti:xca:2010:homeCommunityId」を設定し、value 属性の値に homeCommunityID の値を設定する。

5.3.1.4. その他の注意事項

メタデータ内の全ての文字列の比較においては、ITI TF-2x Appendix F にある通り、Unicode TR15 の中で正規化形 C として定義されている、ユニコード標準のルールに従うこと (http://unicode.org/reports/tr15)。

© JAHIS 2014

© JAHIS 2014

5.3.2. 文書セットの提供と登録（Provide and Register Document Set-b）[ITI-41]

本トランザクションは、《ドキュメントソース》が《ドキュメントリポジトリ》に対して一連の文書を提供し、それらの文書の格納と《ドキュメントレジストリ》への登録を要求するためのトランザクションである。

参照規格は、ebRIM （OASIS/ebXML Registry Information Model v3.0）、及び、ebRS （OASIS/ebXML RegistryServices Specifications v3.0）、MTOM（SOAP Message Transmission Optimization Mechanism）、XOP（XML-binary Optimized Packaging）である。

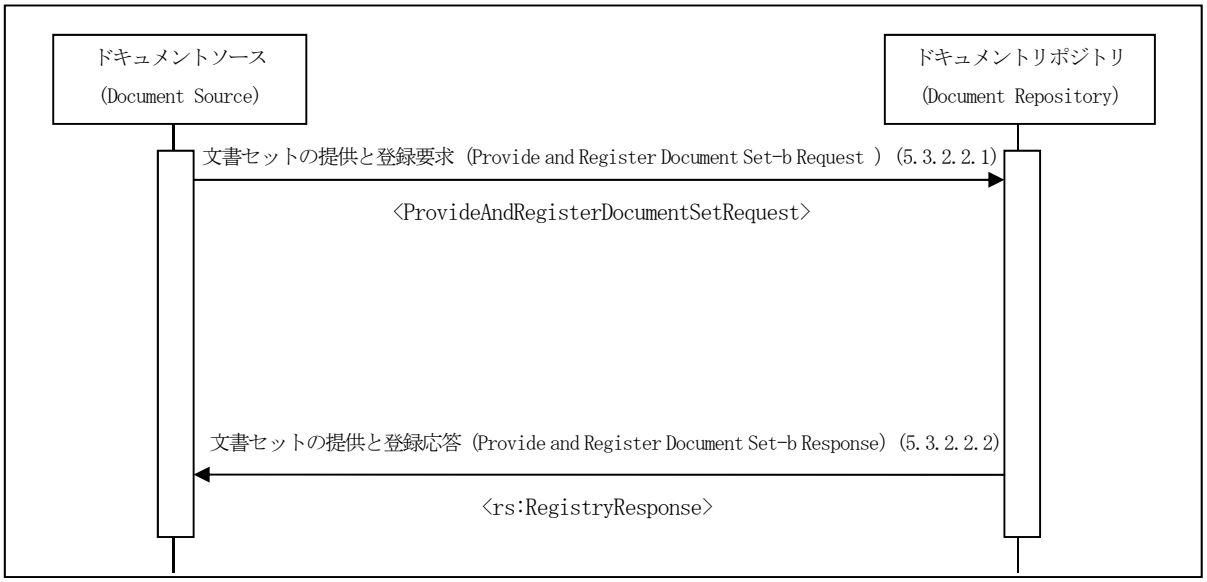


図 5-17 文書セットの提供と登録のインタラクション

表 5-44 文書セットの提供と登録メッセージインタラクション

メッセージインタラクション	説明
文書セットの提供と登録要求（Provide and Register Document Set-b Request）	ドキュメントを《ドキュメントリポジトリ》に送信し、関連するメタデータを《ドキュメントレジストリ》に送信する。
文書セットの提供と登録応答（Provide and Register Document Set-b Request Response）	問合せに対する応答メッセージ。Adhoc Query Response メッセージを使用する。

本書は、XDS.b オプションの内、Document Replace Option と Document Addendum Option を《ドキュメントソース》が実装することを要求する。Document Replace Option は、レジストリ・リポジトリに登録されている既存のドキュメントの置換として、新しいドキュメントを提供することを可能にする。Document Addendum Option は、レジストリ・リポジトリに登録されている既存のドキュメントの追加として、新しいドキュメントを提供することを可能にする。

5.3.2.1. インターフェース定義

文書セットの提供と登録の Web サービスインターフェース仕様を、表 5-45、表 5-46、及び、表 5-47 に示す。《ドキュメントリポジトリ》は、SOAP メッセージ形式の文書セットの提供と登録要求メッセージを受理することができ、SOAP メッセージ形式の文書セットの提供と登録応答メッセージを応答できなければな

© JAHIS 2014

らない。《ドキュメントソース》は、 SOAP メッセージ形式の文書セットの提供と登録メッセージを生成することができ、SOAP メッセージ形式の文書セットの提供と登録応答メッセージを受理できなければならない。

表 5-45 文書セットの提供と登録メッセージで使用する XML 名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:xds-b:2007
soap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchem
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
ihe	urn:ihe:iti:xds-b:2007
rs	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0

表 5-46 文書セットの提供と登録で使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
RetrieveDocumentSetRequest RetrieveDocumentSetResponse	XDS.b_DocumentRepository.xsd
	rs.xsd
	lcm.xsd
	rim.xsd

表 5-47 文書セットの提供と登録 WSDL 定義

WSDL			
XDS.b_DocumentRepository.wsdl			
ポートタイプ			
DocumentRepository_PortType			
オペレーション			
文書セットの提供と登録 (DocumentRepository_ProvideAndRegisterDocumentSet-b)			
入力メッセージ	文書セットの提供と登録要求メッセージ (ihe:ProvideAndRegisterDocumentSet-b_Message)		
	part	body	
	要素	ihe:ProvideAndRegisterDocumentSetRequest	
	アクション	urn:ihe:iti:2007:ProvideAndRegisterDocumentSet-b	
出力メッセージ	文書セットの提供と登録応答メッセージ (ihe:RegistryStoredQueryResponse_Message)		
	part	body	
	要素	rs:RegistryResponse	
	アクション	urn:ihe:iti:2007:ProvideAndRegisterDocumentSet-bResponse	
バインディング (SOAP 1.2 binding)			
DocumentRepository_Binding			
ポートタイプ	ihe:DocumentRepository_PortType		
バインディングスタイル	文書指向 (document)		
トランスポート	HTTP		
オペレーション	DocumentRepository_ProvideAndRegisterDocumentSet-b	SOAPAction	urn:ihe:iti:2007:ProvideAndRegisterDocumentSet-b
		input	エンコード形式 (encoded)

© JAHIS 2014

			output	リテラル形式 (literal)
サービス				
	DocumentRepository_Service			
	バインディング	ihe:DocumentRepository_Binding		

文書セットの提供と登録のWSDLの例を、図 5-18に示す。本例は、当該メッセージに関連する部分のみを抜粋したものであり、完全な例は、ITIのFTPサイト（9.1引用規格 IHE ITI TF-2x Appendix W）を参照のこと。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<!-- edited with XMLSpy v2012 rel. 2 sp1 (x64) (http://www.altova.com) by Jim Elden (Accumedic)
-->
<!-- This wsdl file is for an XDS.b Document Repository Actor -->
<definitions xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007" xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
xmlns:ns="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:ns1="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:ns2="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:soapenc="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/" name="DocumentRepository"
targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007">
  <documentation>IHE XDS.b Document Repository</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <!-- While no elements are directly used from these schema in the WSDL,
      they need to be present here in order for
      code generating toolkits to work properly -->
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/lcm.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
```

© JAHIS 2014

```
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0">
     <!-- Include the message schema -->
     <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rim.xsd"/>
   </xsd:schema>
   <!-- Importing all schemas within one seems to confuse some parsers
     and code-generation tools (and may be invalid)
   <xsd:schema elementFormDefault="qualified">
     <xsd:import namespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
       schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
     <xsd:import namespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
       schemaLocation="../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"/>
   </xsd:schema>
   -->
  </types>
  ~
  <message name="ProvideAndRegisterDocumentSet-b_Message">
    <documentation>Provide and Register Document Set</documentation>
    <part name="body" element="ihe:ProvideAndRegisterDocumentSetRequest"/>
  </message>
  <message name="ProvideAndRegisterDocumentSet-bResponse_Message">
    <documentation>Provide And Register Document Set Response</documentation>
    <part name="body" element="rs:RegistryResponse"/>
  </message>
  <portType name="DocumentRepository_PortType">
    ~
    <operation name="DocumentRepository_ProvideAndRegisterDocumentSet-b">
      <input message="ihe:ProvideAndRegisterDocumentSet-b_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:ProvideAndRegisterDocumentSet-b"/>
      <output message="ihe:ProvideAndRegisterDocumentSet-bResponse_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:ProvideAndRegisterDocumentSet-bResponse"/>
    </operation>
  </portType>
  <binding name="DocumentRepository_Binding" type="ihe:DocumentRepository_PortType">
    <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    <operation name="DocumentRepository_ProvideAndRegisterDocumentSet-b">
      <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:ProvideAndRegisterDocumentSet-b"/>
      <input>
        <soap12:body use="encoded"/>
      </input>
      <output>
        <soap12:body use="literal"/>
      </output>
    </operation>
    ~
  </binding>
```

© JAHIS 2014

```
  <service name="DocumentRepository_Service">
    <port name="DocumentRepository_Port_Soap12" binding="ihe:DocumentRepository_Binding">
      <soap12:address location="http://servicelocation/DocumentRepository_Service"/>
    </port>
  </service>
</definitions>
```

図 5-18　WSDL の例（文書セットの提供と登録）

5.3.2.2. メッセージ定義

文書セットの提供と登録メッセージの XML 定義表の関係を図 5-19 に示す。文書セットの提供と登録要求メッセージには、「5.2.1 メタデータ属性の共通仕様」の表 5-6 に示したメタデータの XML 仕様に従い、登録対象となる文書のメタデータを記録する。また、登録対象の文書は、MTOM/XOP 形式でメッセージに添付される。

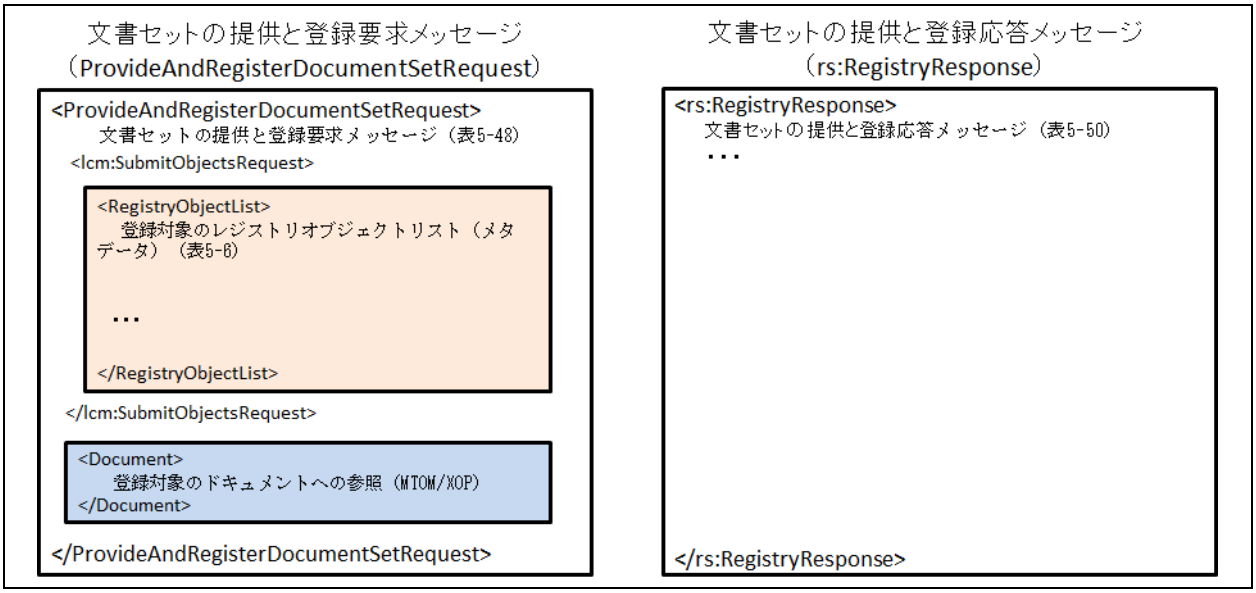


図 5-19 文書セットの提供と登録メッセージの XML 定義表の関係

5.3.2.2.1. 文書セットの提供と登録要求メッセージ（Provide and Register Document Set-b Request）

表 5-48 に文書セットの提供と登録要求メッセージの XML 定義を示す。

表 5-48 XML 定義（文書セットの提供と登録要求メッセージ）

/ProvideAndRegisterDocumentSetRequest						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	lcm :SubmitObjectsRequest	M :1..1	M :1..1			

© JAHIS 2014

1.1	RegistryObjectList	**M :1..1**	**M :1..1**		SubmissionSet のメタデータを含むレジストリオブジェクトリスト。XML 定義の詳細は表 5-6 を参照。	
2	Document	0 :0..*	0 :0..*		メタデータに対応する文書	
2.1	@id	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	メタデータ内の DocumentEntry の entryUUID（ExtrinsicObject 要素の id 属性）。	●
2.2	text()	0 :0..1	0 :0..1	文字列	文書の Base64 符号化文字列。	●
2.3	xop :Include	0 :0..1	0 :0..1		MTOM/XOP を使用して文書を添付する場合に使用する。	
2.3.1	@href	**M :1..1**	**M :1..1**	URI	MTOM/XOP を使用する場合に、文書の格納されている MIME パート（添付ファイルパート）の Content-ID を指定する。	●

文書セットの提供と登録要求メッセージのサンプルメッセージを図 5-20 に示す。図中の番号は、表 5-49 の対応する設定値を表す。メタデータのうち、ドキュメントエントリに関する設定値は、表 5-38 に示したストアドクエリ応答メッセージのサンプルの設定値と同一のため、設定値の説明は省略する。

表 5-49 文書セットの提供と登録要求メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	サブミッションセットの作成者所属施設（authorInstitution）	JAHIS 病院（1.2.392.200196.102.11312345670）
2	サブミッションセットの診療行為種別（contentTypeCode）	OMP
3	サブミッションセットの診療行為種別の表示名（contentTypeCodeDisplayName）	処方・注射情報
4	サブミッションセット エントリ UUID（entryUUID）	SubmissionSet01 （シンボリック ID）
5	サブミッションセット 地域患者 ID（OID）（patientId）	0000087654
6	サブミッションセット 地域患者 ID（ID）（patientId）	1.2.840.114350.1.13.9998.1
7	サブミッションセット ソース ID（sourceId）	1.2.392.200196.102.11312345670.2
8	サブミッションセット登録時刻（submissionTime）	2012 年 12 月 25 日 23 時 50 分 50 秒（UTC）
9	サブミッションセットユニーク ID（uniqueId）	1.2.392.200196.102.11312345670.2^987654321001
10	HasMember 関連 ソース ID	Document01（シンボリック ID）
11	HasMember 関連 ターゲット ID	SubmissionSet01（シンボリック ID）
12	HasMember 関連 サブミッションセットステータス	Original

```
<ProvideAndRegisterDocumentSetRequest
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
```

© JAHIS 2014

```
xsi:schemaLocation="urn:ihe:iti:xds-b:2007 ../../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"
xmlns="urn:ihe:iti:xds-b:2007" xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
  <lcm:SubmitObjectsRequest>
    <rim:RegistryObjectList>
      <rim:ExtrinsicObject id="Document01" mimeType="text/x-hl7-ft"
objectType="urn:uuid:7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1">
        <rim:Slot name="creationTime">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>201212231119</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Slot name="languageCode">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>ja-JP</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Slot name="serviceStartTime">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>201212230800</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Slot name="sourcePatientId">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>012345^^^&amp;1.2.392.200196.102.11312345670&amp;ISO</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Classification id="cl01"
classificationScheme="urn:uuid:93606bcf-9494-43ec-9b4e-a7748d1a838d"
classifiedObject="Document01">
          <rim:Slot name="authorInstitution">
            <rim:ValueList>
              <rim:Value>JAHIS病院^^^^^^^^^1.2.392.200196.102.11312345670</rim:Value>
            </rim:ValueList>
          </rim:Slot>
        </rim:Classification>
        <rim:Classification id="cl02"
classificationScheme="urn:uuid:41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="OMP">
          <rim:Slot name="codingScheme">
            <rim:ValueList>
              <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.5.10</rim:Value>
            </rim:ValueList>
          </rim:Slot>
          <rim:Name>
```

© JAHIS 2014

```
          <rim:LocalizedString value="処方・注射情報"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:Classification id="cl03"
classificationScheme="urn:uuid:f4f85eac-e6cb-4883-b524-f2705394840f"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="N">
        <rim:Slot name="codingScheme">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>2.16.840.1.113883.5.25</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="Normal"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:Classification id="cl04"
classificationScheme="urn:uuid:a09d5840-386c-46f2-b5ad-9c3699a4309d"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="HL7V2.5">
        <rim:Slot name="codingScheme">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.5.9</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="HL7 V2.5形式"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:Classification id="cl05"
classificationScheme="urn:uuid:f33fb8ac-18af-42cc-ae0e-ed0b0bdb91e1"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="04">
        <rim:Slot name="codingScheme">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.2</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="一般病院（一般病床）"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:Classification id="cl06"
classificationScheme="urn:uuid:cccf5598-8b07-4b77-a05e-ae952c785ead"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="01">
        <rim:Slot name="codingScheme">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.8</rim:Value>
          </rim:ValueList>
```

© JAHIS 2014

```
        </rim:Slot>
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="内科"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:Classification id="cl07"
classificationScheme="urn:uuid:f0306f51-975f-434e-a61c-c59651d33983"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="OMP-01">
        <rim:Slot name="codingScheme">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.11</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="処方オーダ"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:ExternalIdentifier id="ei01" registryObject="Document01"
identificationScheme="urn:uuid:58a6f841-87b3-4a3e-92fd-a8ffeff98427"
value="0000087654^^^&amp;1.2.840.114350.1.13.9998.1&amp;ISO">
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="XDSDocumentEntry.patientId"/>
        </rim:Name>
      </rim:ExternalIdentifier>
      <rim:ExternalIdentifier id="ei02" registryObject="Document01"
identificationScheme="urn:uuid:2e82c1f6-a085-4c72-9da3-8640a32e42ab"
value="1.2.392.200196.102.11312345670.1^987654321001">
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="XDSDocumentEntry.uniqueId"/>
        </rim:Name>
      </rim:ExternalIdentifier>
    </rim:ExtrinsicObject>
    <rim:RegistryPackage id="SubmissionSet01">          4
      <rim:Slot name="submissionTime">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>20121225235050</rim:Value>          8
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Classification id="cl08"
classificationScheme="urn:uuid:a7058bb9-b4e4-4307-ba5b-e3f0ab85e12d"
classifiedObject="SubmissionSet01">
        <rim:Slot name="authorInstitution">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>JAHIS病院^^^^^^^^^1.2.392.200196.102.11312345670&</rim:Value>          1
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
```

© JAHIS 2014

```
      </rim:Classification>
      <rim:Classification id="cl09"
classificationScheme="urn:uuid:aa543740-bdda-424e-8c96-df4873be8500"
classifiedObject="SubmissionSet01" nodeRepresentation="OMP">
        <rim:Slot name="codingScheme">                                    2
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.5.10</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="処方・注射情報"/>    3
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:ExternalIdentifier id="ei03" registryObject="SubmissionSet01"
identificationScheme="urn:uuid:96fdda7c-d067-4183-912e-bf5ee74998a8"
value="1.2.392.200196.102.11312345670.2^987654321001">  9
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="XDSSubmissionSet.uniqueId"/>
        </rim:Name>
      </rim:ExternalIdentifier>
      <rim:ExternalIdentifier id="ei04" registryObject="SubmissionSet01"
identificationScheme="urn:uuid:554ac39e-e3fe-47fe-b233-965d2a147832"
value="1.2.392.200196.102.11312345670.2">     7
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="XDSSubmissionSet.sourceId"/>
        </rim:Name>
      </rim:ExternalIdentifier>
      <rim:ExternalIdentifier id="ei05" registryObject="SubmissionSet01"
identificationScheme="urn:uuid:6b5aea1a-874d-4603-a4bc-96a0a7b38446"
value="0000087654^^^&amp;1.2.840.114350.1.13.9998.1&amp;ISO">      5    6
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="XDSSubmissionSet.patientId"/>
        </rim:Name>
      </rim:ExternalIdentifier>
    </rim:RegistryPackage>
    <rim:Classification id="cl10" classifiedObject="SubmissionSet01"
classificationNode="urn:uuid:a54d6aa5-d40d-43f9-88c5-b4633d873bdd"/>
    <rim:Association id="as01" associationType="HasMember" sourceObject="SubmissionSet01"
targetObject="Document01">    11                                                  10
      <rim:Slot name="SubmissionSetStatus">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>Original</rim:Value>    12
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
    </rim:Association>
  </rim:RegistryObjectList>
```

© JAHIS 2014

```
  </lcm:SubmitObjectsRequest>
  <Document id="Document01">
    <xop:Include href="cid:1.urn:uuid:76A2C3D9BCD3AECFF3121793290229@sample.org"
xmlns:xop="http://www.w3.org/2004/08/xop/include"/>
  </Document>
</ProvideAndRegisterDocumentSetRequest>
```

図 5-20 文書セットの提供と登録要求メッセージのメッセージサンプル

5.3.2.2.2. 文書セットの提供と登録応答メッセージ（Provide and Register Document Set-b Response）

表 5-50 に、文書セットの提供と登録応答メッセージの XML 定義を示す。

表 5-50 XML 定義（文書セットの提供と登録応答メッセージ）

/rs :RegistryResponse

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	@status	M :1..1	M :1..1	URN	登録結果に応じて、表 5-53 のいずれかを設定する。	●
2	@requestId	O :0..1	O :0..1	URI	対応する要求メッセージの ID。	●
3	RegistryErrorList	O :0..1	O :0..1		エラーリスト。エラーが発生した場合に使用する。	
3.1	@highestSeverity	O :0..1	O :0..1	URN	エラーリストの中で最も重大なエラーの severity を設定する。	●
3.2	RegistryError	M :1..*	M :1..*		エラー	
3.2.1	@severity	O :0..1	O :0..1	URN	エラーレベル。表 5-39「severity」のいずれかを設定する。	●
3.2.2	@codeContext	M :1..1	M :1..1	文字列	errorCode を補足するテキスト。	●
3.2.3	@errorCode	M :1..1	M :1..1	文字列	表 5-52 に示すエラーコード。	●
3.2.4	@location	O :0..1	O :0..1	文字列	エラーが発生した箇所を示す文字列。	●

文書セットの提供と登録応答メッセージのサンプルメッセージを図 5-21 に示す。図中の番号は、表 5-51 の対応する設定値を表す。

表 5-51 文書セットの提供と登録応答メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	登録結果	成功（Success）

```
<rs:RegistryResponse xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0 ../../schema/ebRS/rs.xsd"
status="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success"/>  1
```

図 5-21 文書セットの提供と登録応答メッセージのメッセージサンプル

© JAHIS 2014

表 5-52 文書セットの提供と登録応答メッセージのエラーコード

No	エラーコード	説明
1	DocumentQueued	将来の手動による患者のマッチングのため文書をキューに入れた。
2	PartialAppendContentNotProcessed	追加（Append）に係る処理の一部を実行できなかった。
3	PartialFolderContentNotProcessed	フォルダ（Folder）に係る処理の一部を実行できなかった。
4	PartialReplaceContentNotProcessed	置換（Replacement）に係る処理の一部を実行できなかった。
5	PartialTransformNotProcessed	変換（Transform）に係る処理の一部を実行できなかった。
6	PartialTransformReplaceNotProcessed	変換と置換（Transform and Replace）に係る処理の一部を実行できなかった。
7	XDSDuplicateUniqueIdInRegistry	SubmissionSet またはFolder のUniqueId がユニークでない。codeContext 属性に当該 UniqueId を指定しなければならない。DocumentEntry の UniqueID についてはユニークでなくても本エラーは発生しない。
8	XDSExtraMetadataNotSaved	拡張されたメタデータが存在し、それが保存されなかったことを表す警告。
9	XDSMissingDocument	対応するドキュメントが存在しない DocumentEntry が存在する。
10	XDSMissingDocumentMetadata	MIME パッケージに含まれる MIME パートに対応するContent-Id ヘッダがメタデータ中に見つからない。
11	XDSPatientIdDoesNotMatch	患者 ID が一致することを要求されているが一致しない場合に発生するエラー。codeContext 属性に当該患者 ID の値と競合の状況を示さなければならない。
12	XDSRegistryBusy	ドキュメントレジストリはビジー状態である。
13	XDSRepositoryBusy	ドキュメントリポジトリはビジー状態である。
14	XDSRegistryDeprecatedDocumentError	廃棄された文書を参照する Association を登録したために処理が中断した。
15	XDSRegistryDuplicateUniqueIdInMessage	SubmissionSet 内で、2 回以上同じ UniqueId が使用されている。codeContext 属性に、重複する UniqueId を指定しなければならない。
16	XDSRepositoryDuplicateUniqueIdInMessage	同上
17	XDSRegistryError	ドキュメントレジストリの内部エラー。詳細なエラーコードが利用可能でない場合にのみ使用する。codeContext に、エラー条件の詳細を指定しなければならない。
18	XDSRepositoryError	ドキュメントリポジトリの内部エラー。詳細なエラーコードが利用可能でない場合にのみ使用する。codeContext に、エラー条件の詳細を指定しなければならない。
19	XDSRegistryMetadataError	ドキュメントレジストリは、メタデータ内にエラーを発見した。codeContext に問題の状況を指定する。

© JAHIS 2014

20	XDSRepositoryMetadataError	ドキュメントリポジトリは、メタデータ内にエラーを発見した。codeContext に問題の状況を指定する。
21	XDSRegistryNotAvailable	ドキュメントリポジトリはドキュメントレジストリにアクセスできない。
22	XDSRegistryOutOfResources	ドキュメントレジストリのリソースが減少している。
23	XDSRepositoryOutOfResource	ドキュメントリポジトリのリソースが減少している。
24	XDSUnknwonPatientId	メタデータで参照される患者 ID が不明である。codeContext 属性に当該患者 ID を含めなければならない。

表 5-53 文書セットの提供と登録応答メッセージの結果状態

Registry Response 結果状態	RegistryErrorList 要素の有無	結果
urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success	存在する可能性がある。存在した場合、1 つ以上の警告レベルの RegistryError 要素が含まれる。	全てのメタデータと文書は正しく格納された。警告 XDSExtraMetadataNotSaved が発生した場合は、拡張されたメタデータが保存されていない可能性がある。
urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ResponseStatusType :Failure	存在し、1 つ以上の RegistryError 要素を含み、最低 1 つは、エラーレベルの結果を含む。	メタデータと文書は格納されない。

5.3.2.3. セキュリティ要求

《ドキュメントソース》は、文書セットの提供と登録[ITI-41]を使用し、《ドキュメントリポジトリ》に問合せを送信する際には、「システム間通信による個人情報の出力」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

《ドキュメントリポジトリ》は、《ドキュメントソース》から文書セットの提供と登録[ITI-41]を受信した際には、「システム間通信による個人情報の入力」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

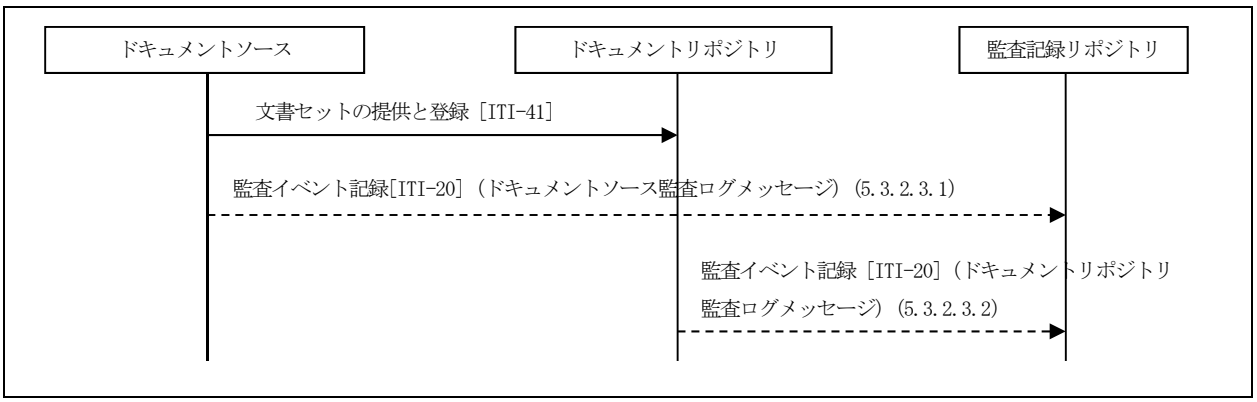


図 5-22 文書セットの提供と登録[ITI-41]送受信時の監査ログメッセージ

© JAHIS 2014

5.3.2.3.1. ドキュメントソース監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《ドキュメントソース》が文書セットの提供と登録[ITI-41]を実行した際の、システム間通信による個人情報の出力イベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 5-54 ドキュメントソース監査ログメッセージ（文書セットの提供と登録送信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連）(1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	EV（110115, IHEJ, “IHE Export”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “R”（読み取り）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-41”, “IHE Transactions”, “Provide and Register Document Set-b”)
Source（出力者関連）(1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV（110153, DCM, “Source Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Human Requestor（if known）（出力者関連）(0..n) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	トランザクションを発動した人の識別子
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE

© JAHIS 2014

	RoleIDCode	U	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 このトランザクションを許可されたユーザが保持するアクセス権限上の役割。
	NetworkAccessPointTypeCode	NA	
	NetworkAccessPointID	NA	
Destination（出力者関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データの出力先の ID。 SOAP エンドポイント URI
	AlternateUserID	U	データの出力先の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データの出力先の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データの出力先が本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV FALSE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source（発生源システム関連） (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient（関係者オブジェクト関連（アクセスされた患者情報）） (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1（人）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 1（患者）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV 2（患者 ID）
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized

© JAHIS 2014

	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。
Submission Set（出力情報） (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 （システム）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 20 （仕事）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV(“urn:uuid:a54d6aa5-d40d-43f9-88c5-b4633d873bdd”, “IHE XDS Metadata”, “submission set classificationNode”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 サブミッションセットユニーク ID
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

5.3.2.3.2. ドキュメントリポジトリ監査ログメッセージ

本メッセージは、《ドキュメントリポジトリ》が《ドキュメントソース》から文書セットの提供と登録を受信した際の、システム間通信による個人情報へのアクセスイベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 5-55 ドキュメントリポジトリ監査ログメッセージ（文書セットの提供と登録受信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連） (1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	EV (110116, IHEJ, “IHE Import”)
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “C” (作成)
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-41”, “IHE Transactions”, “Provide and Register Document Set-b”)
Source（入力元関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データの入力元の ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データの入力元の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。

© JAHIS 2014

	UserName	U	データの入力元の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの役割。 EV (110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Destination (入力者関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを入力した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。 SOAP エンドポイント URI
	AlternateUserID	U	データを入力した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを入力した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV FALSE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source (発生源システム関連) (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。 特化なし。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。 特化なし。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient (入力情報) (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1 (人)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 1 (患者)
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDType	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。

© JAHIS 2014

	Code		EV 2（患者 ID）
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。 HL7 CX 型で表現された患者 ID
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。
Submission Set（入力情報） (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 （システム）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 20 （仕事）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV(“urn:uuid:a54d6aa5-d40d-43f9-88c5-b4633d873bdd”, “IHE XDS Metadata”, “submission set classificationNode”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 サブミッションセットユニーク ID
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

5.3.2.4. その他の注意事項

1） メタデータへの属性追加と検証について

《ドキュメントリポジトリ》は、《ドキュメントレジストリ》に、文書の登録 [ITI-42]トランザクションを使用してメタデータを転送しなければならない。その際、《ドキュメントリポジトリ》は、次の 3 つの属性をメタデータに追加しなければならない。

- 文書リポジトリを一意に識別する ID (XDSDocumentEntry.repositoryUniqueId)
- ハッシュ値 (XDSDocumentEntry.hash)
- サイズ (XDSDocumentEntry.size)

《ドキュメントリポジトリ》は、次のメタデータ要素を検証しなければならない。

© JAHIS 2014

・ XDSDocumentEntry.uniqueId
ドキュメントエントリのuniqueIDが重複した場合､その２つの文書のハッシュ値が一致しなければ､そのサブミッションセットは棄却される。ハッシュ値が一致した場合、それらは重複した文書として受理されなければならない。

・ XDSSubmissionSet.sourceId
《ドキュメントリポジトリ》は、特定の《ドキュメントソース》からのリクエストのみを受理するようにこの値を使用してフィルタリングすることができる。

・ XDSDocumentEntry.hash
もし、サブミッションセットにドキュメントエントリのハッシュ値が含まれており、その値が《ドキュメントリポジトリ》が計算したハッシュ値と異なる場合は､XDSRepositoryMetadataErrorが返却されなければならない。

・ XDSDocumentEntry.size
もし、サブミッションセットにドキュメントのサイズが含まれており、その値が《ドキュメントリポジトリ》が計算した値と異なる場合は、XDSRepositoryMetadataErrorが返却されなければならない。

《ドキュメントリポジトリ》は、ある特定の文書を要求する Retrieve Document Set [ITI-43] トランザクションを受信した場合､《ドキュメントコンシューマ》に対して登録された文書を変更せずに提供しなければならず、XDSDocumentEntryオブジェクトのサイズとハッシュ値が一致しなければならない。

２）登録処理の不可分性について

不可分操作とは、（１）操作が完了するまで、他のプロセスがその途中の状態を観測できないこと、（２）一部の操作が失敗したら組み合わせ全体が失敗し、システムの状態は不可分操作を行う前の状態に戻さなければならない、の２つの条件が満たされるような操作である。XDSにおいて､《ドキュメントリポジトリ》と《ドキュメントレジストリ》への登録処理は、不可分操作でなければならない。もし一部の処理が失敗した場合には、トランザクション全体を失敗とし、結果が変更されてはならない。

文書を《ドキュメントリポジトリ》にを格納する処理でエラーが発生した場合には、そのサブミッションリクエストで格納された全ての文書が削除されなければならない。

メタデータを《ドキュメントレジストリ》に格納する処理でエラーが発生した場合には、そのサブミッションリクエストで格納された全てのメタデータが《ドキュメントレジストリ》から削除され、かつ、もしそのサブミッションリクエストが､《ドキュメントリポジトリ》への登録要求の結果発生した場合は、そのサブミッションリクエストで格納された全ての文書が《ドキュメントリポジトリ》から削除されなければならない。

ストアドクエリ[ITi-18]は、不可分操作が完了していないオブジェクトを検索できてはならない。

© JAHIS 2014

5.3.3. 文書セットの登録（Register Document Set-b）[ITI-42]

文書セットの登録トランザクション[ITI-42]は、《ドキュメントリポジトリ》が、《ドキュメントレジストリ》に文書のメタデータを登録する際に使用するトランザクションである。参照標準は、ebRIM（OASIS/ebXML Registry Information Model v3.0）、及び、ebRS （OASIS/ebXML RegistryServices Specifications v3.0）、MTOM (SOAP Message Transmission Optimization Mechanism)、XOP (XML-binary Optimized Packaging) である。

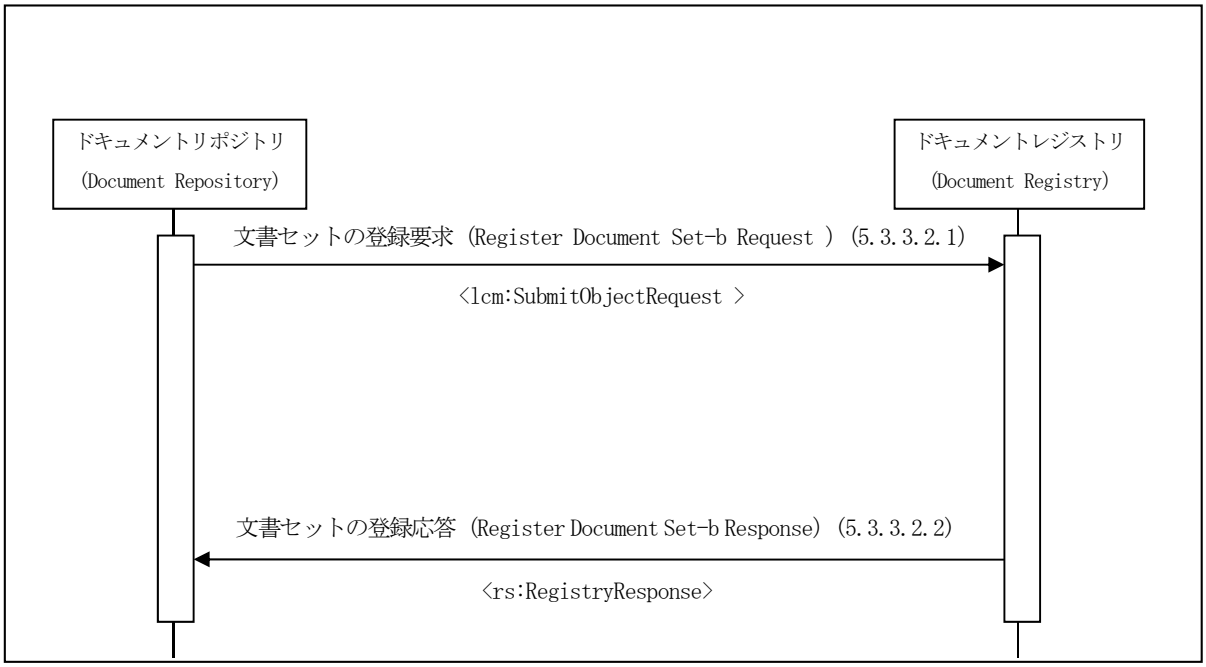


図 5-23 文書セットの登録のインタラクション

表 5-56 文書セットの登録メッセージインタラクション

メッセージインタラクション	説明
文書セットの提供と登録要求 (Provide and Register Document Set-b Request)	ドキュメントを《ドキュメントリポジトリ》に送信し、関連するメタデータを《ドキュメントレジストリ》に送信する。
文書セットの提供と登録応答 (Provide and Register Document Set-b Request Response)	問合せに対する応答メッセージ。Adhoc Query Response メッセージを使用する。

5.3.3.1. インターフェース定義

文書セットの登録トランザクションの Web サービスインターフェース仕様を、表 5-57、表 5-58、及び、表 5-59 に示す。

《ドキュメントレジストリ》は、SOAP メッセージ形式の文書セットの登録要求メッセージを受理することができ、SOAP メッセージ形式の文書セットの登録応答メッセージを応答できなければならない。《ドキュメントリポジトリ》は、 SOAP メッセージ形式の文書セットの登録要求メッセージを生成することができ、SOAP メッセージ形式の文書セットの登録応答メッセージを受理できなければならない。

© JAHIS 2014

表 5-57 文書セットの登録で使用する XML 名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:xds-b:2007
soap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/
xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchem
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
ihe	urn:ihe:iti:xds-b:2007
query	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0
rs	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0

表 5-58 文書セットの登録で使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
AdhocQueryRequest AdhocQueryResponse ResponseOption	query.xsd
AdhocQuery Slot ValueList Value RegistryObjectList ExtrinsicObject	rim.xsd
	rs.xsd
	lcm.xsd

表 5-59 文書セットの登録 WSDL 定義

WSDL		
XDS.b_DocumentRegistry.wsdl		
ポートタイプ		
DocumentRegistry_PortType		
オペレーション		
文書セットの登録 (DocumentRegistry_RegisterDocumentSet-b)		
入力メッセージ	文書セットの登録要求メッセージ (RegisterDocumentSet-b_Message)	
	part	body
	要素	lcm:SubmitObjectsRequest
	アクション	urn:ihe:iti:2007:RegisterDocumentSet-b
出力メッセージ	文書セットの登録応答メッセージ (RegisterDocumentSet-bResponse_Message)	
	part	body
	要素	rs:RegistryResponse
	アクション	urn:ihe:iti:2007:RegisterDocumentSet-bResponse
バインディング (SOAP 1.2 binding)		
DocumentRegistry_Binding_Soap12		
ポートタイプ	ihe:DocumentRegistry_PortType	
バインディングスタイル	文書指向 (document)	
トランスポート	HTTP	

© JAHIS 2014

	オペレーション	DocumentRegistry_RegisterDocumentSet-b	SOAPAction	urn:ihe:iti:2007:RegisterDocumentSet-b
			input	リテラル形式（literal）
			output	リテラル形式（literal）
サービス				
	DocumentRegistry_Service			
	バインディング	ihe:DocumentRegistry_Binding_Soap12		

文書セットの登録のWSDLの例を、図 5-12に示す。本例は、当該メッセージに関連する部分のみを抜粋したものであり、完全な例は、ITIのFTPサイト（9.1引用規格 IHE ITI TF-2x Appendix W）を参照のこと。

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<!-- This wsdl file is for an XDS.b Document Registry Actor -->
<definitions xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0" xmlns:hl7="urn:hl7-org:v3"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl" name="DocumentRegistry">
  <documentation>IHE XDS.b Document Registry</documentation>
  <types>
    ～
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/query.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/lcm.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <!-- While no elements are directly used from this schema in the WSDL, it needs to be present
here in order for
                code generating toolkits to work properly -->
```

© JAHIS 2014

```
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rim.xsd"/>
    </xsd:schema>
  </types>
  ～
  <message name="RegisterDocumentSet-b_Message">
    <documentation>Register Document Set - b</documentation>
    <part name="body" element="lcm:SubmitObjectsRequest"/>
  </message>
  <message name="RegisterDocumentSet-bResponse_Message">
    <documentation>Register Document Set - b Response</documentation>
    <part name="body" element="rs:RegistryResponse"/>
  </message>
  ～
  <portType name="DocumentRegistry_PortType">
    <operation name="DocumentRegistry_RegisterDocumentSet-b">
      <input message="ihe:RegisterDocumentSet-b_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RegisterDocumentSet-b"/>
      <output message="ihe:RegisterDocumentSet-bResponse_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RegisterDocumentSet-bResponse"/>
    </operation>
    ～
  </portType>
  <binding name="DocumentRegistry_Binding_Soap12" type="ihe:DocumentRegistry_PortType">
    <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
    <operation name="DocumentRegistry_RegisterDocumentSet-b">
      <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:RegisterDocumentSet-b"/>
      <input>
        <soap12:body use="literal"/>
      </input>
      <output>
        <soap12:body use="literal"/>
      </output>
    </operation>
    ～
  </binding>
  <service name="DocumentRegistry_Service">
    <port name="DocumentRegistry_Port_Soap12" binding="ihe:DocumentRegistry_Binding_Soap12">
      <soap12:address location="http://servicelocation/DocumentRegistry_Service"/>
    </port>
  </service>
</definitions>
```

図 5-24 WSDL の例（文書セットの登録）

© JAHIS 2014

5.3.3.2. メッセージ定義

文書セットの登録メッセージの XML 定義表の関係を図 5-25 に示す。文書セットの登録要求メッセージには、「5.2.1 メタデータ属性の共通仕様」の表 5-6 に示したメタデータの XML 仕様に従い、登録対象となる文書のメタデータを記録する。文書セットの登録応答メッセージは、「5.3.2.2.2 文書セットの提供と登録応答メッセージ（Provide and Register Document Set-b Response)」と同一である。

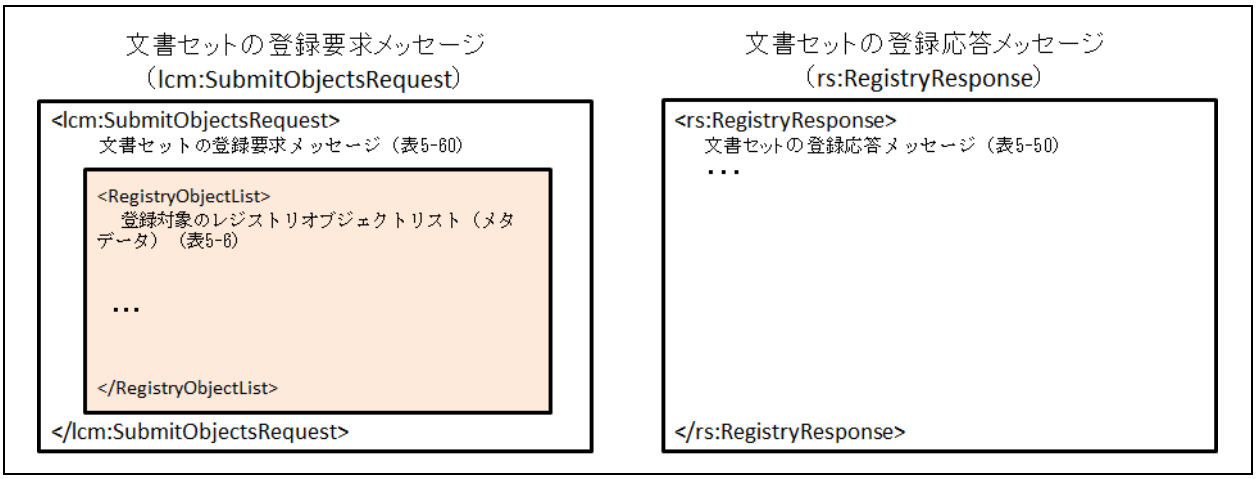


図 5-25 文書セットの登録要求メッセージの XML 定義表の関係

5.3.3.2.1. 文書セットの登録要求メッセージ（Register Document Set-b Request）

文書セットの登録要求メッセージの XML 定義を表 5-60 に示す。

表 5-60 XML 定義（文書セットの登録要求メッセージ）

/lcm :SubmitObjectsRequest						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	RegistryObjectList	M :1..1	M :1..1		SubmissionSet のメタデータを含むレジストリオブジェクトリスト。XML 定義の詳細は表 5-6 を参照。	

文書セットの登録要求メッセージのサンプルメッセージを図 5-26 に示す。メタデータのうち、ドキュメントエントリに関する設定値は、表 5-38 に示したストアドクエリ応答メッセージのサンプルの設定値と同一のため、設定値の説明は省略する。

```
<lcm:SubmitObjectsRequest xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0 ../../schema/ebRS/lcm.xsd"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
```

© JAHIS 2014

```
  <rim:RegistryObjectList>
    <rim:ExtrinsicObject id="Document01" mimeType="text/x-hl7-ft"
objectType="urn:uuid:7edca82f-054d-47f2-a032-9b2a5b5186c1">
      <rim:Slot name="creationTime">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>201212231119</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="hash">
        <rim:ValueList>

<rim:Value>01178361b7090400da704f024d951666720c322cb7094c694f8a6bdfb640e0bc</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="languageCode">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>ja-JP</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="serviceStartTime">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>201212230800</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="size">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>4449</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="sourcePatientId">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>012345^^^&amp;1.2.392.200196.102.11312345670&amp;ISO</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Slot name="repositoryUniqueId">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.9.1</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Classification id="cl01"
classificationScheme="urn:uuid:93606bcf-9494-43ec-9b4e-a7748d1a838d"
classifiedObject="Document01">
        <rim:Slot name="authorInstitution">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>JAHIS病院^^^^^^^^^1.2.392.200196.102.11312345670</rim:Value>
          </rim:ValueList>
```

© JAHIS 2014

```
      </rim:Slot>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification id="cl02"
classificationScheme="urn:uuid:41a5887f-8865-4c09-adf7-e362475b143a"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="OMP">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.5.10</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="処方・注射情報"/>
      </rim:Name>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification id="cl03"
classificationScheme="urn:uuid:f4f85eac-e6cb-4883-b524-f2705394840f"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="N">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>2.16.840.1.113883.5.25</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="Normal"/>
      </rim:Name>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification id="cl04"
classificationScheme="urn:uuid:a09d5840-386c-46f2-b5ad-9c3699a4309d"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="HL7V2.5">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.5.9</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="HL7 V2.5形式"/>
      </rim:Name>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification id="cl05"
classificationScheme="urn:uuid:f33fb8ac-18af-42cc-ae0e-ed0b0bdb91e1"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="04">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.2</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
```

© JAHIS 2014

```
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="一般病院（一般病床）"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:Classification id="cl06"
classificationScheme="urn:uuid:cccf5598-8b07-4b77-a05e-ae952c785ead"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="01">
        <rim:Slot name="codingScheme">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.8</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="内科"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:Classification id="cl07"
classificationScheme="urn:uuid:f0306f51-975f-434e-a61c-c59651d33983"
classifiedObject="Document01" nodeRepresentation="OMP-01">
        <rim:Slot name="codingScheme">
          <rim:ValueList>
            <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.9998.5.11</rim:Value>
          </rim:ValueList>
        </rim:Slot>
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="処方オーダ"/>
        </rim:Name>
      </rim:Classification>
      <rim:ExternalIdentifier id="ei01" registryObject="Document01"
identificationScheme="urn:uuid:58a6f841-87b3-4a3e-92fd-a8ffeff98427"
value="0000087654^^^&amp;1.2.840.114350.1.13.9998.1&amp;ISO">
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="XDSDocumentEntry.patientId"/>
        </rim:Name>
      </rim:ExternalIdentifier>
      <rim:ExternalIdentifier id="ei02" registryObject="Document01"
identificationScheme="urn:uuid:2e82c1f6-a085-4c72-9da3-8640a32e42ab"
value="1.2.392.200196.102.11312345670.1^987654321001">
        <rim:Name>
          <rim:LocalizedString value="XDSDocumentEntry.uniqueId"/>
        </rim:Name>
      </rim:ExternalIdentifier>
    </rim:ExtrinsicObject>
    <rim:RegistryPackage id="SubmissionSet01">
      <rim:Slot name="submissionTime">
        <rim:ValueList>
```

© JAHIS 2014

```
        <rim:Value>20121225235050</rim:Value>
      </rim:ValueList>
    </rim:Slot>
    <rim:Classification id="cl08"
classificationScheme="urn:uuid:a7058bb9-b4e4-4307-ba5b-e3f0ab85e12d"
classifiedObject="SubmissionSet01">
      <rim:Slot name="authorInstitution">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>JAHIS病院^^^^^^^^^1.2.392.200196.102.11312345670</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
    </rim:Classification>
    <rim:Classification id="cl09"
classificationScheme="urn:uuid:aa543740-bdda-424e-8c96-df4873be8500"
classifiedObject="SubmissionSet01" nodeRepresentation="OMP">
      <rim:Slot name="codingScheme">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>1.2.840.114350.1.13.99998.5.10</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="処方・注射情報"/>
      </rim:Name>
    </rim:Classification>
    <rim:ExternalIdentifier id="ei03" registryObject="SubmissionSet01"
identificationScheme="urn:uuid:96fdda7c-d067-4183-912e-bf5ee74998a8"
value="1.2.392.200196.102.11312345670.2^987654321001">
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="XDSSubmissionSet.uniqueId"/>
      </rim:Name>
    </rim:ExternalIdentifier>
    <rim:ExternalIdentifier id="ei04" registryObject="SubmissionSet01"
identificationScheme="urn:uuid:554ac39e-e3fe-47fe-b233-965d2a147832"
value="1.2.392.200196.102.11312345670.2">
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="XDSSubmissionSet.sourceId"/>
      </rim:Name>
    </rim:ExternalIdentifier>
    <rim:ExternalIdentifier id="ei05" registryObject="SubmissionSet01"
identificationScheme="urn:uuid:6b5aea1a-874d-4603-a4bc-96a0a7b38446"
value="0000087654^^^&amp;1.2.840.114350.1.13.9998.1&amp;ISO">
      <rim:Name>
        <rim:LocalizedString value="XDSSubmissionSet.patientId"/>
      </rim:Name>
    </rim:ExternalIdentifier>
  </rim:RegistryPackage>
```

© JAHIS 2014

```
    <rim:Classification id="cl10" classifiedObject="SubmissionSet01"
classificationNode="urn:uuid:a54d6aa5-d40d-43f9-88c5-b4633d873bdd"/>
    <rim:Association id="as01" associationType="HasMember" sourceObject="SubmissionSet01"
targetObject="Document01">
      <rim:Slot name="SubmissionSetStatus">
        <rim:ValueList>
          <rim:Value>Original</rim:Value>
        </rim:ValueList>
      </rim:Slot>
    </rim:Association>
  </rim:RegistryObjectList>
</lcm:SubmitObjectsRequest>
```

図 5-26 文書セットの登録要求メッセージのメッセージサンプル

5.3.3.2.2. 文書セットの登録応答メッセージ（Register Document Set-b Response）

文書セットの登録応答メッセージの XML 定義は、5.3.2.2.2「文書セットの提供と登録応答メッセージ(Provide and Register Document Set-b Response)」の表 5-50 と同一である。XMLNo 1.1 で使用する結果状態は、表 5-63 のコードを指定する。XMLNo 2.2.3 で指定するエラーコードは、表 5-62 のコードを指定する。

文書セットの提供と登録応答メッセージのサンプルメッセージを図 5-27 に示す。図中の番号は、表 5-61 の対応する設定値を表す。

表 5-61 文書セットの登録応答メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	登録結果	失敗 (Failuer)
2	エラーコード	XDSUnknownPatientError
3	エラーメッセージ	Patient ID is not known to the registry
4	エラーの重要度	エラーレベル (Error)

```
<rs:RegistryResponse xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0 ../../schema/ebRS/rs.xsd"
status="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Failuer">  1
  <rs:RegistryErrorList>
    <rs:RegistryError severity="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ErrorSeverityType:Error"  4
codeContext="Patient ID is not known to the registry" errorCode="XDSUnknownPatientError"/>
  </rs:RegistryErrorList>                                3                    2
</rs:RegistryResponse>
```

図 5-27 文書セットの登録応答メッセージのメッセージサンプル

© JAHIS 2014

表 5-62 文書セットの登録応答メッセージで使用するエラーコード

No	エラーコード	説明
1	XDSDuplicateUniqueIdInRegistry	SubmissionSet または Folder の UniqueId がユニークでない。codeContext 属性に当該 UniqueId を指定しなければならない。DocumentEntry の UniqueID についてはユニークでなくても本エラーは発生しない。
2	XDSExtraMetadataNotSaved	拡張されたメタデータが存在し、それが保存されなかったことを表す警告。
3	XDSNonIdenticalHash	指定された文書の uniqueId が、レジストリ内の uniqueId と重複し、かつ、ハッシュ値が一致しない。codeContext 属性に当該 uniqueId を指定する。
4	XDSNonIdenticalSize	指定された文書の uniqueId が、レジストリ内の uniqueId と重複し、かつ、サイズが一致しない。codeContext 属性に当該 uniqueId を指定する。
5	XDSPatientIdDoesNotMatch	患者 ID が一致することを要求されているが一致しない場合に発生するエラー。codeContext 属性に当該患者 ID の値と競合の状況を示さなければならない。
6	XDSRegistryBusy	ドキュメントレジストリはビジー状態である。
7	XDSRegistryDeprecatedDocumentError	廃棄された文書を参照する Association を登録したために処理が中断した。
8	XDSRegistryDuplicateUniqueIdInMessage	SubmissionSet 内で、2 回以上同じ UniqueId が使用されている。codeContext 属性に、重複する UniqueId を指定しなければならない。
9	XDSRegistryError	ドキュメントレジストリの内部エラー。詳細なエラーコードが利用可能でない場合にのみ使用する。codeContext に、エラー条件の詳細を指定しなければならない。
10	XDSRegistryMetadataError	ドキュメントレジストリは、メタデータ内にエラーを発見した。codeContext に問題の状況を指定する。
11	XDSRegistryOutOfResources	ドキュメントレジストリのリソースが減少している。
12	XDSUnknwonPatientId	メタデータで参照される患者 ID が不明である。codeContext 属性に当該患者 ID を含めなければならない。

表 5-63 文書セットの登録応答メッセージの結果状態

Registry Response 結果状態	RegistryErrorList 要素の有無	結果
urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success	存在する可能性がある。存在した場合、1 つ以上の警告レベルの RegistryError 要素が含まれる。	全てのメタデータは正しく格納された。警告 XDSExtraMetadataNotSaved が発生した場合は、拡張されたメタデータが保存されていない可能性がある。

© JAHIS 2014

urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ResponseStatusType :Failure	存在し、1 つ以上の RegistryError 要素を含み、最低 1 つは、エラーレベルの結果を含む。	メタデータは格納されない。

5.3.3.3. セキュリティ要求

《ドキュメントリポジトリ》は、文書セットの登録[ITI-42]を使用し《ドキュメントレジストリ》に問合せを送信する際には、「システム間通信による個人情報の出力」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

《ドキュメントレジストリ》は、《ドキュメントリポジトリ》から文書セットの登録[ITI-42]を受信した際には、「システム間通信による個人情報の入力」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

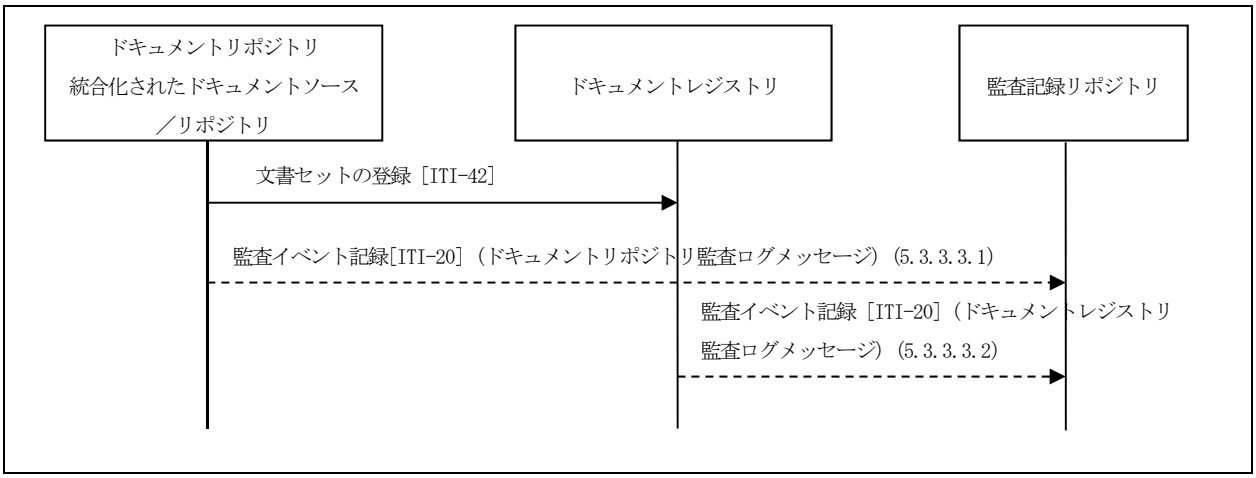


図 5-28 文書セットの登録[ITI-42]送受信時の監査ログメッセージ

5.3.3.3.1. ドキュメントリポジトリまたは統合化されたドキュメントソース／リポジトリ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《ドキュメントレジストリ》または《統合化されたドキュメントソース／リポジトリ》が、文書セットの登録[ITI-42]を実行した際の、システム間通信による個人情報の出力イベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 5-64 ドキュメントリポジトリまたは統合化されたドキュメントソース／リポジトリ監査ログメッセージ形式（文書セットの登録送信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連）(1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	EV（110115, IHEJ, “IHE Export”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “R”（読み取り）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。

© JAHIS 2014

			RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-42”, “IHE Transactions”, “Register Document Set-b”)
Source (出力者関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV (110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Human Requestor (if known) (出力者関連) (0..n) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	このトランザクションを発動した人の識別子
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	U	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 このトランザクションを許容されたユーザが保持するアクセス権限上の役割。
	NetworkAccessPointTypeCode	NA	
	NetworkAccessPointID	NA	
Destination (出力者関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データの出力先の ID。 SOAP エンドポイント URI
	AlternateUserID	U	データの出力先の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データの出力先の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データの出力先が本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。

© JAHIS 2014

			EV FALSE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source (発生源システム関連) (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient (関係者オブジェクト関連(アクセスされた患者情報)) (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1 (人)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 1 (患者)
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV 2 (患者 ID)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。
Submission Set (出力情報) (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 (システム)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 20 (仕事)
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV(“urn:uuid:a54d6aa5-d40d-43f9-88c5-b4633d873bdd”, “IHE XDS Metadata”, “submission set classificationNode”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。

© JAHIS 2014

			サブミッションセットユニーク ID
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	特化なし。
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

5.3.3.3.2. ドキュメントレジストリ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《ドキュメントレジストリ》が文書セットの登録[ITI-42]を受信した際の、システム間通信による個人情報の入力イベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 5-65 ドキュメントレジストリ監査ログメッセージ形式（文書セットの登録受信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連） (1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	EV（110116, IHEJ, “IHE Import”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “C”（作成）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-42”, “IHE Transactions”, “Register Document Set-b”)
Source（入力元関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データの入力元の ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データの入力元の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データの入力元の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの役割。 EV（110153, DCM, “Source Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Destination（入力者関連） (1) (AuditMessage/Activ	UserID	M	データを入力した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。 SOAP エンドポイント URI

© JAHIS 2014

eParticipant)	AlternateUserID	U	データを入力した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを入力した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV FALSE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source (発生源システム関連) (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。 特化なし。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。 特化なし。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient (入力情報) (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1 (人)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 1 (患者)
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV 2 (患者 ID)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。 HL7CX 型で表現された患者 ID。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。
Submission Set (入力情報) (1) (AuditMessage/ParticipantObjectId	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 (システム)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 20 (仕事)
	ParticipantObjectDataLi	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。

© JAHIS 2014

entification)	feCycle		RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV(“urn:uuid:a54d6aa5-d40d-43f9-88c5-b4633d873bdd”, “IHE XDS Metadata”, “submission set classificationNode”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 サブミッションセットユニーク ID
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。

5.3.3.4. その他の注意事項

《ドキュメントリポジトリ》は、文書セットの登録 [ITI-42]トランザクションを使用して《ドキュメントレジストリ》にメタデータを転送しなければならない。その際、《ドキュメントリポジトリ》は、次の 3 つの属性をメタデータに追加しなければならない。

- 文書リポジトリを一意に識別する ID (XDSDocumentEntry.repositoryUniqueId)
- ハッシュ値 (XDSDocumentEntry.hash)
- サイズ (XDSDocumentEntry.size)

《ドキュメントレジストリ》は、次の処理を行わなければならない。

- 全ての妥当な SumitObjectsRequest を受理する。
- メタデータの検証を行う。

《ドキュメントレジストリ》は、文書セットの登録[ITI-42]で受けた全ての IHE メタデータ属性を格納し、以降に受ける問合せの結果として、それらの IHE メタデータ属性を応答できなければならない。

《ドキュメントレジストリ》が、IHE の仕様の中で定義されていない拡張されたメタデータ属性に対応している (XDSExtraMetadataNotSave 警告を発生させない) のであれば、拡張されたメタデータ属性を格納し、以降の問合せの結果として応答できなければならない。

・メタデータを含むレジストリ情報を更新する。
・結果状態を RegistryResponse メッセージとして返却する。

もし、《ドキュメントレジストリ》がメタデータを棄却するのであれば、次の処理を行う。

・エラーを返却する。
・エラー状態をエラーメッセージ内に含む。
・要求をロールバックする。

《ドキュメントリポジトリ》は、XDS サブミッションセットに含まれる全ての新規文書について、《ドキュメントレジストリ》に対して文書セットの登録要求を開始する前に文書セットの読み出しを利用可能にしなければならない。これは、《ドキュメントレジストリ》が、文書セットの登録要求に応答する前に、文書の格納が成功したことを検証する可能性があるからである。また、《ドキュメントコンシューマ》は、《ドキュメントリポジトリ》からの応答を受信する前に、文書を読みだす可能性があるからである。

© JAHIS 2014

5.3.4. 文書セットの読出し（Retrieve Document Set）[ITI-43]

文書セットの読出し[ITI-43]トランザクションは《ドキュメントコンシューマ》から《ドキュメントリポジトリに対する》文書セットの読出し要求メッセージと、《ドキュメントリポジトリ》から《ドキュメントコンシューマ》への文書セットの読出し応答メッセージから構成される。図 5-29 にメッセージインタラクションを示す。

参照規格は、ebRIM （OASIS/ebXML Registry Information Model v3.0）、及び、ebRS （OASIS/ebXML RegistryServices Specifications v3.0）、MTOM（SOAP Message Transmission Optimization Mechanism）、XOP（XML-binary Optimized Packaging）である。

本トランザクションの実装は、Web サービスを使って実現される。SOAP メッセージにおいて文書を添付する方法として、MTOM/XOP を使用する。《ドキュメントリポジトリ》は、MTOM/XOP 形式で文書セットの読出し応答メッセージを生成できなければならない。《ドキュメントコンシューマ》は、MTOM/XOP 形式の文書セット読出し応答メッセージを受理できなければならない。

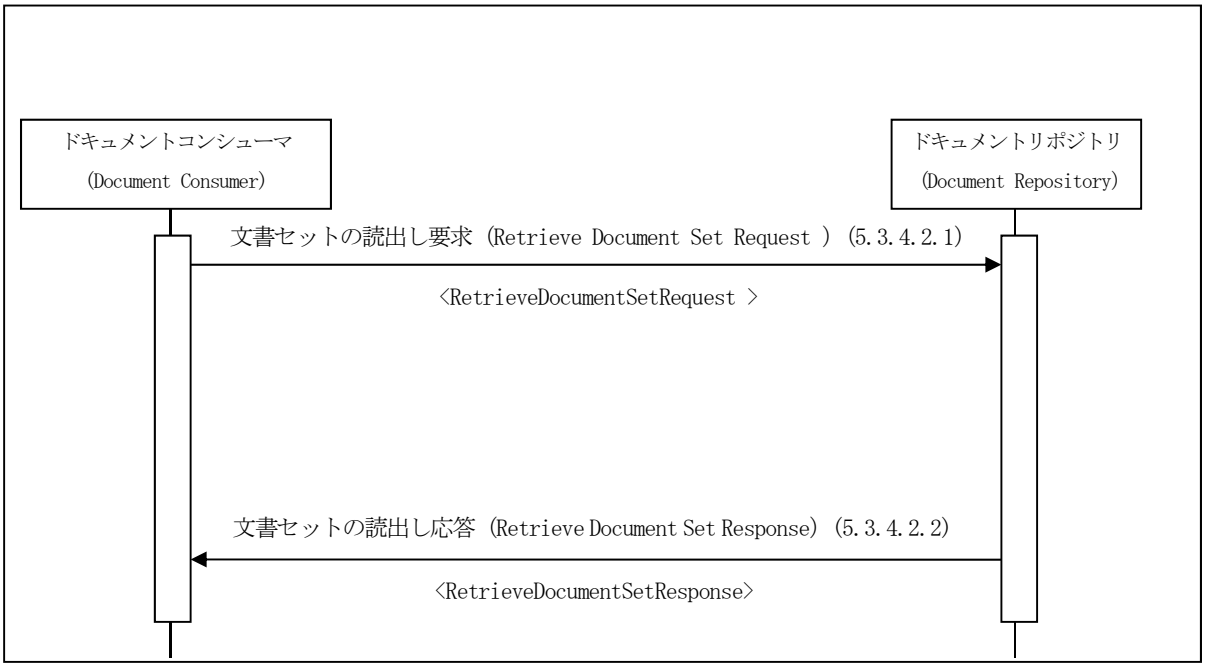


図 5-29 文書セットの読出しのインタラクション

5.3.4.1. インターフェース定義

文書セットの読出しの Web サービスインターフェース仕様を、表 5-66、表 5-67、及び、表 5-68 に示す。《ドキュメントリポジトリ》は、SOAP メッセージ形式の文書セットの読出しメッセージを受理することができ、SOAP メッセージ形式の文書セットの読出し応答メッセージを応答できなければならない。《ドキュメントコンシューマ》は、 SOAP メッセージ形式の文書セットの読出し要求メッセージを生成することができ、SOAP メッセージ形式の文書セットの読出し応答メッセージを受理できなければならない。

表 5-66 文書セットの読出しメッセージで使用する XML 名前空間

プレフィックス	名前空間
tns	urn:ihe:iti:xds-b:2007
soap12	http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/

© JAHIS 2014

xsd	http://www.w3.org/2001/XMLSchem
wsaw	http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl
ihe	urn:ihe:iti:xds-b:2007
rs	urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0

表 5-67 文書セットの読出しで使用する XML スキーマ

ターゲット要素	XML スキーマ
RetrieveDocumentSetRequest RetrieveDocumentSetResponse	XDS.b_DocumentRepository.xsd
	rs.xsd
	lcm.xsd
	rim.xsd

表 5-68 文書セットの提供と登録 WSDL 定義

WSDL			
XDS.b_DocumentRepository.wsdl			
ポートタイプ			
DocumentRepository_PortType			
オペレーション			
文書セットの読出し（DocumentRepository_RetrieveDocumentSet）			
入力メッセージ	文書セットの読出し要求メッセージ（RetrieveDocumentSet_Message）		
	part	body	
	要素	ihe:RetrieveDocumentSetRequest	
	アクション	urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSet	
出力メッセージ	文書セットの読出し応答メッセージ（RetrieveDocumentSetResponse_Message）		
	part	body	
	要素	ihe:RetrieveDocumentSetResponse	
	アクション	urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSetResponse	
バインディング（SOAP 1.2 binding）			
DocumentRepository_Binding			
ポートタイプ	ihe:DocumentRepository_PortType		
バインディングスタイル	文書指向（document）		
トランスポート	HTTP		
オペレーション	DocumentRepository_RetrieveDocumentSet	SOAPAction	urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSetResponse
		input	リテラル形式（literal）
		output	リテラル形式（literal）
サービス			
DocumentRepository_Service			
バインディング	ihe:DocumentRepository_Binding		

文書セットの読出しの WSDL の例を、図 5-30 に示す。本例は、当該メッセージに関連する部分のみを抜粋したものであり、完全な例は、ITI の FTP サイト（9.1 引用規格 IHE ITI TF-2x Appendix W）を参照のこと。

© JAHIS 2014

```
<?xml version="1.0" encoding="utf-8"?>
<!-- edited with XMLSpy v2012 rel. 2 sp1 (x64) (http://www.altova.com) by Jim Elden (Accumedic)
-->
<!-- This wsdl file is for an XDS.b Document Repository Actor -->
<definitions xmlns:soap="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap/"
xmlns="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/" xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007" xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:soap12="http://schemas.xmlsoap.org/wsdl/soap12/"
xmlns:wsaw="http://www.w3.org/2006/05/addressing/wsdl"
xmlns:ns="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:ns1="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:ns2="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:soapenc="http://schemas.xmlsoap.org/soap/encoding/" name="DocumentRepository"
targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007">
  <documentation>IHE XDS.b Document Repository</documentation>
  <types>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified" targetNamespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:ihe="urn:ihe:iti:xds-b:2007">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <!-- While no elements are directly used from these schema in the WSDL,
      they need to be present here in order for
      code generating toolkits to work properly -->
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/lcm.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified"
targetNamespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0">
      <!-- Include the message schema -->
      <xsd:include schemaLocation="../schema/ebRS/rim.xsd"/>
    </xsd:schema>
    <!-- Importing all schemas within one seems to confuse some parsers
      and code-generation tools (and may be invalid)
    <xsd:schema elementFormDefault="qualified">
      <xsd:import namespace="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0"
```

© JAHIS 2014

```
      schemaLocation="../schema/ebRS/rs.xsd"/>
    <xsd:import namespace="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
      schemaLocation="../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"/>
  </xsd:schema>
  -->
 </types>
 <message name="RetrieveDocumentSet_Message">
  <documentation>Retrieve Document Set</documentation>
  <part name="body" element="ihe:RetrieveDocumentSetRequest"/>
 </message>
 <message name="RetrieveDocumentSetResponse_Message">
  <documentation>Retrieve Document Set Response</documentation>
  <part name="body" element="ihe:RetrieveDocumentSetResponse"/>
 </message>
 ~
 <portType name="DocumentRepository_PortType">
  <operation name="DocumentRepository_RetrieveDocumentSet">
   <input message="ihe:RetrieveDocumentSet_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSet"/>
   <output message="ihe:RetrieveDocumentSetResponse_Message"
wsaw:Action="urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSetResponse"/>
  </operation>
  ~
 </portType>
 <binding name="DocumentRepository_Binding" type="ihe:DocumentRepository_PortType">
  <soap12:binding style="document" transport="http://schemas.xmlsoap.org/soap/http"/>
  <operation name="DocumentRepository_ProvideAndRegisterDocumentSet-b">
   <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:ProvideAndRegisterDocumentSet-b"/>
   <input>
    <soap12:body use="encoded"/>
   </input>
   <output>
    <soap12:body use="literal"/>
   </output>
  </operation>
  <operation name="DocumentRepository_RetrieveDocumentSet">
   <soap12:operation soapAction="urn:ihe:iti:2007:RetrieveDocumentSet"/>
   <input>
    <soap12:body use="literal"/>
   </input>
   <output>
    <soap12:body use="literal"/>
   </output>
  </operation>
 </binding>
 <service name="DocumentRepository_Service">
```

© JAHIS 2014

```
    <port name="DocumentRepository_Port_Soap12" binding="ihe:DocumentRepository_Binding">
      <soap12:address location="http://servicelocation/DocumentRepository_Service"/>
    </port>
  </service>
</definitions>
```

図 5-30 WSDL の例（文書セットの読出し）

5.3.4.2. メッセージ定義

文書セットの登録メッセージの XML 定義表の関係を図 5-31 に示す。

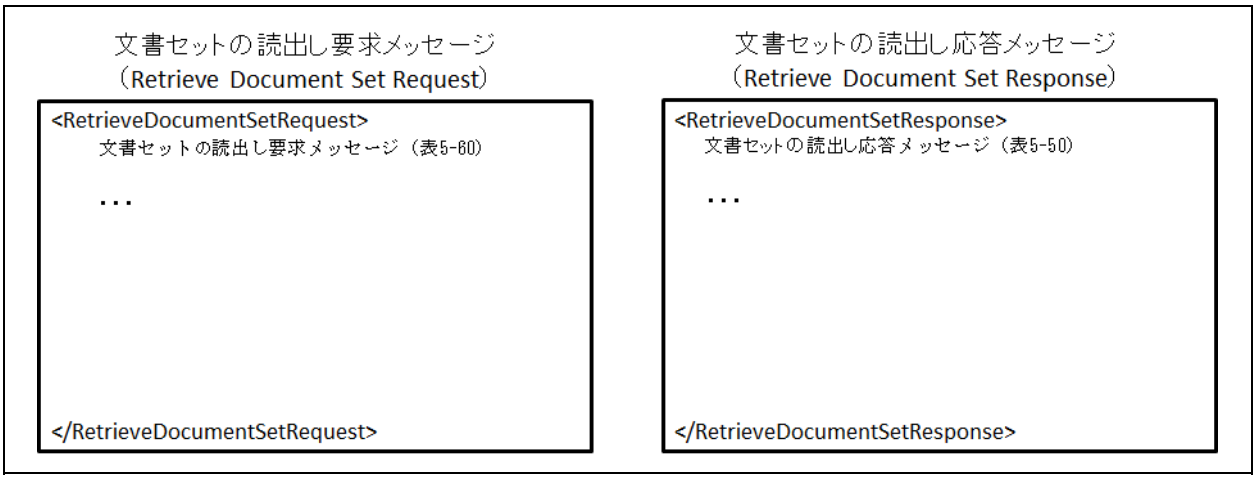


図 5-31 文書セットの読出しメッセージの XML 定義表の関係

5.3.4.2.1. 文書セットの読出し要求メッセージ（RetrieveDocumentSet）

表 5-69 に、文書セットの読出しメッセージの XML 定義を示す。

表 5-69 XML 定義（文書セットの読出し要求メッセージ）

/RetrieveDocumentSetRequest						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	DocumentRequest	M :1..*	M :1..*			
1.1	HomeCommunityId	O :0..1	O :0..1			
1.1.1	text()	M :1..1	M :1..1	UUID	この文書を保持しているコミュニティの ID。XDSDocumentEntry が homeCommunity 属性を含む場合には設定しなければならない。	●
1.2	RepositoryUniqueId	M :1..1	M :1..1			
1.2.1	text()	M :1..1	M :1..1	UUID	文書の取得先となるリポジトリを識別する ID。ストアドクエリで取得した XDSDocumentEntry.repositoryUniqueId に対応する。	●

© JAHIS 2014

1.3	DocumentUniqueId	M :1..1	M :1..1			
1.3.1	text()	M :1..1	M :1..1	UUID	リポジトリ内の文書を識別する ID。 ストアドクエリで取得した XDSDocumentEntry.uniqueId に対応する。	●

文書セットの読出し要求メッセージのサンプルメッセージを図 5-32 に示す。図中の番号は、表 5-70 の対応する設定値を表す。

表 5-70 文書セットの登録応答メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	リポジトリユニーク ID 1	1.3.6.1.4.1000
2	ドキュメントユニーク ID 1	1.3.6.1.4.2300
3	リポジトリユニーク ID 2	1.3.6.1.4.1000
4	ドキュメントユニーク ID 2	1.3.6.1.4.2301

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<RetrieveDocumentSetRequest xmlns="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:ihe:iti:xds-b:2007 ../../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd">
  <DocumentRequest>
    <RepositoryUniqueId>1.3.6.1.4.1000</RepositoryUniqueId>          1
    <DocumentUniqueId>1.3.6.1.4.2300</DocumentUniqueId>              2
  </DocumentRequest>
  <DocumentRequest>
    <RepositoryUniqueId>1.3.6.1.4.1000</RepositoryUniqueId>          3
    <DocumentUniqueId>1.3.6.1.4.2301</DocumentUniqueId>              4
  </DocumentRequest>
</RetrieveDocumentSetRequest>
```

図 5-32　文書セットの読出し要求メッセージのメッセージサンプル

5.3.4.2.2.　文書セットの読出し応答メッセージ（RetrieveDocumentSetResponse）

表 5-71 に、文書セットの読出し応答メッセージの XML 定義を示す。

表 5-71 XML 定義（文書セットの読出し応答メッセージ）

/RetrieveDocumentSetResponse						
XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	RegistryResponse	M :1..*	M :1..*			
1.1	@status	M :1..1	M :1..1	URI	表 5-73 のいずれかの値をとる。	●
1.2	RegistryErrorList	0 :0..1	0 :0..1			

© JAHIS 2014

1.2.1	@highestSeverity	0 :0..1	0 :0..1	URN	エラーリストの中で最も重大なエラーの severity を設定する。	●
1.2.2	RegistryError	**M :1..***	**M :1..***		エラー時にエラー情報を記録する。	
1.2.2.1	@codeContext	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	エラーコードを補足するエラーメッセージ。	●
1.2.2.2	@errorCode	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	表 5-74 に示すエラーコード。	●
1.2.2.3	@severity	**M :1..1**	**M :1..1**	URN	エラーレベル。表 5-39「severity」のいずれかを設定する。	●
1.2.2.4	@location	0 :0..1	0 :0..1	文字列	エラー時に、要求された DocumentUniqueId。	●
2	DocumentResponse	**M :1..***	**M :1..***			
2.1	HomeCommunityId	0 :0..1	0 :0..1			
2.1.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	RetrieveDocumentSetRequest メッセージに homeCommunityId が存在する場合、同一の値を指定。	●
2.2	RepositoryUniqueId	**M :1..1**	**M :1..1**		文書の取得先のリポジトリを識別する ID。	
2.2.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	文書の取得先のリポジトリを識別する ID。RetrieveDocumentSetRequest メッセージの RepositoryUniqueId と同一の値を指定。	●
2.3	DocumentUniqueId	**M :1..1**	**M :1..1**		文書を識別する ID。	
2.3.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	UUID	文書を識別する ID。RetrieveDocumentSetRequest メッセージの DocumentUniqueId と同一の値を指定。	●
2.4	NewRepositoryUniqueId	*N*	*N*		オンデマンドドキュメントの取得時に使用する。本トランザクションでは使用しない。	
2.5	NewDocumentUniqueId	*N*	*N*			
2.6	mimeType	**M :1..1**	**M :1..1**			
2.6.1	text()	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	文書の MIME タイプを指定。	●
2.7	Document	**M :1..1**	**M :1..1**			
2.7.1	Include	**M :1..1**	**M :1..1**			
2.7.1.1	@href	0 :0..1	0 :0..1		XOP infoset	●
2.7.1.2	text()	0 :0..1	0 :0..1		MTOM/XOP を使用する場合に、文書の格納されている MIME パート（添付ファイルパート）の Content-ID を指定する。	

文書セットの読出し応答メッセージのサンプルメッセージを図 5-33 に示す。図中の番号は、表 5-72 の対応する設定値を表す。

表 5-72 文書セットの登録応答メッセージサンプルの設定値

No	項目	設定値
1	リポジトリユニーク ID （文書 1）	1.3.6.1.4.1000
2	ドキュメントユニーク ID （文書 1）	1.3.6.1.4.2300
3	MIME タイプ （文書 1）	text/x-hl7-ft
4	リポジトリユニーク ID （文書 2）	1.3.6.1.4.1000
5	ドキュメントユニーク ID （文書 2）	1.3.6.1.4.2301
6	MIME タイプ （文書 2）	text/x-hl7-ft

© JAHIS 2014

```
<RetrieveDocumentSetResponse xmlns="urn:ihe:iti:xds-b:2007"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xsi:schemaLocation="urn:ihe:iti:xds-b:2007 ../../schema/IHE/XDS.b_DocumentRepository.xsd"
xmlns:lcm="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:lcm:3.0"
xmlns:query="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:query:3.0"
xmlns:rim="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rim:3.0"
xmlns:rs="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:xsd:rs:3.0">
  <rs:RegistryResponse
status="urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success"/>
  <DocumentResponse>
    <RepositoryUniqueId>1.3.6.1.4.1000</RepositoryUniqueId>          1
    <DocumentUniqueId>1.3.6.1.4.2300</DocumentUniqueId>              2
    <mimeType>text/x-hl7-ft</mimeType>          3
    <Document>
      <xop:Include href="cid:1.urn.uuid:E910375860336E2B8F1289514978312@example.org"
xmlns:xop="http://www.w3.org/2004/08/xop/include"/>
    </Document>
  </DocumentResponse>
  <DocumentResponse>
    <RepositoryUniqueId>1.3.6.1.4.1000</RepositoryUniqueId>          4
    <DocumentUniqueId>1.3.6.1.4.2301</DocumentUniqueId>              5
    <mimeType>text/x-hl7-ft</mimeType>          6
    <Document>
      <xop:Include href="cid:1.urn.uuid:3448B7F8EA6EB8B9DFC12859149975@example.org"
xmlns:xop="http://www.w3.org/2004/08/xop/include"/>
    </Document>
  </DocumentResponse>
</RetrieveDocumentSetResponse>
```

図 5-33 文書セットの読出し応答メッセージのメッセージサンプル

表 5-73 文書セットの読出し応答メッセージの結果状態

Registry Response 結果状態	RegistryErrorList 要素の有無	結果
urn:oasis:names:tc:ebxml-regrep:ResponseStatusType:Success	存在する可能性がある。存在した場合、1 つ以上の警告レベルの RegistryError 要素が含まれる。	全ての文書の取得に成功した。
urn :ihe :iti :2007 :ResponseStatusType :PartialSuccess	存在し、1 つ以上の RegistryError 要素を含み、最低 1 つは、エラーレベルの結果を含む。	一部の文書の取得に成功した。
urn :oasis :names :tc :ebxml-regrep :ResponseStatusType :Failure	存在し、1 つ以上の RegistryError 要素を含み、最低 1 つは、エラーレベルの結果を含む。	文書の取得に失敗した。

© JAHIS 2014

表 5-74 文書セットの読出し応答メッセージで使用するエラーコード

No	エラーコード	説明
1	XDSDocumentUniqueIdError	
2	XDSMissingHomeCommunityId	homeCommunityId は必須であるが指定されていない。本書では XCA は対象外のため使用しない。
3	XDSRepositoryBusy	ドキュメントリポジトリはビジー状態である。
4	XDSRepositoryError	内部エラー。より詳細なエラーコードが利用可能でない場合にのみ使用する。codeContext に、エラー条件の詳細を指定しなければならない。
5	XDSRepositoryOutOfResources	リソースが減少している。
6	XDSResultNotSinglePatient	単一のストアドクエリで複数の患者 ID のメタデータが返却される。
7	XDSUnavailableComminity	指定されたコミュニティは利用可能でない。本書では XCA は対象外であるため使用しない。
8	XDSUnknownCommunity	指定された homeCommunityId が識別できない。本書では XCA は対象外のため使用しない。
9	XDSUnknownRepositoryId	指定されたリポジトリ ID から、ドキュメントリポジトリ場見つけることができない、または、repositoryUniqueId の値が異なっている。

5.3.4.3. セキュリティ要求

《ドキュメントコンシューマ》は、文書セットの読出し［ITI-43］を使用し《ドキュメントリポジトリ》に問合せを送信する際には、「システム間通信による個人情報の入力」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

《ドキュメントリポジトリ》は《ドキュメントコンシューマ》から文書セットの読出し［ITI-43］を受信した際には、「システム間通信による個人情報の出力」イベントとして監査証跡ログに記録しなければならない。

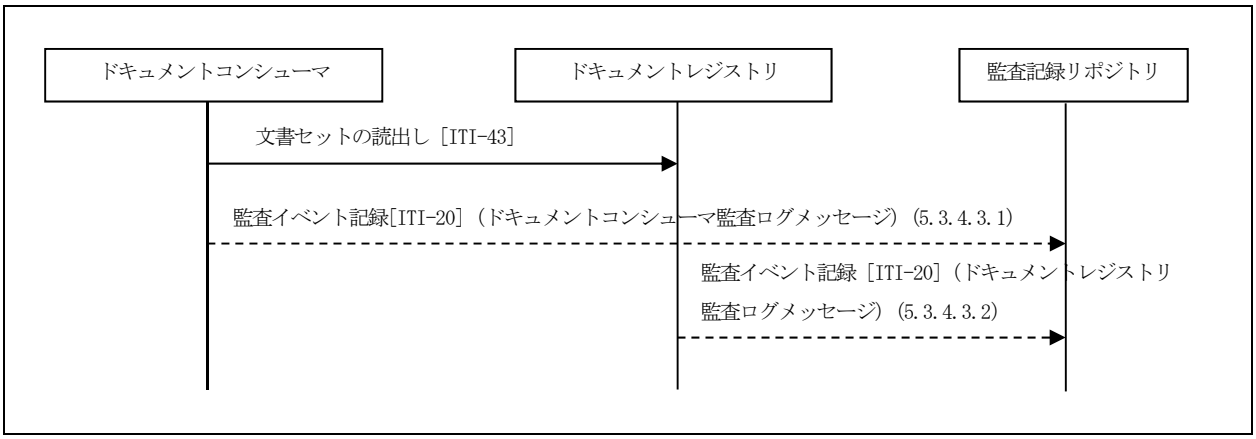


図 5-34 文書セットの読出し[ITI-43]送受信時の監査ログメッセージ

© JAHIS 2014

5.3.4.3.1. ドキュメントコンシューマ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《ドキュメントコンシューマ》が文書セットの読出し[ITI-43]を実行した際の、システム間通信による個人情報の入力イベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 5-75 ドキュメントコンシューマ監査ログメッセージ（文書セットの読出し送信時）

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event（イベント関連）(1) (AuditMessage/EventIdentification)	EventID	M	EV（110116, IHEJ, “IHE Import”）
	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “C”（作成）
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-43”, “IHE Transactions”, “Retrieve Document Set”)
Source（入力元関連）(1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データの入力元の ID。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。
	AlternateUserID	U	データの入力元の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データの入力元の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときの役割。 EV（110153, DCM, “Source Role ID”）
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Human Requestor（if known）(入力元関連) (0..n) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを入力した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。 このトランザクションを発動した人の識別子。
	AlternateUserID	U	データを入力した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを入力した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE

© JAHIS 2014

	RoleIDCode	U	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 このトランザクションを許容されたユーザが保持するアクセス権限上の役割。
	NetworkAccessPointTypeCode	NA	ネットワークアクセスポイントのタイプ。
	NetworkAccessPointID	NA	ネットワークアクセスポイントに対する ID。
Destination（入力者関連） (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを入力した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源（AuditSourceID）においてユニークな値である。 SOAP エンドポイント URI
	AlternateUserID	U	データを入力した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを入力した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン（DNS）名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source（発生源システム関連） (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。 特化なし。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。 特化なし。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Patient（入力情報） (0..1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 1（人）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 1（患者）
	ParticipantObjectDataLi	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。

© JAHIS 2014

	feCycle		RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV 2 (患者 ID) EV(2, RFC-3881, “Patient Number”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 患者 ID が入る。 HL7 CX 型で表現された患者 ID。
	ParticipantObjectName	U	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。 患者名が入る。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	U	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 RFC3881 の規定に従う。
Document (入力情報) (1) (AuditMessage/ ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 (システム)
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 3 (レポート)
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV(9, RFC-3881, “Report Number”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 <ihe:DocumentUniqueId/>の値。
	ParticipantObjectName	C	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	M	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 ParticipantObjectDetail 要素は 1 回以上出現してもよい。 １つの要素には、type 属性の値に「Repository Unique Id」を設定し、value 属性の値に<ihe:RepositoryUniqueId/>の値を設定する。 もう 1 つの要素には、type 属性の値に「ihe:homeCommunityID」の値を設定し、value 属性の値に homeCommunityID の値を設定する。

5.3.4.3.2. ドキュメントリポジトリ監査ログメッセージ形式

本メッセージは、《ドキュメントリポジトリ》が文書セットの読出し[ITI-43]を受信した際の、システム間通信による個人情報の出力イベントを記録するための監査ログメッセージである。

表 5-76 ドキュメントリポジトリ監査ログメッセージ (文書セットの読出し受信時)

分類	フィールド名	オプション	値の制限
Event (イベント関連)	EventID	M	EV (110115, IHEJ, “IHE Export”)

© JAHIS 2014

(1) (AuditMessage/Event Identification)	EventActionCode	M	監査ログを生成したイベントで実行されたアクション。以下の値が入る。 EV: “R” (読み取り)
	EventDateTime	M	イベントが発生した時刻。 RFC3881 の規定に従う。
	EventOutcomeIndicator	M	イベントの成功、失敗を示す。 RFC3881 の規定に従う。
	EventTypeCode	M	イベントのタイプ。 EV(“ITI-43”, “IHE Transactions”, “Retrieve Document Set”)
Source (出力者関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データを操作した人またはプロセスの ID。両方ともわかっている場合は、人とプロセスの両方を含める。これは発生源 (AuditSourceID) においてユニークな値である。 SOAP エンドポイント URI
	AlternateUserID	U	データを操作した人またはプロセスの別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データを操作した人またはプロセスの名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データを操作した人またはプロセスが本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 “false”
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV (110153, DCM, “Source Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス
	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Destination (出力者関連) (1) (AuditMessage/ActiveParticipant)	UserID	M	データの出力先の ID。 <wsa:ReplyTo/> 要素の内容。
	AlternateUserID	U	データの出力先の別の ID。 RFC3881 の規定に従う。
	UserName	U	データの出力先の名前。 RFC3881 の規定に従う。
	UserIsRequestor	M	データの出力先が本イベントの要求者か否かを示す。以下の値が入る。 EV TRUE
	RoleIDCode	M	イベントを実行するときのデータを操作した人またはプロセスの役割。 EV(110152, DCM, “Destination Role ID”)
	NetworkAccessPointTypeCode	M	ネットワークアクセスポイントのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。 “1” マシン (DNS) 名 “2” IP アドレス

© JAHIS 2014

	NetworkAccessPointID	M	ネットワークアクセスポイントに対する ID。 RFC3881 の規定に従う。
Audit Source（発生源システム関連） (1) (AuditMessage/AuditSourceIdentification)	AuditEnterpriseSiteID	U	ネットワーク中の論理的な発生源システムの場所。 AuditSourceID を修飾するために使う。
	AuditSourceID	M	発生源システムのユニークな ID。
	AuditSourceTypeCode	U	発生源システムのタイプ。 RFC3881 の規定に従う。
Document（出力情報） (1) (AuditMessage/ParticipantObjectIdentification)	ParticipantObjectTypeCode	M	関係者オブジェクトのタイプコード。以下の値が入る。 EV 2 （システム）
	ParticipantObjectTypeCodeRole	M	関係者オブジェクトの役割を示すコード。以下の値が入る。 EV 3 （レポート）
	ParticipantObjectDataLifeCycle	U	関係者オブジェクトのデータライフサイクルステージの ID。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectIDTypeCode	M	ParticipantObjectID に含まれるタイプ。以下の値が入る。 EV(9, RFC-3881, “Report Number”)
	ParticipantObjectSensitivity	U	ParticipantObjectID に対するポリシ定義の機微性。 RFC3881 の規定に従う。
	ParticipantObjectID	M	関係者オブジェクトのインスタンス ID。 <ihe:DocumentUniqueId/>の値
	ParticipantObjectName	C	関係者オブジェクトのインスタンスの名前。
	ParticipantObjectQuery	U	not specialized
	ParticipantObjectDetail	M	関係者オブジェクトのインスタンスの詳細情報。 １つの要素には、type 属性の値に「Repository Unique Id」を設定し、value 属性の値に<ihe:RepositoryUniqueId/>の値を設定する。 もう１つの要素には、type 属性の値に「ihe:homeCommunityID」の値を設定し、value 属性の値に homeCommunityID の値を設定する。

5.3.5. 患者 ID フィード（Patient Identity Feed HL7 V3）[ITI-44]

患者 ID フィード（HL7 V3 版）トランザクション[ITI-44]は、PIXV3 統合プロファイルに含まれる。「4.2.1 患者 ID フィード（HL7 V3 版）（Patient Identity Feed）[ITI-44]」を参照のこと。

© JAHIS 2014

6. 共通データ仕様

本章では、本書の XML 定義の中で共通に使用される XML 定義を示す。

6.1. 識別子

識別子は、HL7 V3 II 型を使用して記述する。識別子には、一意性だけを目的とし人が読むことを意図しないもの（と、人が読むことを意図したものがある。後者の場合、さらに、《PIX マネージャ》によって使用される場合と他のアクタによって使用される場合で制約が異なるため、2 つに分けて定義をした(「IHE ITI 2.x E.2 HL7 V3 II Data Type」）。

6.1.1. 識別子（人が解釈することを意図しない識別子）

UUID を使用する場合など､人が解釈することを意図していない識別子を表す。extension 属性は使用しない。

表 6-1 XML 定義（識別子（人が解釈することを意図しない識別子））

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id	M :1..1	M :1..1		識別子	
1.1	@root	M :1..1	M :1..1	UID	人が解釈することを意図しない識別子は、root 属性に UUID または OID を設定する。	●
1.2	@extension	O :0..1	N		使用しない。	
1.3	@assignedAuthorityName	O :1..1	O :1..1	文字列	識別子の発行機関名称。	●
1.4	@displayable	O :1..1	O :1..1	真偽値	設定する場合、読解可能でないことを示す「false」を設定。	

＜XML 断片例＞

```
<id root="2220c1c4-87ef-11dc-b865-3603d6866807" assigningAuthorityName="ABC 病 院 " displayable="false"/>
```

6.1.2. 識別子（患者 ID（PIX マネージャ））

患者 ID のうち、《PIX マネージャ》で使用する識別子を表す。assigningAuthorityName 属性が必須となり省略することはできない。

表 6-2 XML 定義（識別子（患者 ID（PIX マネージャ））

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id	M :1..1	M :1..1		患者 ID.。	

© JAHIS 2014

1.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID	患者 ID ドメインを識別する ISO OID を指定する。	●
1.2	@extension	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	患者 ID ドメインでユニークとなる患者 ID を指定する。	●
1.3	@assignedAuthorityName	**M :1..1**	**M :1..1**	文字列	識別子の発行機関名称。患者 ID ドメインを表す。(本属性は、人が識別子を理解することを助けるためのものであり、機械処理に使用してはならない。)	●
1.4	@displayable	0 :0..1	0 :0..1	真偽値	読解可能であることを示す「**true**」を設定。	

＜XML 断片例＞

```
<id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.3412" extension="123456789"
assigningAuthorityName="ABC コンソーシアム" displayable="true"/>
```

6.1.3. 識別子（患者 ID（その他のアクタ））

患者 ID のうち、《PIX マネージャ》以外のアクタで使用する識別子を表す。assigningAuthorityName を省略してもよい。

表 6-3 XML 定義（識別子（患者 ID（その他のアクタ）））

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	id				識別子.。	
1.1	@root	**M :1..1**	**M :1..1**	OID/UUID	識別子。root 属性に UUID または OID を設定する。UUID を使用するなど、root 属性のみでユニークな ID を構成できる場合は、extension 属性は使用しなくてもよい。root 属性のみでは、ユニークな ID を構成できない場合は、extension 属性と組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.2	@extension	0 :0..1	0 :0..1	文字列	識別子。root 属性のみでユニークな ID を構成できない場合、root 属性と extension 属性を組み合わせてユニークな ID とする。	●
1.3	@assigningAuthorityName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	識別子の発行機関名称。	●
1.4	@displayable	0 :0..1	0 :0..1	真偽値	読解可能であることを示す「**true**」を設定。	

＜XML 断片例＞

```
<id root="1.2.840.114350.1.13.99997.2.3412" extension="123456789"
assigningAuthorityName="ABC コンソーシアム" displayable="true"/>
```

© JAHIS 2014

6.2. 氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有）

HL7 V3 データ型 PN 型で記述する。use 属性によって、漢字氏名、カナ氏名を区別する。複数の種別を記述する場合は、name 要素を繰り返す。

表 6-4 XML 定義（氏名（漢字・カナ／ミドルネーム有））

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	name				患者氏名。	
1.1	@use	M :1..1	M :1..1	コード	「IDE」：漢字氏名 「SYL」：カナ氏名	●
1.2	text()	O :0..1	O :0..1		姓名を区別しない場合。	●
1.3	family	O :0..1	O :0..1		患者の姓。	
1.3.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	姓。	●
1.4	given	O :0..*	O :0..*		患者の名。もしミドルネームを表現する場合には、given 要素を複数使用する。その場合、最後の given を名とし、それ以外の given はミドルネームとして扱う。	
1.4.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	名。	●

＜XML 断片例１　カナ名のみ＞

```
<name use="SYL">
  <family>ヤマダ</family>
  <given>タロウ</given>
</name>
```

＜XML 断片例２　漢字・カナ＞

```
<name use="IDE">
  <family>山田</family>
  <given>太郎</given>
</name>
<name use="SYL">
  <family>ヤマダ</family>
  <given>タロウ</given>
</name>
```

＜XML 断片例３　漢字のみ、ミドルネーム有＞

```
<name use="IDE">
  <family>山田</family>
  <given>ミドルネーム</given>
  <given>太郎</given>
</name>
```

© JAHIS 2014

6.3. 性別

他の JAHIS 標準規格にあわせて HL7 V3 の性別コードではなく、HL7 V2 の HL7 表 0001 を使用する。コード表 7-10 の「性別コード」を参照のこと。

表 6-5 XML 定義（性別）

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	administrativeGenderCode					
1.1	@code	M :1..1	M :1..1	コード	性別コード [A]： 両性具有 [M]： 男性 [F]： 女性 [N]： 適応外 [O]： その他 [U]： 未知	●
1.2	@codeSystem	M :1..1	M :1..1	OID	「2.16.840.1.113883.12.1」	
1.3	@codeSystemName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	性別コードのコード体系。 HL70001	
1.4	@displayName	0 :0..1	0 :0..1	文字列	性別コードの表示名。	●

＜XML 断片例＞

```
<administrativeGenderCode code="M"
codeSystem="2.16.840.1.113883.12.1"codeSystemName="HL70001" displayName="男性"/>
```

6.4. 生年月日

HL7 V3 データ型 の TS 型で記述する。

表 6-6 XML 定義（生年月日）

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	birthTime				生年月日	
1.1	@value	M :1..1	M :1..1		書式 YYYYMMDD	●

＜XML 断片例＞

```
<birthTime value="19630713"/>
```

© JAHIS 2014

6.5. 単純名称

医療機関等の名称は、HL7 V3 データ型 ON 型で記述する。

表 6-7 XML 定義（単純名称）

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	name				名称	
1.1	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	名称テキスト	●

＜XML 断片例＞

```
<name>ＡＢＣ病院</name>
```

6.6. 住所（非構造化データ）

HL7 V3 データ型 AD 型で記述する。住所は構造化せずに文字列として設定する。

表 6-8 XML 定義（住所（非構造化データ））

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	addr	0 :0..*	0 :0..*		住所	
1.1	@use	0 :0..1	0 :0..1	コード	[HP]：自宅 「WP」：勤務先	●
1.2	postalCode	0 :0..1	0 :0..1		郵便番号	
1.2.1	text()	M :1..1	M :1..1	半角数字	郵便番号文字列（ハイフンを含める）	●
1.3	text()	M :1..1	M :1..1	文字列	住所文字列	●

＜XML 断片例＞

```
<addr>
    <postalCode>105-0004</postalCode>
    東京都港区新橋２丁目５－５
</addr>
```

© JAHIS 2014

6.7. 電話番号

HL7 V3 データ型 TEL 型で記述する。

表 6-9 XML 定義（電話番号）

XMLNo	要素 / 属性	IHE	JAHIS	記法	説明	設定区分
1	telecom	0 :0..*	0 :0..*			
1.1	@use	M :1..1	M :1..1	コード	「HP」: 自宅電話番号 「WP」: 勤務先電話番号 「MC」 : 携帯電話 「EMG」 緊急連絡先	●
1.2	@value	M :1..1	M :1..1	文字列	電話番号、FAX 番号、電子メールアドレスのいずれかを指定する。 スキーマ識別子「tel :」に続けて電話番号を指定する。(ハイフンや括弧などのセパレータを含んでもよい。) スキーマ識別子「fax:」に続けて FAX 番号を指定する。(ハイフンや括弧などのセパレータを含んでもよい。) スキーマ識別子「mailto :」に続けて電子メールアドレスを指定する。	●

＜XML 断片例＞

```
<telecom value="tel:03-1234-5678" use="HP"/>
```

© JAHIS 2014

7. コード定義

本章では、本書で使用するコード表を示す。一部のコードは JAHIS ITI 適用ガイドに掲載したものを再掲している。本章に掲載しているコードのうち適用区分が「拡張可能」であるものは、参考として利用可能なコードを示したものであり、ドメイン内、及び、ドメイン間の協議において他のコードを使用することや、本コード表を拡張しコードを追加することが可能である。一方「拡張不能」とされたコードは、本コードの使用が強制されるものであり、他のコード体系を代用することや、新たなコードの追加は認められない。コード体系 OID は、JAHIS ITI 適用ガイド、または、本書用に用意されたルート OID の下に、HL7 での OID 管理の方法に従い、枝番号 5 を使用して 1 から順に採番した。将来、本書のルート OID が正式に決定した際には、その OID に置き換えられる。

＜1．職種コード＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系：JHSITI0001

コード体系 OID:[ルート OID].5.1

適用区分：拡張可能

表 7-1 職種コード

コード	表示名	内容
MedicalDoctor	医師	
Dentist	歯科医師	
Pharmacist	薬剤師	
MedicalTechnologis	臨床検査技師	
RadiologicalTechnologist	診療放射線技師	
GeneralNurse	看護師	
PublicHealthNurse	保健師	
MIDwife	助産師	
PhysicalTherapist	理学療法士	
OccupationalTherapist	作業療法士	
Orthoptist	視能訓練士	
SpeechTherapist	言語聴覚士	
DentalTechnician	歯科技工士	
NationalRegisteredDietitian	管理栄養士	
CertifiedSocialWorker	社会福祉士	
CertifiedCareWorker	介護福祉士	
EmergencyMedicalTechnician	救急救命士	
PsychiatricSocialWorker	精神保健福祉士	
ClinicalEngineer	臨床工学技士	
Masseur	あん摩マッサージ指圧師／はり師／きゅう師	
DentalHygienist	歯科衛生士	
ProstheticsAndOrthctic	義肢装具士	
ArtificialLimbFitter	柔道整復師	
ClinicalLaboratoryTechnician	衛生検査技師	
CareManager	介護支援専門員	
DirectorOfHospital	病院長	

© JAHIS 2014

DirectorOfClinic	診療所院長	
DirectorOfPharmacy	保険薬局の管理責任者	
Director	その他の保健医療福祉機関の管理責任者	

＜2．アプリケーション応答コード＞

種別： HL7 V3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系：AcknowledgementType

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.18

適用区分：拡張不能

表 7-2 アプリケーション応答コード

コード	表示名	内容
AA	アプリケーション応答受理	メッセージの処理が正常に終了した。
AE	アプリケーション応答エラー	メッセージには何らかのエラーが発見され、追加のエラー情報とともにエラー応答を返した。
AR	アプリケーション応答リジェクト	メッセージは内容とは関係のない理由で受理されなかった。送信者はメッセージを自動的に再送するかどうかを決めなければならない。
CA	アクセプト応答受理	メッセージ処理サービスは、メッセージを受理し、受信アプリケーションにメッセージを渡した。
CE	アクセプト応答エラー	メッセージ処理サービスは、メッセージを受理することができなかった。
CR	アクセプト応答リジェクト	メッセージ処理サービスは、インタラクション ID、または、バージョン、処理モードが受信アプリケーションの対応範囲外であるために、メッセージを棄却した。

＜3．詳細応答区分＞

種別：HL7 V3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系： AcknowledgementDetailType

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.1082

適用区分：拡張不能

表 7-3 詳細応答区分

コード	表示名	内容
E	エラー	要求の正常な処理を妨げるエラーであることを示す。
I	情報	要求の正常処理とは無関係な情報であることを示す。
W	警告	要求は処理されたが、理想的または期待された効果が発生していないことを示す。

＜4．詳細応答コード＞

種別：HL7 V3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系： AcknowledgementDetailCode

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.1100

© JAHIS 2014

適用区分：拡張可能

表 7-4 詳細応答コード

コード	表示名	内容
NS200	サポートされていないインタラクション	
NS202	サポートされていない処理 ID	
NS203	サポートされていないバージョン ID	
NS250	サポートされていない処理モード	
NS260	不明な送信者	
NS261	不明なアテンションライン	
INTERR	内部エラー	
NOSTORE	ストレージスペース不足	
RTEDEST	エラー：受信者に到達できない	
RTUDEST	エラー：不明な受信者	
RTWDEST	警告：受信者に一時的に到達できない	
SYN	構文エラー	
SYN100	必須関連がない	
SYN101	必須属性がない	
SYN102	データ型エラー	
SYN103	コードがコード体系内に見つからない	
SYN104	コード指定エラー	
SYN110	関連の繰り返し数が上限を超えている	
SYN112	属性の繰り返し数が上限を超えている	

＜5．参加形態コード＞

種別：HL7 V3　Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系：　ParticipationMode

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.1064

適用区分：拡張可能

表 7-5 参加形態コード

コード	表示名	内容
ELECTRONIC		
PHYSICAL		
REMOTE		

© JAHIS 2014

VERBAL		
DICTATE		
FACE		
PHONE		
VIEOCONF		
WRITTEN		
EMAILWRIT		
FAXWRIT		
HANDWRIT		
TYPEWRIT		

＜６．問合せ状態コード＞

種別：HL7 V3　Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系：　QueryStatusCode

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.103

適用区分：拡張不能

表 7-6 問合せ状態コード

コード	表示名	内容
aborted	中断された	
deliveredResponse	応答が返却された	
executing	実行中	
new	新規	
waitConinuedQueryResponse	継続問合せ応答待機中	

＜７．問合せ結果コード＞

種別：HL7 V3　Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系：　QueryResponse

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.1067

適用区分：拡張不能

表 7-7 問合せ結果コード

コード	表示名	内容
AE	アプリケーションエラー	
NF	データは見つからなかった	
OK	データは見つかった	
QE	問合せパラメータエラー	

＜８．医療機関の役割コード＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系：　JHSITI0002

コード体系 OID：[ルート OID].5.2

適用区分：拡張可能

© JAHIS 2014

表 7-8 医療機関の役割コード

コード	表示名	内容
01	急性期病院	
02	地域医療支援病院	
03	特定機能病院	
04	一般病院（一般病床）	
05	一般病院（療養病床）	
06	一般病院（回復期リハビリ病棟）	
07	一般病院（介護型療養病床）	
08	在宅療養支援診療所	
09	無床診療所	
10	有床診療所	
11	介護老人保健施設	
12	その他医療機関	

＜９．名前使用コード＞

種別：HL7 V3　Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系： EntityNameUse

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.45

適用区分：拡張不能

表 7-9 名前使用コード

コード	表示名	内容
ABC	Alphabetic	ローマ字
IDE	Ideographic	漢字
SYL	Syllabic	カナ
SRCH	search	検索用（PDQV3 で、完全一致検索でないことを意味するために使用）

＜１０．性別コード＞

種別：HL7 V2.5 HL7 表

コード体系： HL70001

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.12.1

適用区分：拡張可能

表 7-10 性別コード

コード	表示名	内容
A	両性具有	
M	男性	
F	女性	
N	適応外	
O	その他	
U	未知	

© JAHIS 2014

＜１１．問合せ要求上限コード＞

種別：HL7 V3　Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系：　QueryRequestLimit

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.1112

適用区分：拡張可能

表 7-11 問合せ要求上限コード

コード	表示名	内容
RD	レコード	検索にマッチしたインスタンス数。

＜１２．検索アルゴリズムコード＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系：　JHSITI0003

コード体系 OID：[ルート OID].5.3

適用区分：拡張可能

表 7-12 検索アルゴリズムコード

コード	表示名	内容
PFXM	前方一致	
MDLM	中間一致	
SFXM	後方一致	
REGEX	正規表現	
CIM	大文字・小文字を区別しない	

＜１３．守秘レベルコード＞

種別：HL7 V3　Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系：　Confidentiality

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.25

適用区分：拡張可能

表 7-13 守秘レベルコード

コード	表示名	内容
N	Normal	通常レベルのアクセスを許す
R	Restricted	限定されたアクセスを許す
V	Very Restricted	極めて限定されたアクセス許す

＜１４．VIP コード＞

種別：HL7 V3　Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系：　PatientImportance

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.1075

適用区分：拡張可能

表 7-14VIP コード

コード	表示名	内容
BM	Board Member	医療機関の理事
DFM	Physician Family Member	医師の家族

© JAHIS 2014

DR	Staff Physician	医療機関の医師
FD	Financial Donor	医療機関に対する財政的な寄贈者
FOR	Foreign Dignitary	医療機関に関係のある海外の高官
GOT	Government Dignitary	医療機関に関係のある政府高官
SFM	Staff Family Member	医療機関のスタッフの家族
STF	Staff Member	医療機関のスタッフ
VIP	Very Important Person	医療機関に関係のある VIP

＜１５．婚姻状況コード＞

種別：出典：HL7 V2.5 使用者定義表

コード体系： HL70002

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.12.2

適用区分：拡張可能

表 7-15 婚姻状況コード

コード	表示名	内容
A	Separated	別居
D	Divorced	離婚
M	Married	既婚
S	Single	独身
W	Widowed	未亡人
C	Common low	法的
G	Living togher	同居・同棲
P	Domestic partner	配偶者
R	Registered domestic partner	登録された配偶者
E	Legally Separated	法的な別居
N	Annuled	婚姻取消・無効
I	Interlocutory	裁判中・調停中
B	Unmarried	未婚
U	Unknown	不明
O	Other	その他
T	Unreported	未報告

＜１６．関係区分コード＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0004

コード体系 OID：[ルート OID].5.4

適用区分：拡張可能

表 7-16 関係区分コード

コード	表示名	内容
01	本人	
02	本人（主）	
03	本人（副）	

© JAHIS 2014

04	子	
05	父	
06	母	
07	配偶者	
08	兄弟	
09	父方祖父	
10	父方祖母	
11	母方祖父	
12	母方祖母	
13	孫	
14	他同居	
15	その他	
16	不明	

＜１７．続柄コード＞

種別：実装ガイド個別コード（出典：PHR データ交換規約）

コード体系： 続柄コード

コード体系 OID：1.2.392.200119.9.12.15

適用区分：拡張可能

表 7-17 続柄コード

コード	表示名	内容
Bn	男の子供のｎ 番目	男の子供のｎ 番目(不明時はｎ を省略可)
Cn	ｎ 番目に出産した子供	ｎ 番目に出産した子供（不明時はｎ を省略可）
F	父	父
Gn	女の子供のｎ 番目	女の子供のｎ 番目（不明時はｎ を省略可）
H	夫	夫
Ln	ｎ 人上の姉	ｎ 人上の姉（不明時はｎ を省略可）
ln	ｎ 人下の妹	ｎ 人下の妹（不明時はｎ を省略可）
M	母	母
P	親（母または父）	親（母または父）
Rn	ｎ 人上の兄	ｎ 人上の兄（不明時はｎ を省略可）
rn	ｎ 人下の弟	ｎ 人下の弟（不明時はｎ を省略可）
J	本人	本人
W	妻	妻
N	内縁の関係	内縁の関係（直後のコードの人物と内縁の関係にあることを示す）
V	親戚	親戚 （単独で用いる）
D	共同生活者	共同生活者
K	後見人	後見人
Q	介護者	介護者
S	民生委員	民生委員
T	隣人	隣人
Y	友人	友人
U	不明	不明 （単独で用いる）
O	その他	その他 （単独で用いる）

© JAHIS 2014

上記以外の続柄は、これらのコードを組み合わせてコードとすることができる。
（例：父方の祖父＝FF、父方の祖母＝FM、祖父＝PF、祖父または祖母＝PP、孫＝CC、父の兄＝FR、長女の夫＝G1H 等）
内縁の関係（N）は、単独で使われるものではなく、その直後に記載されたコードの人物と内縁の関係にあることを示す形容詞として利用する。
（例：兄の内縁の妻＝RNW）
下記のコードについては単独で用い、他のコードとの組み合わせは不可とする。
V（親戚）、U（不明）、O（その他）

＜１８．役割状態コード＞
種別：HL7 V3　Normative Edition 2008 Vocabulary
コード体系：　RoleStatus
コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.1068
適用区分：拡張不能

表 7-18 役割状態コード

コード	表示名	内容
normal	normal	nullified 以外の状態をさす
active	active	
cancelled	cancelled	
pending	pending	
suspended	suspended	
terminated	terminated	
nullified	nullified	

＜１９．職業区分コード＞
種別：実装ガイド個別コード
コード体系：　JHSITI0005
コード体系 OID：[ルート OID].5.5
適用区分：拡張可能

出典：厚生労働省編職業分類（平成 23 年改定）

表 7-19 職業区分コード

コード	表示名	内容
A	管理的職業	管理的公務員、法人・団体の役員、管理職員、その他の管理的職業
B	専門的・技術的職業	研究者、農林水産技術者、建築・土木・測量技術者、開発・製造技術者、医師・歯科医師・獣医師・薬剤師・その他医療技術者、社会福祉の専門的職業、情報処理・通信技術者、法務の職業、音楽家・舞台芸術家、著述者・記者・編集者、教育の職業、宗教家
C	事務的職業	一般事務、会計事務、生産関連事務、営業・販売関連事務、外勤事務、運輸・通信事務、事務用機器操作
D	販売の職業	商品販売、販売類似の職業、営業

© JAHIS 2014

E	サービスの職業	家庭生活支援サービス、介護サービス、保険医療サービス、生活衛生サービス、飲食物調理、接客・給仕、居住施設・ビル等の管理、その他サービス
F	保安の職業	自衛官、司法警察職員、その他保安の職業
G	農林漁業の職業	農業、林業、漁業
H	生産工程の職業	生産設備制御・監視、金属材料製造、金属加工、溶接・溶断、機械組立・整備・修理・検査、生産関連・生産類似の職業
I	輸送・機械運転の職業	鉄道運転、自動車運転、船舶・航空機運転、その他の輸送、定置・建設機械運転
J	建設・採掘の職業	土木、採掘、建設、電気工事
K	運搬・清掃・包装等の職業	郵便・荷役等の運搬・配達、清掃、包装
F	保安の職業	自衛官、司法警察職員、その他保安の職業

＜２０．組織区分コード＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0006

コード体系 OID：[ルート OID].5.6

適用区分：拡張可能

表 7-20 組織区分コード

コード	表示名	内容
01	民営	
02	個人	
03	法人	
04	法人（会社）	
05	法人（独立行政法人等）	
06	国	
07	都道府県	
08	市区町村	
09	地方公共団体	

＜２１．検索確度区分＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0007

コード体系 OID：[ルート OID].5.7

適用区分：拡張可能

表 7-21 検索確度区分

コード	表示名	内容
DOM	検索確度	

© JAHIS 2014

＜２２．診療科コード＞

種別：実装ガイド個別コード （レセプト電算処理「別表 10 診療科名コード」）

コード体系： JHSITI0008

コード体系 OID：[ルート OID].5.8

適用区分：拡張可能

表 7-22 診療科コード

コード	表示名	内容
01	内科	
02	精神科	
03	神経科	
04	神経内科	
05	呼吸器科	
06	消化器科	
07	胃腸科	
08	循環器科	
09	小児科	
10	外科	
11	整形外科	
12	形成外科	
13	美容外科	
14	脳神経外科	
15	呼吸器外科	
16	心臓血管外科	
17	小児外科	
18	皮膚泌尿器科	
19	皮膚科	
20	泌尿器科	
21	性病科	
22	肛門科	
23	産婦人科(産科または婦人科)	
24	産科	
25	婦人科	
26	眼科	
27	耳鼻咽喉科	
28	気管食道科	
30	放射線科(放射線診断科または放射線治療科)	
31	麻酔科	
33	心療内科	
34	アレルギー科	
35	リウマチ科	
36	リハビリテーション科	
37	病理診断科	

© JAHIS 2014

38	臨床検査科	
39	救急科	

＜２３．文書フォーマットコード＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0010

コード体系 OID：[ルート OID].5.9

適用区分：拡張可能

表 7-23 文書フォーマットコード

コード	表示名	内容
TEXT	テキスト形式	
PDF	PDF 形式	
XML	XML 形式	
HL7CDAR2	HL7 CDA R2 形式	
HL7V2	HL7 V2 形式	
HL7V2.5	HL7 V2.5 形式	
HL7V3	HL7 V3 形式	

＜２４．MIME タイプコード＞

種別：HL7 V3 Normative Edition 2008 Vocabulary

コード体系： mediaType

コード体系 OID：2.16.840.1.113883.5.79

適用区分：拡張可能

表 7-24MIME タイプコード

コード	表示名	内容
application/dicom	DICOM	
application/msword	Microsoft Word 形式	
application/pdf	PDF	
audio/basic	オーディオデータ	
audio/k32adpcm	K32ADPCM オーディオデータ	
audio/mpeg	MPEG audio layer 3(MP3)形式	
image/g3fax	G3Fax 画像	
image/gif	GIF 画像	
image/jpeg	JPEG 画像	
image/png	PNG 画像	
image/tiff	TIFF 画像	
model/vrml	VRML モデル	
multipart/x-hl7-cda-level-one	HL7 CDA Level1 MIME パッケージ	
text/html	HTML テキスト	
text/plain	通常のテキスト	
text/rtf	RTF テキスト	

© JAHIS 2014

text/sgml	SGML テキスト	
text/x-hl7-ft	HL7 テキスト	※本来は HL7 V2.5 FT 型のテキストを指す。本書では HL7 V2.5 ER7 形式の意味で使用する。
text/x-hl7-text+xml	HL7 Narrative Block	
text/xml	XML テキスト	
video/mpeg	MPEG ビデオ	
video/x-avi	X-AVI ビデオ	

＜２４．文書クラスコード＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0011

コード体系 OID：[ルート OID].5.10

適用区分：拡張可能

表 7-25 文書クラスコード

コード	表示名	内容
ADT	患者基本情報	
PPR	病名情報	
OMD	食事情報	
OMP	処方・注射情報	
OML	検体検査情報	
OMG	放射線検査／内視鏡検査／生理検査情報	

＜２５．文書種別コード＞

種別：実装ガイド個別コード

コード体系： JHSITI0012

コード体系 OID：[ルート OID].5.11

適用区分：拡張可能

表 7-26 文書種別コード

コード	表示名	内容
ADT-00	患者基本情報	
ADT-01		
ADT-12		
ADT-21		
ADT-22		
ADT-31		
ADT-32		
ADT-41		
ADT-42		

© JAHIS 2014

ADT-51	退院予定／予定の取消	
ADT-52	退院実施／実施の取消	
ADT-61	アレルギー情報の登録／更新	
PPR-01	病名（歴）情報の登録／更新	
OMD	食事オーダ	
OMP-01	処方オーダ	
OMP-11	処方実施通知	
OMP-02	注射オーダ	
OMP-12	注射実施通知	
OML-01	検体検査オーダ	
OML-11	検体検査結果通知	
OMG-01	放射線検査オーダ	
OMG-11	放射線検査の実施通知	
OMG-02	内視鏡検査オーダ	
OMG-12	内視鏡検査の実施通知	
OMG-03	生理検査オーダ	
OMG-13	生理検査結果通知	

© JAHIS 2014

8. オブジェクト識別子（OID）定義

8.1. オブジェクト識別子の取得について

IHE を実装するためには、施設や患者の識別子、メッセージ ID などの識別子としてオブジェクト識別子を使用する。オブジェクト識別子の取得は、オブジェクト識別子を取得する場合には、我が国では、下記に示すように、総務省と日本情報経済社会推進協会がそれぞれ ITU-T 系、ISO 系の OID の申請窓口となっている。どちらの窓口で申請しても OID の 4 階層目は同じ値が割り当てられ、3 階層目までが、「0.2.440」（ITU-T 系）となるか「1.2.392」（ISO 系）となるかの違いとなる。地域医療連携を行う場合に、各医療機関がそれぞれ個別に申請することは現実的ではなく、地域医療連携の運用協議会等が取得をし、その枝番として、医療機関等に割り当てることが一般的である。また、JAHIS では既に OID を取得していることから、ドメインによってはそれらの下位に OID を割り当てることも考えられる。

医療機関を識別するために使用する OID について、もし適切な OID が存在しない場合で、その医療施設が保険医療機関の場合、特定健診・特定保健指導機関のルールに従い以下のルールで設定してもよい。

医療施設が固有の OID を持っている場合は、その OID を指定する。医療施設が保険医療機関の場合、特定健診・特定保健指導機関の医療機関コードの OID「1.2.392.200119.6.102.」の末尾に「[1]＋医療機関コード（10 桁）」を指定する。医療機関コードを持たない場合、「[9]＋当該施設の電話番号下 9 桁」を医療機関コードとする。

例：医療機関コード「1312345670」の場合「1.2.392.200196.102.11312345670」

なお、現状、我が国において管理されたレジストリが存在しないため、各ドメインにおいて OID を取得しドメイン間で連携を行う場合には、それらが適切に公開される必要がある。

○総務省
http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/hyojun/object.html

○日本情報経済社会推進協会
http://www.jipdec.or.jp/dupc/project/business/osi-object/index.html

表 8-1 本書で使用する OID の一覧

区分	OID	説明
OID Root	xxx.yyyy.zzzzz	本書のルート OID
コード体系	xxx.yyyy.zzzzz.5.1	職種コードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.2	医療機関の役割コードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.3	検索アルゴリズムコードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.4	関係区分コードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.5	職業区分コードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.6	組織コードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.7	検索確度区分のコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.8	診療科コードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.9	文書フォーマットコードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.10	文書クラスコードのコード体系を識別する OID
	xxx.yyyy.zzzzz.5.11	文書種別コードのコード体系を識別する OID

© JAHIS 2014

9. 参考文献

9.1. 引用規格

- IT Infrastracture Technical Framework – Revision 9.0, August 31, 2012, Final Text
  http://www.ihe.net/Technical_Framework/index.cfm#IT
  - ✧ Vol. 1 (ITI TF-1): Integration Profiles
  - ✧ Vol. 2a (ITI TF-2a): Transactions Part A – Sections 3.1 – 3.28
    - 3.18 Registry Stored Query
  - ✧ Vol. 2b: (ITI TF-2b): Transactions Part B – Section 3.29 – 3.51
    - 3.38 Cross Gateway Query
    - 3.39 Cross Gateway Retrieve
    - 3.43 Retrieve Document Set
    - 3.45 PIXV3 Query
    - 3.46 PIXV3 Update Notification
    - 3.47 Patient Demographics Query HL7 V3
  - ✧ Vol. 2x (ITI TF-2x): Appendices
    - Appendix E: Usage of the CX Data Type in PID-3-Patient identifier List
    - Appendix F: Character String Comparisons
    - Appendix M: Using Patient Demographics Query in a Multi-Domain Environment
    - Appendix O: HL7 v3 Transmission and Trigger Event Control Act Wrappers
    - Appendix P: Examples of messages
    - Appendix Q: HL7 V3 Sample Payload XML Schemas
    - Appendix V: Web Services for IHE Transactions
    - Appendix W: Implementation Material
      (ftp://ftp.ihe.net/TF_Implementation_Material/ITI/)
  - ✧ Vol. 3 (ITI TF-3): Cross-Transaction Specifications and Content Specifications
    - 4 Cross-Transaction Specifications
- HL7 V3 Normative Edition 2008
  - ✧ HL7 Version 3 Standard: Patient Administration, Release 2
  - ✧ HL7 Version 3 Standard: Infrastructure Management: Transmission Infrastructure Release 1, 2004
  - ✧ HL7 Version 3 Standard: Master File / Registry Infrastructure, Release 1, 2006
  - ✧ HL7 Version 3 Standard: Infrastructure Management: Query Infrastructure, Release 1, 2004
  - ✧ HL7 Version 3 Standard: Infrastructure Management: Message Control Act Infrastructure, Release1, 2004
  - ✧ HL7 Version 3 Standard: Web Services – Basic Profile, Release 1, 2004
- ebRIM OASIS/ebXML Registry Information Model Version 3.0, OASIS Standard, 2 May, 2005
- ebRS OASIS/ebXML Registry Services and Protocols Version 3.0, OASIS Standard, 2 May, 2005
- MTOM SOAP Message Transmission Optimization Mechanism, W3C Recommendation, 25 January, 2005
- XOP XML-binary Optimized Packaging, W3C Recommendation, 25 January, 2005

9.2. 参考 URL

- 諸官庁・団体
  - ✧ **厚生労働省**

© JAHIS 2014

http://www.mhlw.go.jp/
- ✧ 経済産業省
  http://www.meti.go.jp/
- ✧ 総務省
  http://www.soumu.go.jp/
- ✧ 高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部（ＩＴ戦略本部）医療情報化に関するタスクフォース
  http://www.kantei.go.jp/jp/singi/it2/iryoujyouhou/
- ✧ 日本 HL7 協会
  http://www.hl7.jp/
- ✧ 社団法人 日本画像医療システム工業会（略称：JIRA）
  http://www.jira-net.or.jp/
- ✧ 一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会（略称：JAHIS）
  http://www.jahis.jp/
- ✧ 医療情報標準化推進協議会（略称：HELICS 協議会）
  http://helics.umin.ac.jp/
- ✧ 日本 IHE 協会（略称：IHE-J）
  http://www.ihe-j.org/
- ✧ 一般社団法人　日本医療情報学会（略称：JAMI）
  http://www.jami.jp/
- ✧ 一般社団法人　医療情報システム開発センター（略称：MEDIS-DC）
  http://www.medis.or.jp/
- ✧ SS-MIX 普及推進コンソーシアム
  http://www.hci-bc.com/ss-mix/index.html

- 地域医療・標準化
  - ✧ 厚生労働省　地域医療再生基金
    http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/iryou/saiseikikin/index.html
  - ✧ 第 1 回地域医療再生計画に係る有識者会議資料：地域医療再生基金における IT 活用による地域医療連携について（厚生労働省、2010 年 1 月 25 日）
    http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/01/s0125-9.html
  - ✧ 医療情報の標準化に関する情報・資料など
    http://www.jami.jp/jamistd/index.html

- 実証事業等
  - ✧ 経済産業省 健康情報活用基盤構築のための標準化及び実証事業
    https://microsite.accenture.com/meti/Pages/default.aspx)
  - ✧ 「平成 22 年度医療情報化促進事業」報告書の掲載について
    http://www.keieiken.co.jp/medit/240423.html
  - ✧ 「平成 22 年度医療情報化促進事業」最終報告会資料
    http://www.keieiken.co.jp/medit/240229.html
  - ✧ 医療情報システムにおける相互運用性実証事業
    http://www.nss-med.co.jp/project/project3.html
  - ✧ 周産期医療および救急医療を支援する情報活用等に関する調査研究
    http://www.nss-med.co.jp/project/project1.html
  - ✧ 地域見守り支援システム実証事業

© JAHIS 2014

http://www.nss-med.co.jp/mimamori/seika.html

- ✧ 医療・介護等関連分野における規制改革・産業創出調査研究事業
  http://www.nss-med.co.jp/H22mimamori/seika2011.html
- ✧ 健康情報活用基盤構築のための標準化及び実証事業
  http://www.accenture.com/Microsites/hpsv-meti/Pages/default.aspx

9.3. 参考資料

- 標準化文書
  - ✧ JAHIS 標準文書
    http://www.jahis.jp/jahis_hyojyun/seiteizumi_hyojyun/
  - ✧ IT Infrastructure Technical Framework
    http://www.ihe.net/Technical_Framework/index.cfm#IT
  - ✧ 厚生労働省 厚生労働省標準規格通知
    http://www.mhlw.go.jp/bunya/iryou/johoka/dl/02.pdf
  - ✧ HELICS 「医療情報標準化指針」一覧（採択されたもの）
    http://helics.umin.ac.jp/helicsStdList.html

- 医療情報関係のガイドライン
  - ✧ 「医療・介護関係事業者における個人情報の適切な取扱いのためのガイドライン」（厚生労働省 2010.09）
    http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/seisaku/kojin/dl/170805-11a.pdf
  - ✧ 「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第 4.1 版」（厚生労働省 2010.02）
    http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/02/s0202-4.html
  - ✧ 「医療情報を受託管理する情報処理事業者向けガイドライン」（経済産業省 2008.07）
    http://www.meti.go.jp/policy/it_policy/privacy/080331iryou-hontai.pdf
  - ✧ 「ASP・SaaS 事業者が医療情報を取り扱う際の安全管理に関するガイドライン第 1.1 版」（総務省 2010.12）
    http://www.soumu.go.jp/main_content/000095031.pdf

- 地域医療
  - ✧ 「平成 22 年度医療情報化促進事業」最終報告会資料
    http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/report_20120214.pdf
  - ✧ 平成 22 年度医療情報化促進事業成果報告書
    http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/0-report.pdf
  - ✧ 別紙 1. 第二次医療等情報化共通基盤構築調査事業報告書
    http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/0-report_1.pdf
  - ✧ 別紙 2. 医療情報に関する海外調査報告書
    http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/0-report_2.pdf
  - ✧ 別紙 3. 災害時の避難所等における IT システムの有効性調査報告書
    http://www.keieiken.co.jp/medit/pdf/240423/0-report_3.pdf
  - ✧ 09-103 地域医療情報連携システム 運用管理システムのサービス機能
    http://www.jahis.jp/standard/seitei/st09-103v1.0a/st09-103v1.0a.htm
  - ✧ 「地域医療連携情報システム構築ハンドブック 2011」 別冊
    http://www.jpacs.jp/201107-hanbook.pdf
  - ✧ 「地域医療連携情報システム(XDS)構築ハンドブック」

© JAHIS 2014

http://www.jpacs.jp/20110114_4.pdf

- ✧ 地域医療連携情報システム構築ハンドブック 2010
  http://www.jpacs.jp/book2010.pdf
- ✧ 地域医療連携情報システム構築ハンドブック 2010 ―IHE XDS による HIE (Health Information Exchange) の構築―〈日本 PACS 研究会・日本 IHE 協会 〉
  http://www.ihe-j.org/file2/news/IHE-HIE-Handbook2010-06.pdf
- ✧ IT 戦略本部評価専門調査会「地域医療再生基金における IT 活用による地域医療連携について」
  http://www.mhlw.go.jp/shingi/2010/01/dl/s0125-9a.pdf
- ✧ SS-MIX2 仕様書、関連資料 (ZIP ファイル版)
  http://www.jami.jp/jamistd/docs/SS-MIX2pdf_for_release20120404.zip

© JAHIS 2014

付録―１．作成者名簿

作成者（社名五十音順）

伊藤 龍史	(株)エスイーシー
有馬 一閣	(株)NTT データ
下野 兼揮	(株)グッドマン
田中 教子	(株)ケーアイエス
増田 剛	(株)ケーアイエス
平田 泰三	シーメンス・ジャパン(株)
西田 慎一郎	(株)島津製作所
藤木 俊樹	ソフトウェアサービス
安立 和幸	東芝医療情報システムズ(株)
木村 雅彦	日本アイ・ビー・エム(株)
岡田 真一	日本電気(株)
佐々木 文夫	日本電気(株)
檀原 一之	日本電気(株)
真野 誠	日本電気(株)
中山 良幸	(株)日立製作所
橋詰 明英	(株)日立製作所
田中 良樹	富士通(株)
森田 嘉昭	富士通(株)
渡辺 響	富士通(株)
茗原 秀幸	三菱電機(株)

© JAHIS 2014

改定履歴		
日付	バージョン	内容
2014/02	Ver. 1.0	初版

（ＪＡＨＩＳ技術文書　１３－１０４）
２０１４年2月発行

ＪＡＨＩＳ
IHE-ITI を用いた医療情報連携基盤実装ガイド本編　Ｖｅｒ．１．０

発行元　一般社団法人　保健医療福祉情報システム工業会
〒１０５－０００４　東京都港区新橋２丁目５番５号
（新橋２丁目ＭＴビル５階）

電話　03-3506-8010　　FAX　03-3506-8070

（無断複写・転載を禁ず）

© JAHIS 2014